
川越市障害福祉に関するアンケート調査 報告書

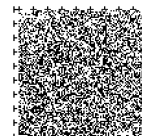
令和8年3月

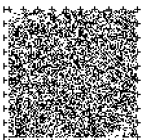
川 越 市

この冊子は音声コード付きです。

右のマークが音声コードで、コードの位置を示すために切り込みを入れています。

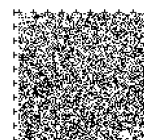
専用の読み上げ装置を使用して読み取ることで、音声で内容を聞き取ることができます。



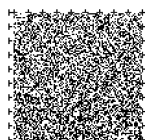


目次

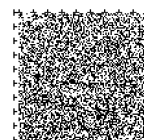
調査の概要	1
1. 調査目的	1
2. 調査対象・回収状況	1
3. 調査時期	1
4. 調査方法	1
5. 調査項目	2
6. この報告書における調査結果の見方	2
調査結果 I 当事者調査	3
1. 記入者・本人のことについて	3
（1）この調査票に記入する方はどなたですか。	3
（2）あなたの性別をお答えください。	4
（3）あなたの年齢を以下の欄にご記入ください。（令和7年9月1日 現在）	5
（4）あなたの昨年1年間のおおよその総収入額をご記入ください。	6
（5）あなたの生活を支えている収入は次のうちどれですか。（MA）	7
2. 障害の状況について	8
（1）身体障害者手帳を持っていますか。	8
（2）身体障害者手帳を持っている方は、主な障害をお答えください。	9
（3）療育手帳を持っていますか。	10
（4）精神障害者保健福祉手帳を持っていますか。	11
（5）難病（指定難病、特定疾患、指定疾患、小児慢性特定疾病）の認定を受けていますか。	12
（6）発達障害と診断されたことはありますか。	13
（7）高次脳機能障害と診断されたことはありますか。	14
（8）障害支援区分の認定を受けていますか。	15
（9）介護保険で介護サービスを利用していますか。	16
3. 介助等の状況について	17
（1）主にあなたの介助をしているのはどなたですか。	17
4. 健康状態や医療について	18
（1）健康管理や医療について、困ったり不便に思うことはありますか。	18
（2）健康管理や医療で困ったり不便に思うことは何ですか。（MA）	19
（3）現在、医療的ケアを受けていますか。	20
（4）あなたの医療的ケアを行っている方はどなたですか。（MA）	21



5. 外出や余暇の過ごし方について.....	22
(1) 1週間にどのくらい外出しますか。.....	22
(2) 普段はどなたと一緒に外出していますか。(MA).....	23
(3) 外出の際に困っていることはありますか。.....	24
(4) 外出でどのようなことに困っていますか。(MA).....	25
(5) 1年間で次の活動をする機会がありましたか。(MA).....	26
(6) 今後してみたい余暇活動は何ですか。(MA).....	27
(7) (6)の活動をするにはどんなことが必要だと思いますか。(MA).....	28
6. 通学・通園の状況について.....	29
(1) 幼稚園や保育所、学校等に通っていますか。.....	29
(2) 幼稚園や保育所、学校等に通うにあたって困っていることはありますか。...	30
(3) 通園・通学にあたって困っていることは何ですか。(MA).....	31
7. 入所期間・理由について.....	32
(1) 現在の施設に入所している期間をご記入ください。(1年未満は0とご記入ください) ..	32
(2) 現在の施設へ入所することを決めた理由は何ですか。(MA).....	32
8. 施設での生活について.....	33
(1) この1年間でどのくらい自宅に帰りましたか。.....	33
(2) 現在入所している施設の生活に満足していますか。.....	33
9. 雇用・就労について.....	34
(1) 現在、仕事をしていますか。.....	34
(2) 現在の職場で何年働いていますか。.....	35
(3) 現在の仕事はどのようにして見つけましたか。.....	36
(4) どのような勤務形態で働いていますか。.....	37
(5) 1週あたりの勤務日数.....	38
(6) 1日あたりの勤務時間.....	39
(7) 仕事をする上で困っていることはありますか。.....	40
(8) 仕事をする上で主に困っていることは何ですか。(MA).....	41
(9) 仕事を辞めた理由は何ですか。(MA).....	42
(10) 障害のある人の就労を促進するためには何が必要だと思いますか。(MA).....	43
10. 現在の暮らしと今後の希望について.....	44
(1) 現在どこで暮らしていますか。.....	44
(2) 将来どこで暮らしたいですか。.....	45
(3) 施設での生活を続けたい理由は何ですか。(MA).....	46
(4) 施設を出たい理由は何ですか。(MA).....	46
(5) 現在誰と暮らしていますか。(MA).....	47
(6) 将来誰と一緒に暮らしたいですか。(MA).....	48

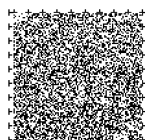


(7) 現在、主に日中をどのように過ごしていますか。	49
(8) 近い将来（今後3年以内）どのように過ごしたいですか。	50
(9) 卒業したら、どのように日中を過ごす予定ですか。	51
(10) 希望としてはどのように過ごしたいですか。	51
(11) 日中、自宅で過ごしていてどんなことで困っていますか。(MA)	52
(12) 近い将来、日中を主に自宅で過ごしたいと思う理由は何ですか。	53
(13) 障害のある人が地域で生活していくためには何が必要だと思いますか。(MA)	54
11. 相談や情報入手について	55
(1) 現在の生活で困っていることや悩んでいることはありますか。	55
(2) 現在の生活で困っていることや悩んでいることは何ですか。(MA)	56
(3) 普段、悩みや困ったことなどをどこ（誰）に相談しますか。(MA)	57
(4) 相談できない理由は何ですか。(MA)	58
(5) 福祉サービス内容について、どのようなもので知ることが多いですか。(MA)	59
12. 福祉サービスについて	60
(1) 次の障害福祉サービスを利用していますか。今後3年以内にどのくらい利用したいですか。	60
13. 災害時の支援等について	64
(1) 災害時に一人（自力）で避難することはできますか。	64
(2) 災害発生時に困ることや不安なことはありますか。	65
(3) 災害発生時に困ることや不安なことは何ですか。(MA)	66
14. 障害者への理解や権利擁護について	67
(1) 「障害者週間の集い」を知っていましたか。	67
(2) 「成年後見制度」について知っていましたか。	68
(3) 「地域共生社会」を知っていましたか。	69
(4) 「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（障害者差別解消法）」を知っていましたか。	70
(5) 障害があることで差別を受けたり嫌な思いをしたりすることはありますか。	71
(6) 障害があることで差別を受けたり嫌な思いをしたのはどのような場面ですか。(MA)	72
(7) 障害に対する市民の理解について、進んでいると感じますか。	73
15. 市の取り組み等について	74
(1) 次の市の取り組みで、改善してほしいことを教えてください。(3LA)	74
(2) 次の市の取り組みで、満足していることを教えてください。(3LA)	75
16. 市の障害者施策の満足度について	76
(1) 川越市の障害者施策について、満足していますか。	76



17. 介助者向けアンケート	77
(1) ご本人との関係は次のうちどれですか。	77
(2) 年齢を以下にご記入ください。(令和7年9月1日現在)	78
(3) 介助者に必要と思われる支援はありますか。(MA)	79
調査結果Ⅱ 障害のない市民向け調査	80
1. 記入者・本人のことについて	80
(1) あなたの性別をお答えください。	80
(2) 年齢	80
2. 障害者との関わりについて	81
(1) 身近に障害のある人はいますか。(MA)	81
(2) 普段の生活で、障害のある人と接する機会がありますか。	81
(3) 障害のある人と接するのはどのような場面ですか。(MA)	82
3. 障害福祉の知識について	83
(1) 「障害者週間の集い」を知っていますか。	83
(2) 「成年後見制度」について知っていましたか。	83
(3) 「地域共生社会」を知っていますか。	84
(4) 「ヘルプマーク」を知っていますか。	84
(5) 「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律(障害者差別解消法)」を知っていますか。	85
4. 障害への理解について	86
(1) 障害のある人への差別や偏見を感じたことはありますか。	86
(2) どのような場面で差別や偏見を感じましたか。(MA)	86
(3) あなた自身に障害のある人に対して差別や偏見があると思いますか。	87
(4) 障害のある人への誤解や偏見を解消するためにどのようなことが必要だと思いますか。(MA)	87
(5) 障害のある人が地域で生活するためには何が必要だと思いますか。(MA)	88
資料編	89
1. アンケート調査票(障害者手帳所持者等)	89
2. アンケート調査票(特別支援学校高等部3年生)	101
3. アンケート調査票(施設・グループホーム利用者)	111
4. アンケート調査票(障害のない市民)	123

※自由記述による回答については、別冊「川越市障害福祉に関するアンケート調査報告書 自由記述編」にまとめて掲載しています。



調査の概要

1. 調査目的

次期川越市障害者支援計画（令和9年度～）を策定するにあたり、障害のある方やその介助者等（以下、障害者等という）へアンケート調査を行い、障害者等の生活上の課題やニーズ、状況の変化を把握するものです。

2. 調査対象・回収状況

「障害者手帳所持者等（身体障害者、知的障害者、精神障害者、難病患者、発達障害者、高次脳機能障害者）」、「特別支援学校高等部3年生」、「障害者支援施設利用者及びグループホーム利用者（以下、施設・グループホーム利用者という）」、「障害のない市民」を対象に調査を実施しました。

調査対象		抽出者数	調査票 回収数	回収率
当事者調査	障害者手帳所持者等	3,200	1,651	51.6%
	身体障害者	800	450	56.3%
	知的障害者	800	389	48.6%
	精神障害者	800	367	45.9%
	難病患者	800	445	55.6%
	（発達障害者※）	-	357	-
	（高次脳機能障害者※）	-	45	-
	特別支援学校高等部3年生	44	18	40.9%
	施設・グループホーム利用者	511	248	48.5%
障害のない市民	800	327	40.9%	
合計	4,555	2,244	49.3%	

※「発達障害者」「高次脳機能障害者」は、「障害者手帳所持者等」対象の調査で「発達障害や高次脳機能障害がある」と回答された方を内数で抽出しています。

3. 調査時期

令和7年9月5日～10月31日

4. 調査方法

- ・対象者を無作為抽出し、調査票を郵送により配布
- ・回答方法は、「紙の調査票に回答して郵送」と「電子申請（オンライン回答）」から回答者が選択



5. 調査項目

調査結果Ⅰ 当事者調査

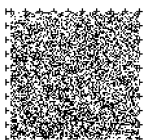
1. 記入者・本人のことについて
2. 障害の状況について
3. 介助等の状況について
4. 健康状態や医療について
5. 外出や余暇の過ごし方について
6. 通学・通園の状況について（「障害者手帳所持者等」のみ）
7. 入所期間・理由について（「施設・グループホーム利用者」のみ）
8. 施設での生活について（「施設・グループホーム利用者」のみ）
9. 雇用・就労について（「障害者手帳所持者等」および「施設・グループホーム利用者」のみ）
10. 現在の暮らしと今後の希望について
11. 相談や情報入手について
12. 福祉サービスについて
13. 災害時の支援等について
14. 障害者への理解や権利擁護について
15. 市の取り組み等について
16. 市の障害者施策の満足度について
17. 介助者向けアンケート

調査結果Ⅱ 障害のない市民向け調査

1. 記入者・本人のことについて
2. 障害者との関わりについて
3. 障害福祉の知識について
4. 障害への理解について

6. この報告書における調査結果の見方

- ・調査結果の数値は、回答率(%)で表示しています。回答率(%)の母数は、その質問項目に該当する回答者の総数であり、その数はn=で示しています。
- ・回答率(%)については、小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位までを表示しています。そのため回答率(%)の合計数値は100%とはならない場合があります。
- ・回答には、単一回答(○は1つ)と複数回答(○は複数)があり、複数回答の場合は回答率(%)の合計数値は100%を超える場合があります。
- ・タイトルにある「MA」は「複数回答 (マルチアンサー)」、「3LA」は「回答制限が3つ (3リミテッドアンサー)」を示しています。同様にグラフの「MA%」は複数回答されていることを示しています。
- ・「発達障害者」「高次脳機能障害者」は、「障害者手帳所持者等」対象の調査で「発達障害や高次脳機能障害がある」と回答された方を内数で抽出しています。
- ・本文、表、グラフの間のタイトル及び回答の選択肢は、簡略化して表現している場合があります。



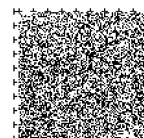
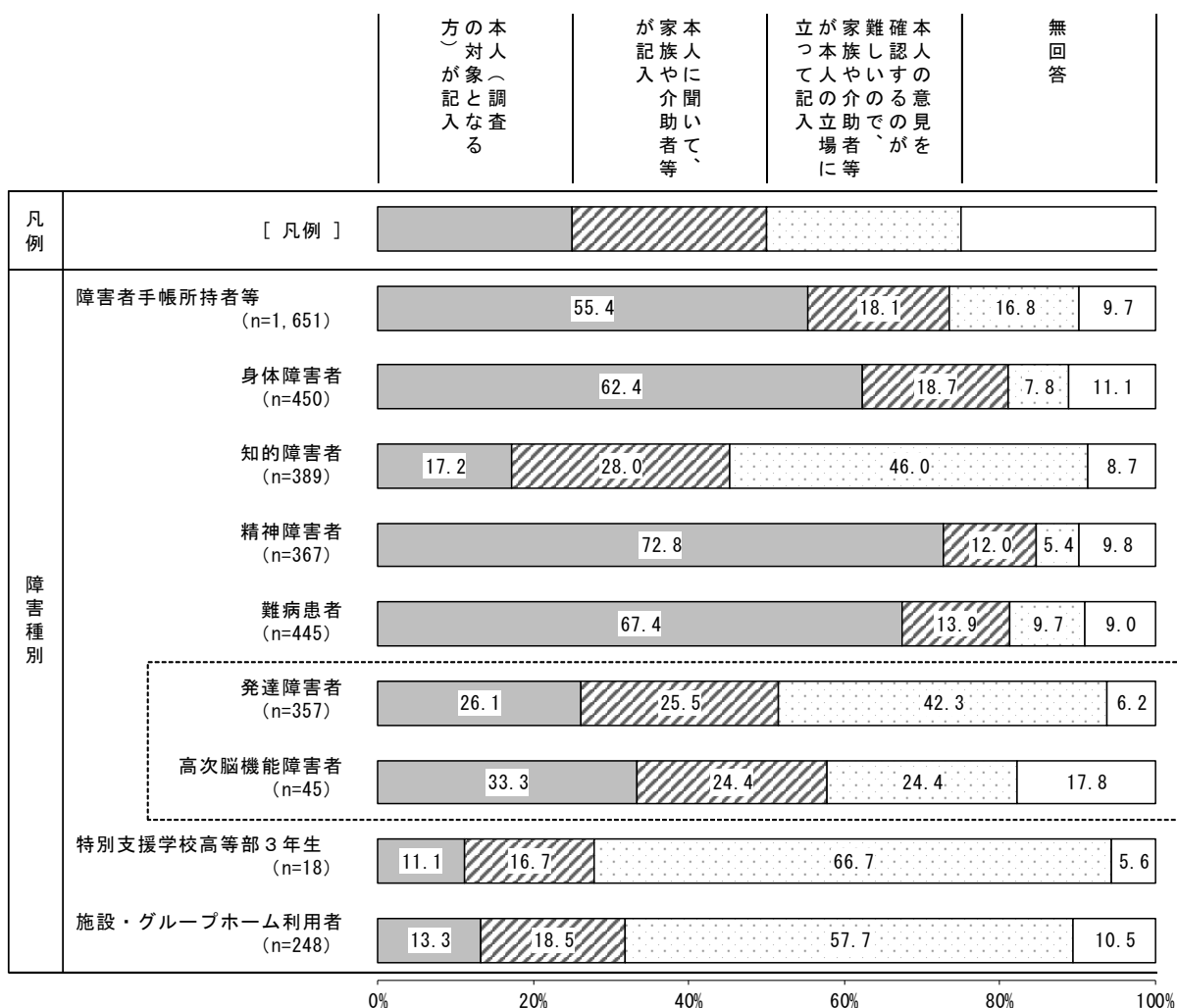
調査結果 I 当事者調査

1. 記入者・本人のことについて

(1) この調査票に記入する方はどなたですか。

- 記入者について、障害者手帳所持者等は「本人（調査の対象となる方）が記入」、特別支援学校高等部3年生、施設・グループホーム利用者は「本人の意見を確認するのが難しいので、家族や介助者等が本人の立場に立って記入」が最も多くなっています。
- 障害者手帳所持者等の内訳では、身体障害者、精神障害者、難病患者、高次脳機能障害者は「本人（調査の対象となる方）が記入」、知的障害者、発達障害者は「本人の意見を確認するのが難しいので、家族や介助者等が本人の立場に立って記入」が最も多くなっています。

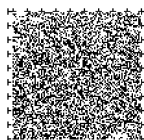
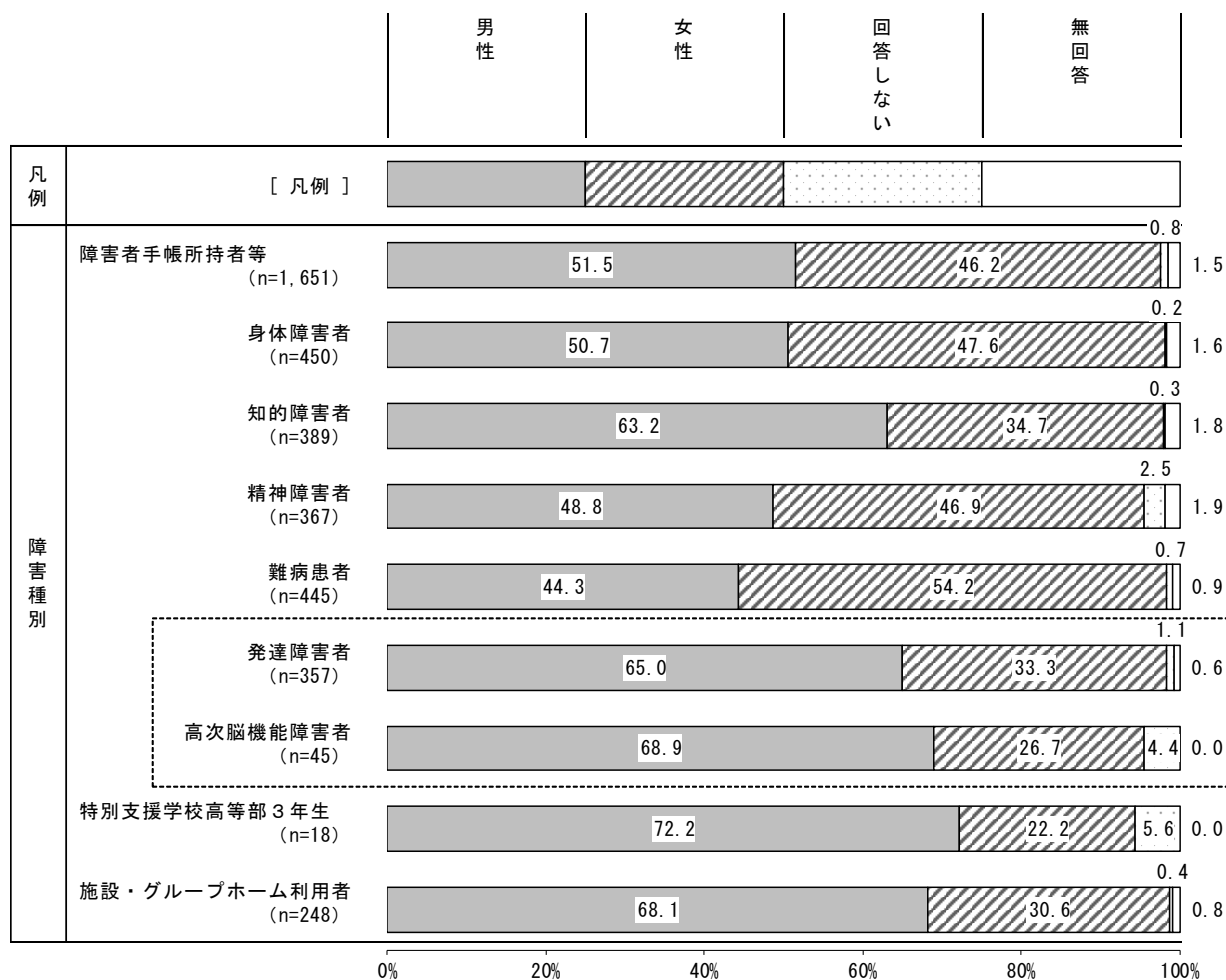
【記入者】



(2) あなたの性別をお答えください。

- 性別について、障害者手帳所持者等、特別支援学校高等部3年生、施設・グループホーム利用者いずれも「男性」が最も多くなっています。
- 障害者手帳所持者等の内訳では、身体障害者、知的障害者、精神障害者、発達障害者、高次脳機能障害者は「男性」、難病患者は「女性」が最も多くなっています。

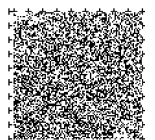
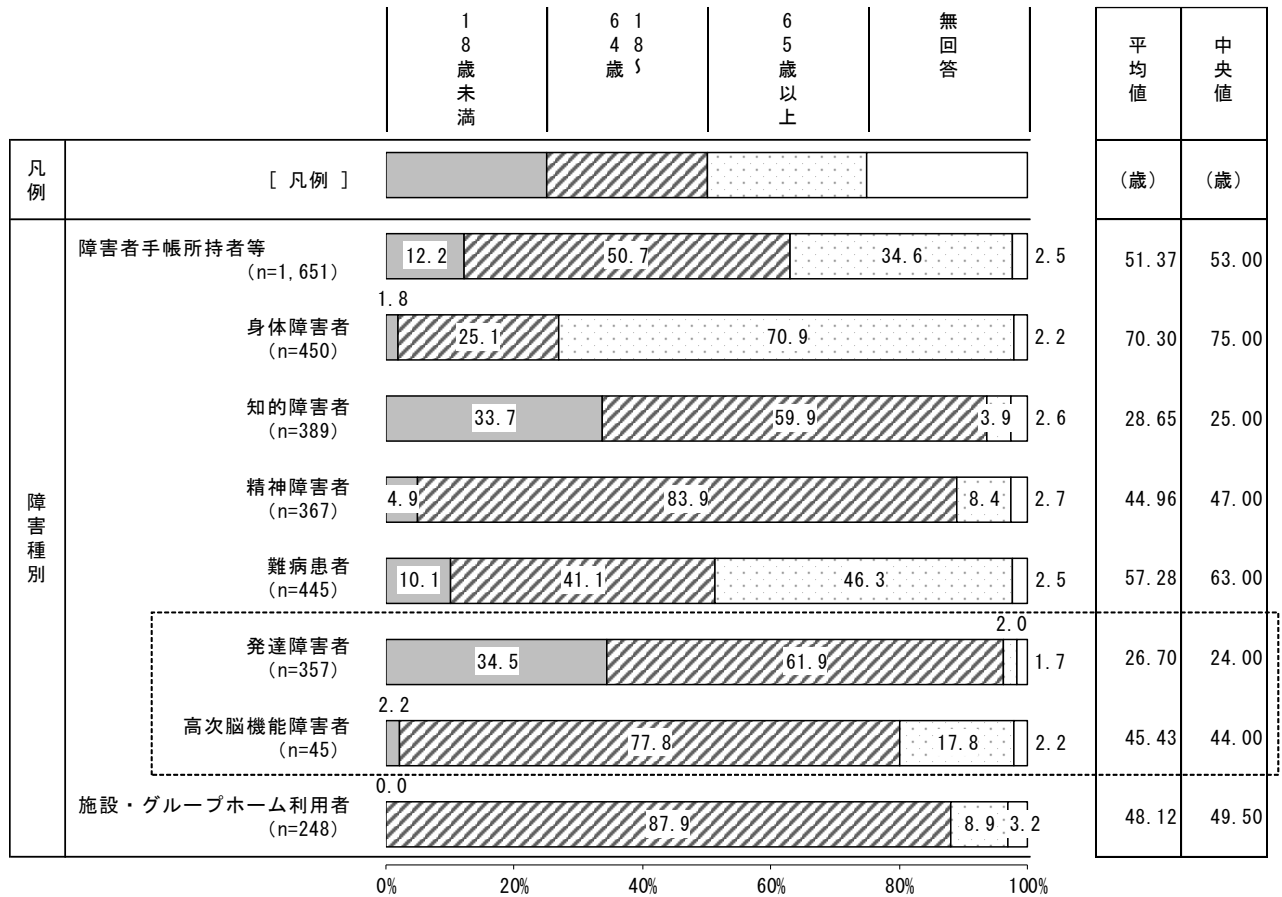
【性別】



(3) あなたの年齢を以下の欄にご記入ください。(令和7年9月1日 現在)

- 年齢について、障害者手帳所持者等、施設・グループホーム利用者ともに「18～64歳」が最も多くなっています。
- 障害者手帳所持者等の内訳では、身体障害者、難病患者は「65歳以上」、知的障害者、精神障害者、発達障害者、高次脳機能障害者は「18～64歳」が最も多くなっています。

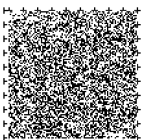
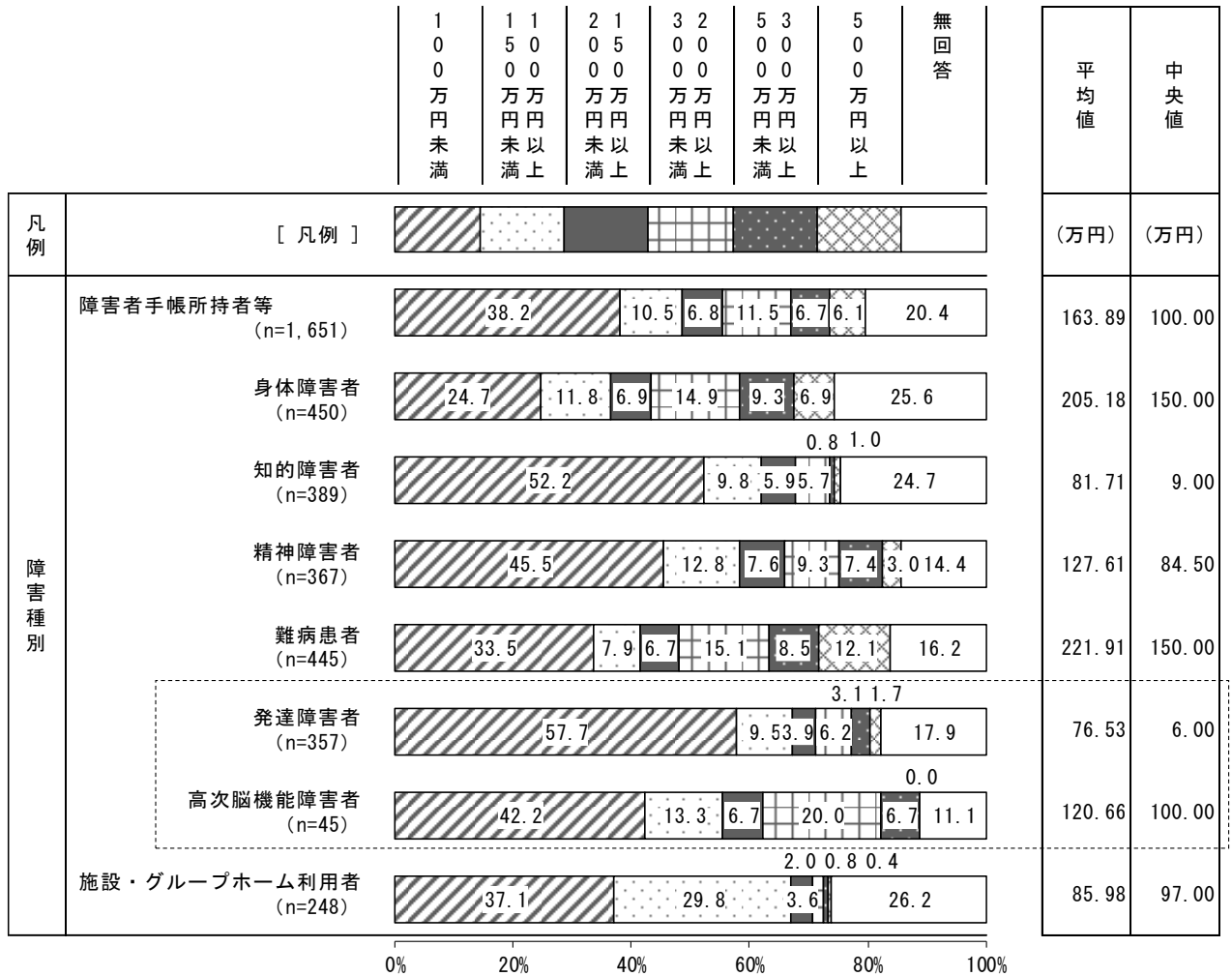
【年齢】



(4) あなたの昨年1年間のおおよその総収入額をご記入ください。

○ 収入額について、障害者手帳所持者等、施設・グループホーム利用者ともに「100万円未満」が最も多くなっています。

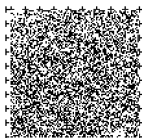
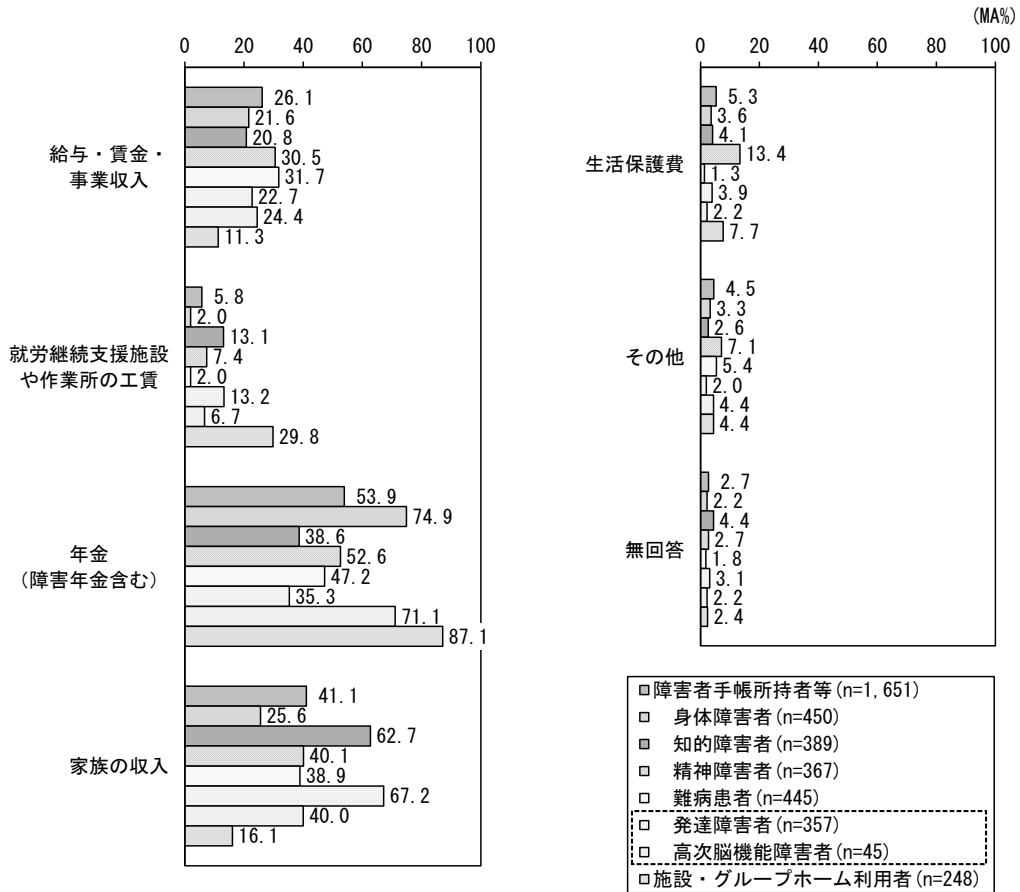
【収入額】



(5) あなたの生活を支えている収入は次のうちどれですか。(MA)

- 収入源について、障害者手帳所持者等、施設・グループホーム利用者ともに「年金（障害年金含む）」が最も多くなっています。
- 障害者手帳所持者等の内訳では、身体障害者、精神障害者、難病患者、高次脳機能障害者は「年金（障害年金含む）」、知的障害者、発達障害者は「家族の収入」が最も多くなっています。

【収入源】

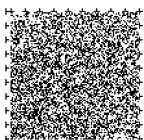
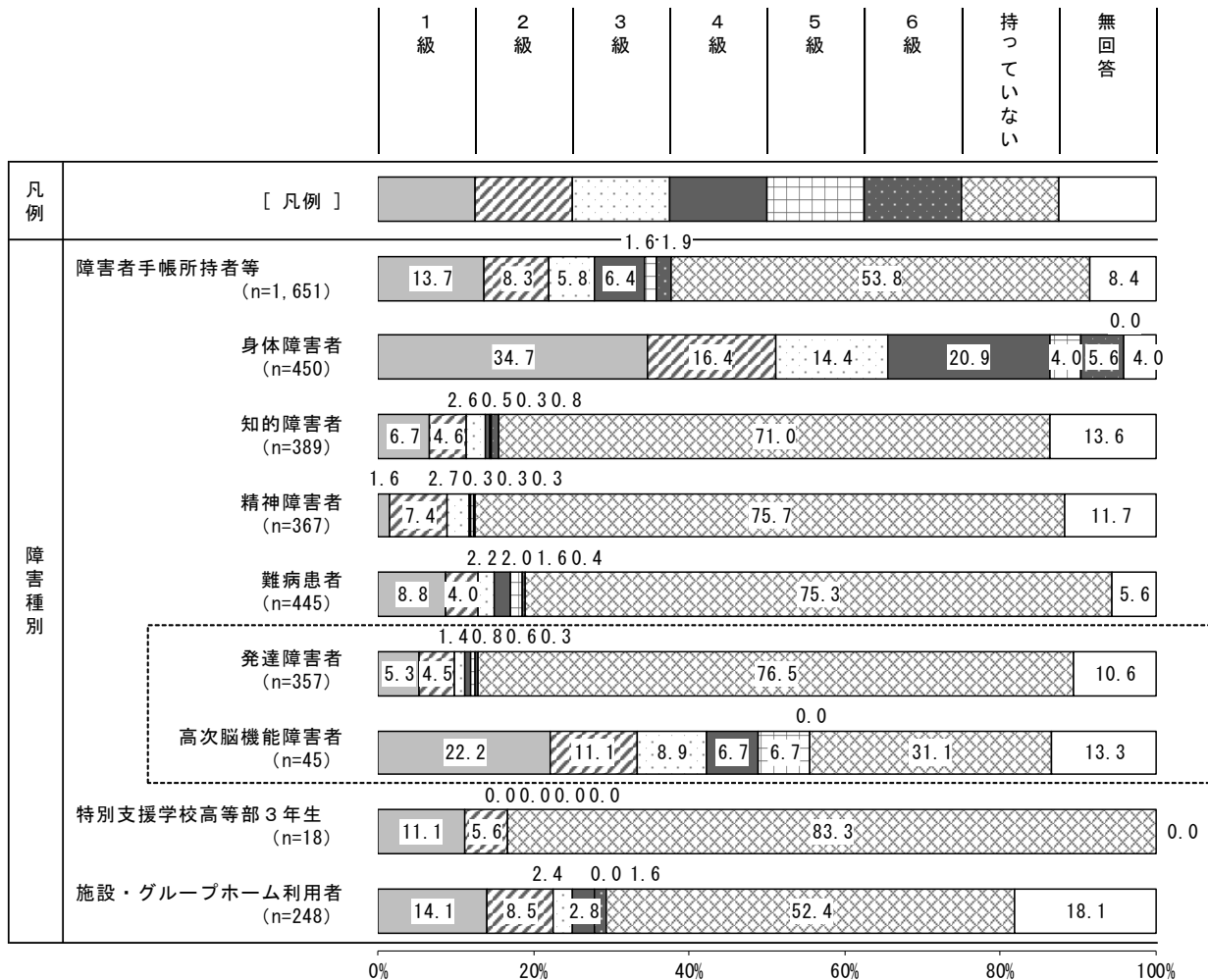


2. 障害の状況について

(1) 身体障害者手帳を持っていますか。

- 身体障害者手帳の有無について、障害者手帳所持者等、特別支援学校高等部3年生、施設・グループホーム利用者いずれも「持っていない」が最も多くなっています。
- 障害者手帳所持者等の内訳では、身体障害者は「1級」、知的障害者は「1級」、知的障害者、精神障害者、難病患者、発達障害者、高次脳機能障害者は「持っていない」が最も多くなっています。

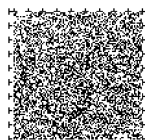
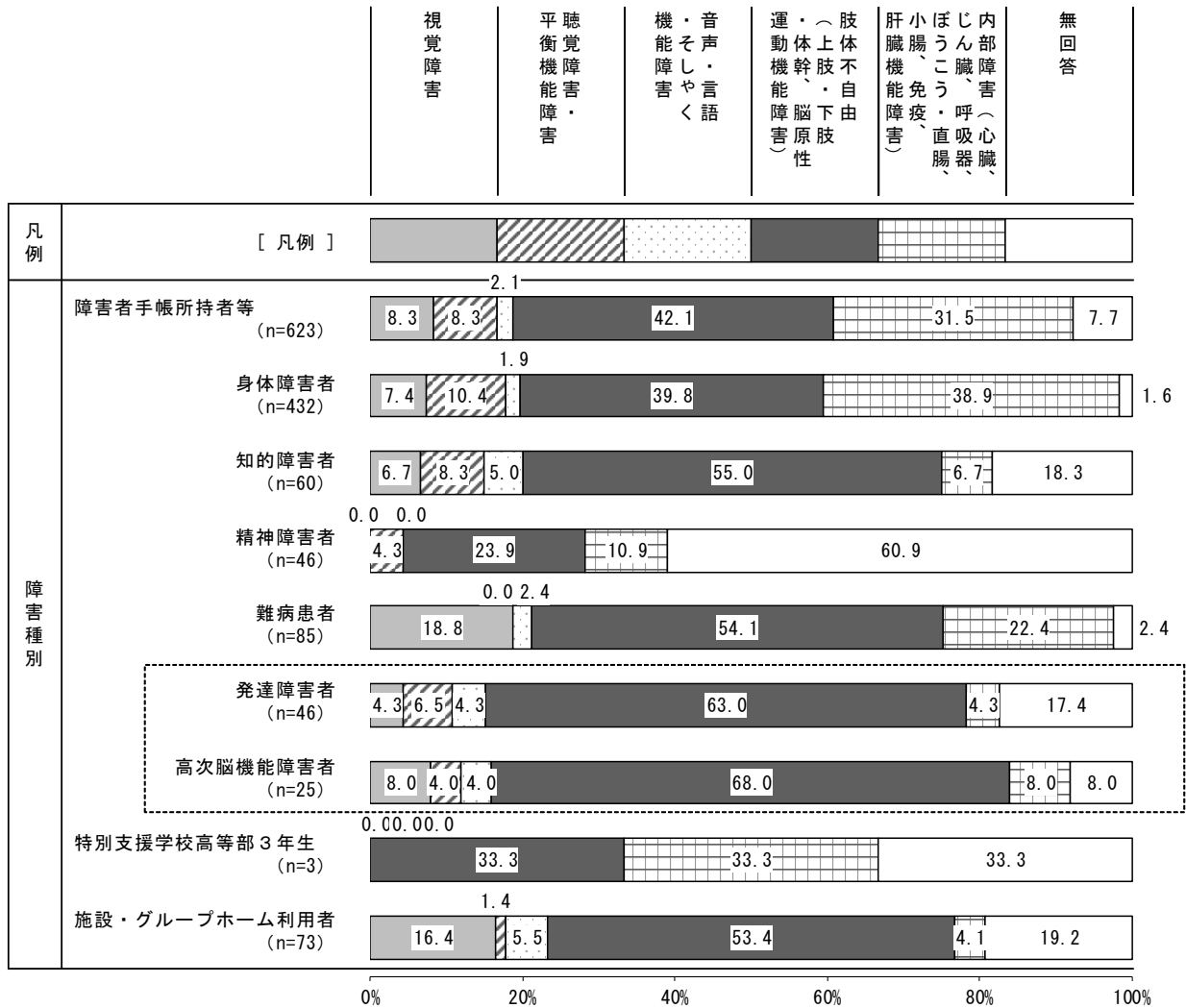
【身体障害者手帳の有無】



(2) 身体障害者手帳を持っている方は、主な障害をお答えください。

- 身体障害の部位について、障害者手帳所持者等、施設・グループホーム利用者は「肢体不自由（上肢・下肢・体幹、脳原性運動機能障害）」、特別支援学校高等部3年生は「肢体不自由（上肢・下肢・体幹、脳原性運動機能障害）」と「内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこう・直腸、小腸、免疫、肝臓機能障害）」が最も多くなっています。

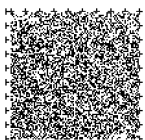
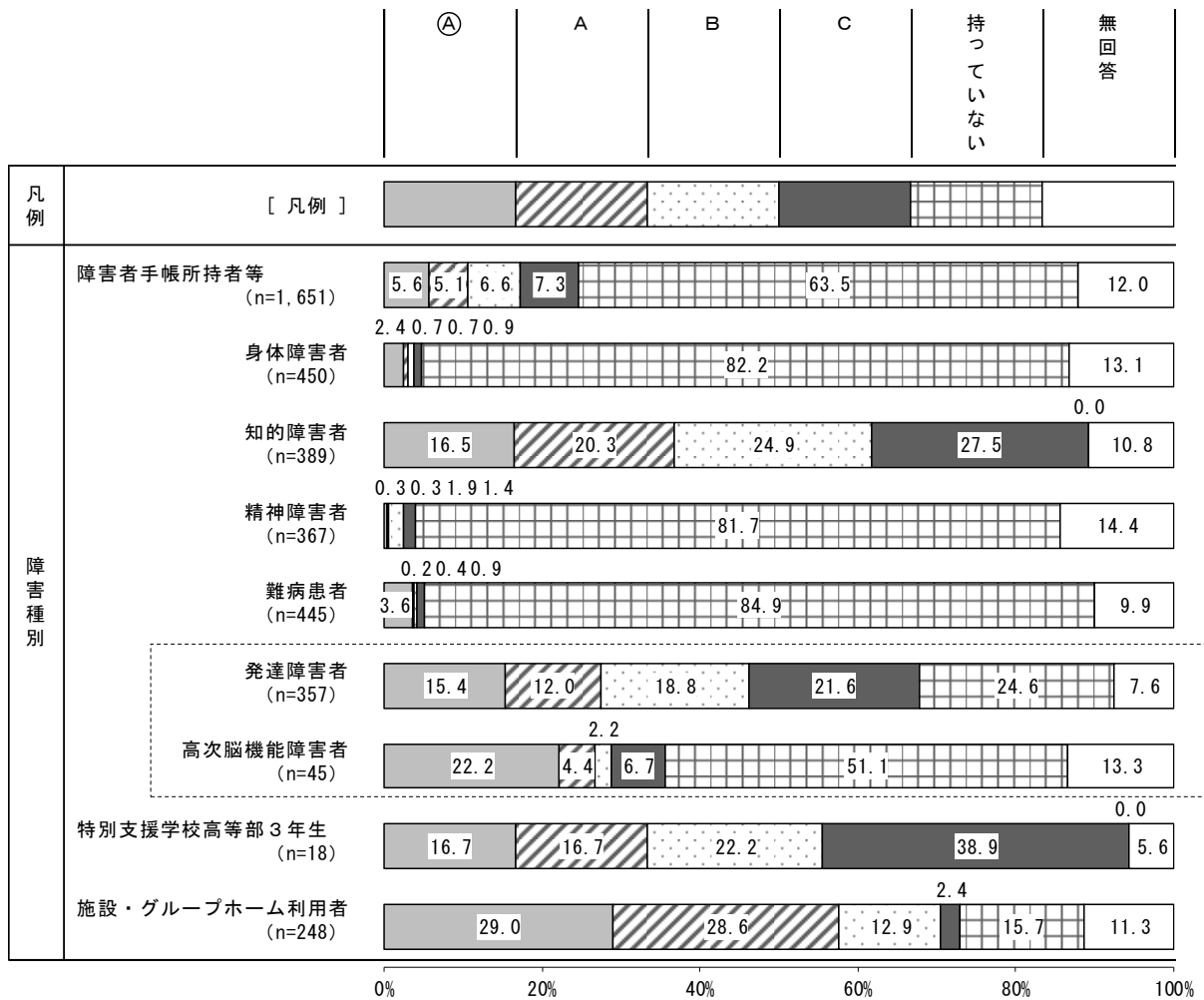
【身体障害の部位】



(3) 療育手帳を持っていますか。

- 療育手帳の有無について、障害者手帳所持者等は「持っていない」、特別支援学校高等部3年生は「C」、施設・グループホーム利用者は「A」が最も多くなっています。
- 障害者手帳所持者等の内訳では、身体障害者、精神障害者、難病患者、発達障害者、高次脳機能障害者は「持っていない」、知的障害者は「C」が最も多くなっています。

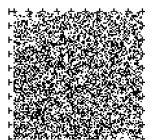
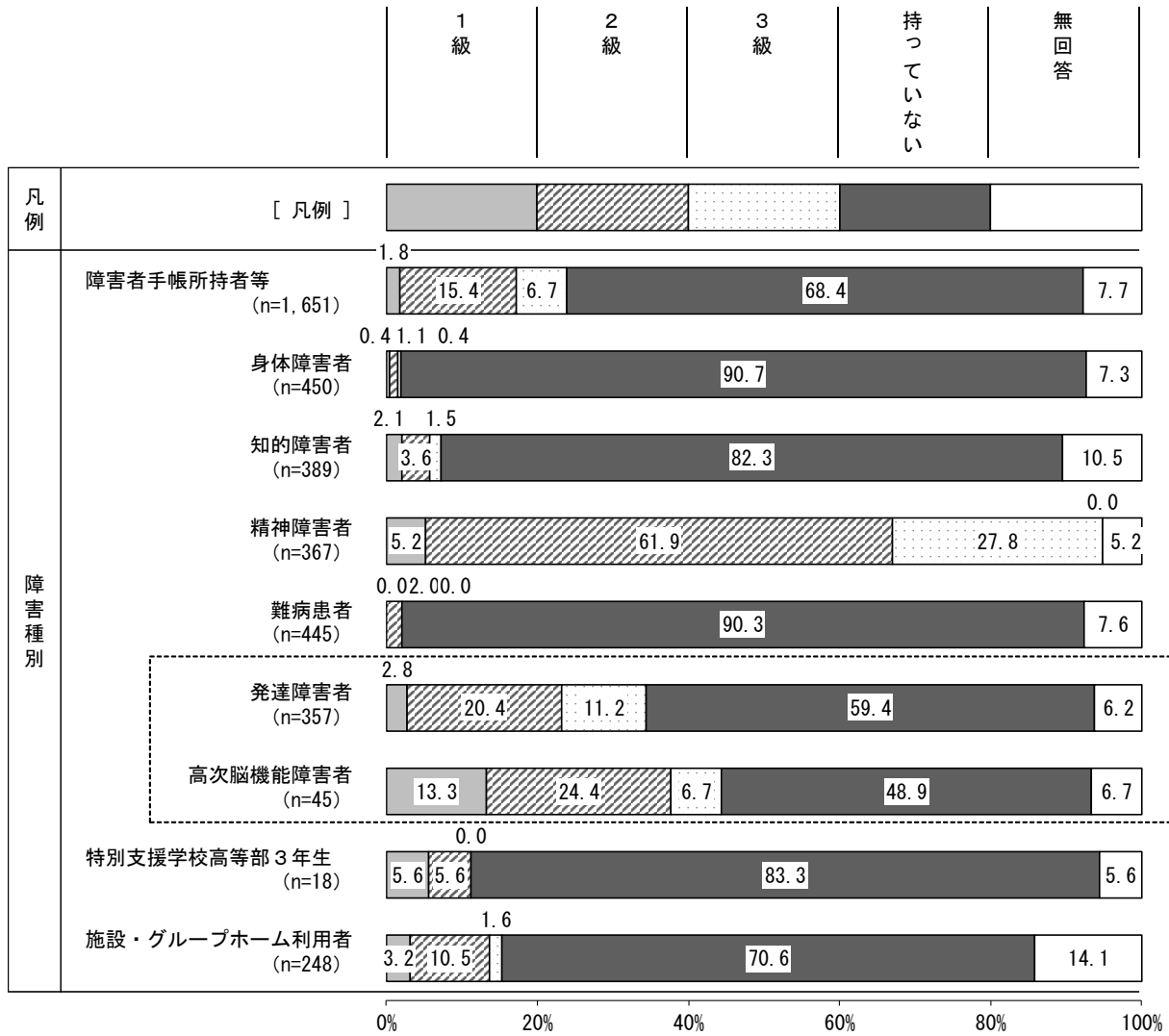
【療育手帳の有無】



(4) 精神障害者保健福祉手帳を持っていますか。

- 精神障害者保健福祉手帳の有無について、障害者手帳所持者等、特別支援学校高等部3年生、施設・グループホーム利用者いずれも「持っていない」が最も多くなっています。
- 障害者手帳所持者等の内訳では、身体障害者、知的障害者、難病患者、発達障害者、高次脳機能障害者は「持っていない」、精神障害者は「2級」が最も多くなっています。

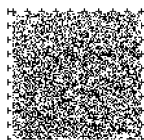
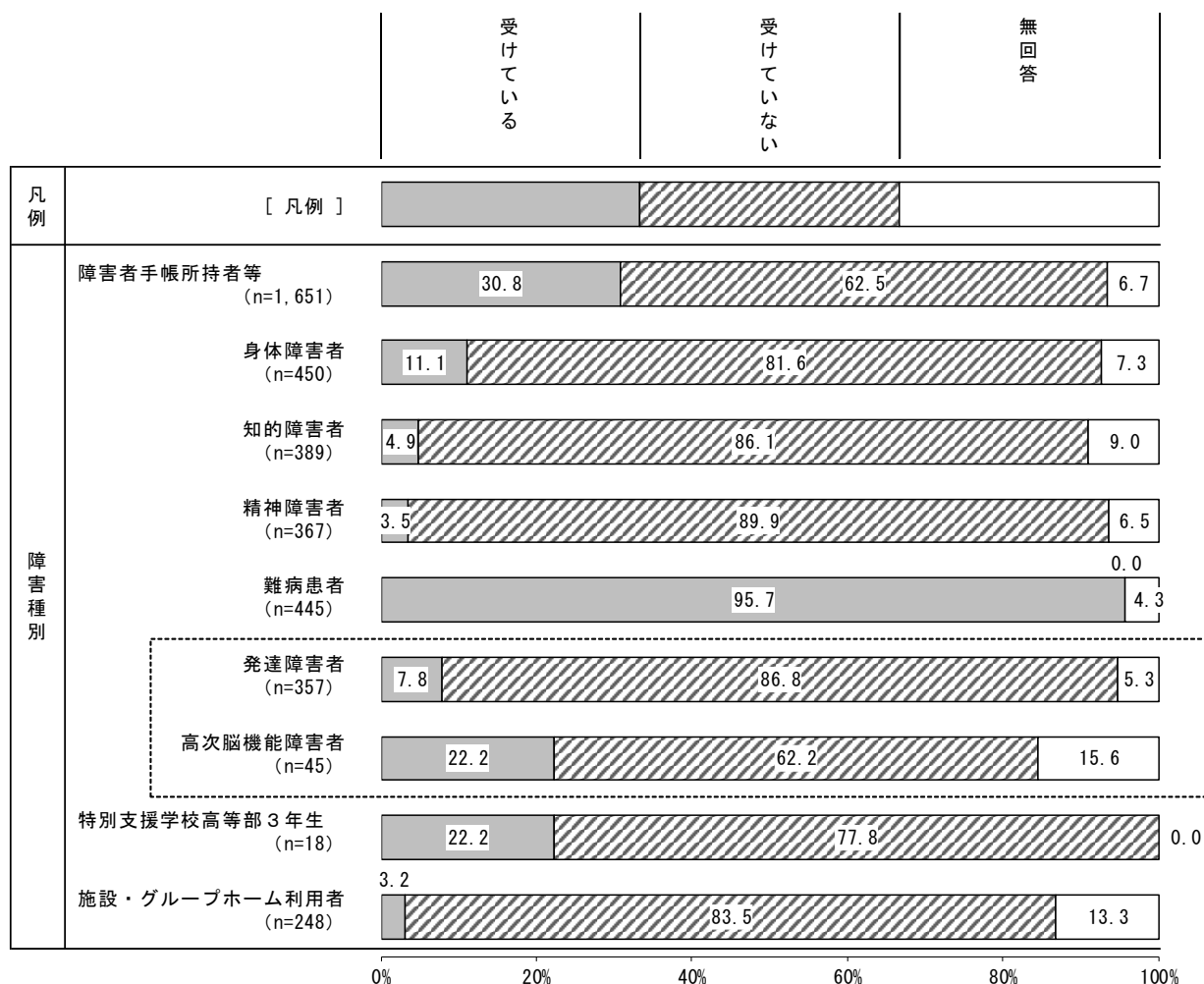
【精神障害者保健福祉手帳の有無】



(5) 難病（指定難病、特定疾患、指定疾患、小児慢性特定疾病）の認定を受けていますか。

- 難病認定の有無について、障害者手帳所持者等、特別支援学校高等部3年生、施設・グループホーム利用者いずれも「受けていない」が多くなっています。
- 障害者手帳所持者等の内訳では、身体障害者、知的障害者、精神障害者、発達障害者、高次脳機能障害者は「受けていない」、難病患者は「受けている」が多くなっています。

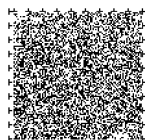
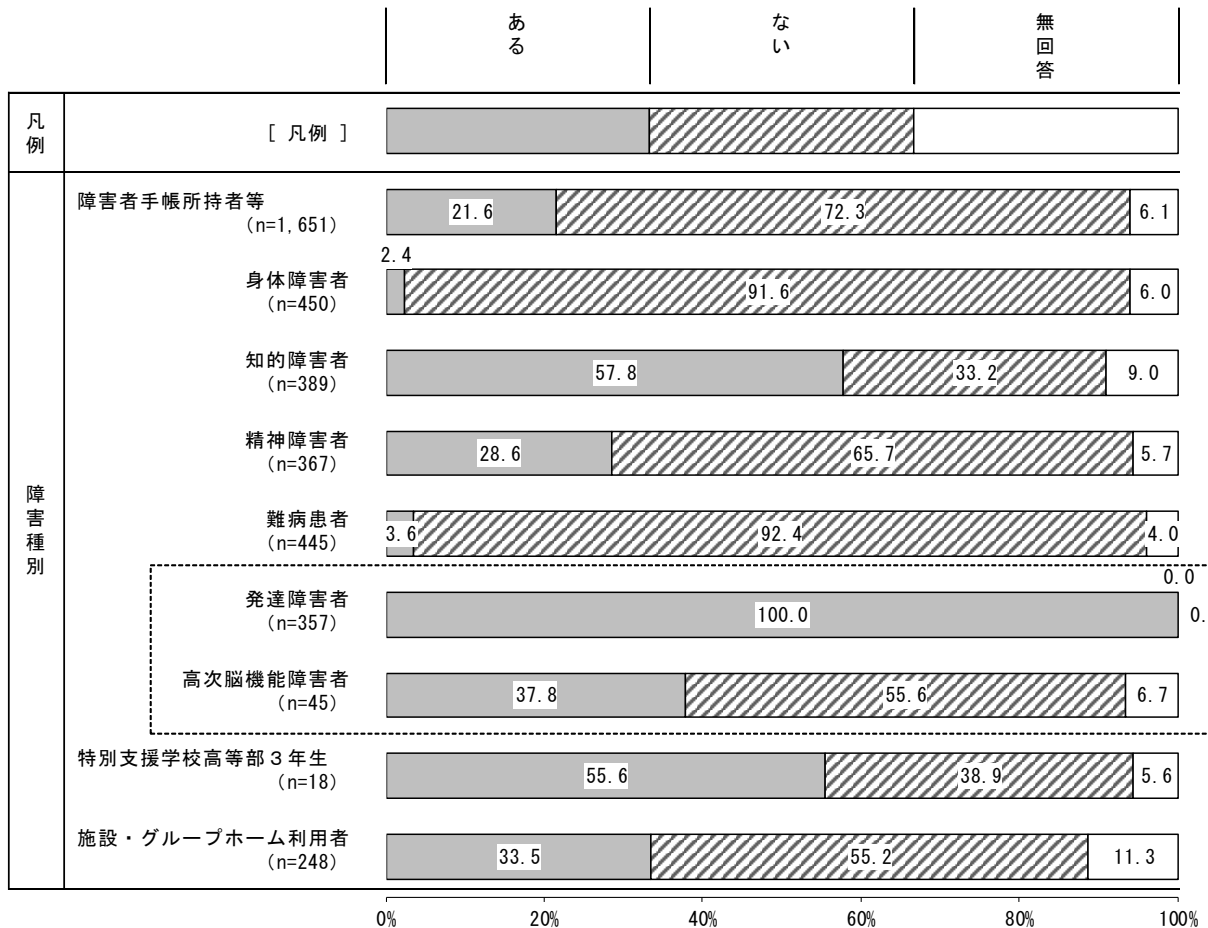
【難病認定の有無】



(6) 発達障害と診断されたことはありますか。

- 発達障害の有無について、障害者手帳所持者等、施設・グループホーム利用者は「ない」、特別支援学校高等部3年生は「ある」が多くなっています。
- 障害者手帳所持者等の内訳では、身体障害者、精神障害者、難病患者、高次脳機能障害者は「ない」、知的障害者、発達障害者は「ある」が多くなっています。

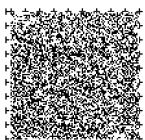
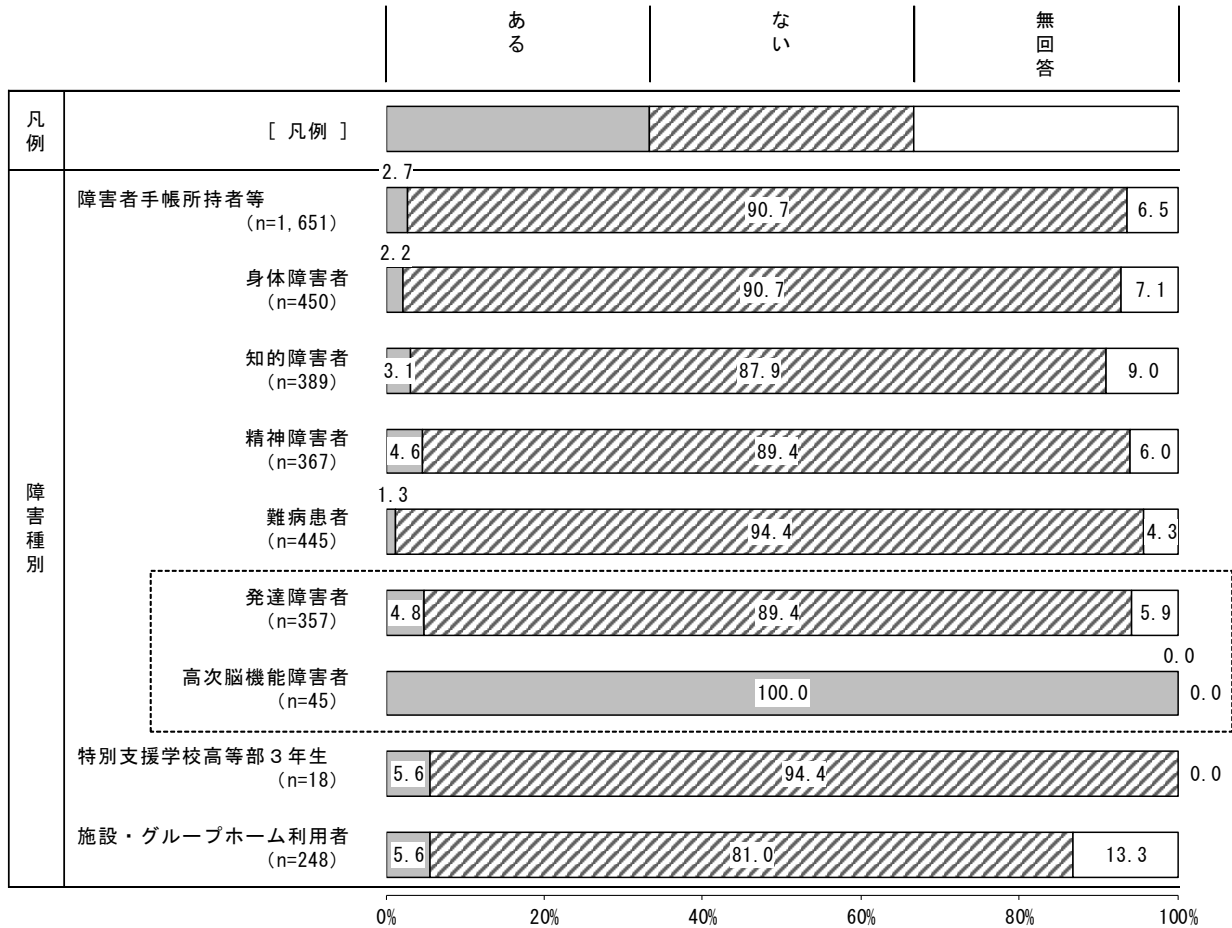
【発達障害の有無】



(7) 高次脳機能障害と診断されたことはありますか。

- 高次脳機能障害の有無について、障害者手帳所持者等、特別支援学校高等部3年生、施設・グループホーム利用者いずれも「ない」が多くなっています。
- 障害者手帳所持者等の内訳では、身体障害者、知的障害者、精神障害者、難病患者、発達障害者は「ない」、高次脳機能障害者は「ある」が多くなっています。

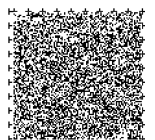
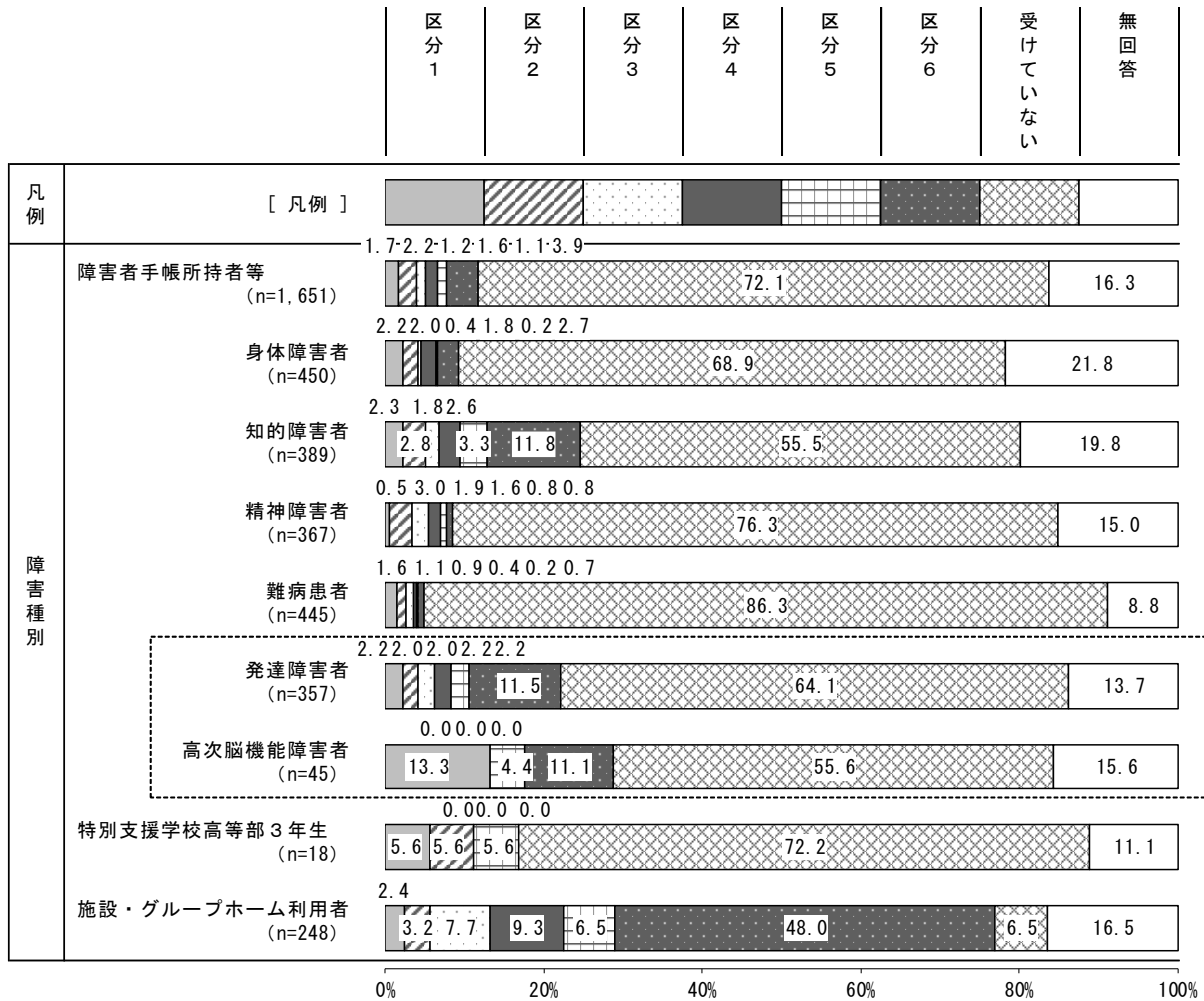
【高次脳機能障害の有無】



(8) 障害支援区分の認定を受けていますか。

- 障害支援区分について、障害者手帳所持者等、特別支援学校高等部3年生は「受けていない」、施設・グループホーム利用者は「区分6」が最も多くなっています。

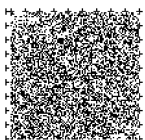
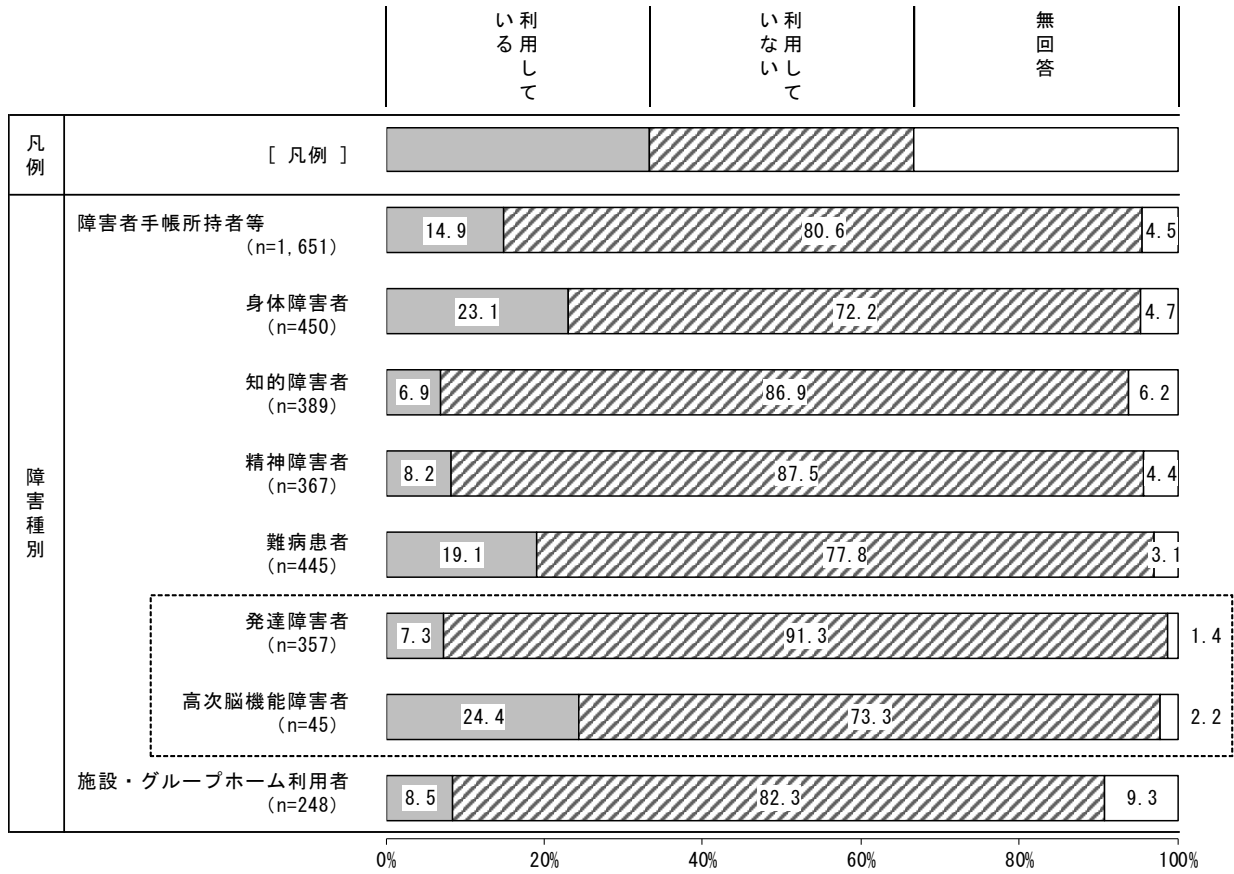
【障害支援区分】



(9) 介護保険で介護サービスを利用していますか。

○ 介護保険サービスの利用状況について、障害者手帳所持者等、施設・グループホーム利用者ともに「利用していない」が多くなっています。

【介護保険サービスの利用状況】

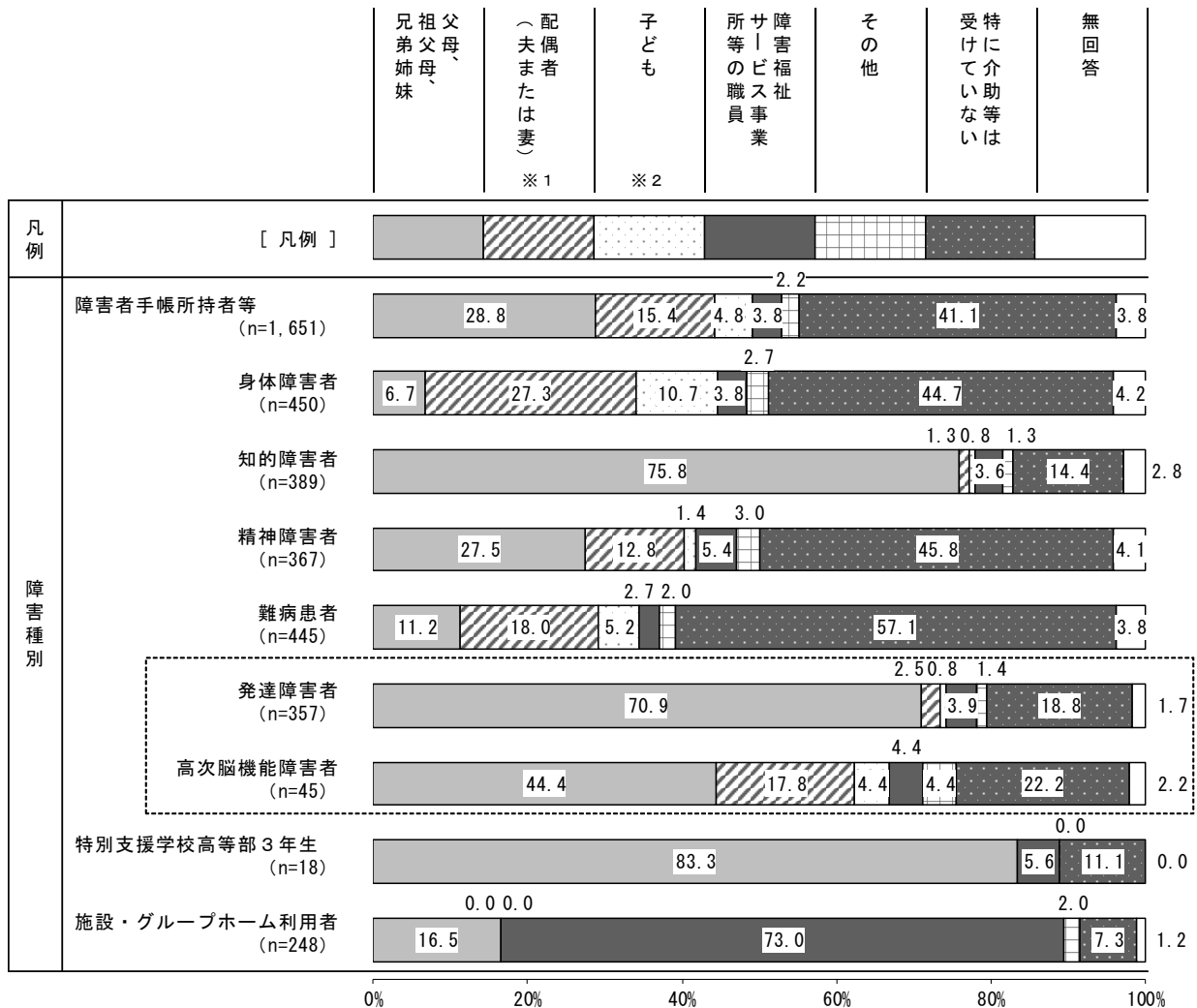


3. 介助等の状況について

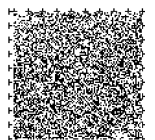
(1) 主にあなたの介助をしているのはどなたですか。

- 主な介助者について、障害者手帳所持者等は「特に介助等は受けていない」、特別支援学校高等部3年生は「父母、祖父母、兄弟姉妹」、施設・グループホーム利用者は「障害福祉サービス事業所等の職員」が最も多くなっています。
- 障害者手帳所持者等の内訳では、身体障害者、精神障害者、難病患者は「特に介助等は受けていない」、知的障害者、発達障害者、高次脳機能障害者は「父母、祖父母、兄弟姉妹」が最も多くなっています。

【主な介助者】



※1、※2 「配偶者（夫または妻）」「子ども」は、障害者手帳所持者等、施設・グループホーム利用者からのみ選択肢

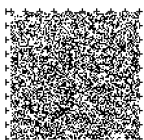
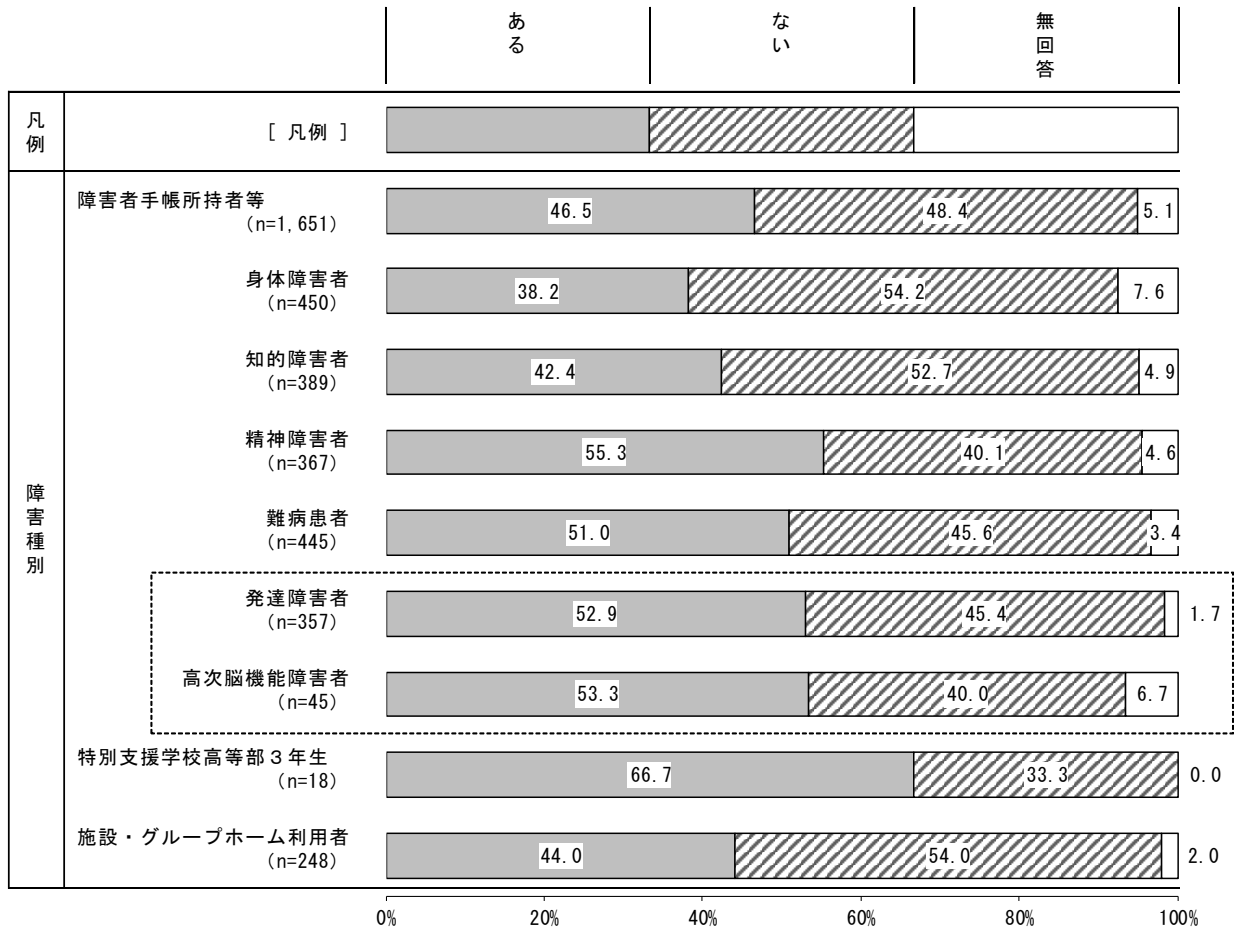


4. 健康状態や医療について

(1) 健康管理や医療について、困ったり不便に思うことはありますか。

- 健康管理や医療について困ったり不便に思うことの有無について、障害者手帳所持者等、施設・グループホーム利用者は「ない」、特別支援学校高等部3年生は「ある」が多くなっています。
- 障害者手帳所持者等の内訳では、身体障害者、知的障害者は「ない」、精神障害者、難病患者、発達障害者、高次脳機能障害者は「ある」が多くなっています。

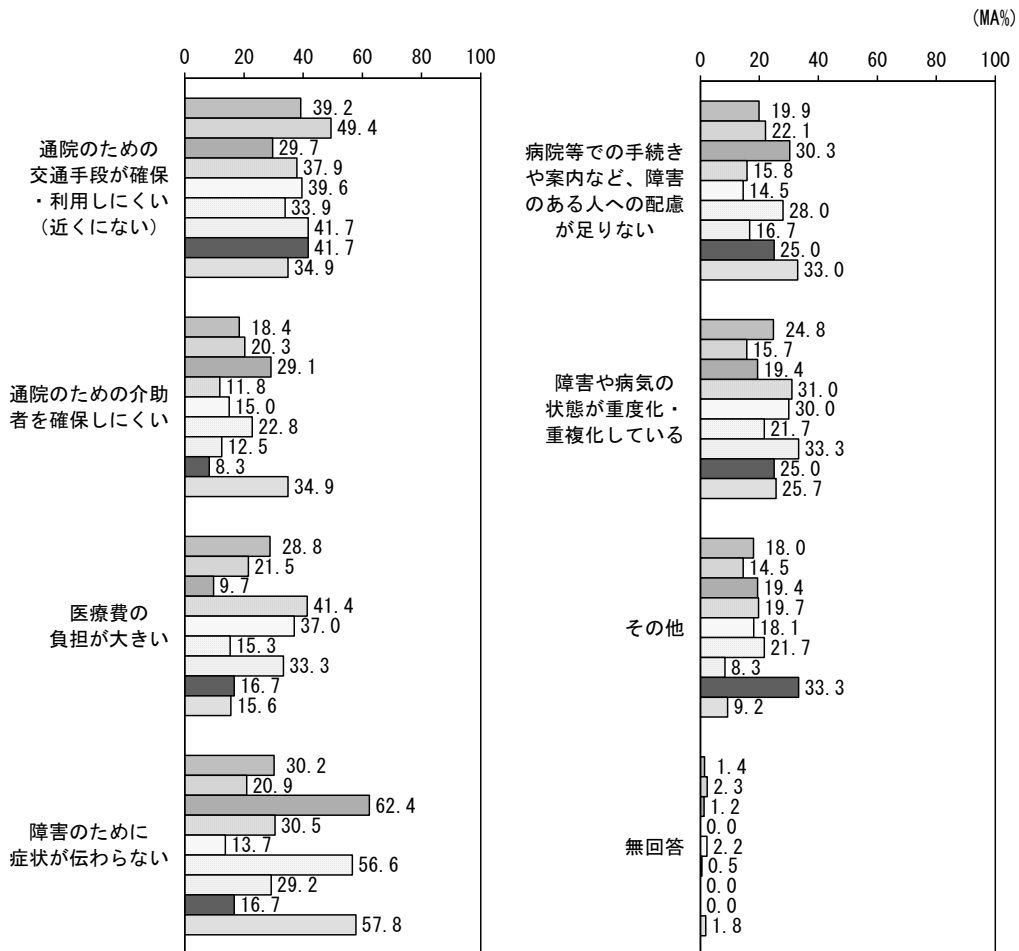
【健康管理や医療について困ったり不便に思うことの有無】



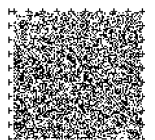
(2) 健康管理や医療で困ったり不便に思うことは何ですか。(MA)

- 健康管理や医療で困ったり不便に思うことについて、障害者手帳所持者等、特別支援学校高等部3年生は「通院のための交通手段が確保・利用しにくい（近くにない）」、施設・グループホーム利用者は「障害のために症状が伝わらない」が最も多くなっています。
- 障害者手帳所持者等の内訳では、身体障害者、難病患者、高次脳機能障害者は「通院のための交通手段が確保・利用しにくい（近くにない）」、知的障害者、発達障害者は「障害のために症状が伝わらない」、精神障害者は「医療費の負担が大きい」が最も多くなっています。

【健康管理や医療で困ったり不便に思うこと】



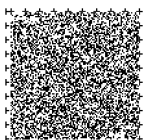
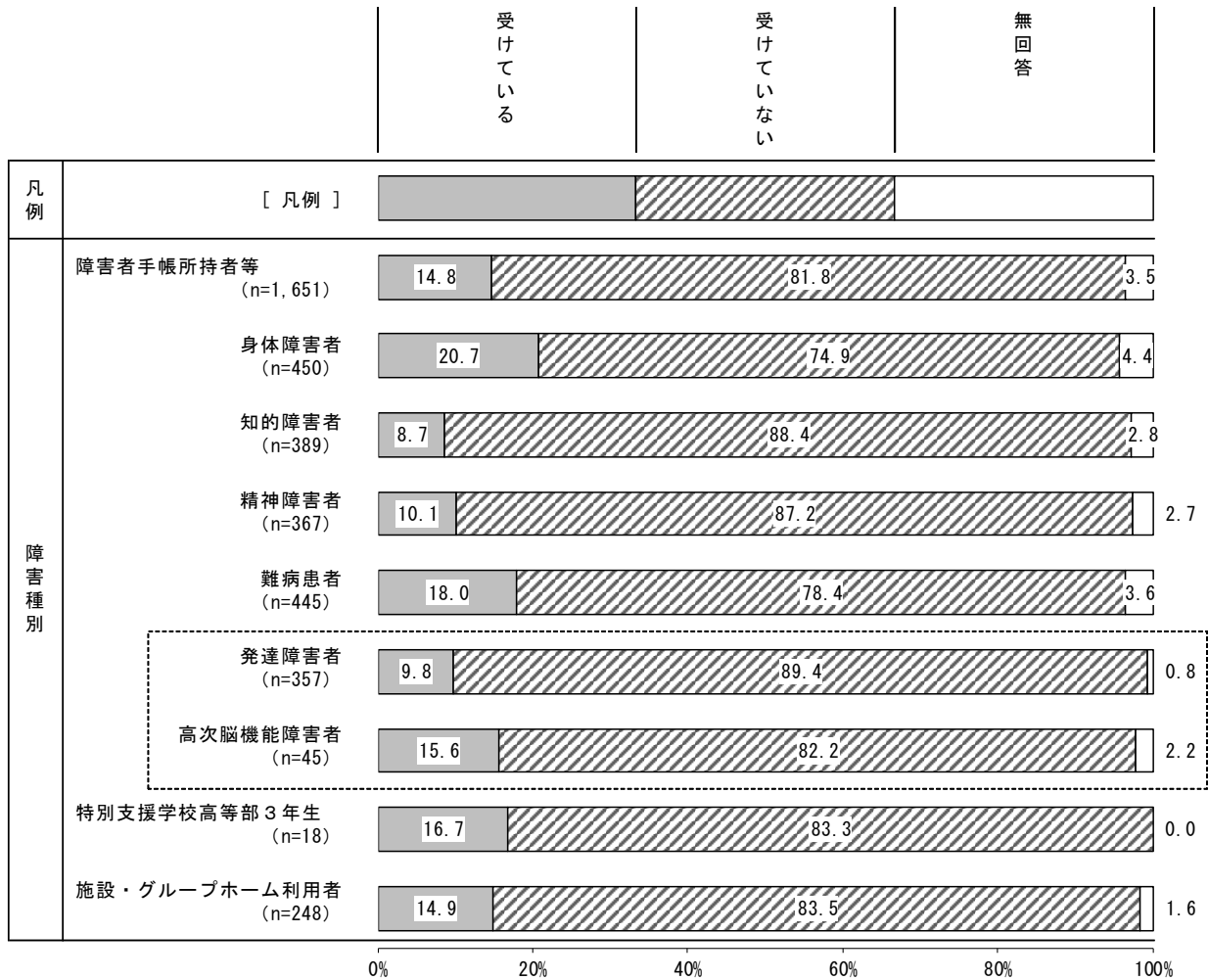
- 障害者手帳所持者等 (n=767)
- 身体障害者 (n=172)
- 知的障害者 (n=165)
- 精神障害者 (n=203)
- 難病患者 (n=227)
- 発達障害者 (n=189)
- 高次脳機能障害者 (n=24)
- 特別支援学校高等部3年生 (n=12)
- 施設・グループホーム利用者 (n=109)



(3) 現在、医療的ケアを受けていますか。

○ 医療的ケアの有無について、障害者手帳所持者等、特別支援学校高等部3年生、施設・グループホーム利用者いずれも「受けていない」が多くなっています。

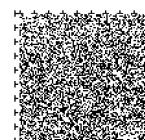
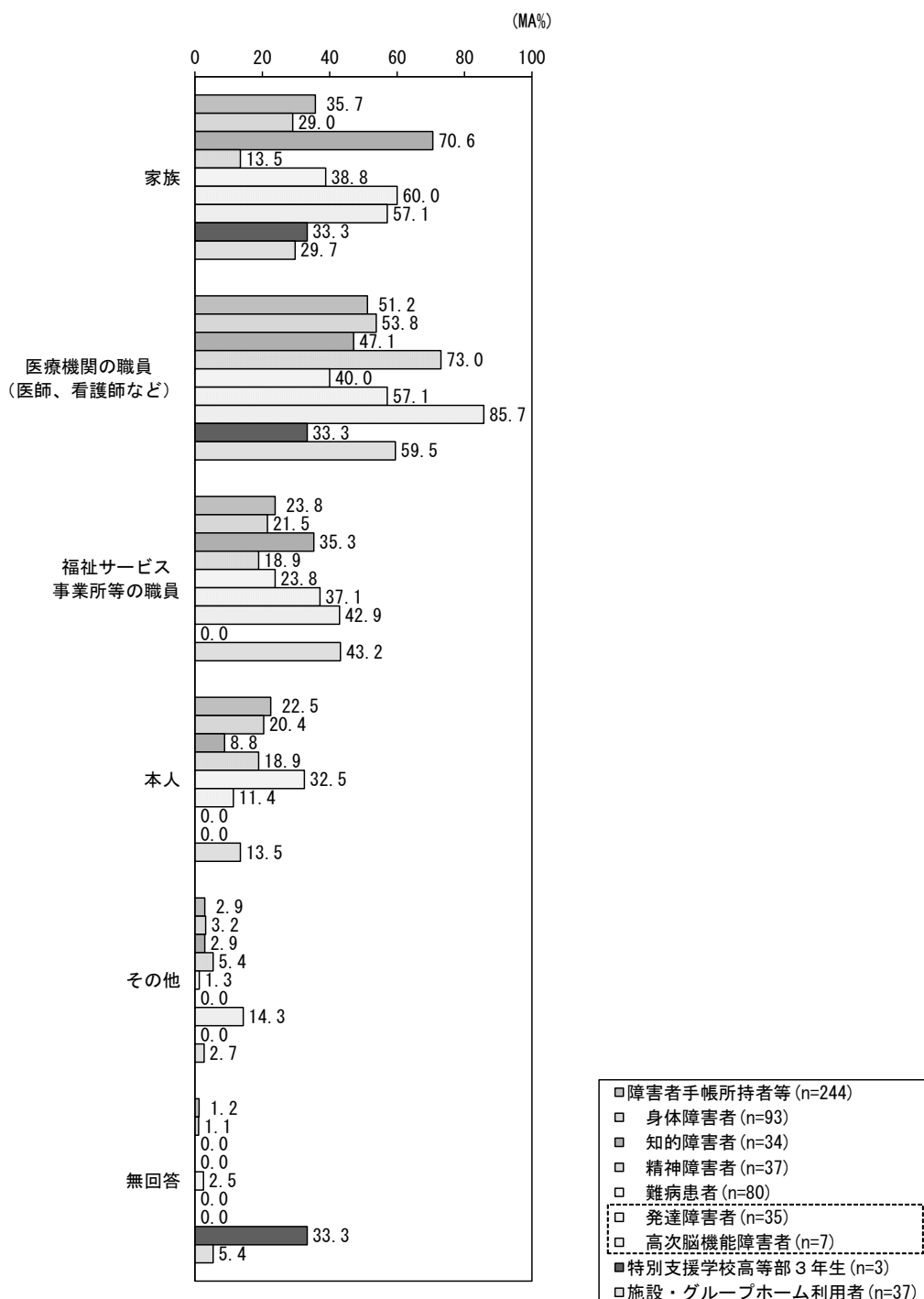
【医療的ケアの有無】



(4) あなたの医療的ケアを行っている方はどなたですか。(MA)

- 医療的ケアを行っている人について、障害者手帳所持者等、施設・グループホーム利用者は「医療機関の職員（医師、看護師など）」、特別支援学校高等部3年生は「家族」と「医療機関の職員（医師、看護師など）」が最も多くなっています。
- 障害者手帳所持者等の内訳では、身体障害者、精神障害者、難病患者、高次脳機能障害者は「医療機関の職員（医師、看護師など）」、知的障害者、発達障害者は「家族」が最も多くなっています。

【医療的ケアを行っている人】

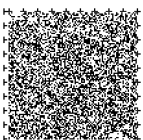
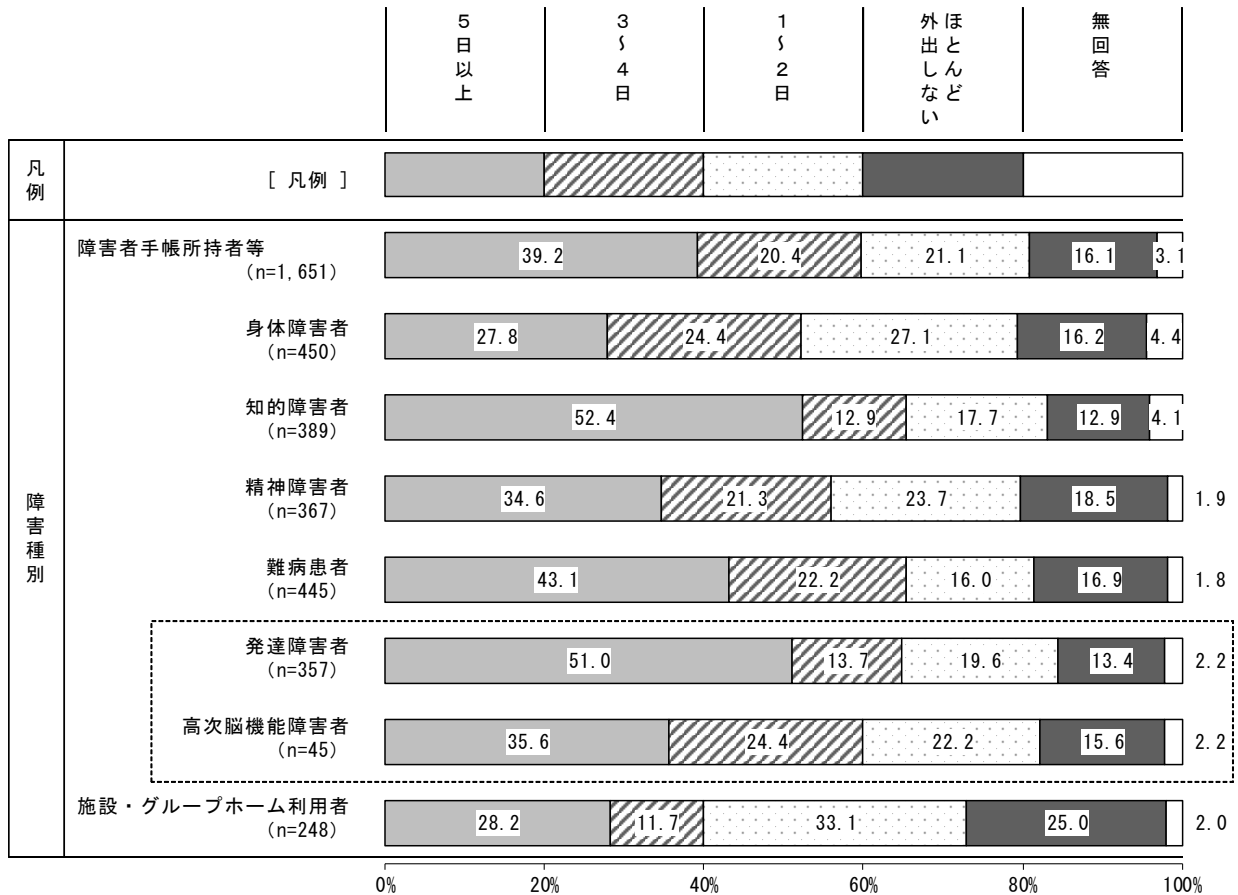


5. 外出や余暇の過ごし方について

(1) 1週間にどのくらい外出しますか。

- 外出頻度について、障害者手帳所持者等は「5日以上」、施設・グループホーム利用者は「1～2日」が最も多くなっています。

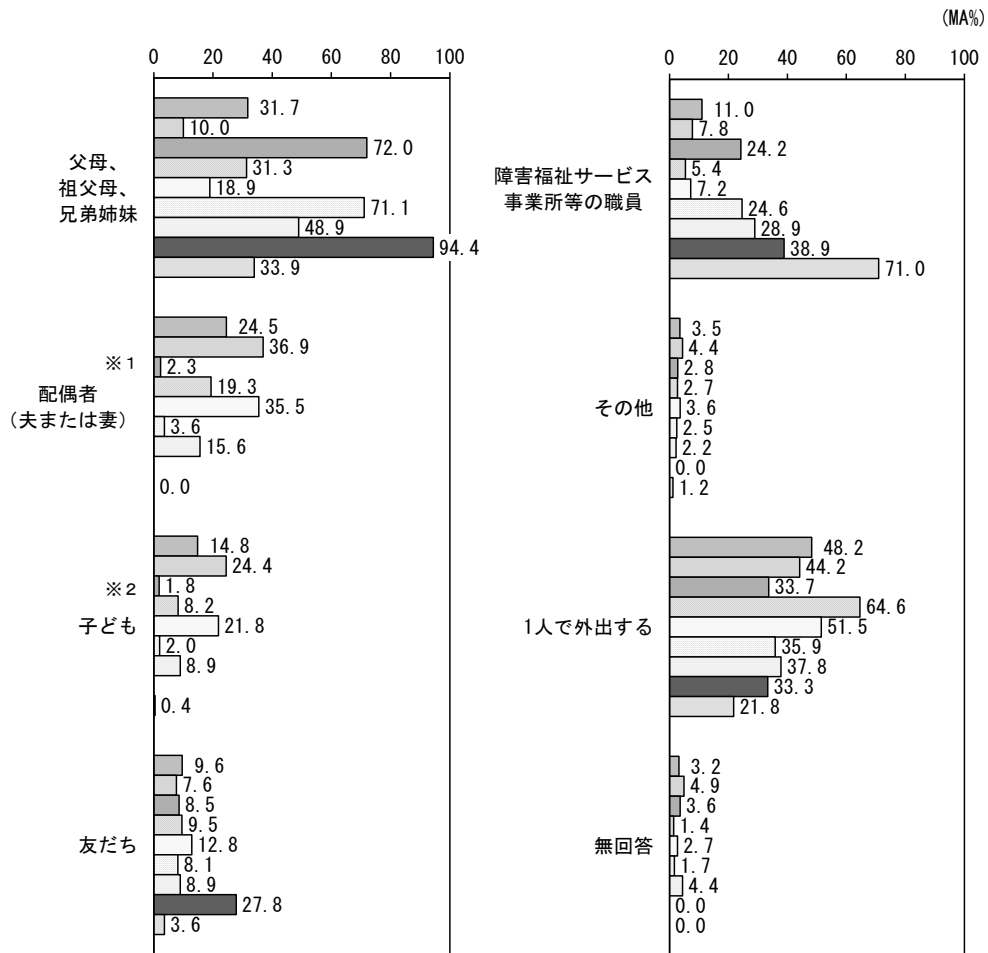
【外出頻度】



(2) 普段はどなたと一緒に外出していますか。(MA)

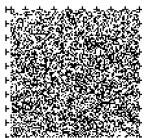
- 一緒に外出する人について、障害者手帳所持者等は「1人で外出する」、特別支援学校高等部3年生は「父母、祖父母、兄弟姉妹」、施設・グループホーム利用者は「障害福祉サービス事業所等の職員」が最も多くなっています。
- 障害者手帳所持者等の内訳では、身体障害者、精神障害者、難病患者は「1人で外出する」、知的障害者、発達障害者、高次脳機能障害者は「父母、祖父母、兄弟姉妹」が最も多くなっています。

【一緒に外出する人】



- 障害者手帳所持者等 (n=1,651)
- 身体障害者 (n=450)
- 知的障害者 (n=389)
- 精神障害者 (n=367)
- 難病患者 (n=445)
- 発達障害者 (n=357)
- 高次脳機能障害者 (n=45)
- 特別支援学校高等部3年生 (n=18)
- 施設・グループホーム利用者 (n=248)

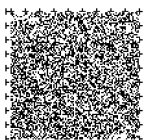
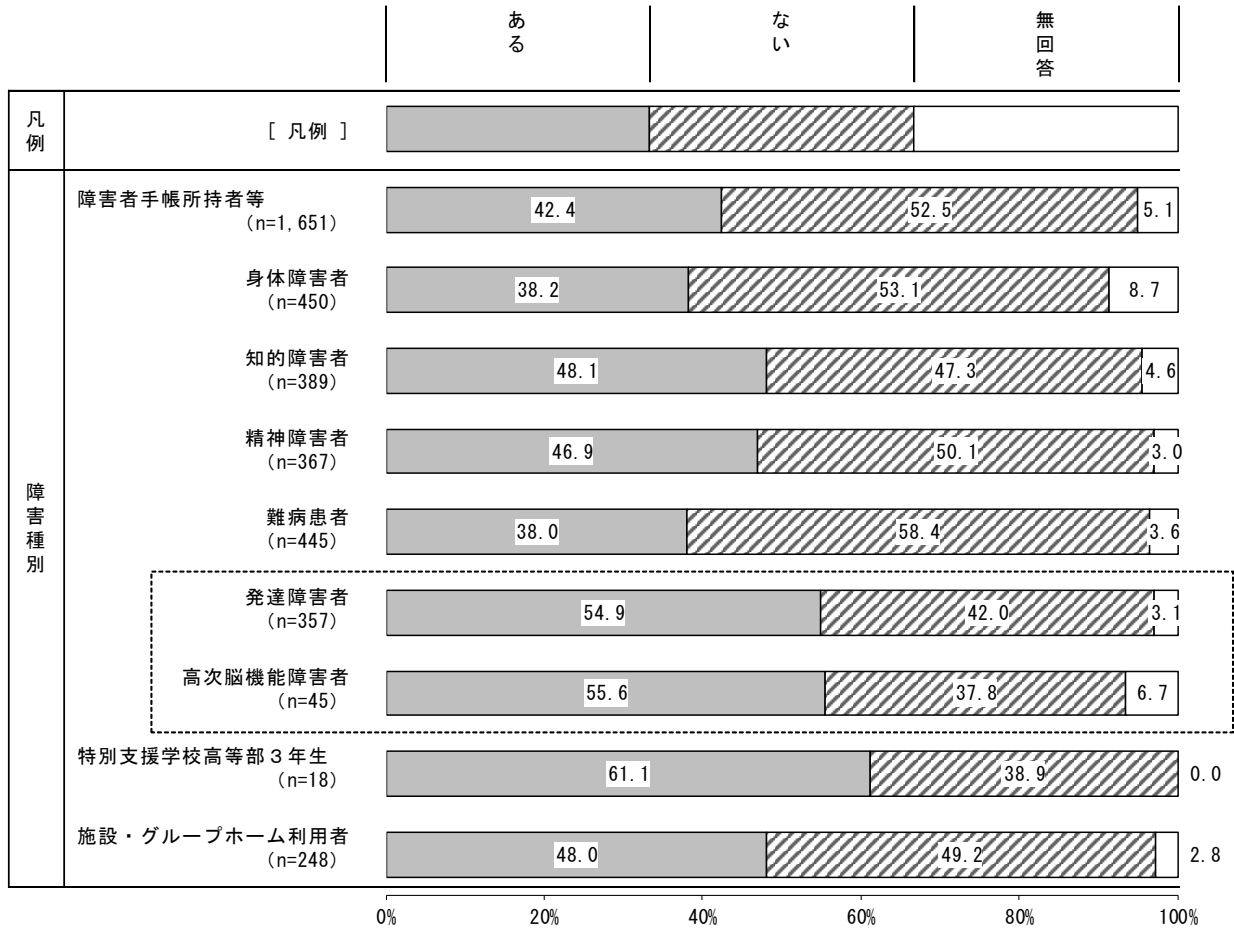
※1、※2 「配偶者 (夫または妻)」「子ども」は、障害者手帳所持者等、施設・グループホーム利用者からのみ選択肢



(3) 外出の際に困っていることはありますか。

- 外出の際に困っていることの有無について、障害者手帳所持者等、施設・グループホーム利用者は「ない」、特別支援学校高等部3年生は「ある」が多くなっています。
- 障害者手帳所持者等の内訳では、身体障害者、精神障害者、難病患者は「ない」、知的障害者、発達障害者、高次脳機能障害者は「ある」が多くなっています。

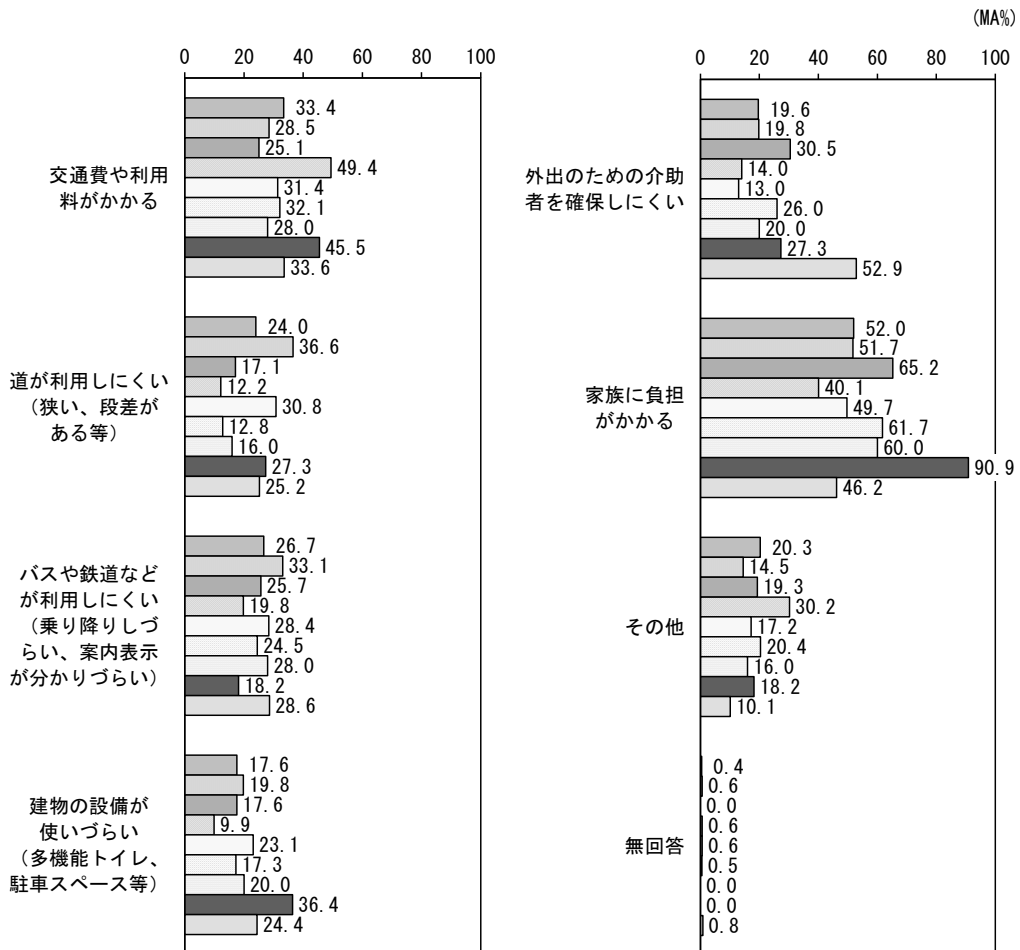
【外出の際に困っていることの有無】



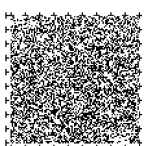
(4) 外出でどのようなことに困っていますか。(MA)

- 外出の際に困っていることについて、障害者手帳所持者等、特別支援学校高等部3年生は「家族に負担がかかる」、施設・グループホーム利用者は「外出のための介助者を確保しにくい」が最も多くなっています。
- 障害者手帳所持者等の内訳では、身体障害者、知的障害者、難病患者、発達障害者、高次脳機能障害者は「家族に負担がかかる」、精神障害者は「交通費や利用料がかかる」が最も多くなっています。

【外出の際に困っていること】



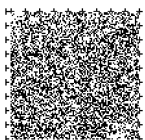
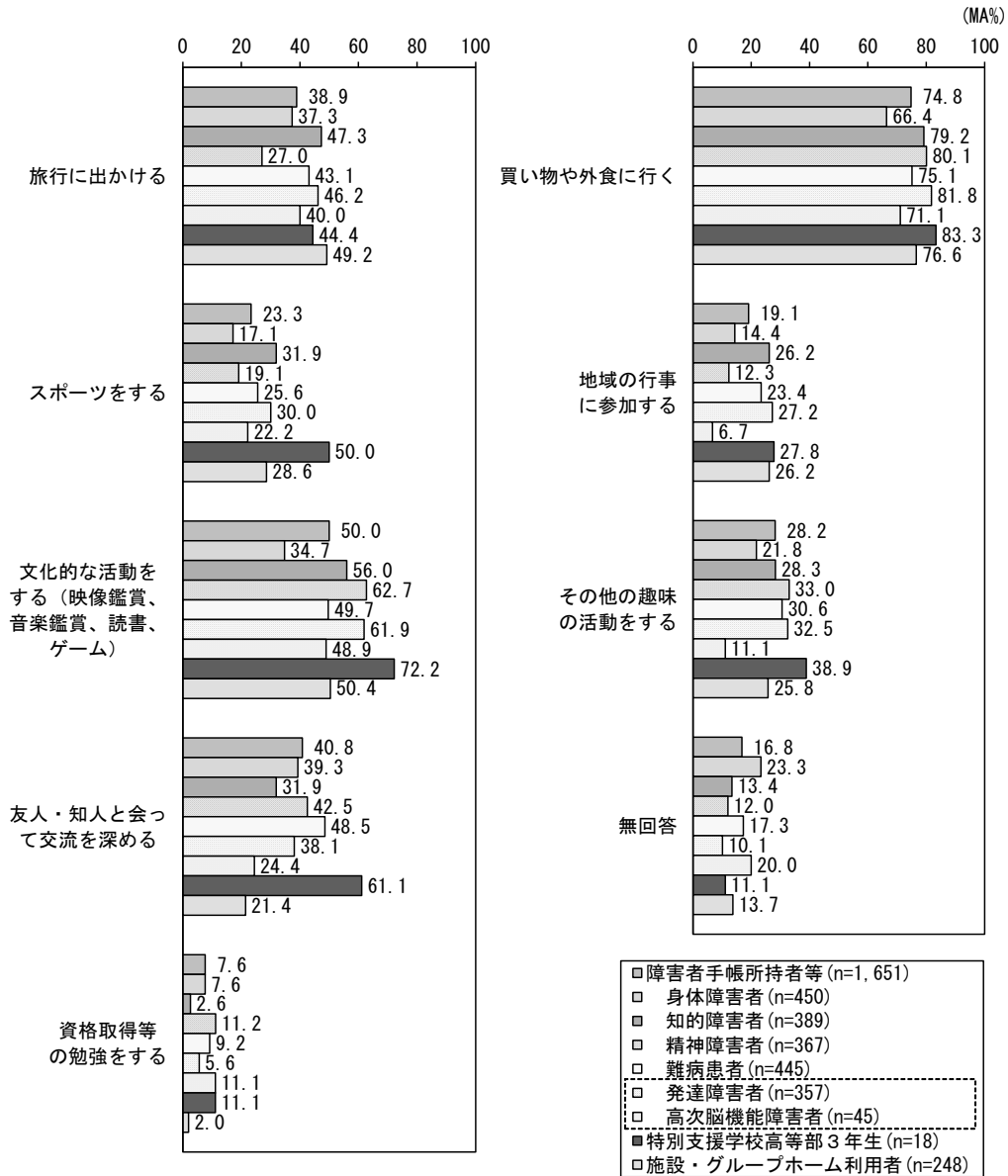
- 障害者手帳所持者等 (n=700)
- 身体障害者 (n=172)
- 知的障害者 (n=187)
- 精神障害者 (n=172)
- 難病患者 (n=169)
- 発達障害者 (n=196)
- 高次脳機能障害者 (n=25)
- 特別支援学校高等部3年生 (n=11)
- 施設・グループホーム利用者 (n=119)



(5) 1年間で次の活動をする機会がありましたか。(MA)

○ 経験した余暇活動について、障害者手帳所持者等、特別支援学校高等部3年生、施設・グループホーム利用者いずれも「買い物や外出に行く」が最も多くなっています。

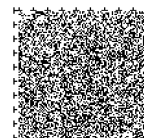
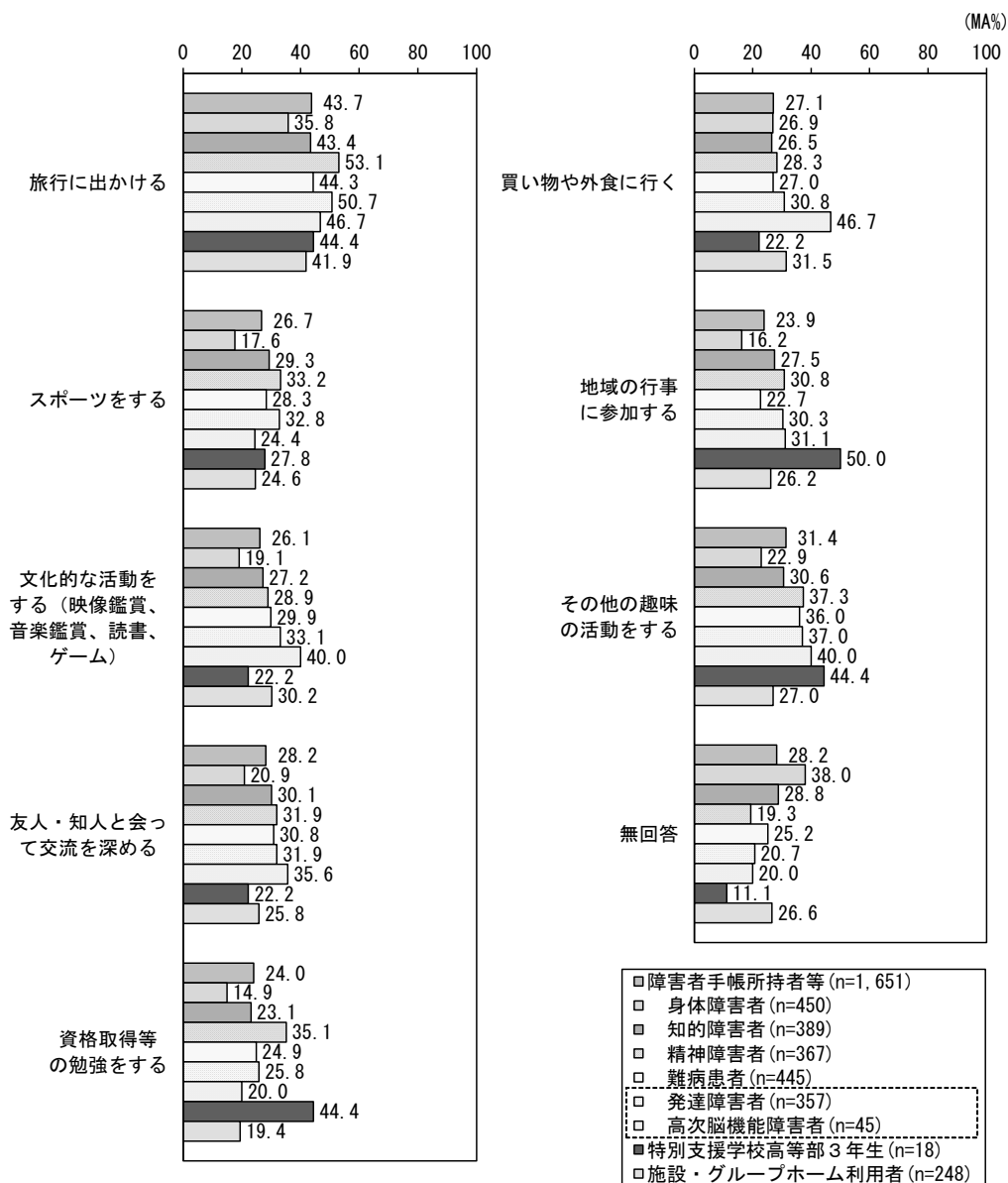
【経験した余暇活動】



(6) 今後してみたい余暇活動は何ですか。(MA)

- してみたい余暇活動について、障害者手帳所持者等、施設・グループホーム利用者は「旅行に出かける」、特別支援学校高等部3年生は「地域の行事に参加する」が最も多くなっています。
- 障害者手帳所持者等の内訳では、身体障害者、知的障害者、精神障害者、難病患者、発達障害者は「旅行に出かける」、高次脳機能障害者は「旅行に出かける」と「買い物や外食に行く」が最も多くなっています。

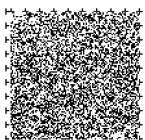
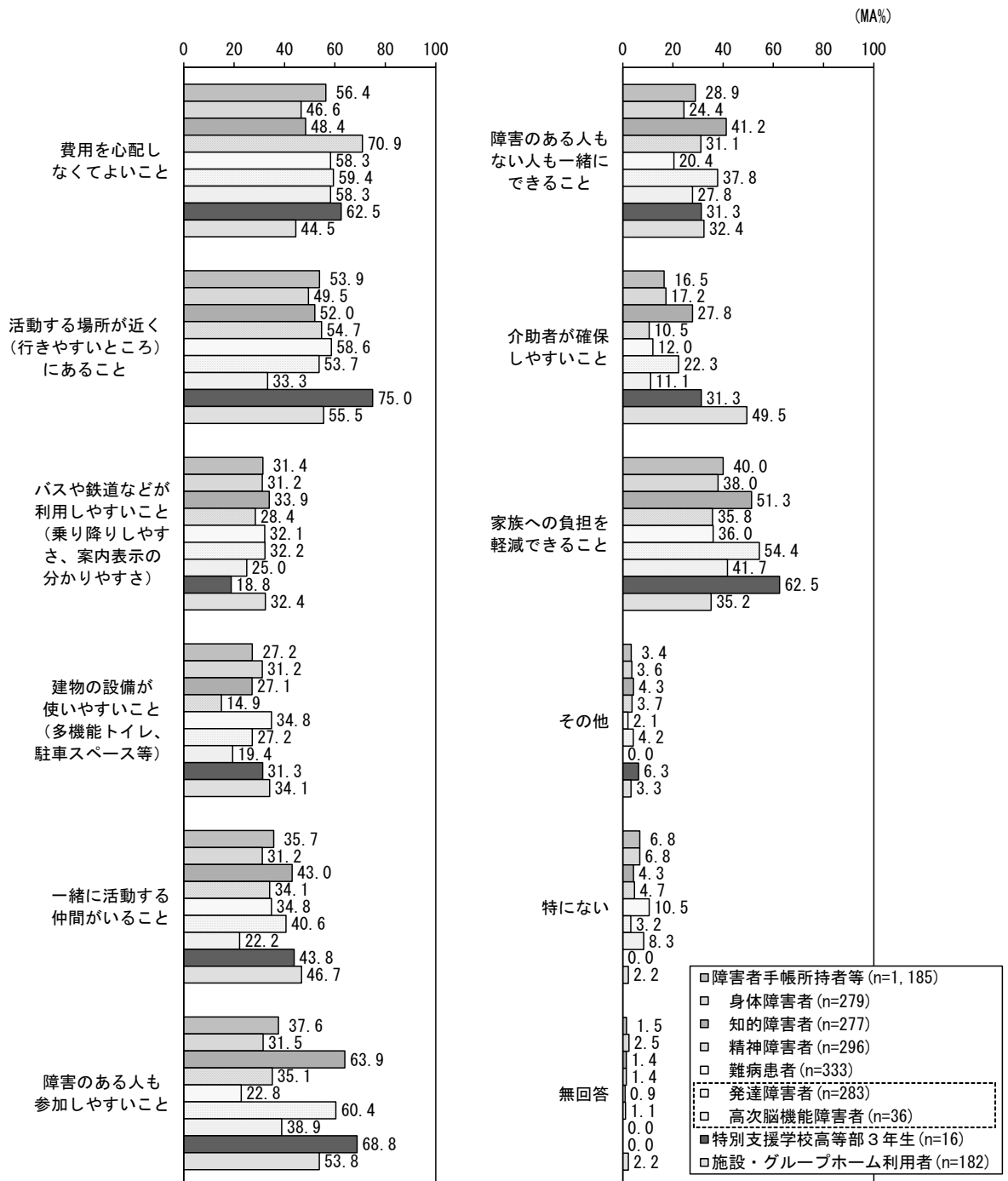
【今後してみたい余暇活動】



(7) (6) の活動をするにはどんなことが必要だと思いますか。(MA)

- 余暇活動のために必要なことについて、障害者手帳所持者等は「費用を心配しなくてよいこと」、特別支援学校高等部3年生、施設・グループホーム利用者は「活動する場所が近く（行きやすいところ）にあること」が最も多くなっています。
- 障害者手帳所持者等の内訳では、身体障害者、難病患者は「活動する場所が近く（行きやすいところ）にあること」、知的障害者、発達障害者は「障害のある人も参加しやすいこと」、精神障害者、高次脳機能障害者は「費用を心配しなくてよいこと」が最も多くなっています。

【余暇活動のために必要なこと】

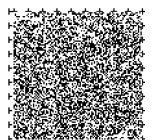
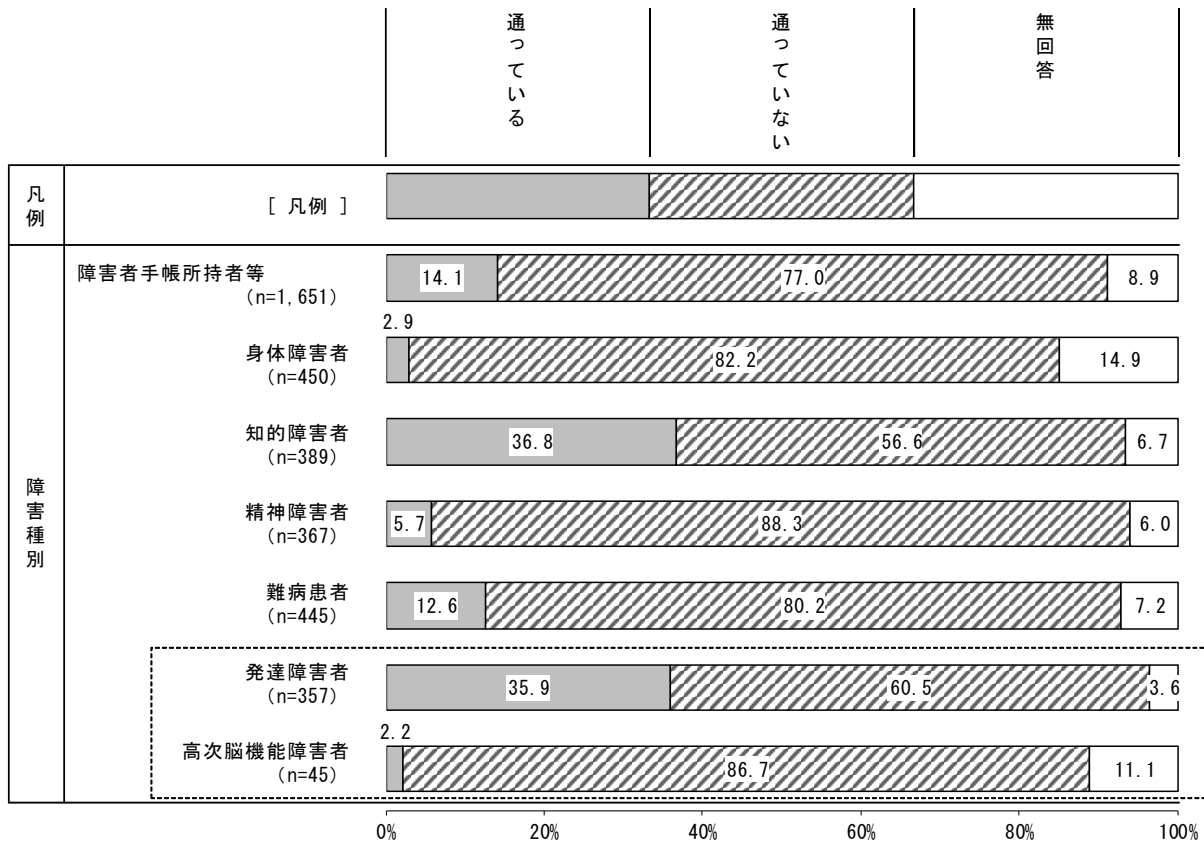


6. 通学・通園の状況について

(1) 幼稚園や保育所、学校等に通っていますか。

- 障害者手帳所持者等の通園・通学状況について、「通っている」が 14.1%、「通っていない」が 77.0%となっています。
- 障害者手帳所持者等の内訳では、いずれも「通っていない」が多くなっています。

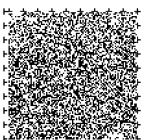
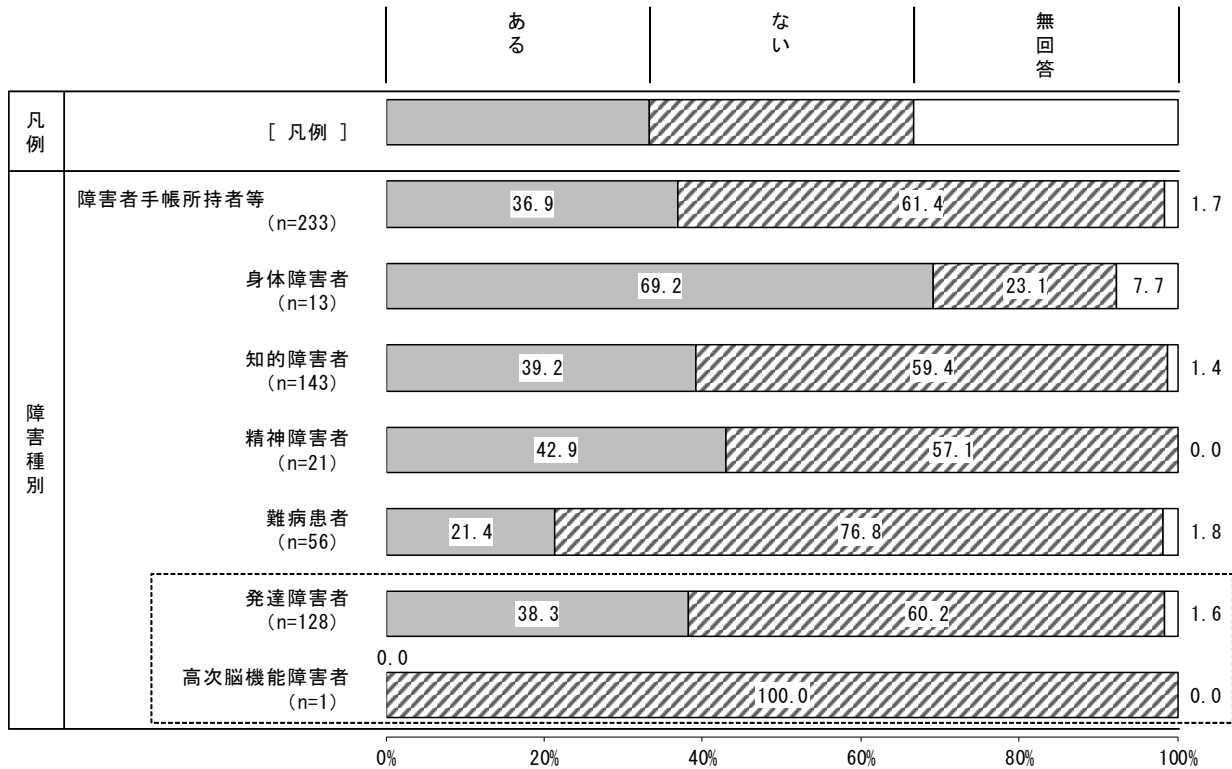
【通園・通学状況】



(2) 幼稚園や保育所、学校等に通うにあたって困っていることはありますか。

- 障害者手帳所持者等の通園・通学にあたって困っていることの有無について、「ある」が36.9%、「ない」が61.4%となっています。
- 障害者手帳所持者等の内訳では、身体障害者は「ある」、知的障害者、精神障害者、難病患者、発達障害者、高次脳機能障害者は「ない」が多くなっています。

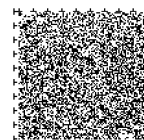
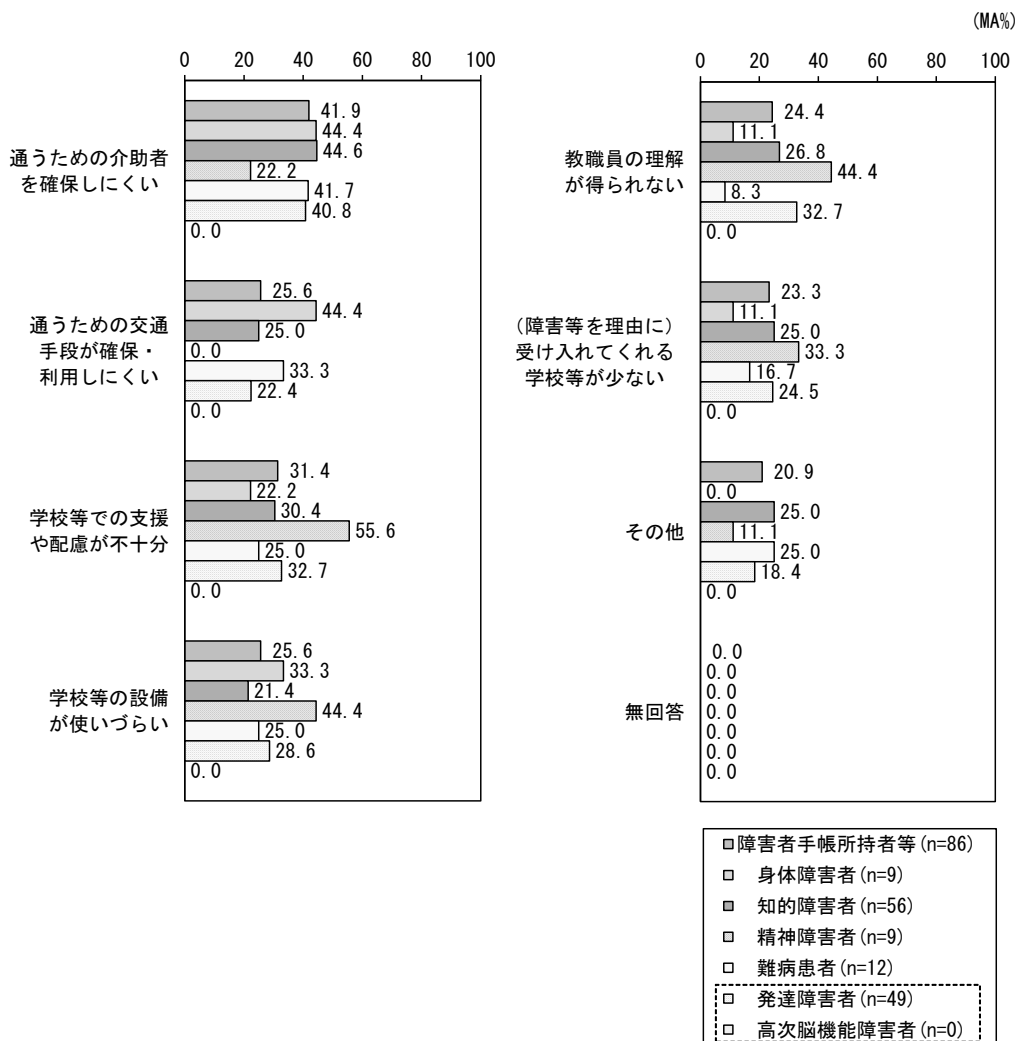
【通園・通学にあたって困っていることの有無】



(3) 通園・通学にあたって困っていることは何ですか。(MA)

- 障害者手帳所持者等の通園・通学にあたって困っていることについて、「通うための介助者を確保しにくい」が41.9%で最も多く、次いで「学校等での支援や配慮が不十分」が31.4%、「通うための交通手段が確保・利用しにくい」「学校等の設備が使いづらい」が25.6%となっています。
- 障害者手帳所持者等の内訳では、身体障害者は「通うための介助者を確保しにくい」と「通うための交通手段が確保・利用しにくい」、知的障害者、難病患者、発達障害者は「通うための介助者を確保しにくい」、精神障害者は「学校等での支援や配慮が不十分」が最も多くなっています。

【通園・通学にあたって困っていること】

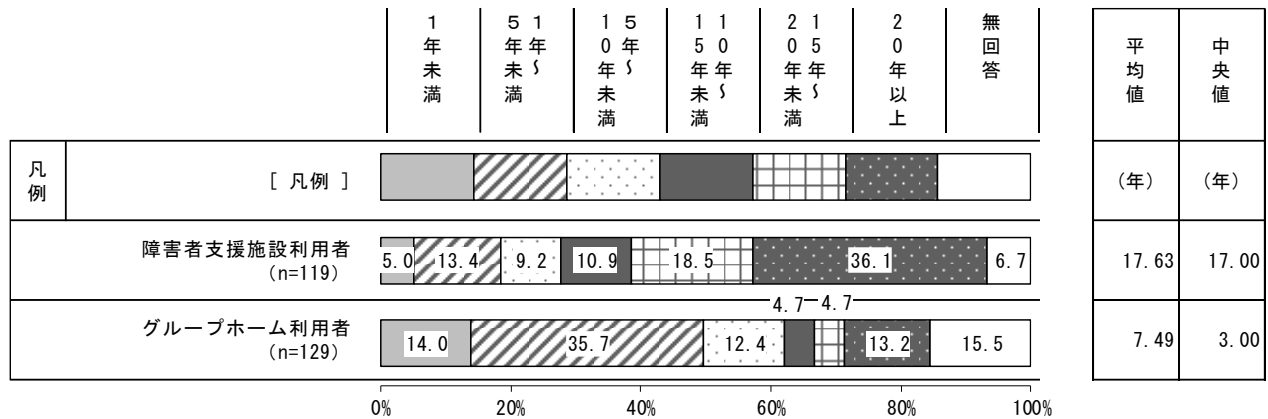


7. 入所期間・理由について

(1) 現在の施設に入所している期間をご記入ください。(1年未満は0とご記入ください)

- 障害者支援施設利用者の現在の施設への入所年数について、「20年以上」が36.1%で最も多く、次いで、「15年～20年未満」が18.5%、「1年～5年未満」が13.4%となっています。
- グループホーム利用者の現在の施設への入所年数について、「1年～5年未満」が35.7%で最も多く、次いで「1年未満」が14.0%、「20年以上」が13.2%となっています。

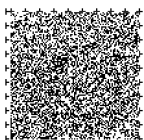
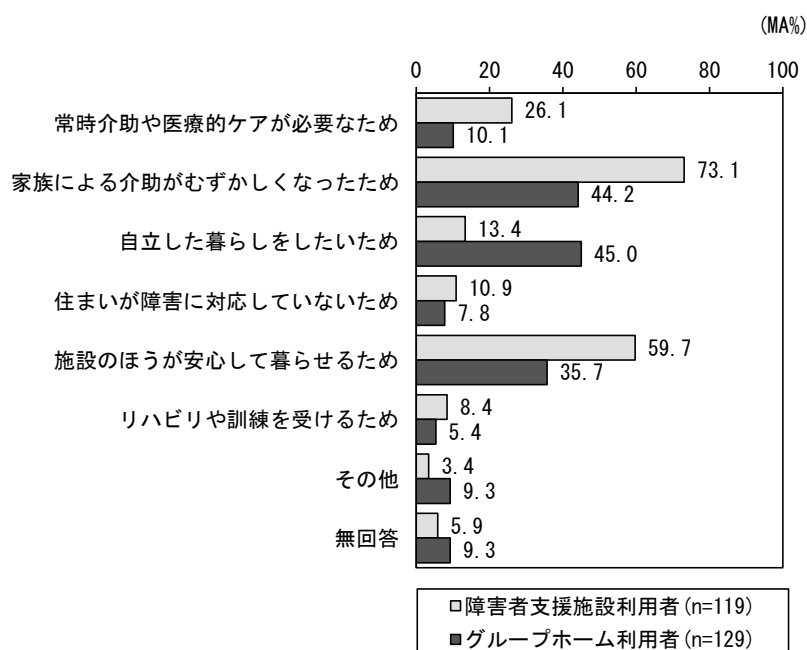
【現在の施設への入所年数】



(2) 現在の施設へ入所することを決めた理由は何ですか。(MA)

- 障害者支援施設利用者の現在の施設へ入所することを決めた理由について、「家族による介助がむずかしくなったため」が73.1%で最も多く、次いで「施設のほうが安心して暮らせるため」が59.7%、「常時介助や医療的ケアが必要なため」が26.1%となっています。
- グループホーム利用者の現在の施設へ入所することを決めた理由について、「自立した暮らしをしたいため」が45.0%で最も多く、次いで「家族による介助がむずかしくなったため」が44.2%、「施設のほうが安心して暮らせるため」が35.7%となっています。

【現在の施設へ入所することを決めた理由】

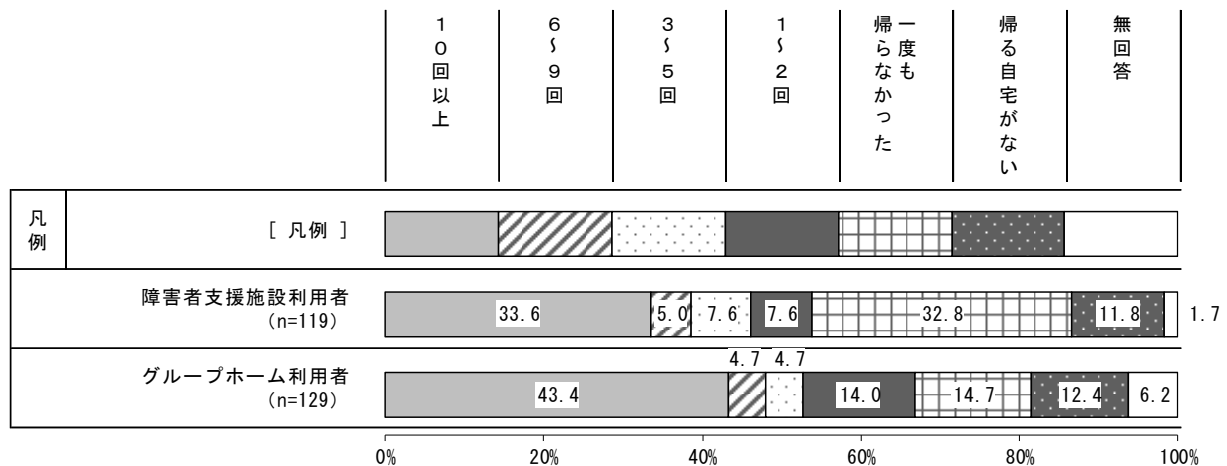


8. 施設での生活について

(1) この1年間でどのくらい自宅に帰りましたか。

- 障害者支援施設利用者の帰宅回数について、「10回以上」が33.6%で最も多く、次いで「一度も帰らなかった」が32.8%、「帰る自宅がない」が11.8%となっています。
- グループホーム利用者の帰宅回数について、「10回以上」が43.4%で最も多く、次いで「1～2回」が14.0%となっています。

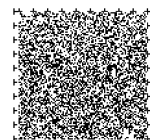
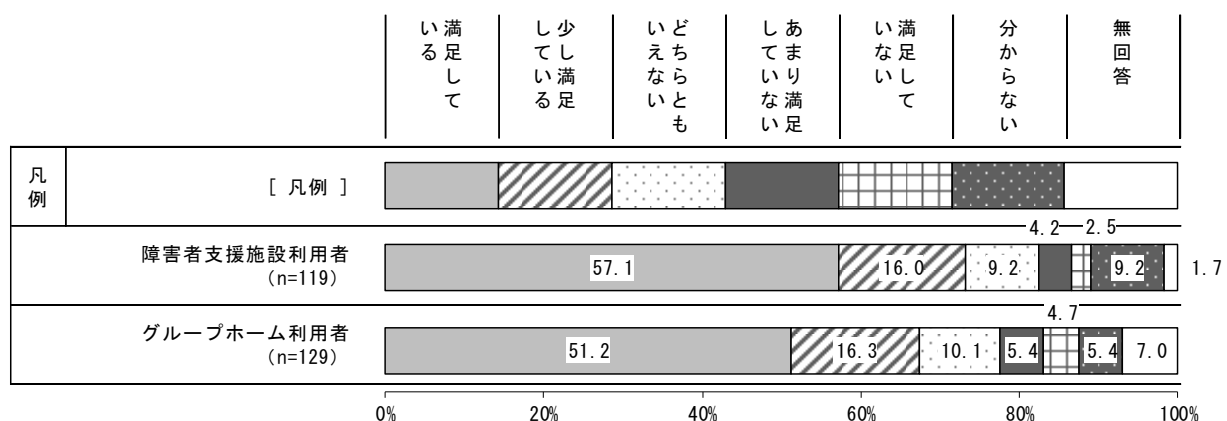
【施設・グループホーム利用者の帰宅回数】



(2) 現在入所している施設の生活に満足していますか。

- 障害者支援施設利用者の生活満足度について、「満足している」が57.1%で最も多く、次いで「少し満足している」が16.0%、「どちらともいえない」「分からない」が9.2%となっています。
- グループホーム利用者の生活満足度について、「満足している」が51.2%で最も多く、次いで「少し満足している」が16.3%、「どちらともいえない」が10.1%となっています。

【施設・グループホーム利用者の生活満足度】

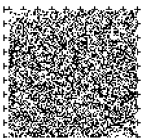
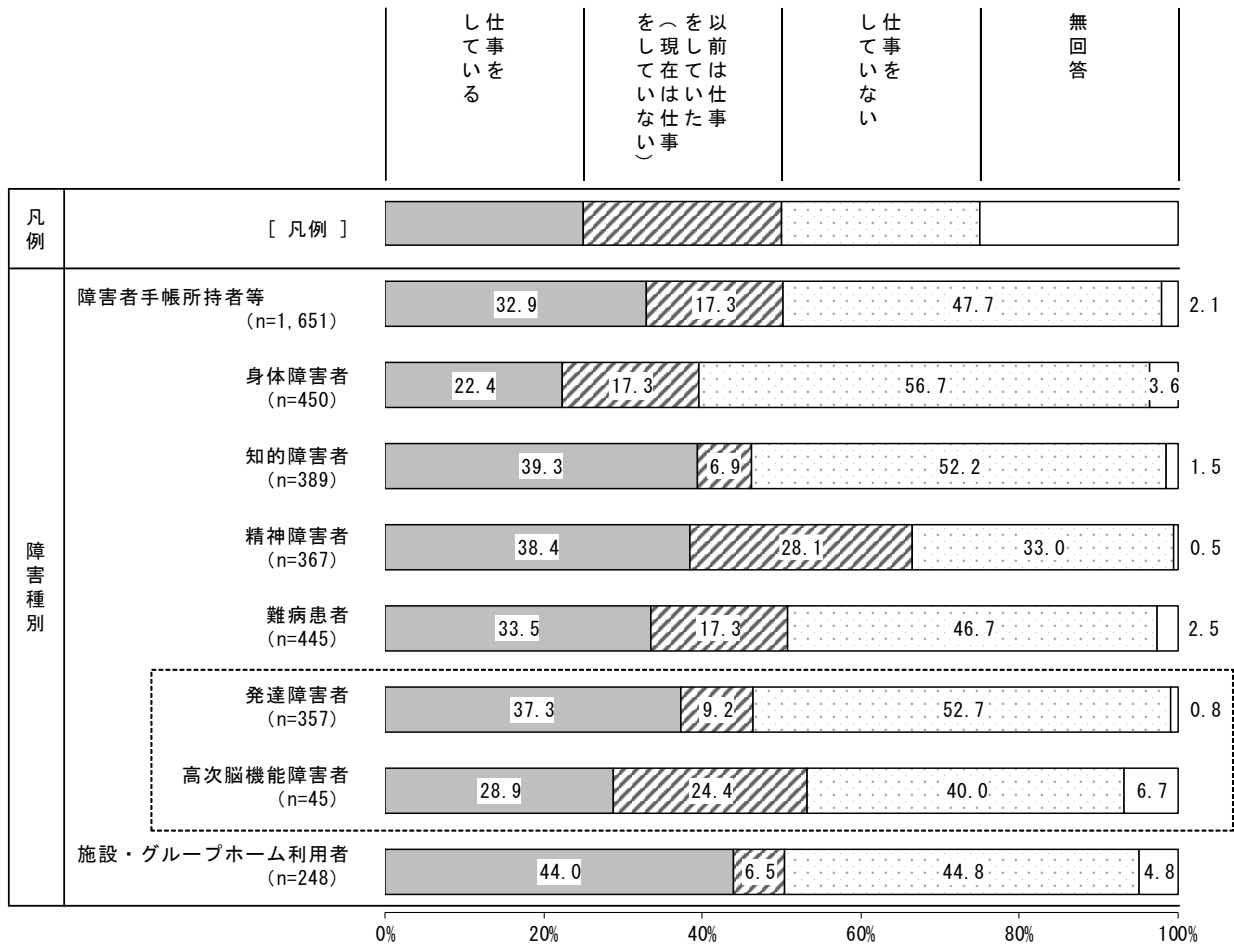


9. 雇用・就労について

(1) 現在、仕事をしていますか。

- 仕事の有無について、障害者手帳所持者等、施設・グループホーム利用者ともに「仕事をしていない」が最も多くなっています。
- 障害者手帳所持者等の内訳では、身体障害者、知的障害者、難病患者、発達障害者、高次脳機能障害者は「仕事をしていない」、精神障害者は「仕事をしている」が最も多くなっています。

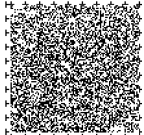
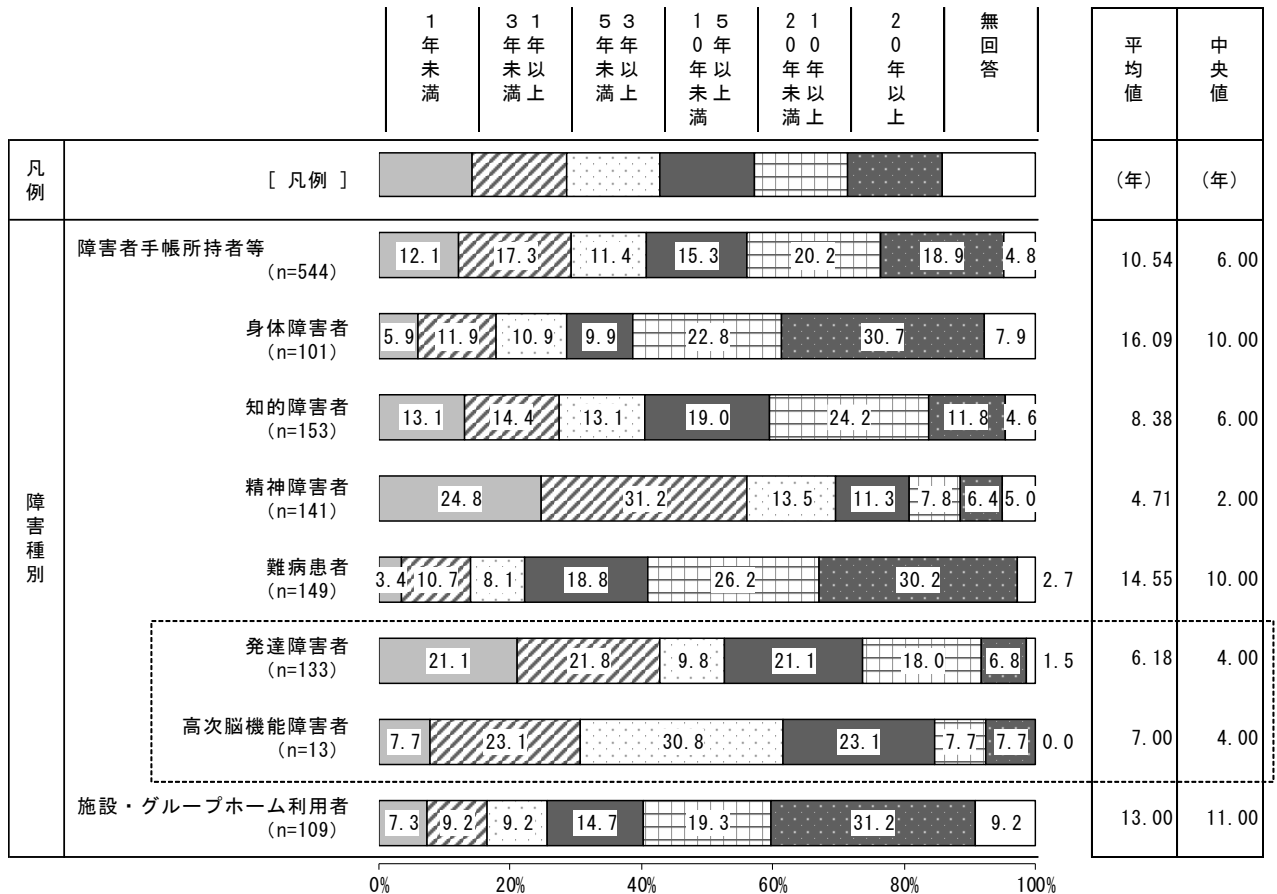
【仕事の有無】



(2) 現在の職場で何年働いていますか。

- 現在の仕事の勤続年数について、障害者手帳所持者等は「10年以上20年未満」、施設・グループホーム利用者は「20年以上」が最も多くなっています。
- 障害者手帳所持者等の内訳では、身体障害者、難病患者は「20年以上」、知的障害者は「10年以上20年未満」、精神障害者、発達障害者は「1年以上3年未満」、高次脳機能障害者は「3年以上5年未満」が最も多くなっています。

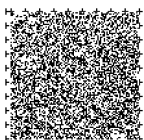
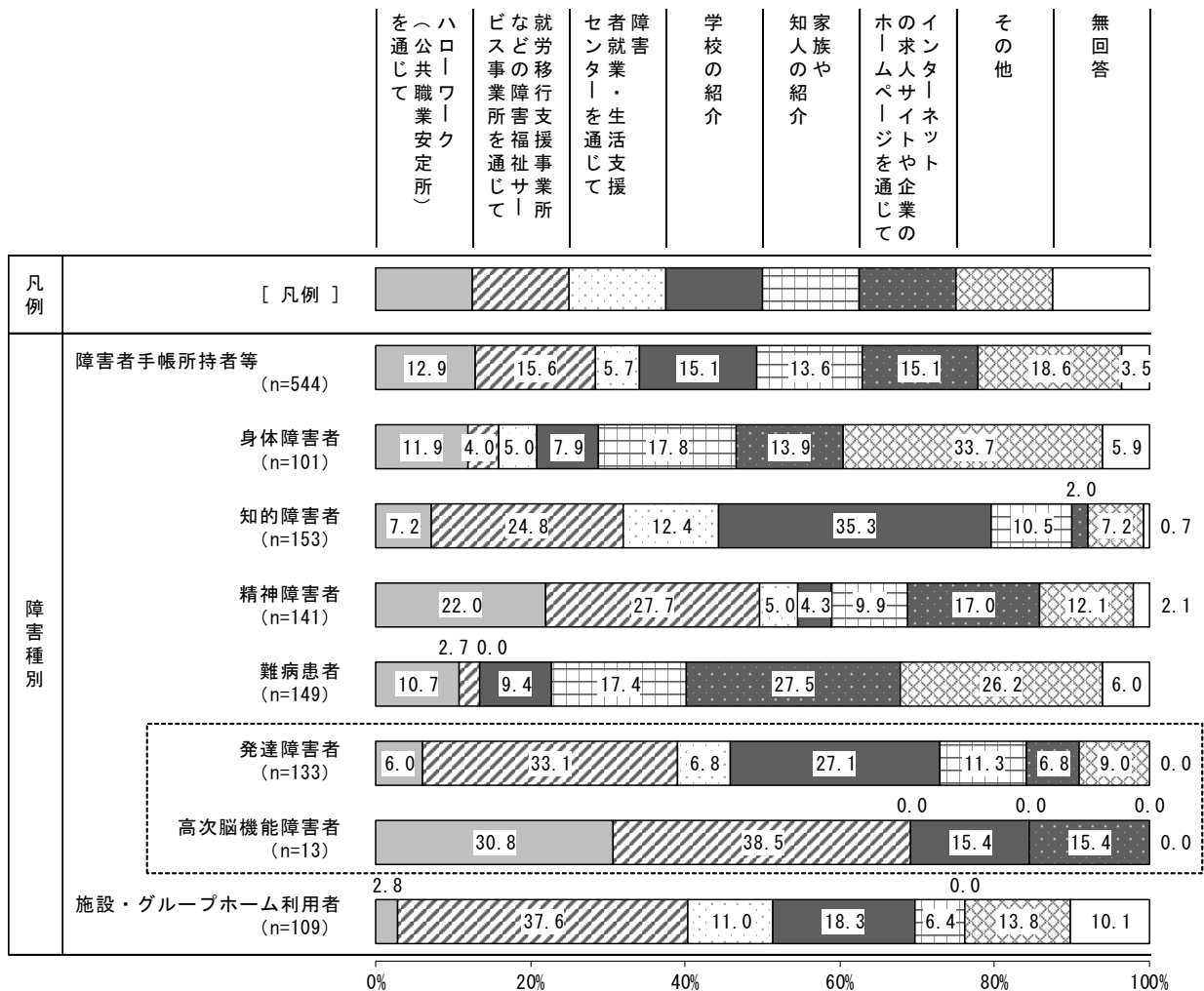
【現在の仕事の勤続年数】



(3) 現在の仕事はどのようにして見つけましたか。

- 現在の仕事を見つけた方法について、障害者手帳所持者等は「その他」、施設・グループホーム利用者は「就労移行支援事業所などの障害福祉サービス事業所を通じて」が最も多くなっています。
- 障害者手帳所持者等の内訳では、身体障害者は「その他」、知的障害者は「学校の紹介」、精神障害者、発達障害者、高次脳機能障害者は「就労移行支援事業所などの障害福祉サービス事業所を通じて」、難病患者は「インターネットの求人サイトや企業のホームページを通じて」が最も多くなっています。

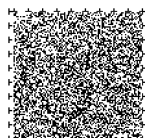
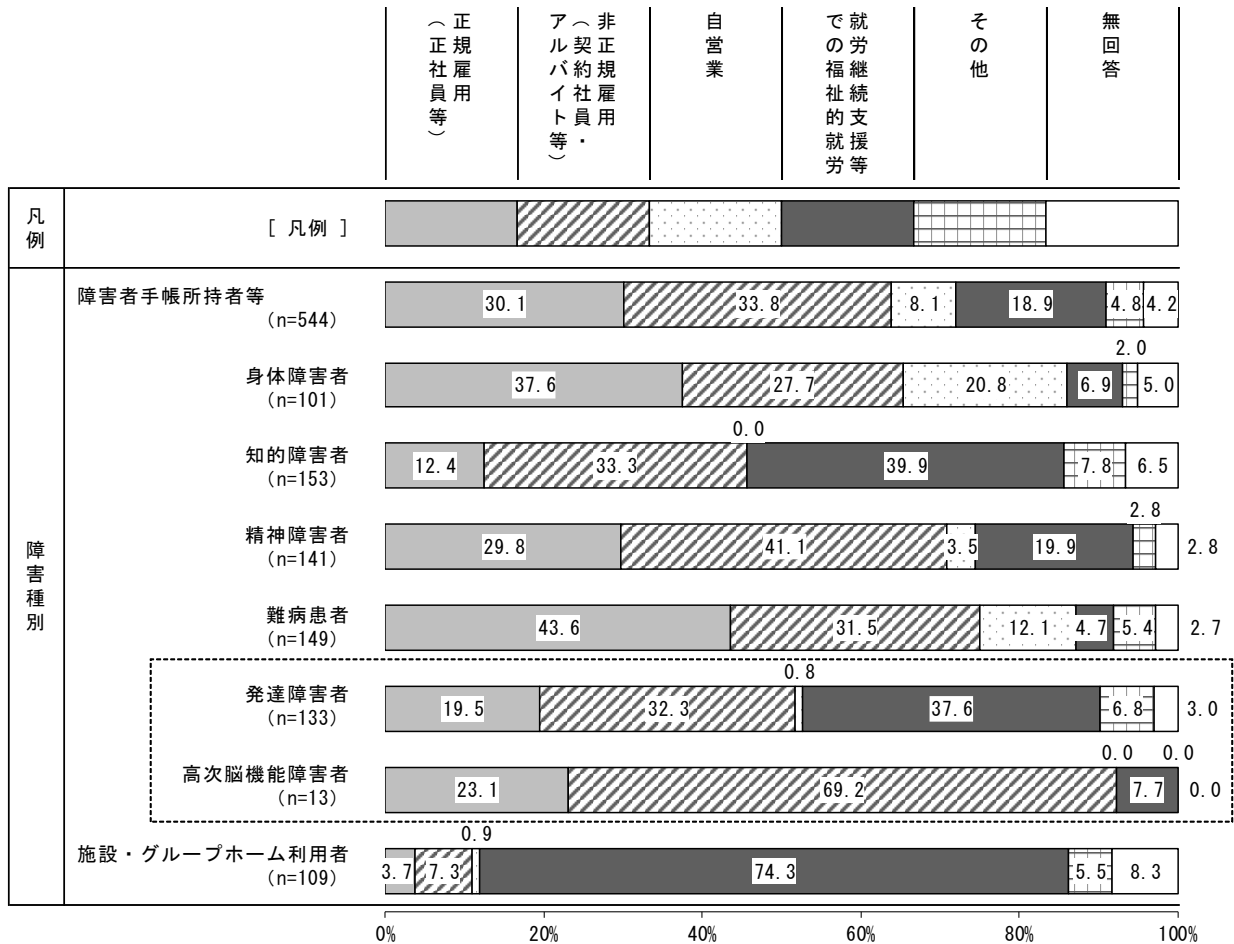
【現在の仕事を見つけた方法】



(4) どのような勤務形態で働いていますか。

- 勤務形態について、障害者手帳所持者等は「非正規雇用（契約社員・アルバイト等）」、施設・グループホーム利用者は「就労継続支援等での福祉的就労」が最も多くなっています。
- 障害者手帳所持者等の内訳では、身体障害者、難病患者は「正規雇用（正社員等）」、知的障害者、発達障害者は「就労継続支援等での福祉的就労」、精神障害者、高次脳機能障害者は「非正規雇用（契約社員・アルバイト等）」が最も多くなっています。

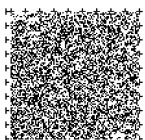
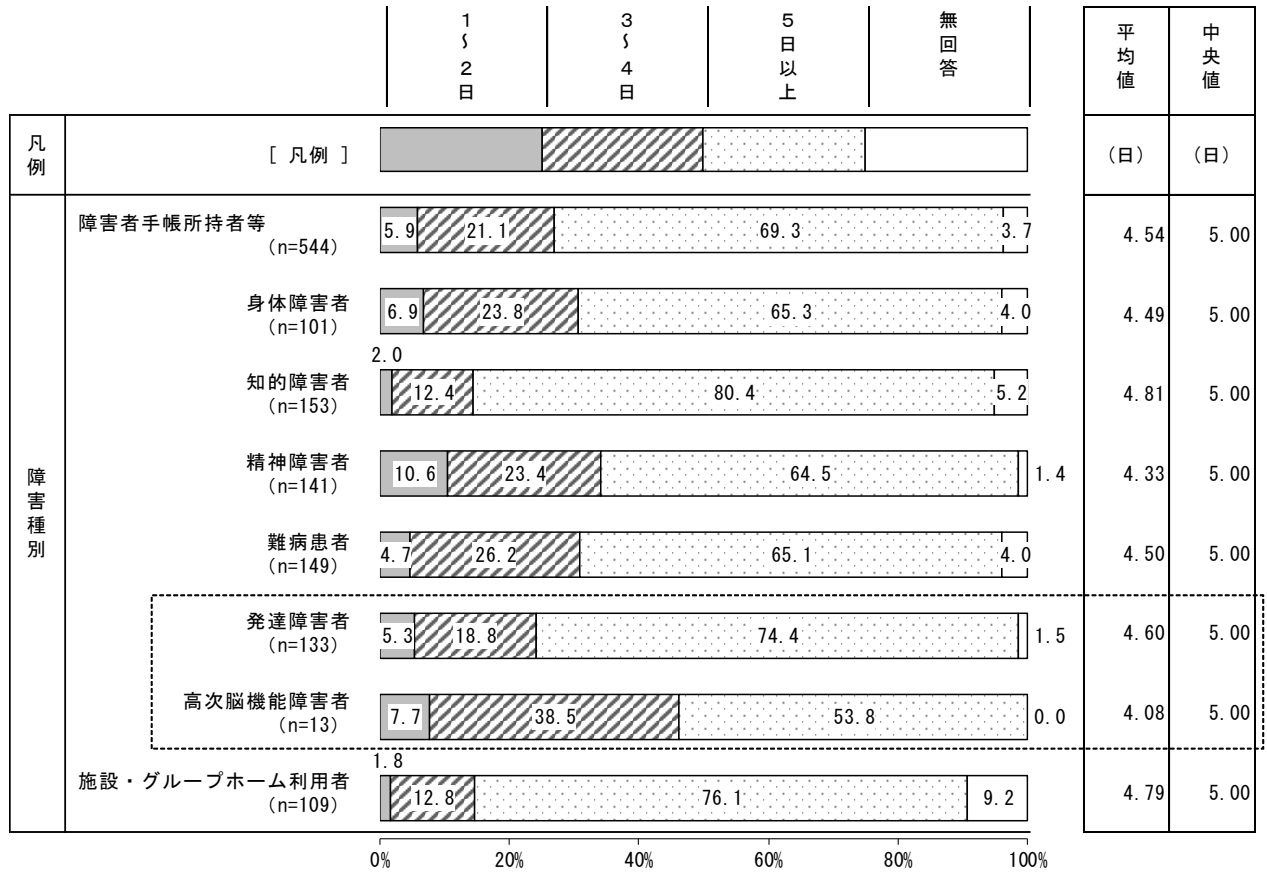
【勤務形態】



(5) 1週あたりの勤務日数

○ 1週あたりの勤務日数について、障害者手帳所持者等、施設・グループホーム利用者ともに「5日以上」が最も多くなっています。

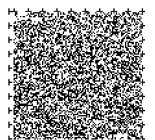
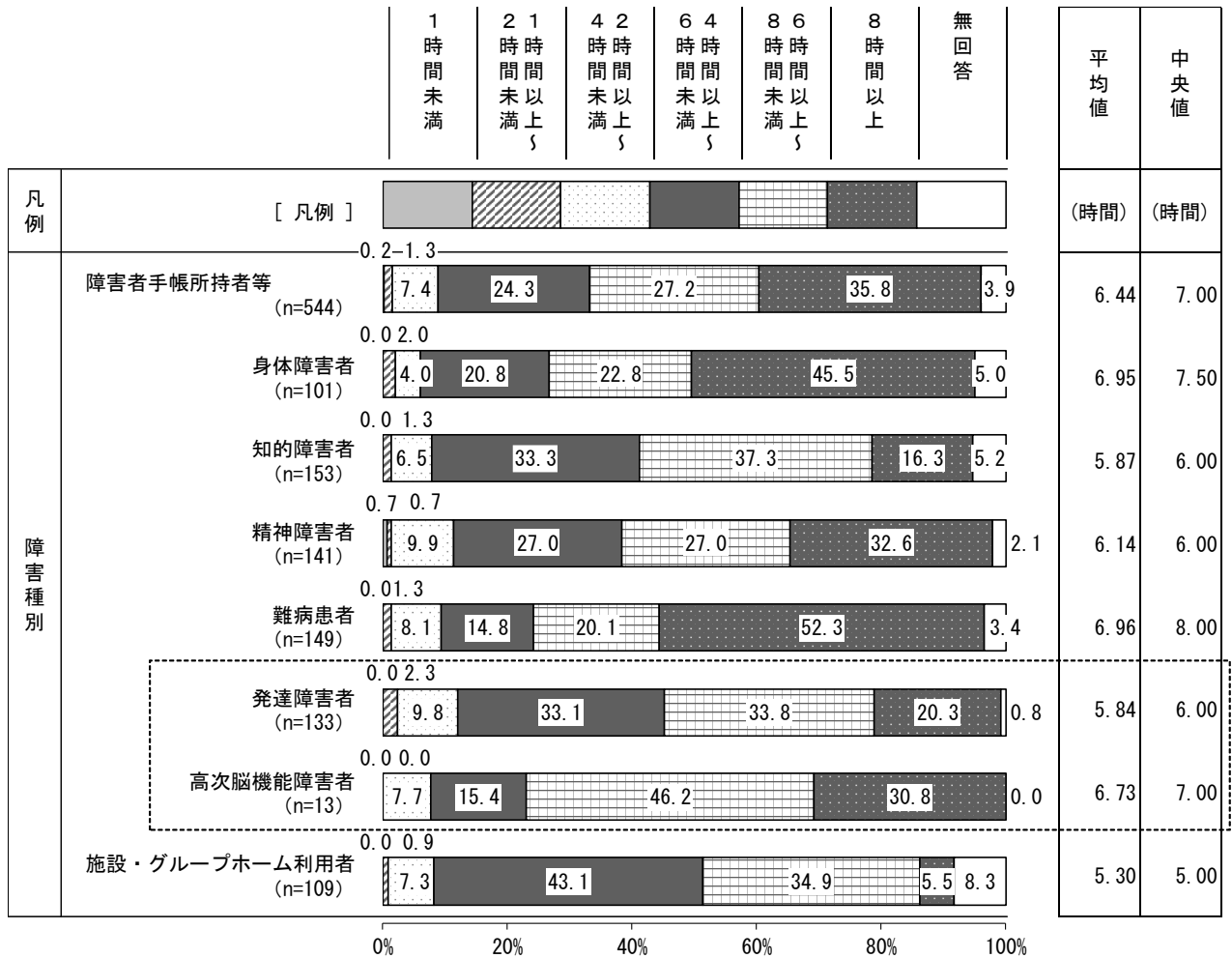
【1週あたりの勤務日数】



(6) 1日あたりの勤務時間

- 1日あたりの勤務時間について、障害者手帳所持者等は「8時間以上」、施設・グループホーム利用者は「4時間以上～6時間未満」が最も多くなっています。
- 障害者手帳所持者等の内訳では、身体障害者、精神障害者、難病患者は「8時間以上」、知的障害者、発達障害者、高次脳機能障害者は「6時間以上～8時間未満」が最も多くなっています。

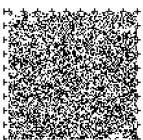
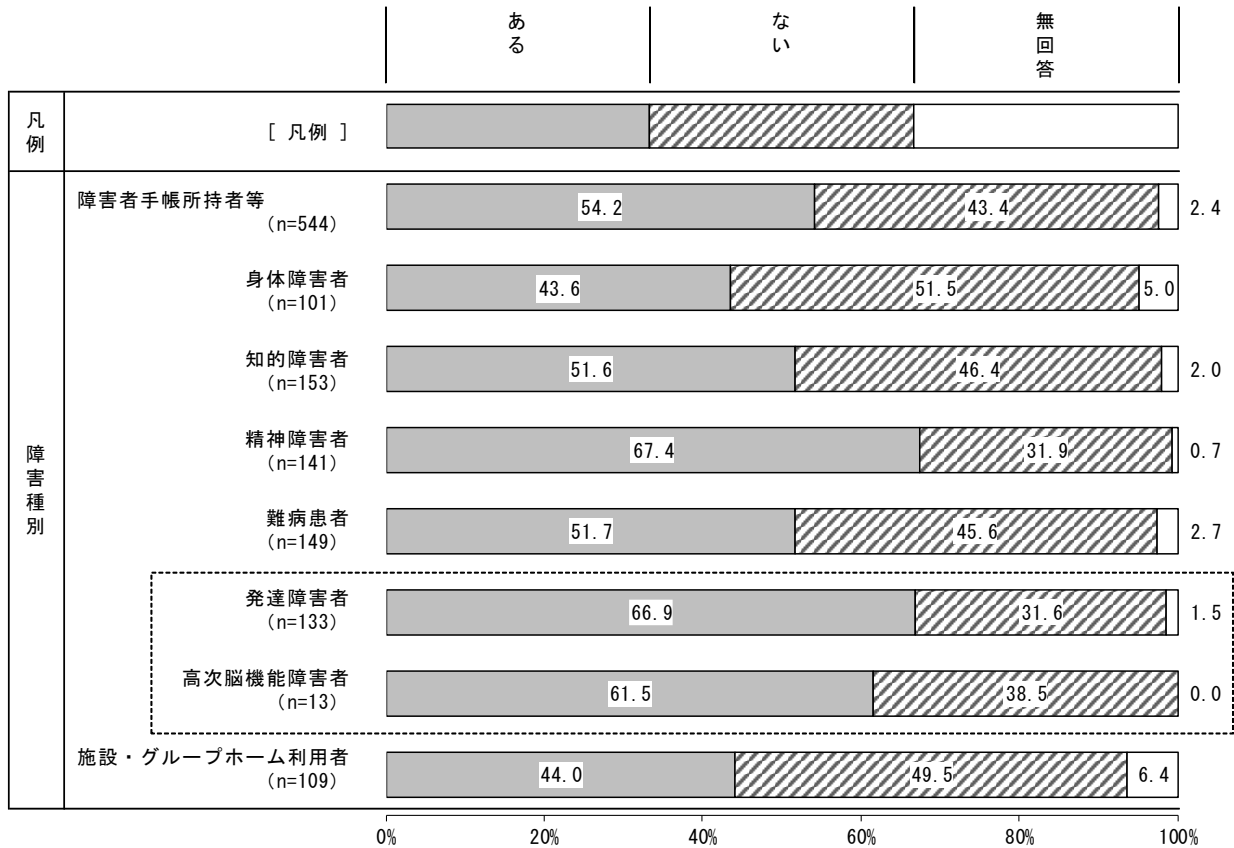
【1日あたりの勤務時間】



(7) 仕事をする上で困っていることはありますか。

- 仕事をする上で困っていることの有無について、障害者手帳所持者等は「ある」、施設・グループホーム利用者は「ない」が多くなっています。
- 障害者手帳所持者等の内訳では、身体障害者は「ない」、知的障害者、精神障害者、難病患者、発達障害者、高次脳機能障害者は「ある」が多くなっています。

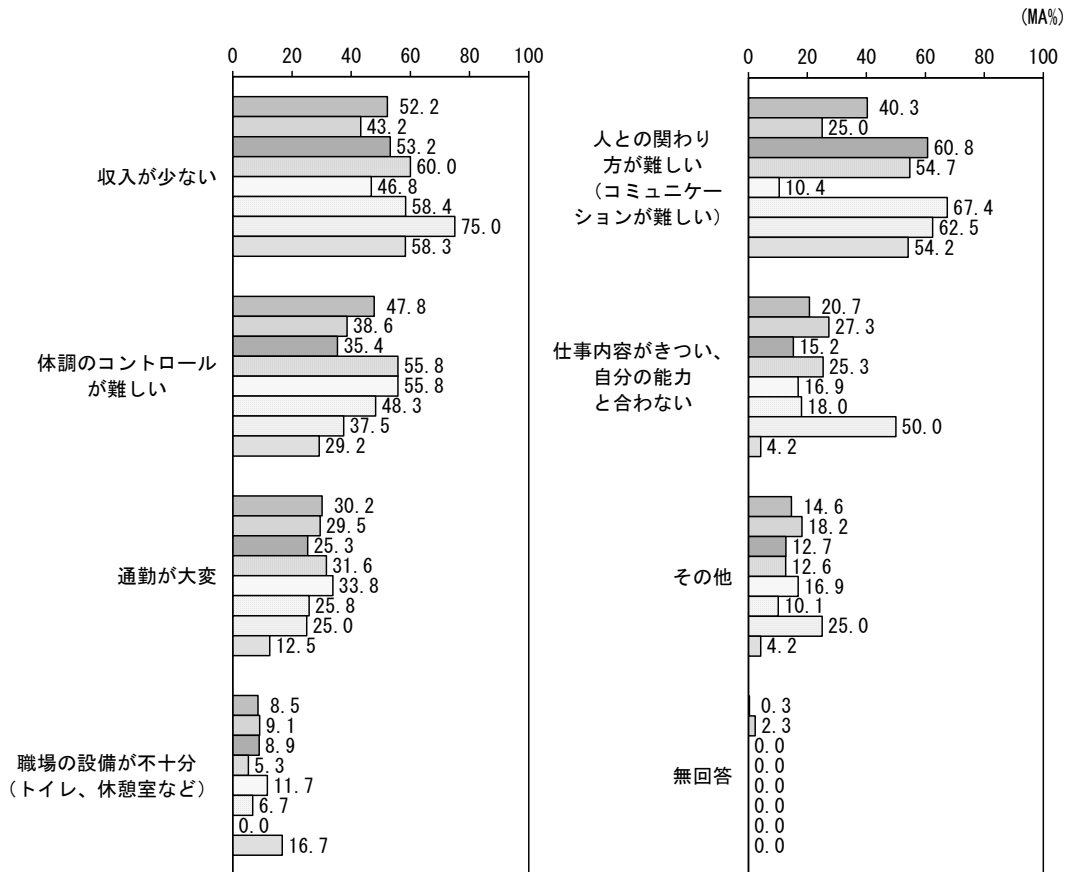
【仕事をする上で困っていることの有無】



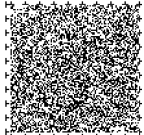
(8) 仕事をする上で主に困っていることは何ですか。(MA)

- 仕事をする上で困っていることについて、障害者手帳所持者等、施設・グループホーム利用者ともに「収入が少ない」が最も多くなっています。
- 障害者手帳所持者等の内訳では、身体障害者、精神障害者、高次脳機能障害者は「収入が少ない」、知的障害者、発達障害者は「人との関わり方が難しい（コミュニケーションが難しい）」、難病患者は「体調のコントロールが難しい」が最も多くなっています。

【仕事をする上で困っていること】



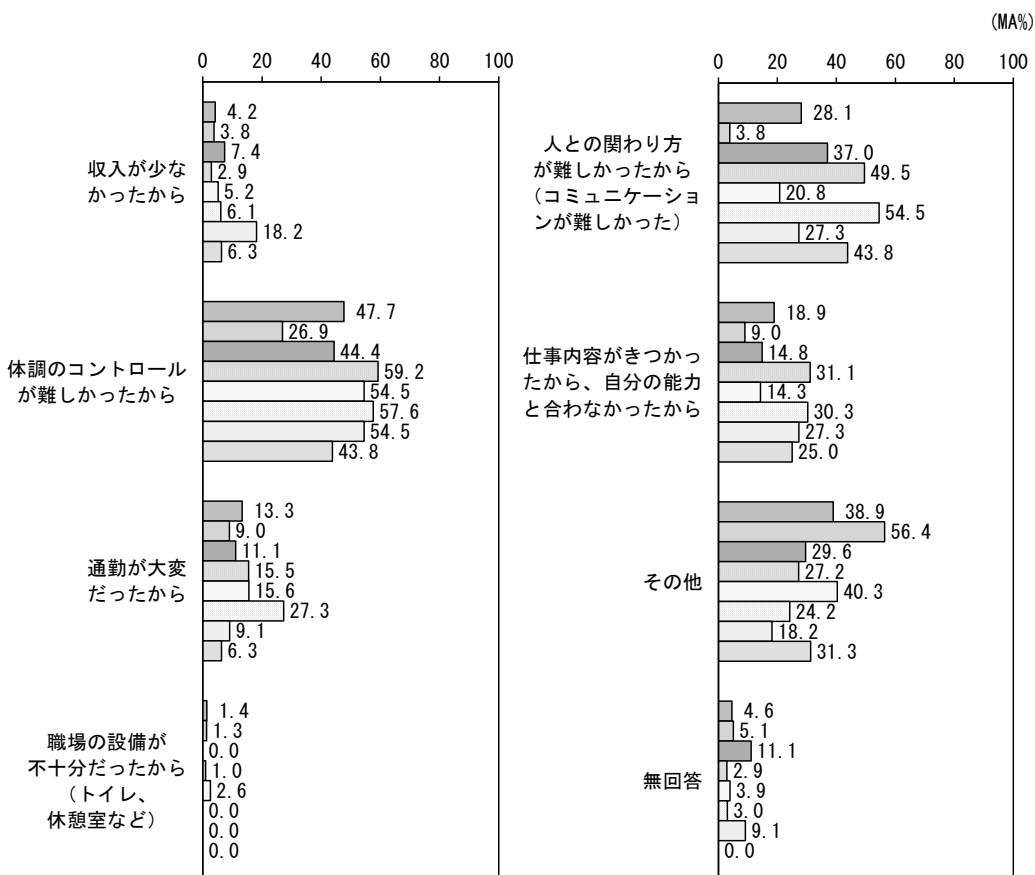
- 障害者手帳所持者等 (n=295)
- 身体障害者 (n=44)
- 知的障害者 (n=79)
- 精神障害者 (n=95)
- 難病患者 (n=77)
- 発達障害者 (n=89)
- 高次脳機能障害者 (n=8)
- 施設・グループホーム利用者 (n=48)



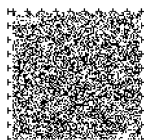
(9) 仕事を辞めた理由は何ですか。(MA)

- 仕事を辞めた理由について、障害者手帳所持者等は「体調のコントロールが難しかったから」、施設・グループホーム利用者は「体調のコントロールが難しかったから」と「人との関わり方が難しかったから（コミュニケーションが難しかった）」が最も多くなっています。
- 障害者手帳所持者等の内訳では、身体障害者は「その他」、知的障害者、精神障害者、難病患者、発達障害者、高次脳機能障害者は「体調のコントロールが難しかったから」が最も多くなっています。

【仕事を辞めた理由】



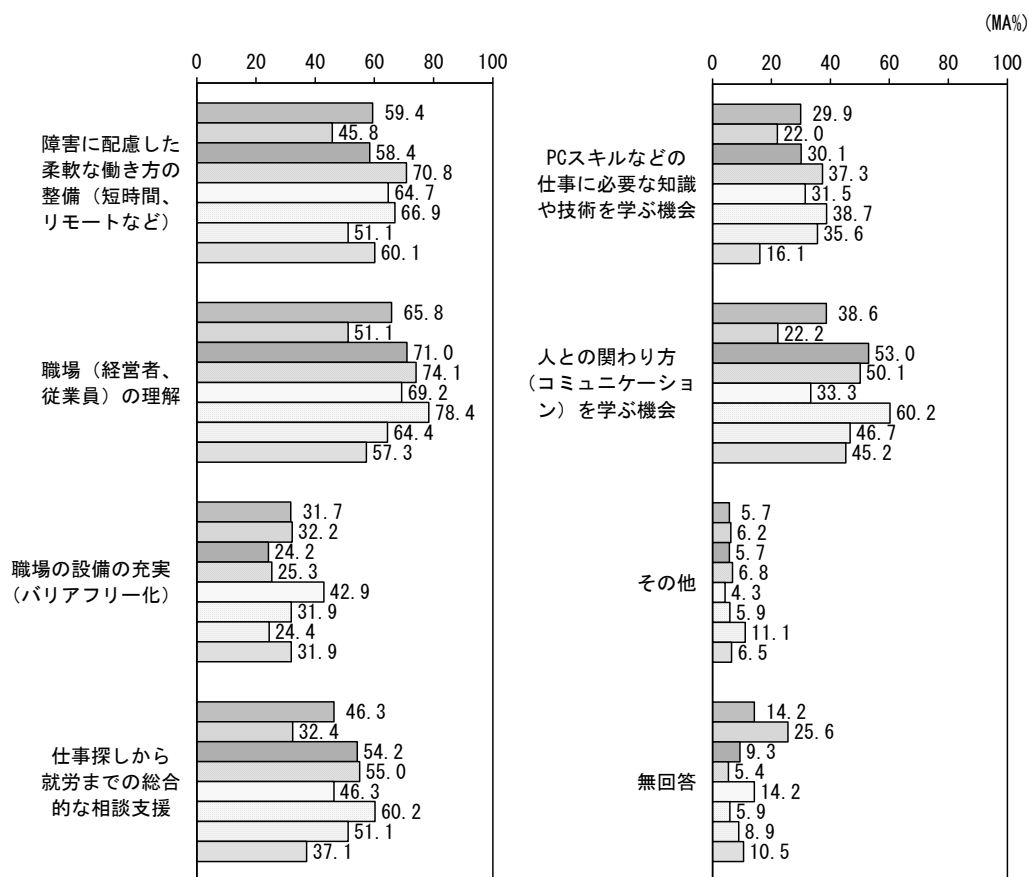
- 障害者手帳所持者等 (n=285)
- 身体障害者 (n=78)
- 知的障害者 (n=27)
- 精神障害者 (n=103)
- 難病患者 (n=77)
- 発達障害者 (n=33)
- 高次脳機能障害者 (n=11)
- 施設・グループホーム利用者 (n=16)



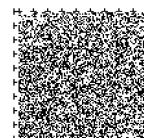
(10) 障害のある人の就労を促進するためには何が必要だと思いますか。(MA)

- 障害のある人の就労を促進するために必要なことについて、障害者手帳所持者等は「職場（経営者、従業員）の理解」、施設・グループホーム利用者は「障害に配慮した柔軟な働き方の整備（短時間、リモートなど）」が最も多くなっています。

【障害のある人の就労を促進するために必要なこと】



- 障害者手帳所持者等 (n=1,651)
- 身体障害者 (n=450)
- 知的障害者 (n=389)
- 精神障害者 (n=367)
- 難病患者 (n=445)
- 発達障害者 (n=357)
- 高次脳機能障害者 (n=45)
- 施設・グループホーム利用者 (n=248)

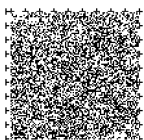
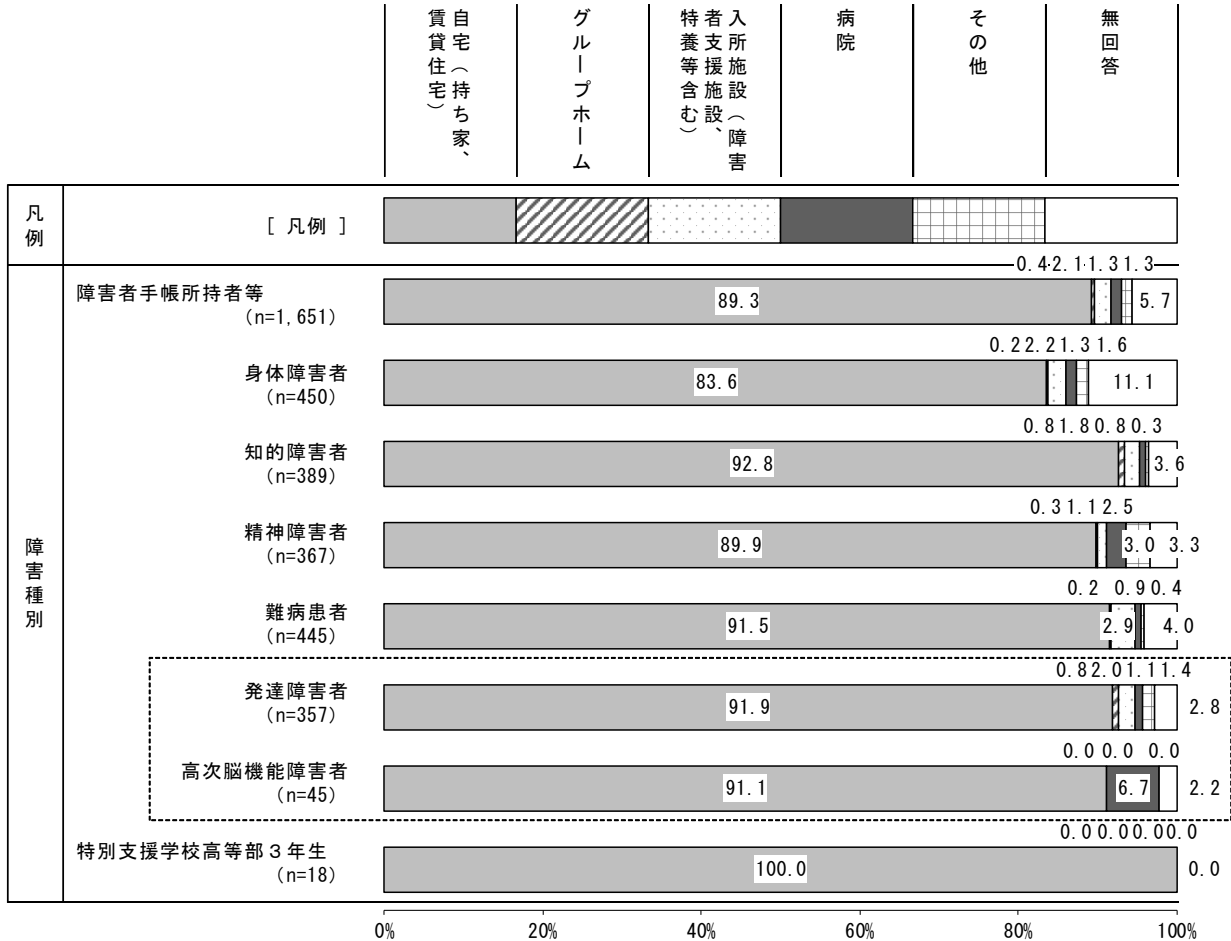


10. 現在の暮らしと今後の希望について

(1) 現在どこで暮らしていますか。

- 現在暮らしている場所について、障害者手帳所持者等、特別支援学校高等部3年生ともに「自宅（持ち家、賃貸住宅）」が最も多くなっています。

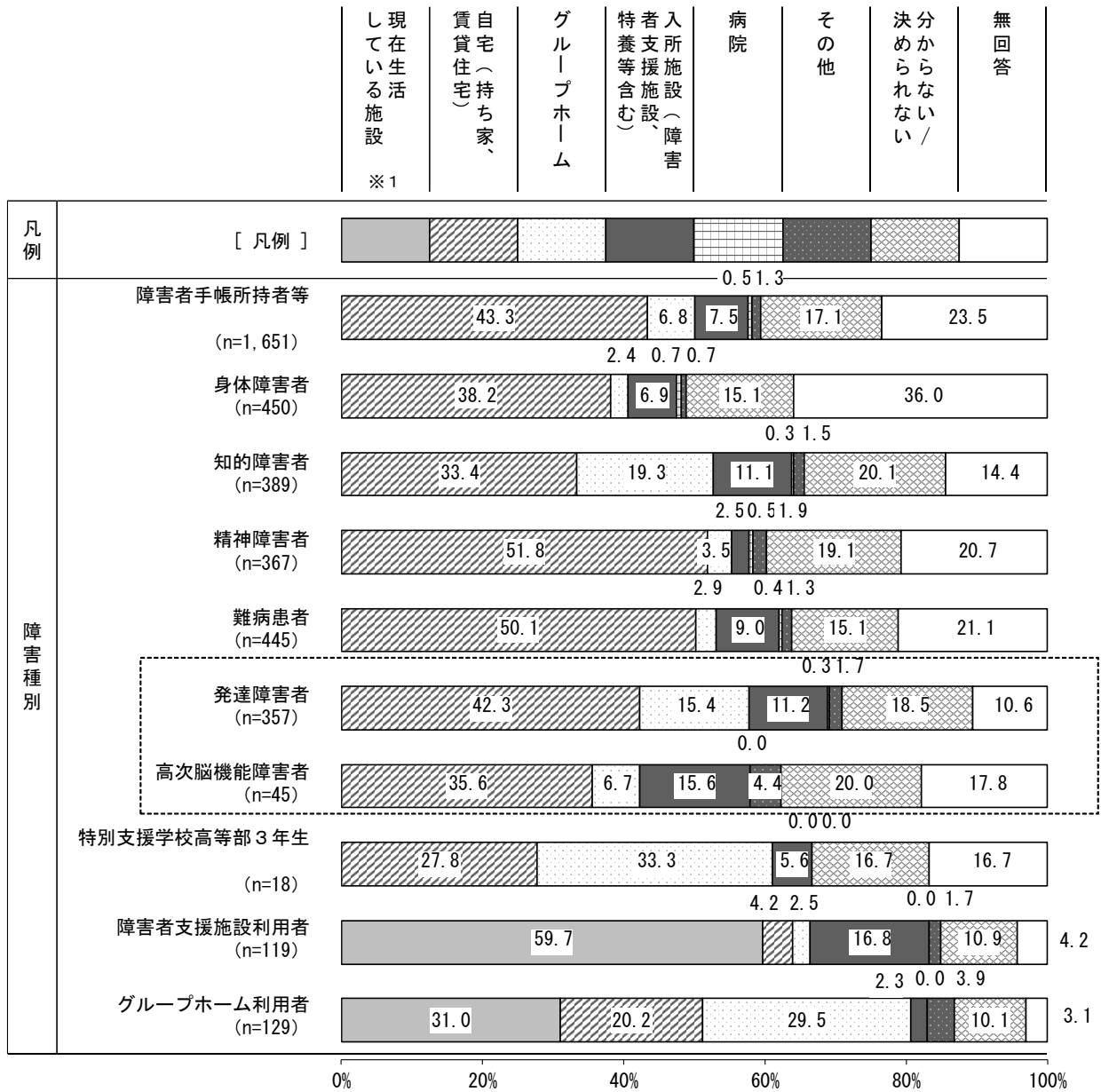
【現在暮らしている場所】



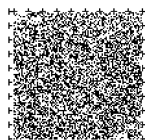
(2) 将来どこで暮らしたいですか。

○ 将来暮らしたい場所について、障害者手帳所持者等は「自宅（持ち家、賃貸住宅）」、特別支援学校高等部3年生は「グループホーム」、障害者支援施設利用者とグループホーム利用者は「現在生活している施設」が最も多くなっています。

【将来暮らしたい場所】



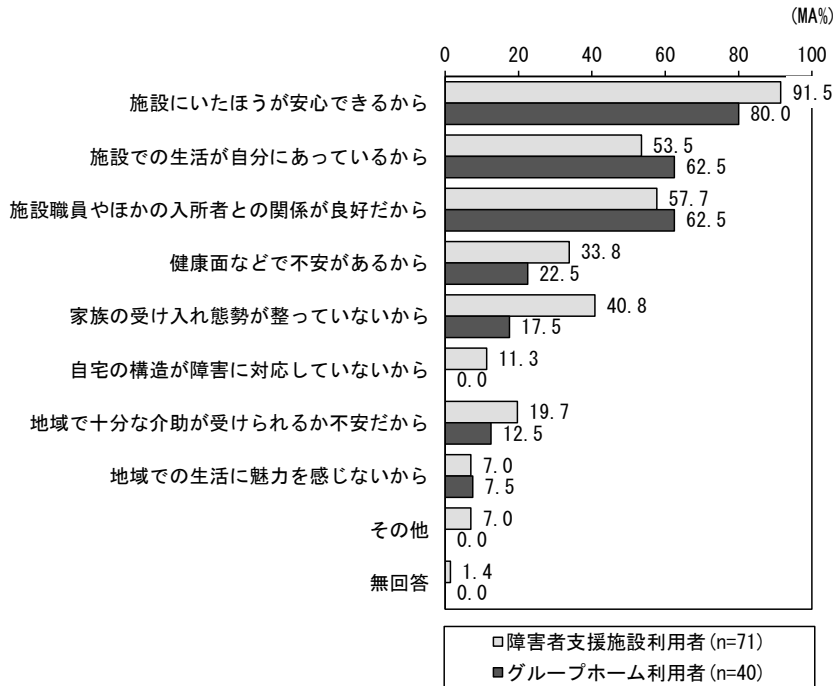
※1 「現在生活している施設」は、施設・グループホーム利用者だけの選択肢



(3) 施設での生活を続けたい理由は何ですか。(MA)

- 障害者支援施設利用者の施設で生活を続けたい理由について、「施設にいたほうが安心できるから」が 91.5%で最も多く、次いで「施設職員やほかの入所者との関係が良好だから」が 57.7%、「施設での生活が自分にあっているから」が 53.5%となっています。
- グループホーム利用者の施設で生活を続けたい理由について、「施設にいたほうが安心できるから」が 80.0%で最も多く、次いで「施設での生活が自分にあっているから」「施設職員やほかの入所者との関係が良好だから」が 62.5%となっています。

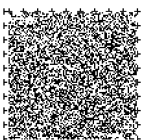
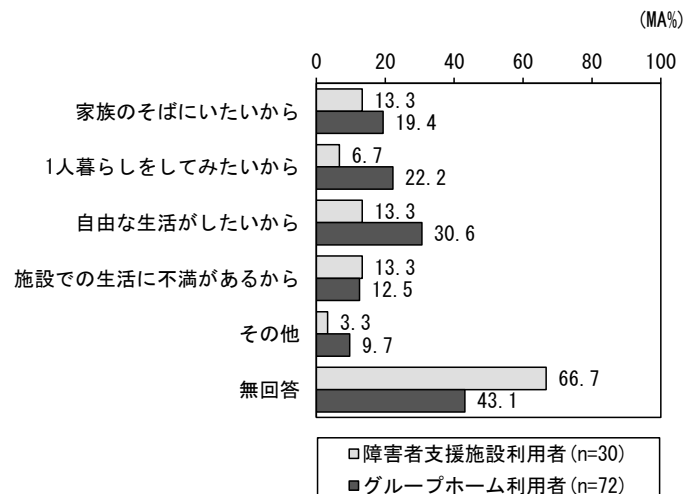
【施設で生活を続けたい理由】



(4) 施設を出たい理由は何ですか。(MA)

- 障害者支援施設利用者の施設を出たい理由について、「家族のそばにいたいから」「自由な生活がしたいから」「施設での生活に不満があるから」が 13.3%で最も多くなっています。
- グループホーム利用者の施設を出たい理由について、「自由な生活がしたいから」が 30.6%で最も多く、次いで「1人暮らしをしてみたいから」が 22.2%、「家族のそばにいたいから」が 19.4%となっています。

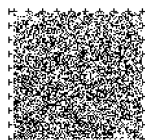
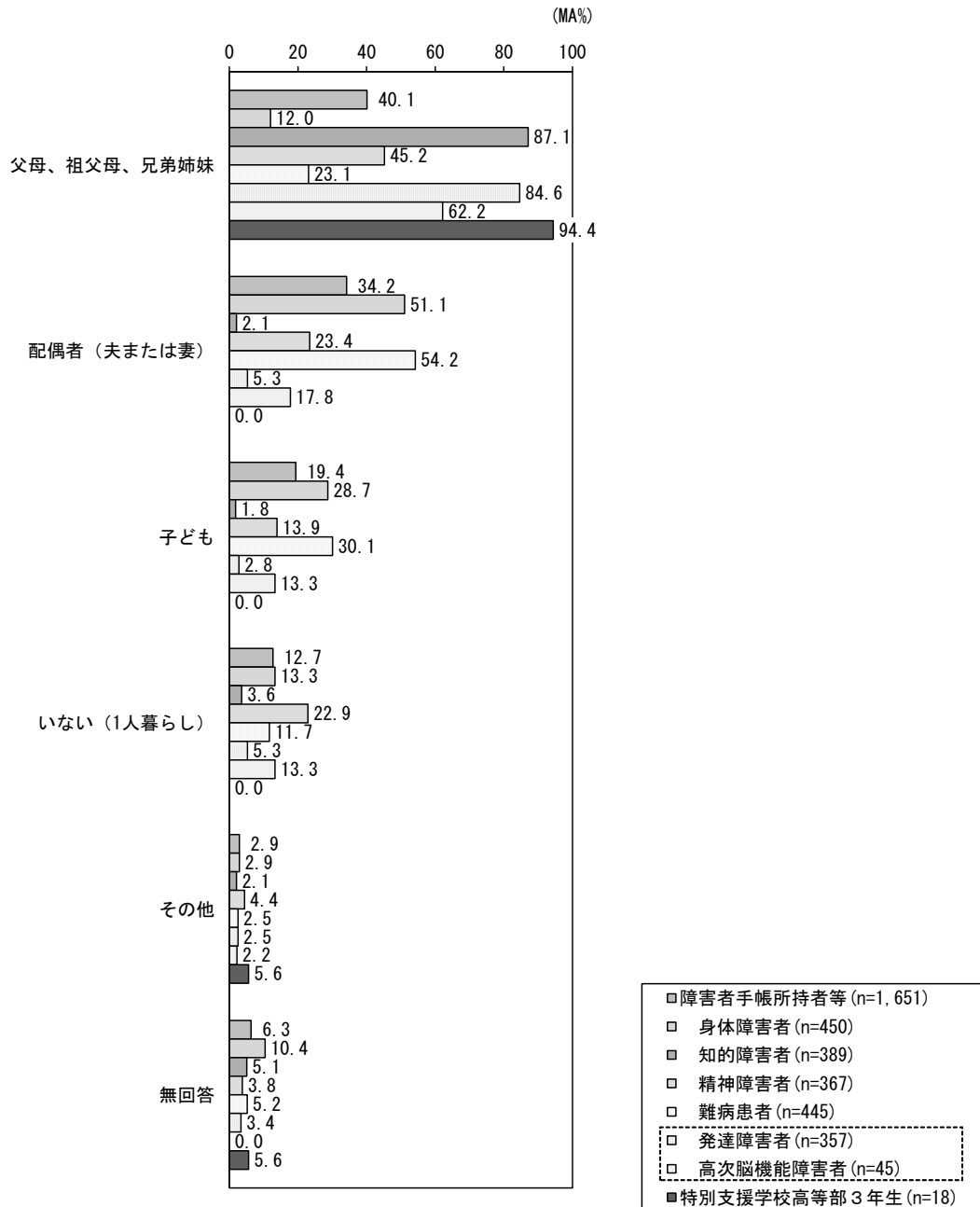
【施設を出たい理由】



(5) 現在誰と暮らしていますか。(MA)

- 現在一緒に暮らしている人について、障害者手帳所持者等、特別支援学校高等部3年生ともに「父母、祖父母、兄弟姉妹」が最も多くなっています。
- 障害者手帳所持者等の内訳では、身体障害者、難病患者は「配偶者（夫または妻）」、知的障害者、精神障害者、発達障害者、高次脳機能障害者は「父母、祖父母、兄弟姉妹」が最も多くなっています。

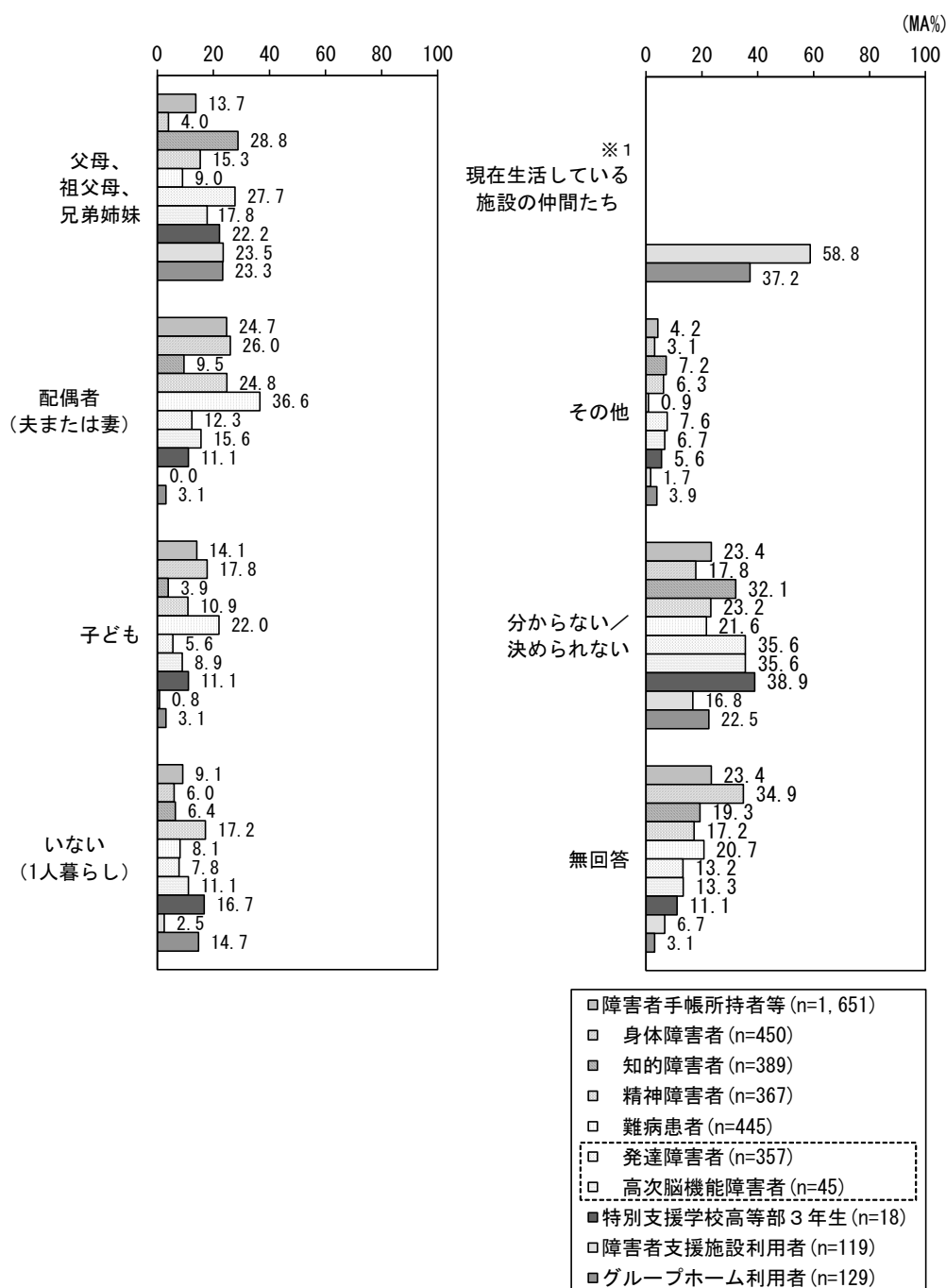
【現在一緒に暮らしている人】



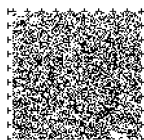
(6) 将来誰と一緒に暮らしたいですか。(MA)

- 将来一緒に暮らしたい人について、障害者手帳所持者等は「配偶者（夫または妻）」、特別支援学校高等部3年生は「分からない／決められない」、障害者支援施設利用者とグループホーム利用者は「現在生活している施設の仲間たち」が最も多くなっています。
- 障害者手帳所持者等の内訳では、身体障害者、精神障害者、難病患者は「配偶者（夫または妻）」、知的障害者、発達障害者、高次脳機能障害者は「分からない／決められない」が最も多くなっています。

【将来一緒に暮らしたい人】



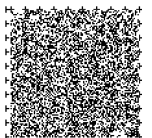
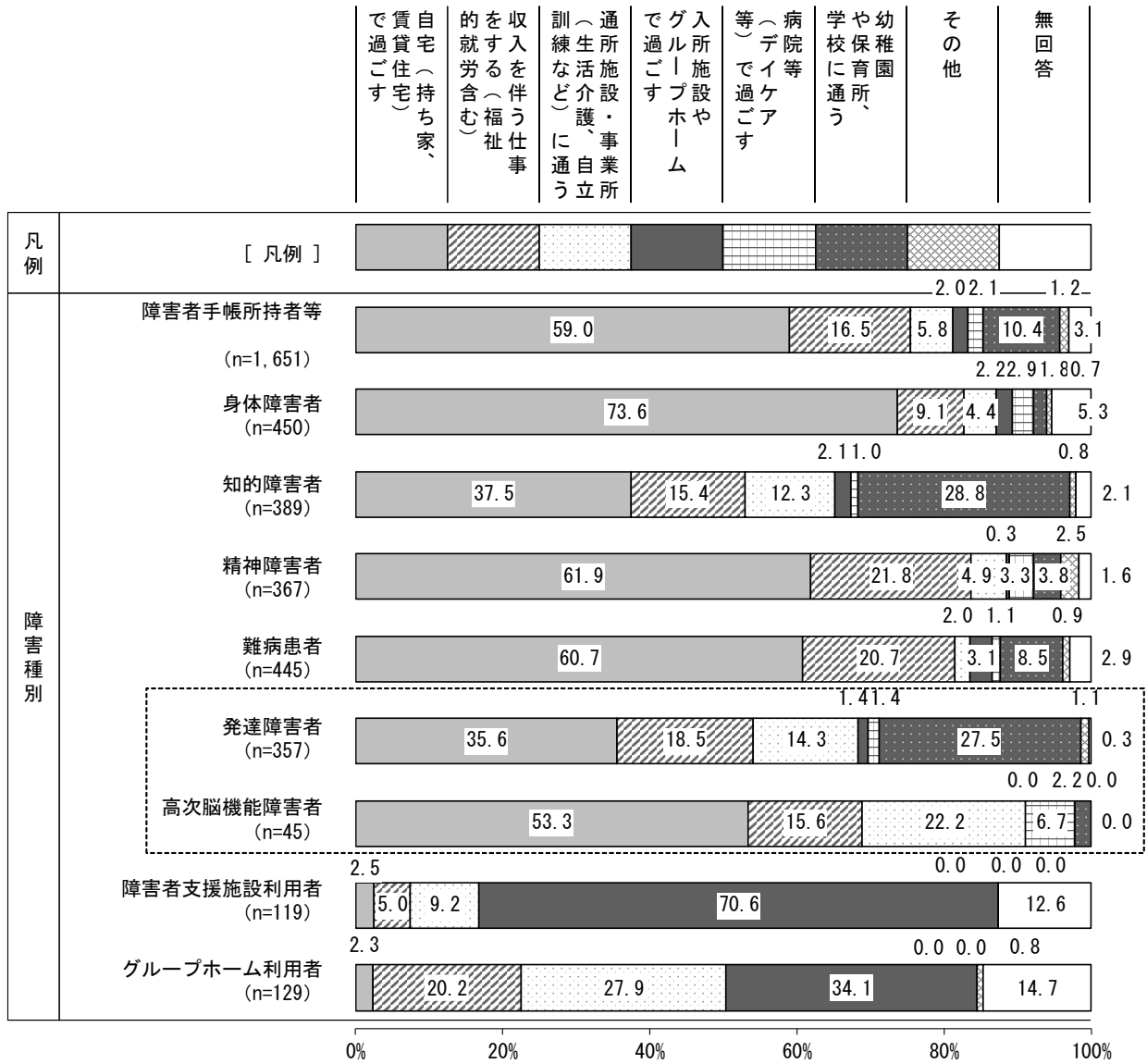
※1 「現在生活している施設の仲間たち」は、施設・グループホーム利用者からのみの選択肢



(7) 現在、主に日中をどのように過ごしていますか。

○ 日中の過ごし方について、障害者手帳所持者等は「自宅（持ち家、賃貸住宅）で過ごす」、障害者支援施設利用者とグループホーム利用者は「入所施設やグループホームで過ごす」が最も多くなっています。

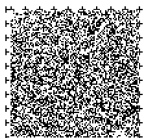
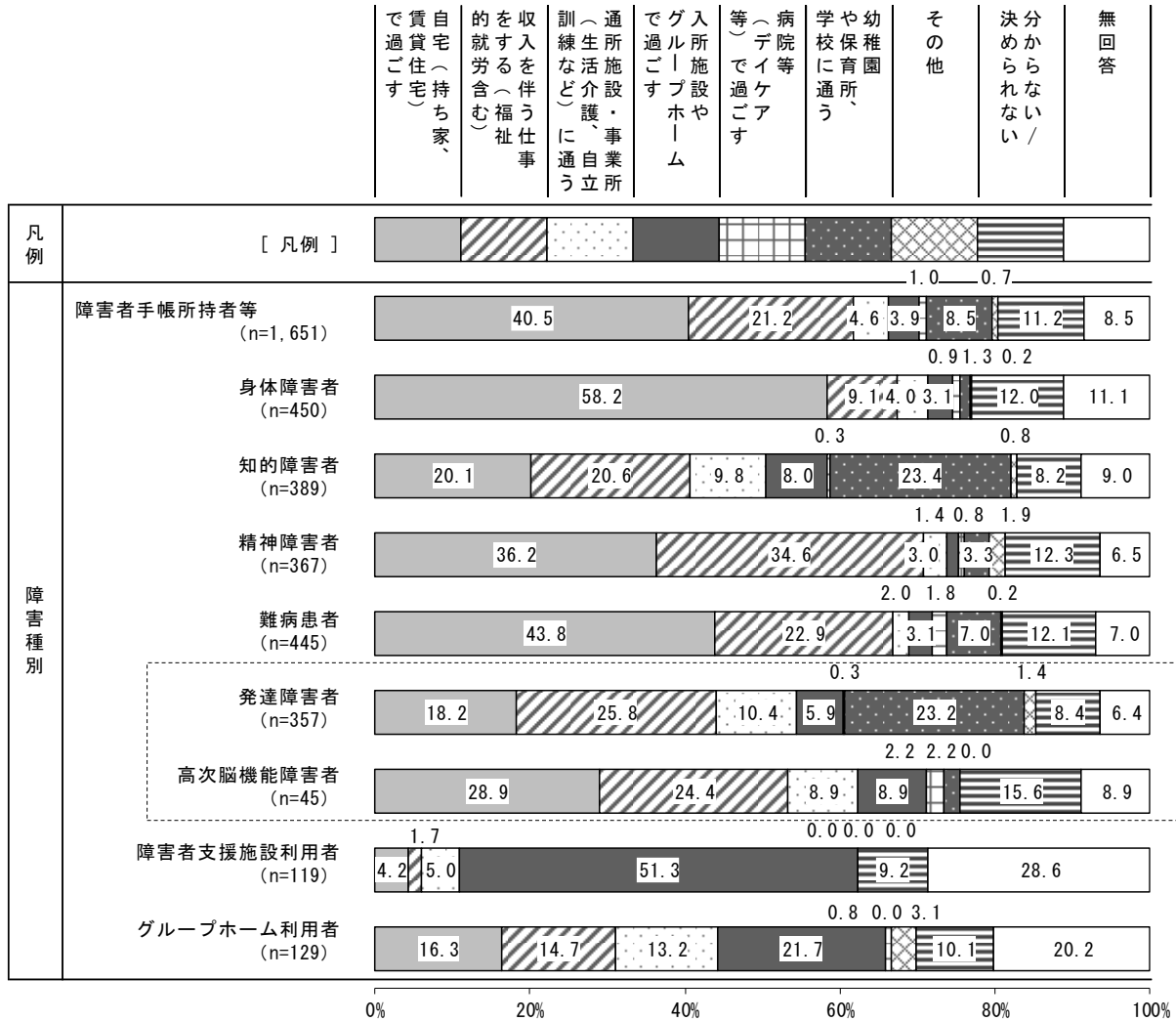
【日中の過ごし方】



(8) 近い将来（今後3年以内）どのように過ごしたいですか。

- 将来の日中の過ごし方について、障害者手帳所持者等は「自宅（持ち家、賃貸住宅）で過ごす」、障害者支援施設利用者とグループホーム利用者は「入所施設やグループホームで過ごす」が最も多くなっています。
- 障害者手帳所持者等の内訳では、身体障害者、精神障害者、難病患者、高次脳機能障害者は「自宅（持ち家、賃貸住宅）で過ごす」、知的障害者は「幼稚園や保育所、学校に通う」、発達障害者は「収入を伴う仕事をする（福祉的就労含む）」が最も多くなっています。

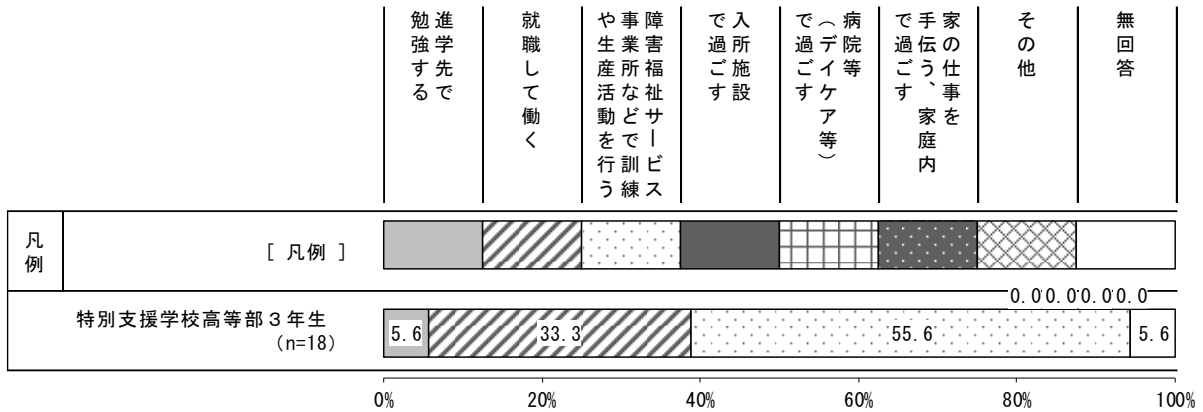
【将来の日中の過ごし方】



(9) 卒業したら、どのように日中を過ごす予定ですか。

- 特別支援学校高等部3年生の支援学校卒業後の日中の過ごし方について「障害福祉サービス事業所などで訓練や生産活動を行う」が55.6%で最も多く、次いで「就職して働く」が33.3%、「進学先で勉強する」が5.6%となっています。

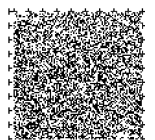
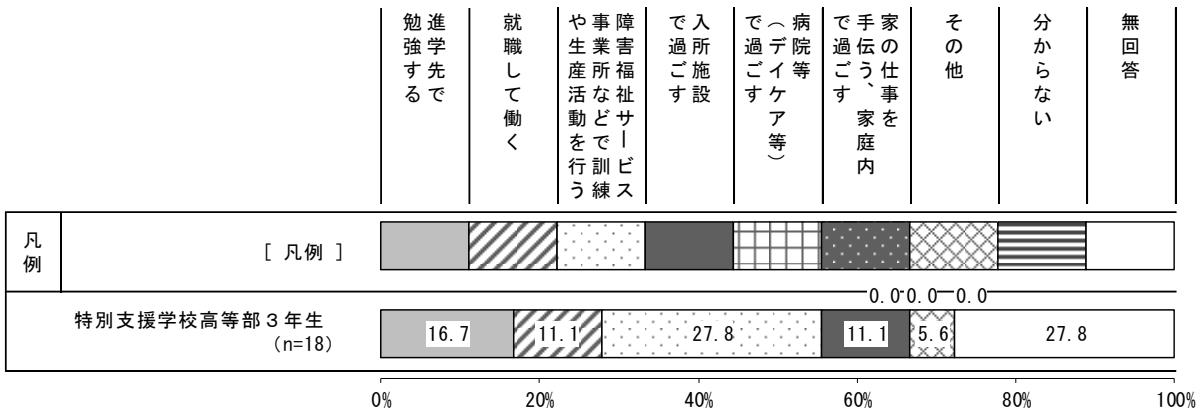
【予定している支援学校卒業後の日中の過ごし方】



(10) 希望としてはどのように過ごしたいですか。

- 特別支援学校高等部3年生の希望する支援学校卒業後の日中の過ごし方について、「障害福祉サービス事業所などで訓練や生産活動を行う」が27.8%で最も多く、次いで「進学先で勉強する」が16.7%、「就職して働く」「入所施設で過ごす」が11.1%となっています。

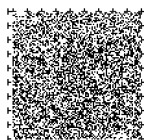
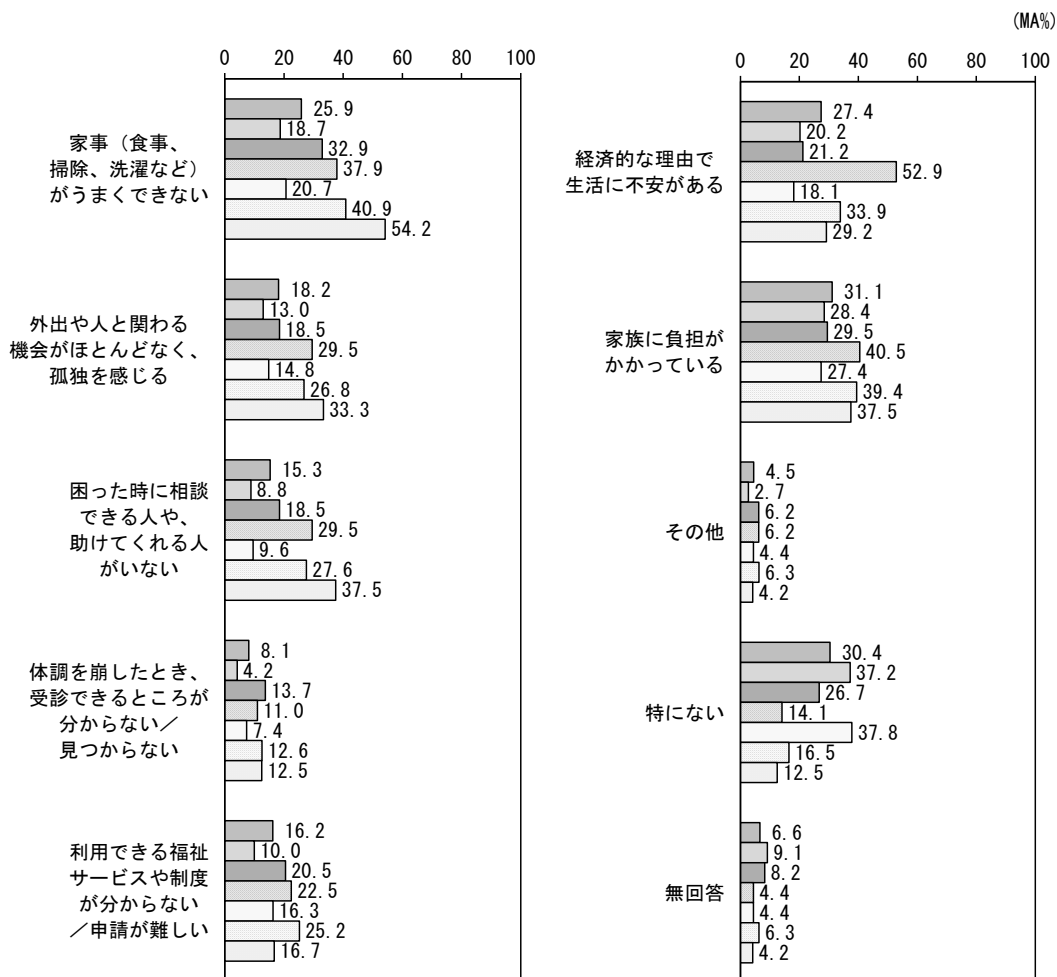
【希望する支援学校卒業後の日中の過ごし方】



(11) 日中、自宅で過ごしていてどんなことで困っていますか。(MA)

- 日中自宅で過ごしていて困っていることについて、障害者手帳所持者等は「家族に負担がかかっている」が最も多くなっています。
- 障害者手帳所持者等の内訳では、身体障害者は「特にない」、知的障害者、発達障害者、高次脳機能障害者は「家事（食事、掃除、洗濯など）がうまくできない」、精神障害者は「経済的な理由で生活に不安がある」が最も多くなっています。

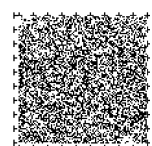
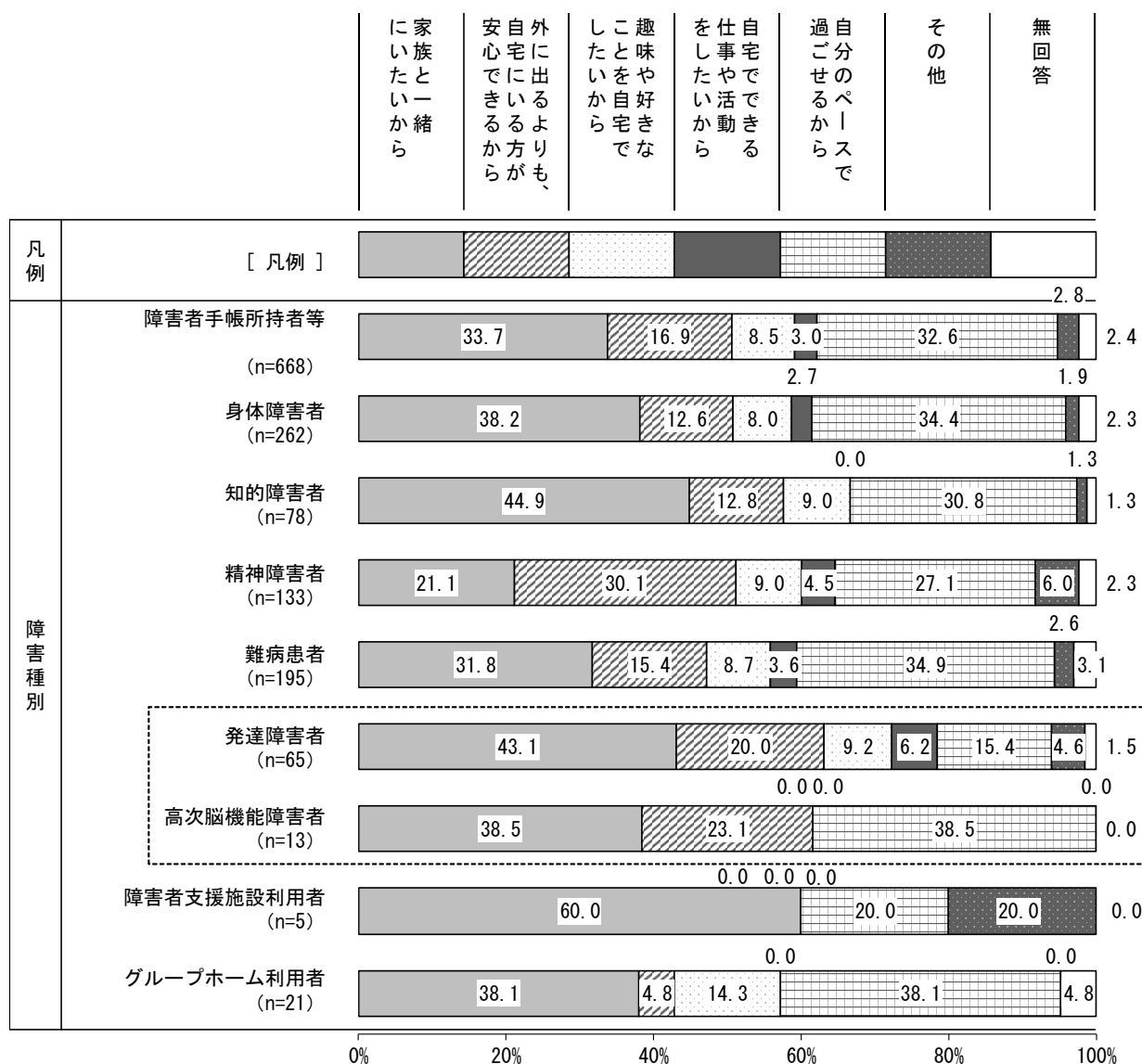
【日中自宅で過ごしていて困っていること】



(12) 近い将来、日中を主に自宅で過ごしたいと思う理由は何ですか。

- 日中を主に自宅で過ごしたいと思う理由について、障害者手帳所持者等、障害者支援施設利用者ともに「家族と一緒にいたいから」が最も多く、グループホーム利用者は「家族と一緒にいたいから」「自分のペースで過ごせるから」が最も多くなっています。
- 障害者手帳所持者等の内訳では、身体障害者、知的障害者、発達障害者は「家族と一緒にいたいから」、精神障害者は「外に出るよりも、自宅にいる方が安心できるから」、難病患者は「自分のペースで過ごせるから」、高次脳機能障害者は「家族と一緒にいたいから」と「自分のペースで過ごせるから」が最も多くなっています。

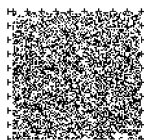
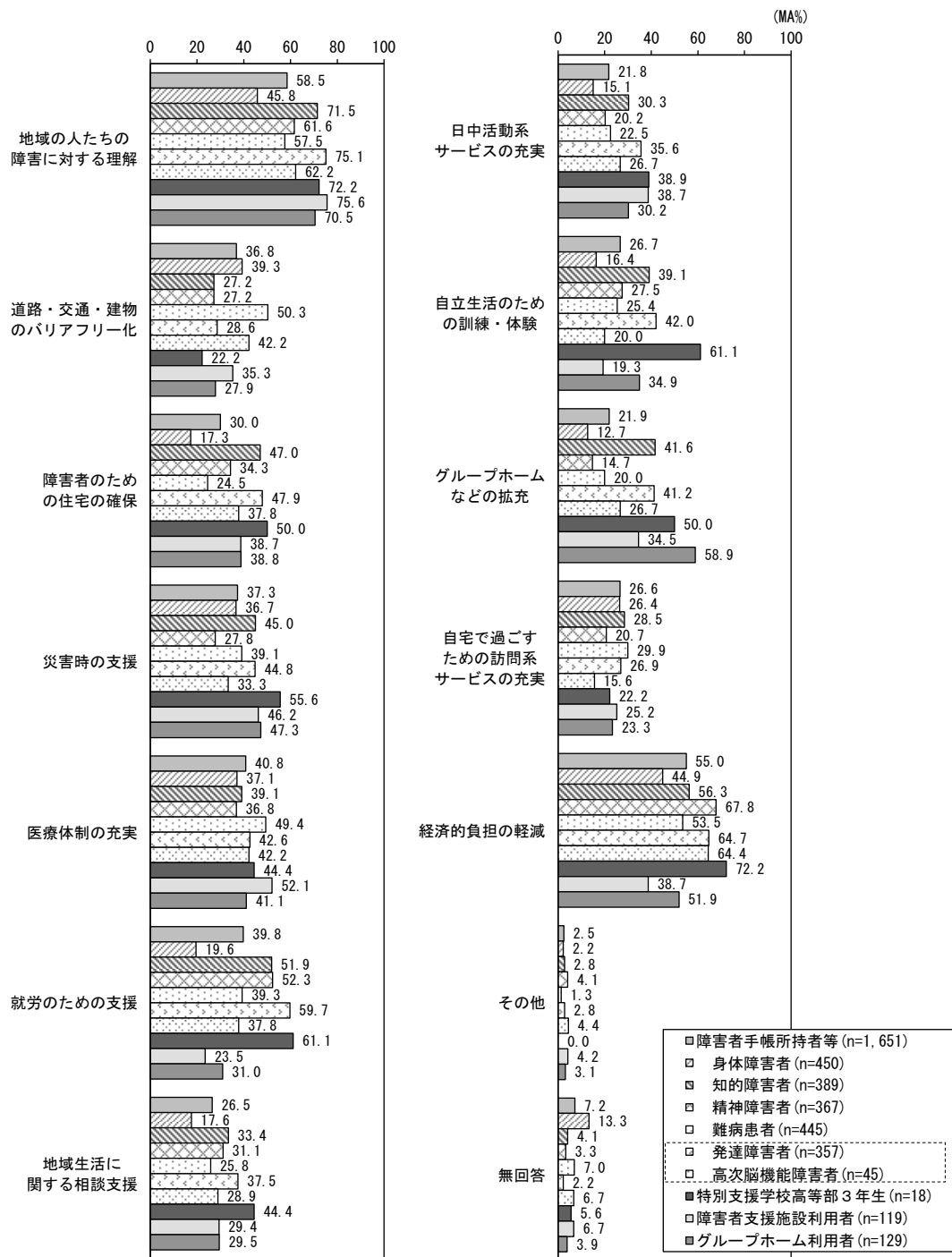
【日中を主に自宅で過ごしたいと思う理由】



(13) 障害のある人が地域で生活していくためには何が必要だと思いますか。(MA)

- 障害のある人が地域で生活していくために必要なことについて、障害者手帳所持者等、障害者支援施設利用者とグループホーム利用者は「地域の人たちの障害に対する理解」、特別支援学校高等部3年生は「地域の人たちの障害に対する理解」と「経済的負担の軽減」が最も多くなっています。
- 障害者手帳所持者等の内訳では、身体障害者、知的障害者、難病患者、発達障害者は「地域の人たちの障害に対する理解」、精神障害者、高次脳機能障害者は「経済的負担の軽減」が最も多くなっています。

【障害のある人が地域で生活していくために必要なこと】

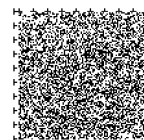
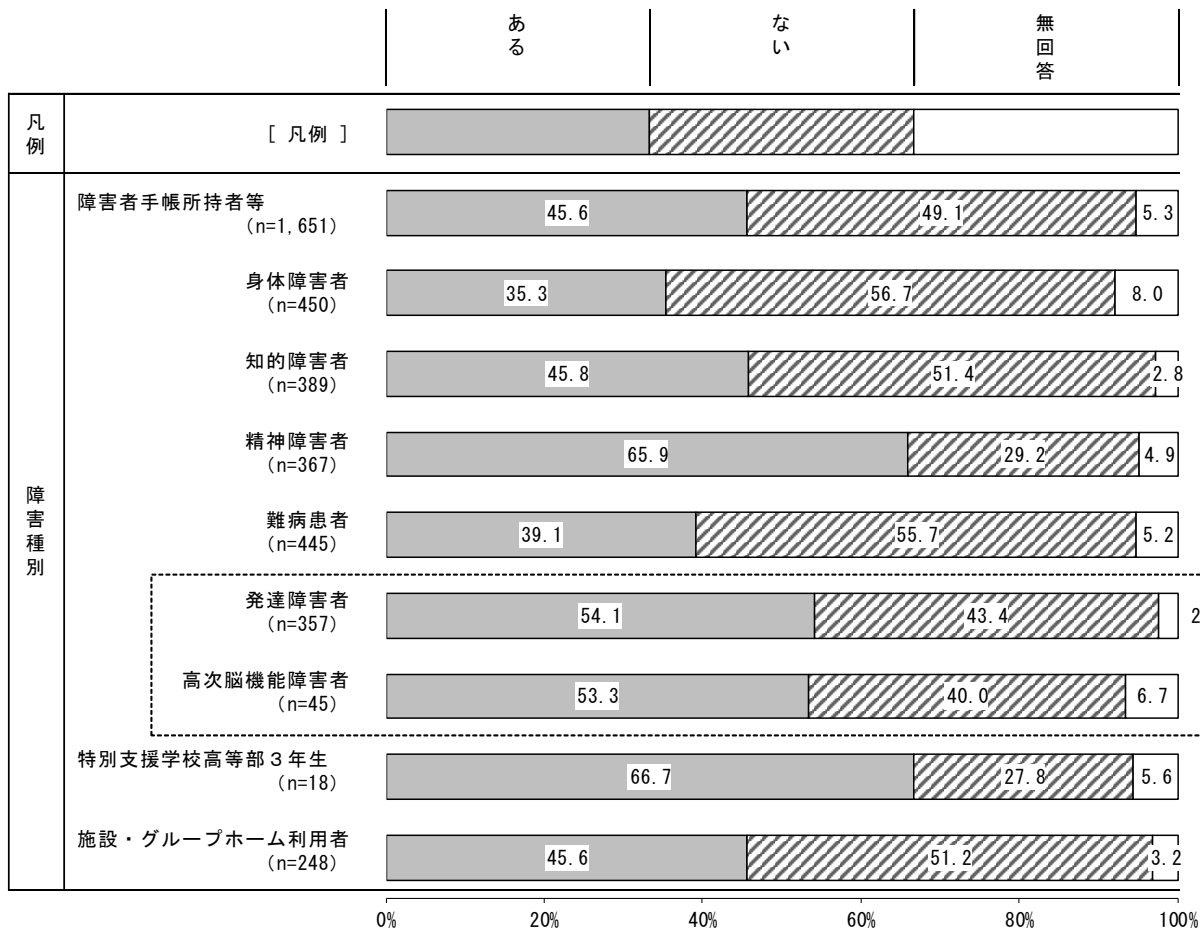


11. 相談や情報入手について

(1) 現在の生活で困っていることや悩んでいることはありますか。

- 現在の生活で困っていることや悩んでいることの有無について、障害者手帳所持者等、施設・グループホーム利用者は「ない」、特別支援学校高等部3年生は「ある」が多くなっています。
- 障害者手帳所持者等の内訳では、身体障害者、知的障害者、難病患者は「ない」、精神障害者、発達障害者、高次脳機能障害者は「ある」が多くなっています。

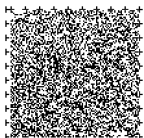
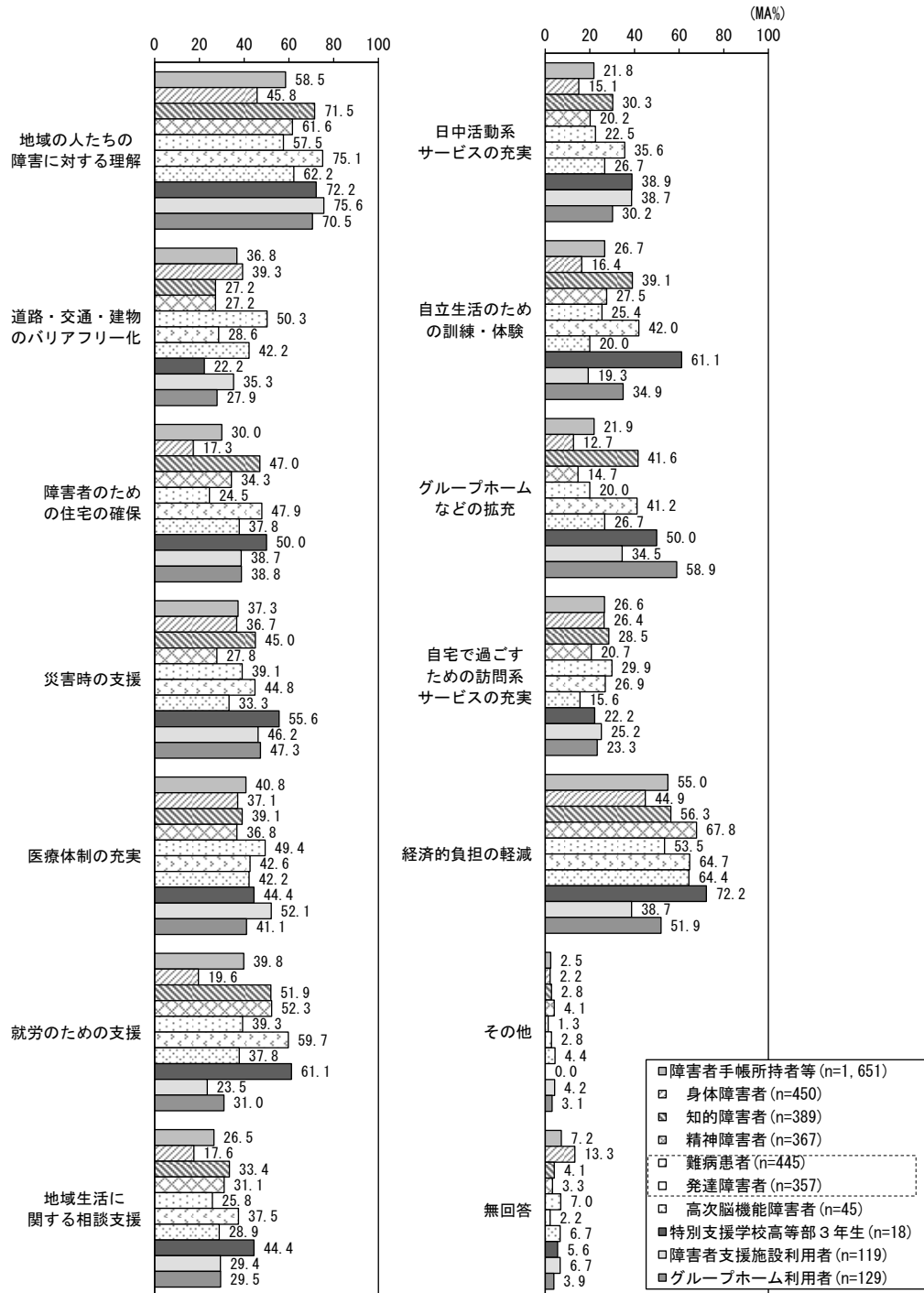
【現在の生活で困っていることや悩んでいることの有無】



(2) 現在の生活で困っていることや悩んでいることは何ですか。(MA)

- 現在の生活で困っていることや悩んでいることについて、障害者手帳所持者等は「生活費が足りない」、特別支援学校高等部3年生は「外出がしにくい」と「自分に合った支援が受けられる施設（入所施設など）が見つかりにくい」、施設・グループホーム利用者は「外出がしにくい」が最も多くなっています。
- 障害者手帳所持者等の内訳では、身体障害者、精神障害者、難病患者は「生活費が足りない」、知的障害者、発達障害者は「家族などの介助者の健康状態」、高次脳機能障害者は「自分に合った支援が受けられる施設（入所施設など）が見つかりにくい」が最も多くなっています。

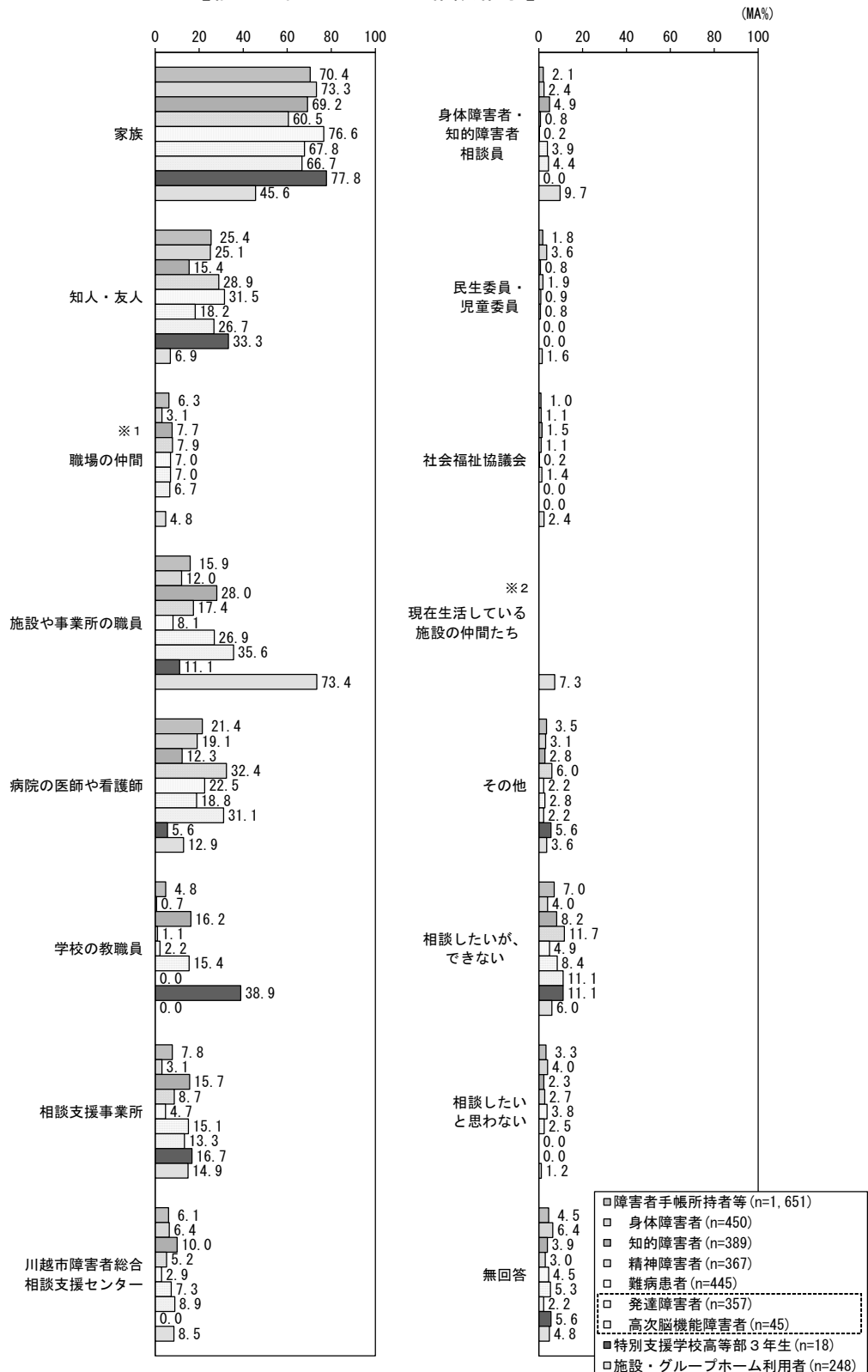
【現在の生活で困っていることや悩んでいること】



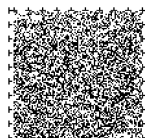
(3) 普段、悩みや困ったことなどをどこ(誰)に相談しますか。(MA)

○ 悩みや困ったことの相談相手について、障害者手帳所持者等、特別支援学校高等部3年生は「家族」、施設・グループホーム利用者は「施設や事業所の職員」が最も多くなっています。

【悩みや困ったことの相談相手】



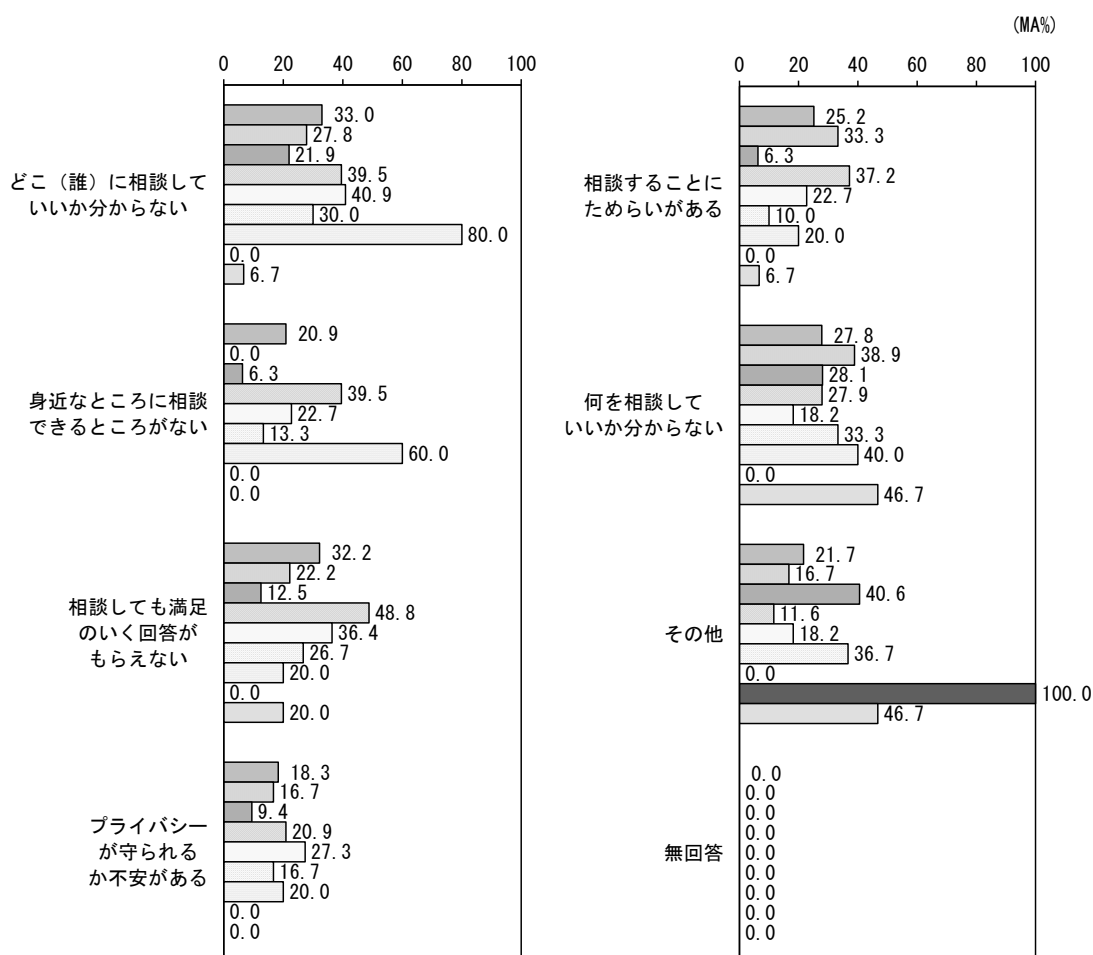
※1 「職場の仲間」は、障害者手帳所持者等、施設・グループホーム利用者からのみの選択肢
 ※2 「現在生活している施設の仲間たち」は施設・グループホーム利用者からのみの選択肢



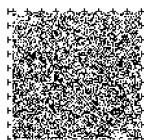
(4) 相談できない理由は何ですか。(MA)

- 悩みや困ったことを相談できない理由について、障害者手帳所持者等は「どこ（誰）に相談していいかわからない」、特別支援学校高等部3年生は「その他」、施設・グループホーム利用者は「何を相談していいかわからない」と「その他」が最も多くなっています。
- 障害者手帳所持者等の内訳では、身体障害者は「何を相談していいかわからない」、知的障害者は「その他」、発達障害者は「その他」、精神障害者は「相談しても満足いく回答がもらえない」、難病患者、高次脳機能障害者は「どこ（誰）に相談していいかわからない」が最も多くなっています。

【悩みや困ったことを相談できない理由】



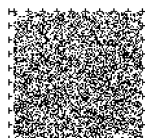
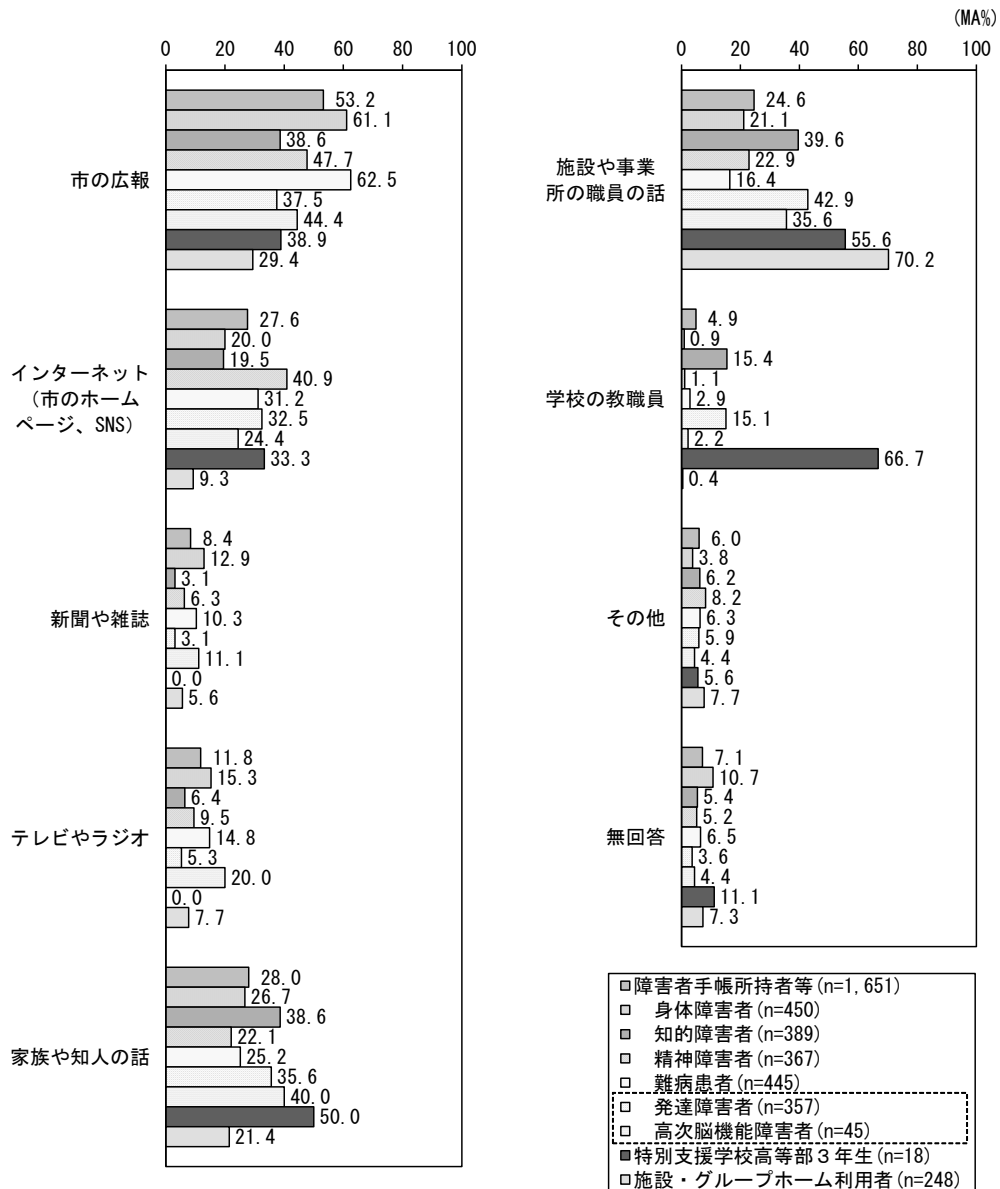
- 障害者手帳所持者等 (n=115)
- 身体障害者 (n=18)
- 知的障害者 (n=32)
- 精神障害者 (n=43)
- 難病患者 (n=22)
- 発達障害者 (n=30)
- 高次脳機能障害者 (n=5)
- 特別支援学校高等部3年生 (n=2)
- 施設・グループホーム利用者 (n=15)



(5) 福祉サービス内容について、どのようなもので知ることが多いですか。(MA)

- 福祉サービスについての情報入手方法について、障害者手帳所持者等は「市の広報」、特別支援学校高等部3年生は「学校の教職員」、施設・グループホーム利用者は「施設や事業所の職員の話」が最も多くなっています。
- 障害者手帳所持者等の内訳では、身体障害者、精神障害者、難病患者、高次脳機能障害者は「市の広報」、知的障害者、発達障害者は「施設や事業所の職員の話」が最も多くなっています。

【福祉サービスについての情報入手方法】



12. 福祉サービスについて

(1) 次の障害福祉サービスを利用していますか。今後3年以内にどのくらい利用したいですか。

【障害者手帳所持者等】

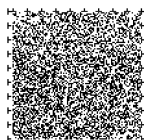
- 利用状況について、「あり」が最も多い項目は、「19 計画相談支援」が15.6%で最も多く、次いで、「23 放課後等デイサービス」が7.0%、「6 生活介護」が5.8%となっています。
- 今後の利用予定について、「増やす・今後利用する予定」が最も多い項目は、「8 短期入所（ショートステイ）」が9.8%で最も多く、次いで、「19 計画相談支援」が8.2%、「15 就労移行支援」「17 就労継続支援B型」「18 就労定着支援」が6.5%となっています。

【特別支援学校高等部3年生】

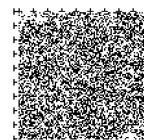
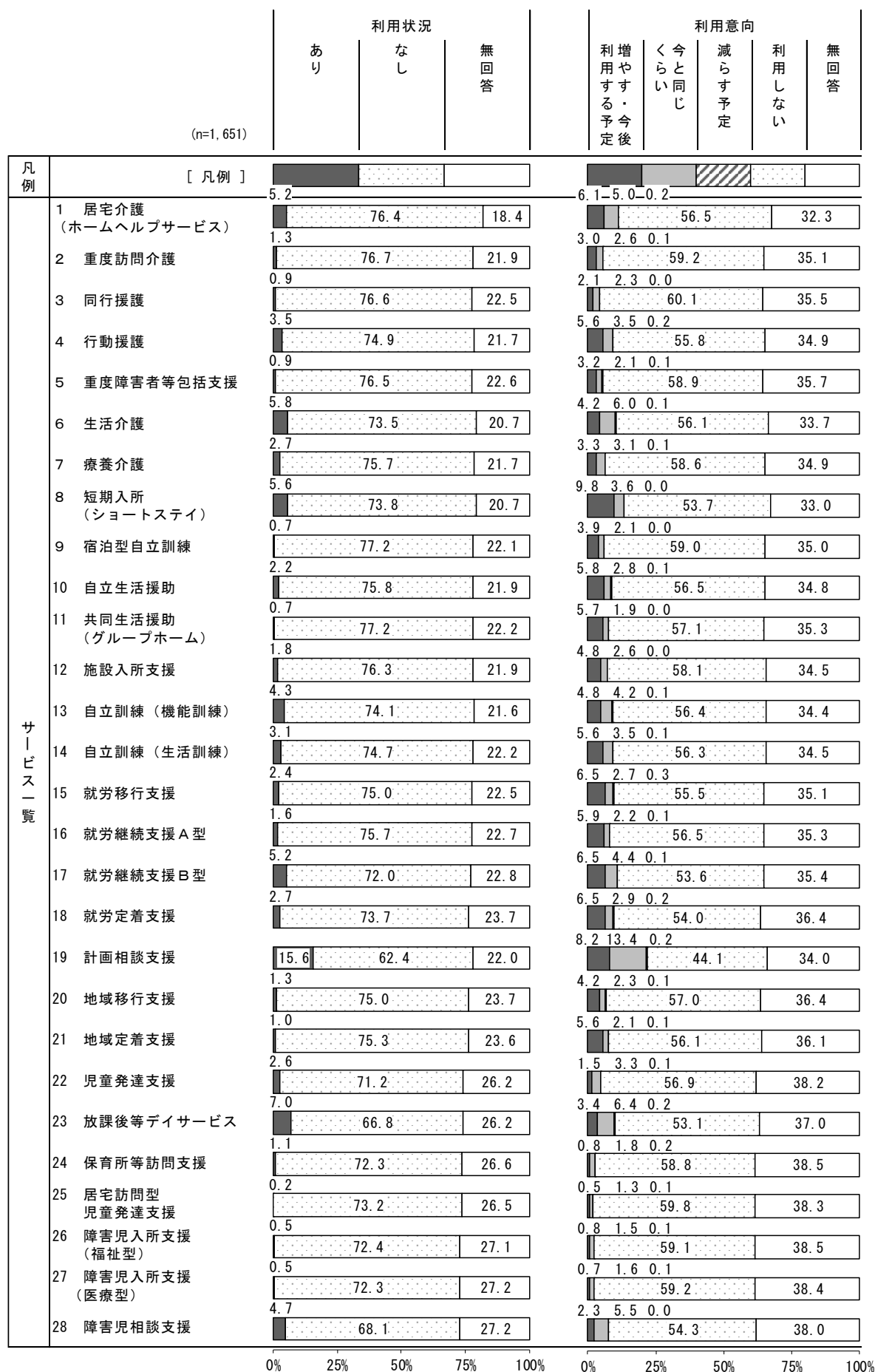
- 利用状況について、「あり」が最も多い項目は、「19 計画相談支援」「23 放課後等デイサービス」が38.9%で最も多く、次いで、「28 障害児相談支援」が22.2%となっています。
- 今後の利用予定について、「増やす・今後利用する予定」が最も多い項目は、「8 短期入所（ショートステイ）」が38.9%で最も多く、次いで、「11 共同生活援助（グループホーム）」「17 就労継続支援B型」が33.3%となっています。

【施設・グループホーム利用者】

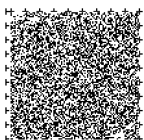
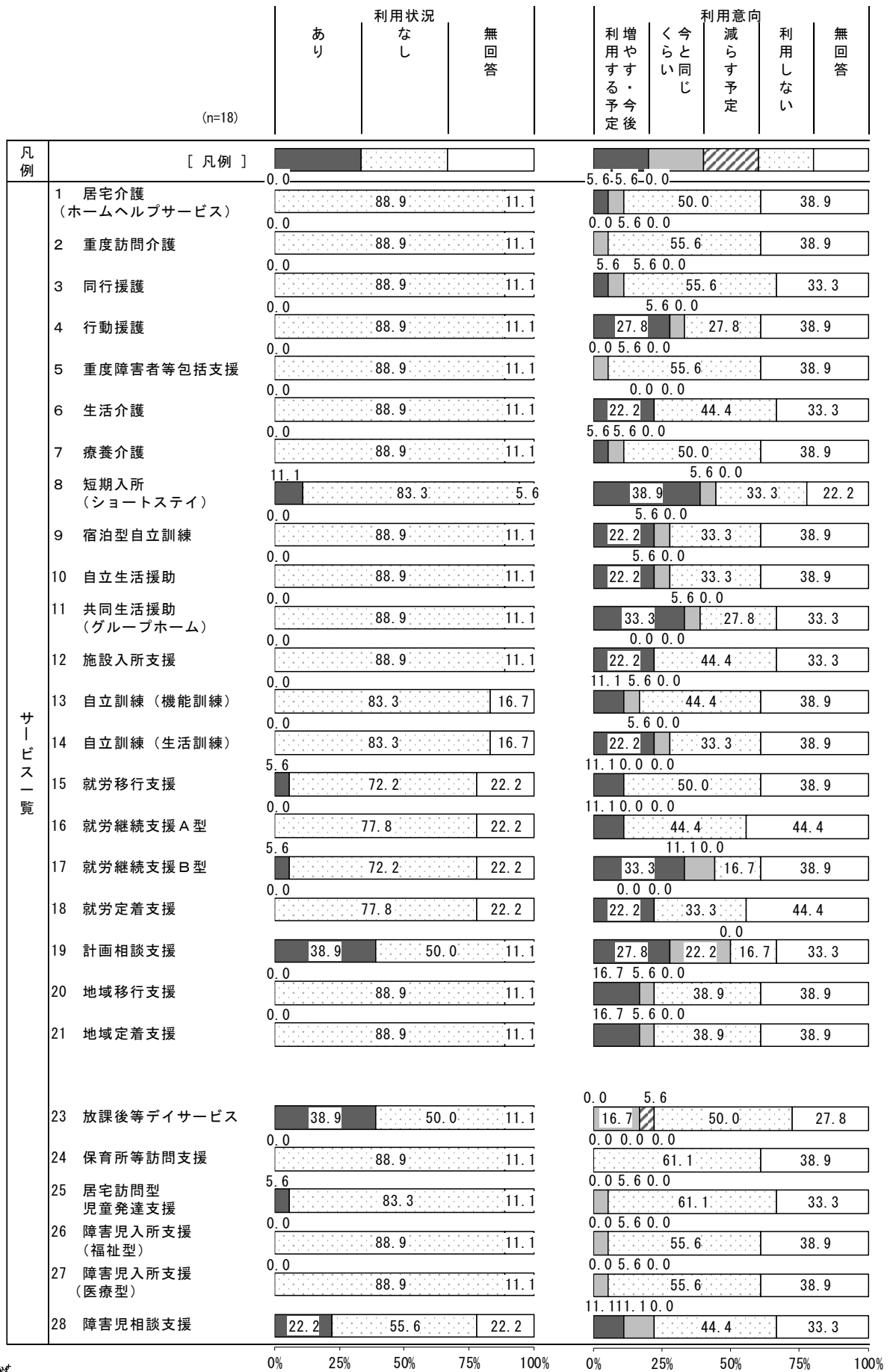
- 利用状況について、「あり」が最も多い項目は、「19 計画相談支援」が69.4%で最も多く、次いで、「12 施設入所支援」が44.4%、「6 生活介護」が41.5%となっています。
- 今後の利用予定について、「増やす・今後利用する予定」が最も多い項目は、「19 計画相談支援」が8.1%で最も多く、次いで、「4 行動援護」が7.7%、「14 自立訓練（生活訓練）」が5.6%となっています。



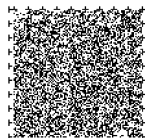
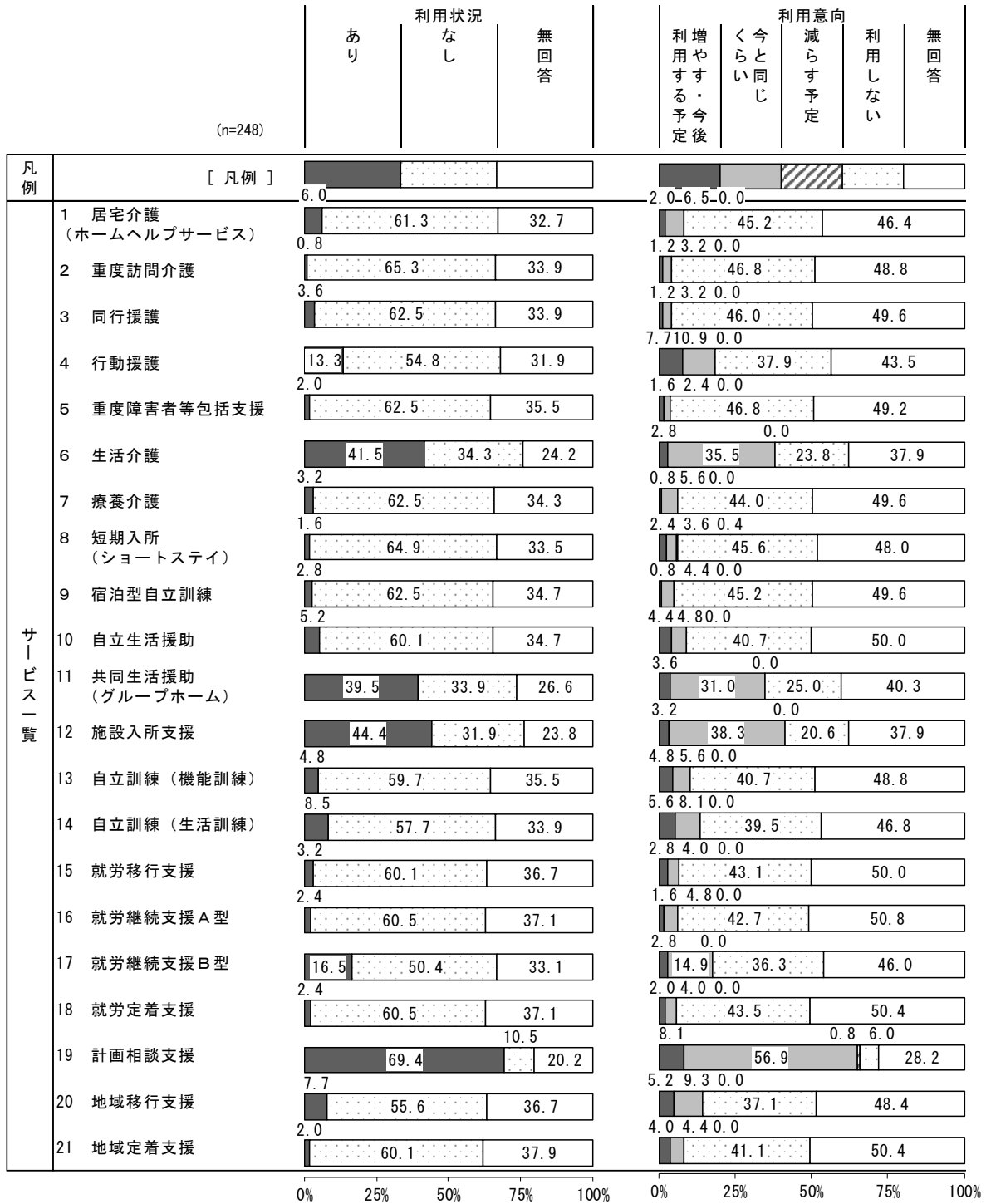
【福祉サービスの利用状況と利用意向（障害者手帳所持者等）】



【福祉サービスの利用状況と利用意向（特別支援学校高等部3年生）】



【福祉サービスの利用状況と利用意向（施設・グループホーム利用者）】

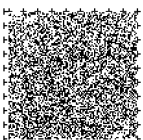
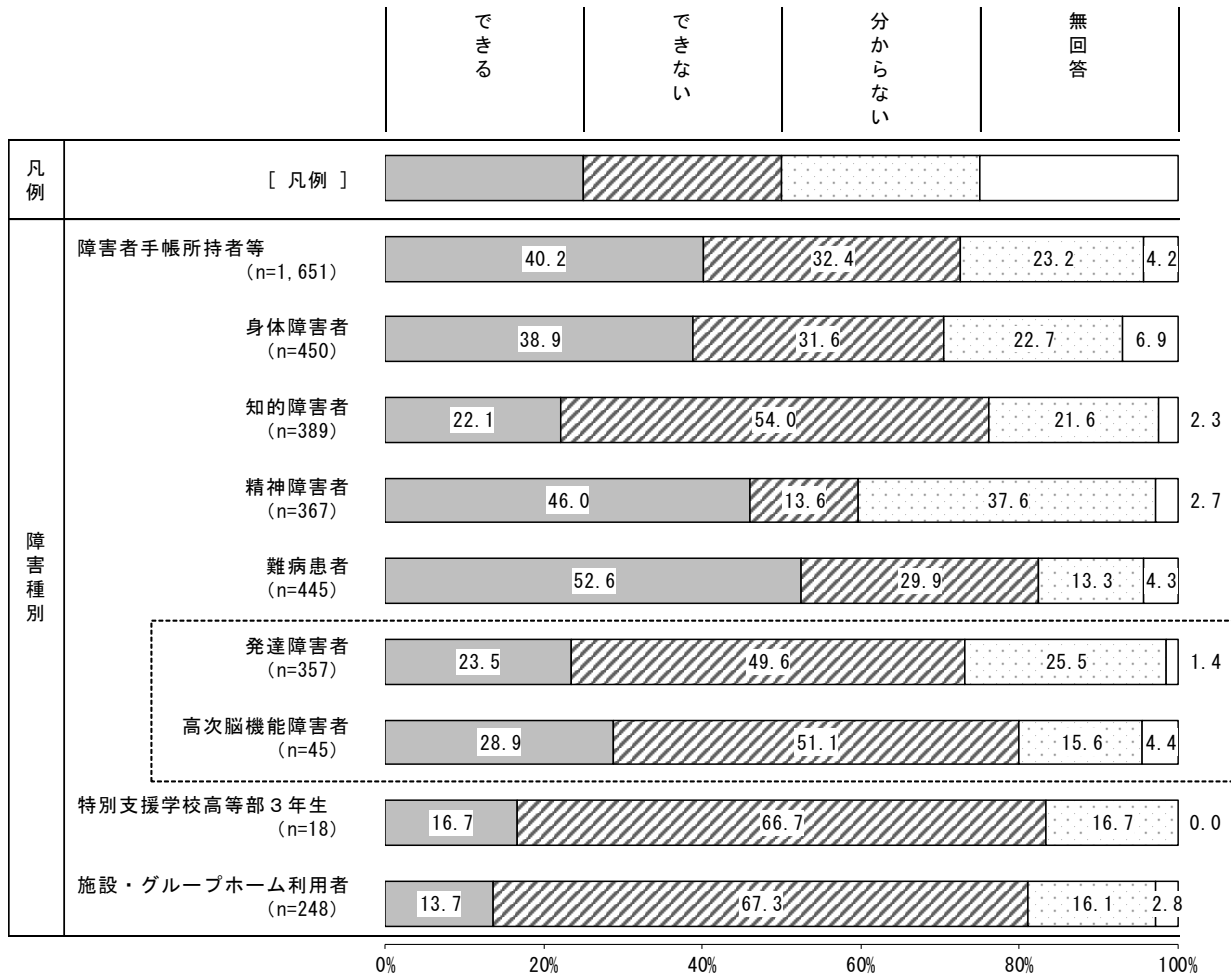


13. 災害時の支援等について

(1) 災害時に一人（自力）で避難することはできますか。

- 災害時の避難の可否について、障害者手帳所持者等は「できる」、特別支援学校高等部3年生、施設・グループホーム利用者は「できない」が最も多くなっています。
- 障害者手帳所持者等の内訳では、身体障害者、精神障害者、難病患者は「できる」、知的障害者、発達障害者、高次脳機能障害者は「できない」が最も多くなっています。

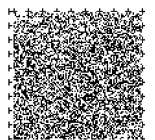
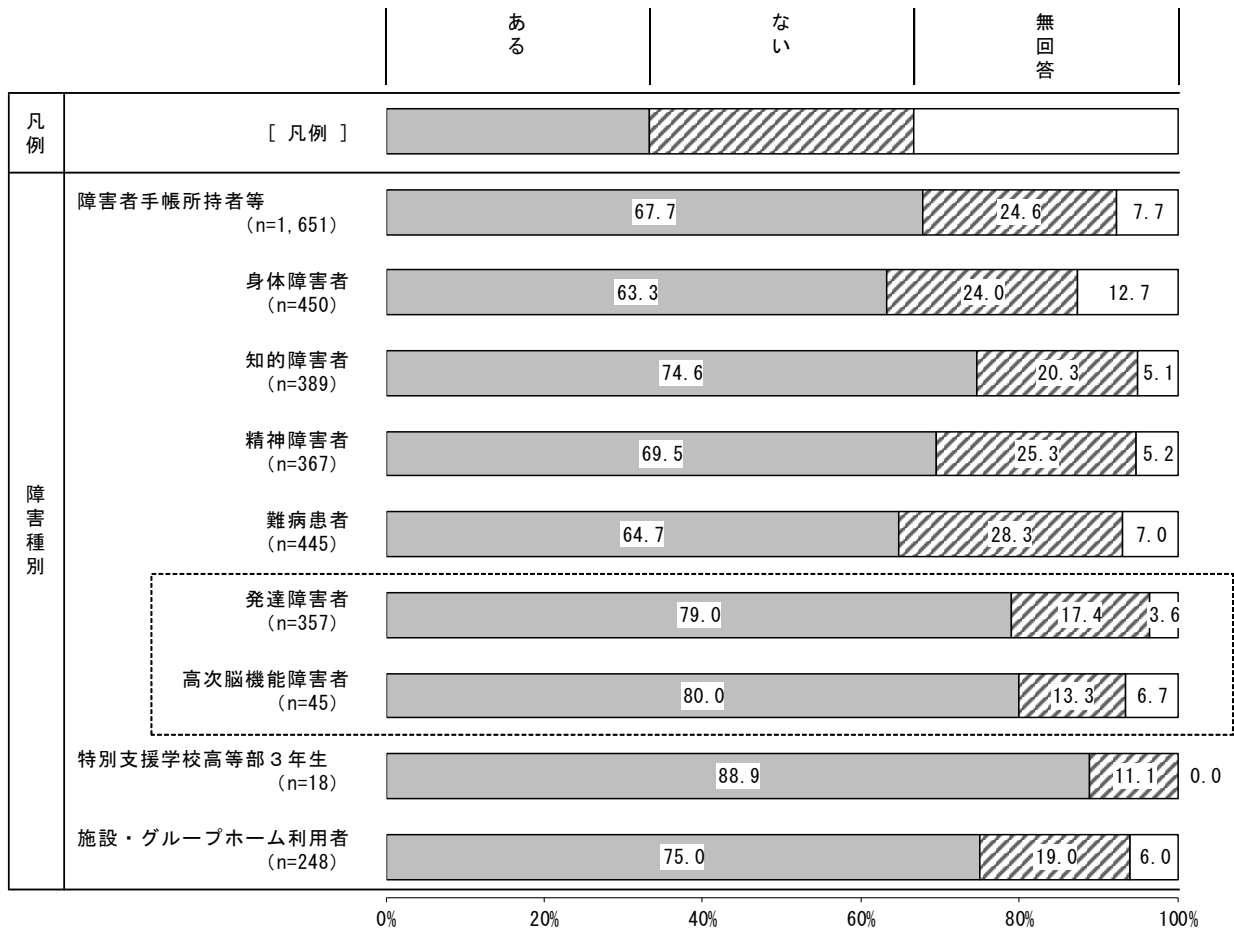
【災害時の避難の可否】



(2) 災害発生時に困ることや不安なことはありますか。

○ 災害発生時に困ることや不安なことの有無について、障害者手帳所持者等、特別支援学校高等部3年生、施設・グループホーム利用者いずれも「ある」が多くなっています。

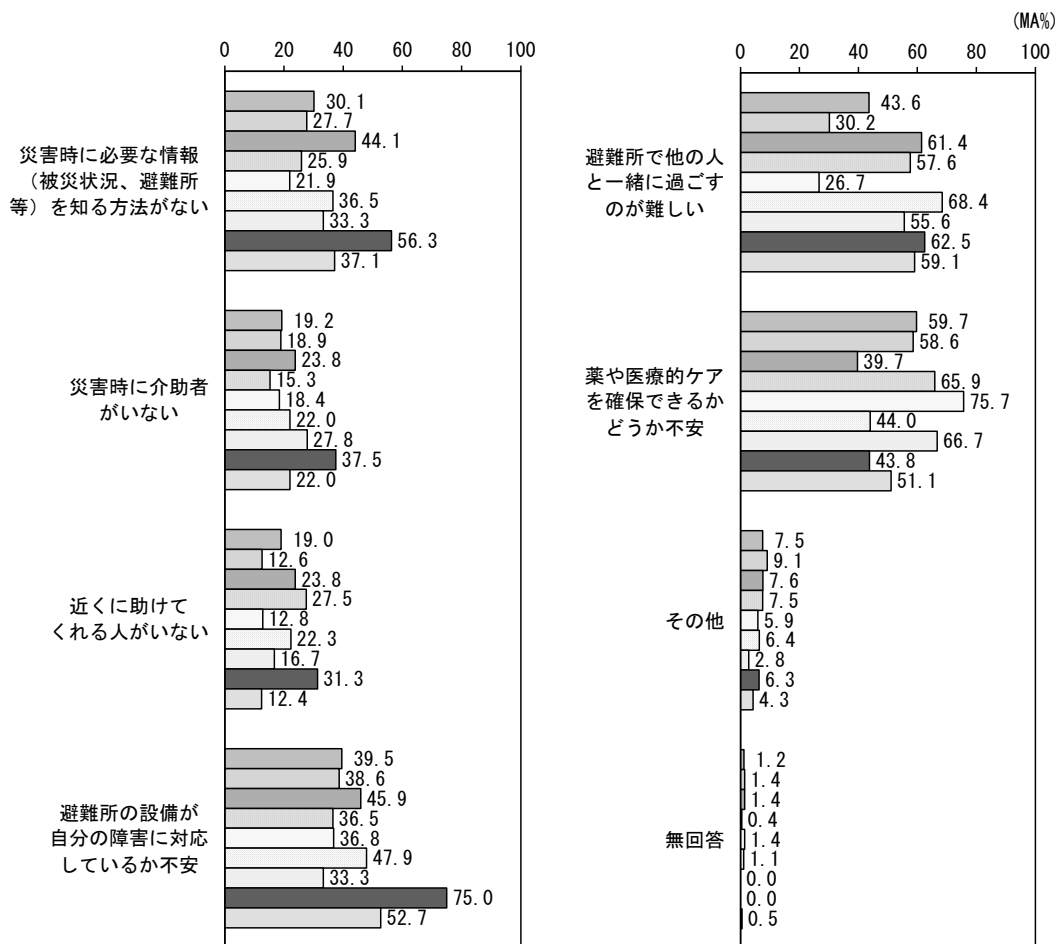
【災害発生時に困ることや不安なことの有無】



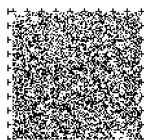
(3) 災害発生時に困ることや不安なことは何ですか。(MA)

- 災害発生時に困ることや不安なことについて、障害者手帳所持者等は「薬や医療的ケアを確保できるかどうか不安」、特別支援学校高等部3年生は「避難所の設備が自分の障害に対応しているか不安」、施設・グループホーム利用者は「避難所で他の人と一緒に過ごすのが難しい」が最も多くなっています。
- 障害者手帳所持者等の内訳では、身体障害者、精神障害者、難病患者、高次脳機能障害者は「薬や医療的ケアを確保できるかどうか不安」、知的障害者、発達障害者は「避難所で他の人と一緒に過ごすのが難しい」が最も多くなっています。

【災害発生時に困ることや不安なこと】



- 障害者手帳所持者等 (n=1,118)
- 身体障害者 (n=285)
- 知的障害者 (n=290)
- 精神障害者 (n=255)
- 難病患者 (n=288)
- 発達障害者 (n=282)
- 高次脳機能障害者 (n=36)
- 特別支援学校高等部3年生 (n=16)
- 施設・グループホーム利用者 (n=186)

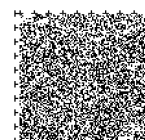
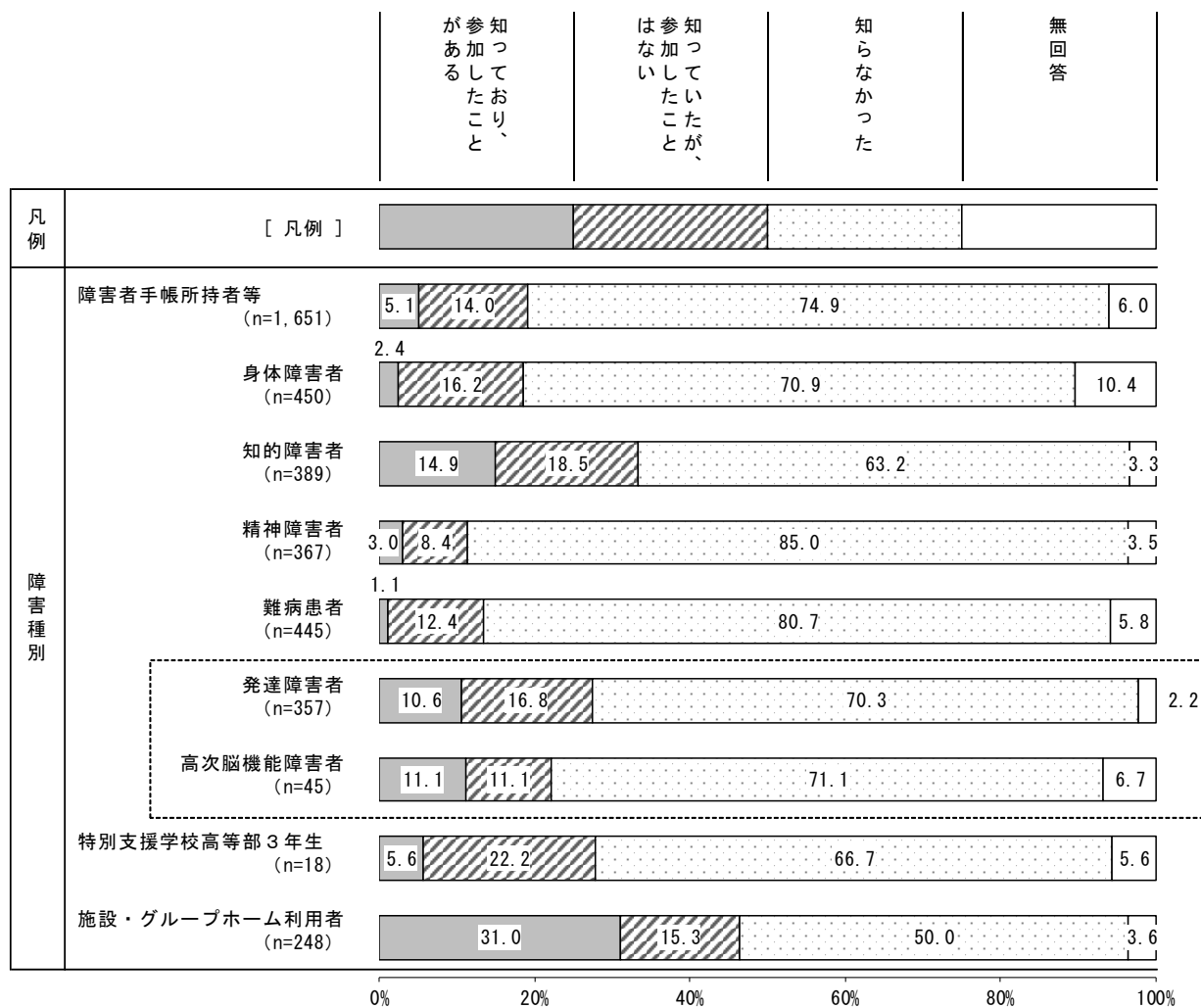


14. 障害者への理解や権利擁護について

(1) 「障害者週間の集い」を知っていましたか。

- 「障害者週間の集い」の認知状況について、障害者手帳所持者等、特別支援学校高等部3年生、施設・グループホーム利用者いずれも「知らなかった」が最も多くなっています。

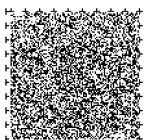
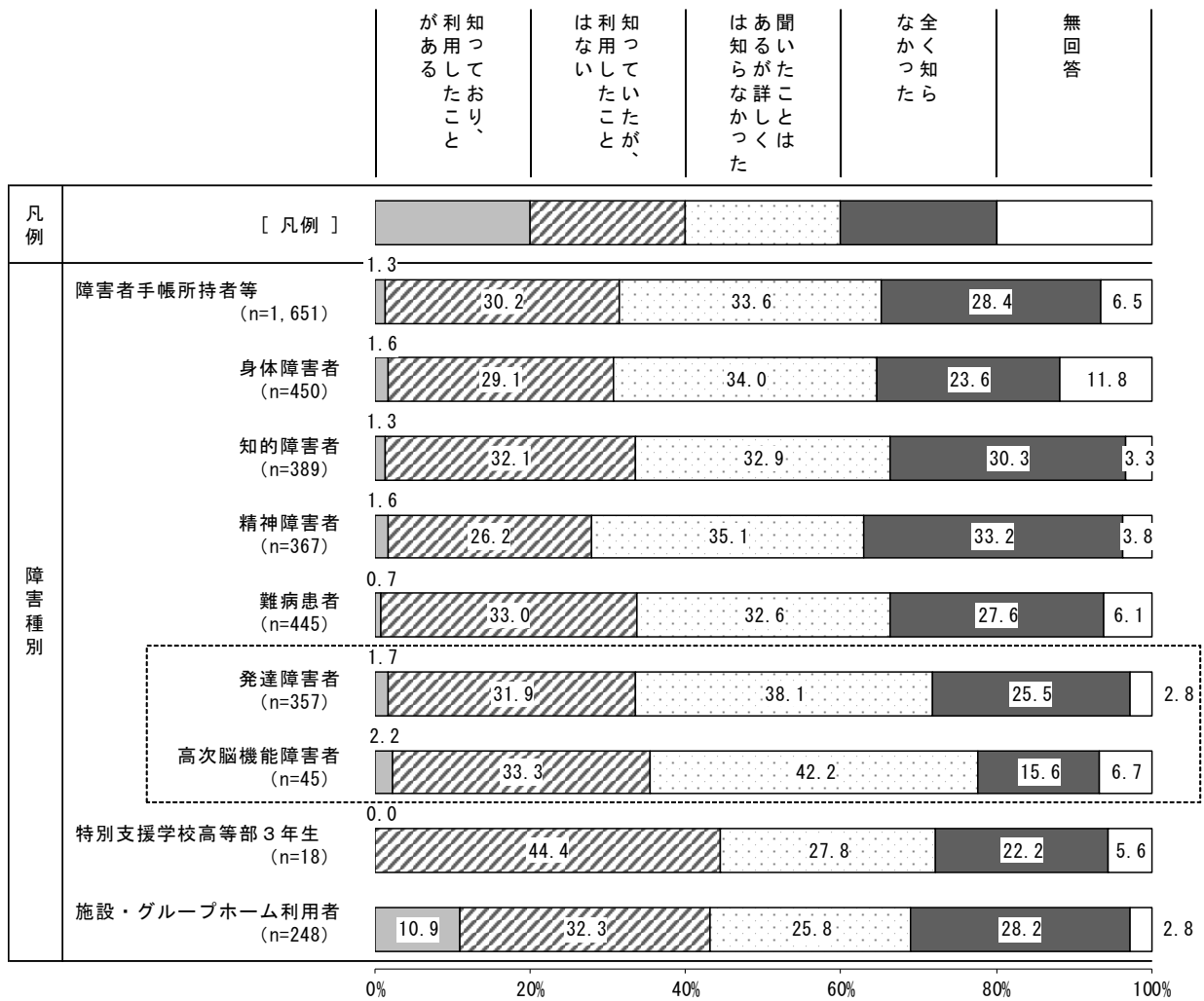
【「障害者週間の集い」の認知状況】



(2) 「成年後見制度」について知っていましたか。

- 「成年後見制度」の認知状況について、障害者手帳所持者等は「聞いたことはあるが詳しくは知らなかった」、特別支援学校高等部3年生、施設・グループホーム利用者は「知っていたが、利用したことはない」が最も多くなっています。
- 障害者手帳所持者等の内訳では、身体障害者、知的障害者、精神障害者、発達障害者、高次脳機能障害者は「聞いたことはあるが詳しくは知らなかった」、難病患者は「知っていたが、利用したことはない」が最も多くなっています。

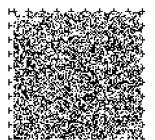
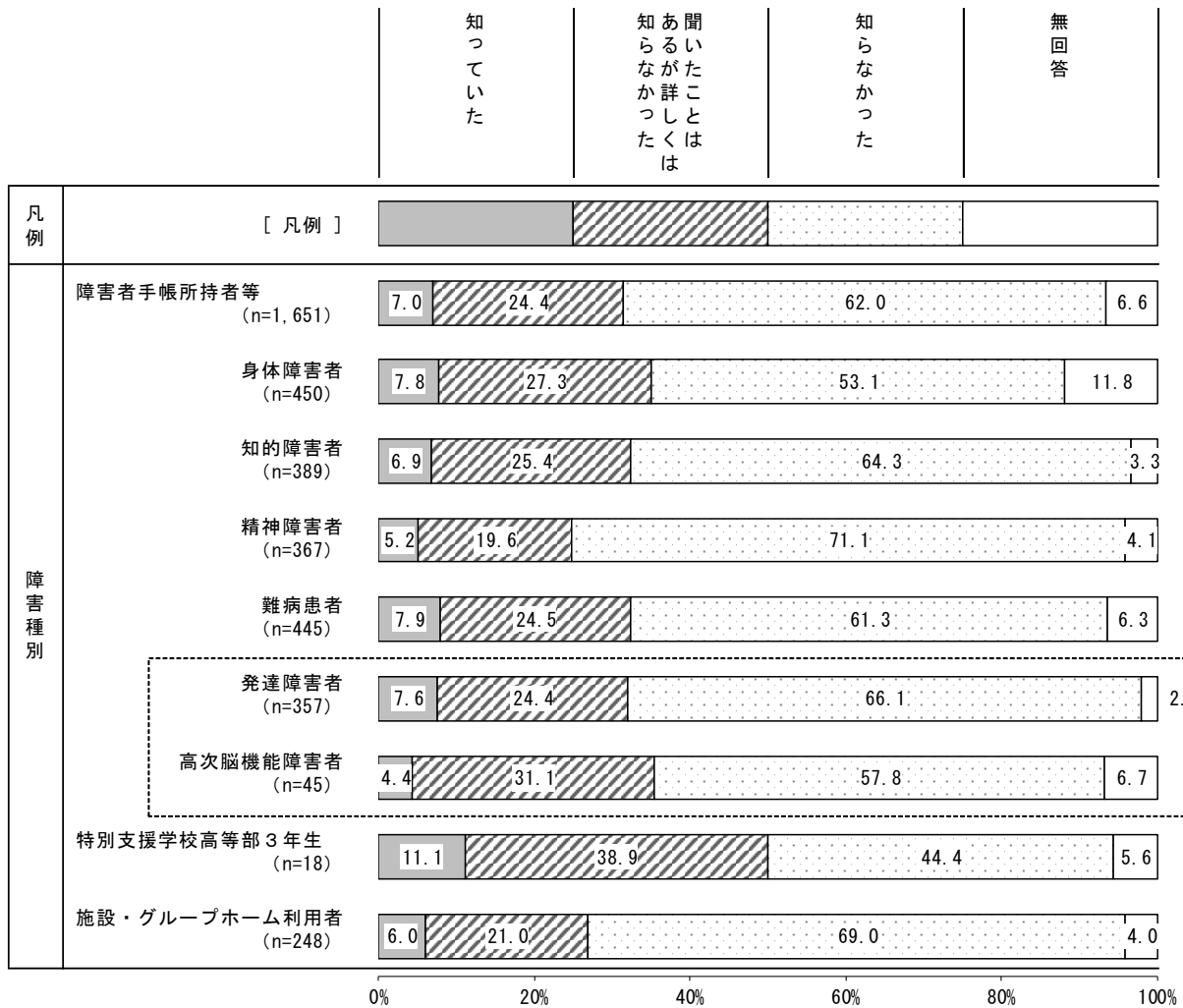
【「成年後見制度」の認知状況】



(3) 「地域共生社会」を知っていましたか。

- 「地域共生社会」の認知状況について、障害者手帳所持者等、特別支援学校高等部3年生、施設・グループホーム利用者いずれも「知らなかった」が最も多くなっています。

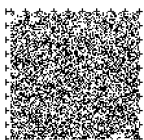
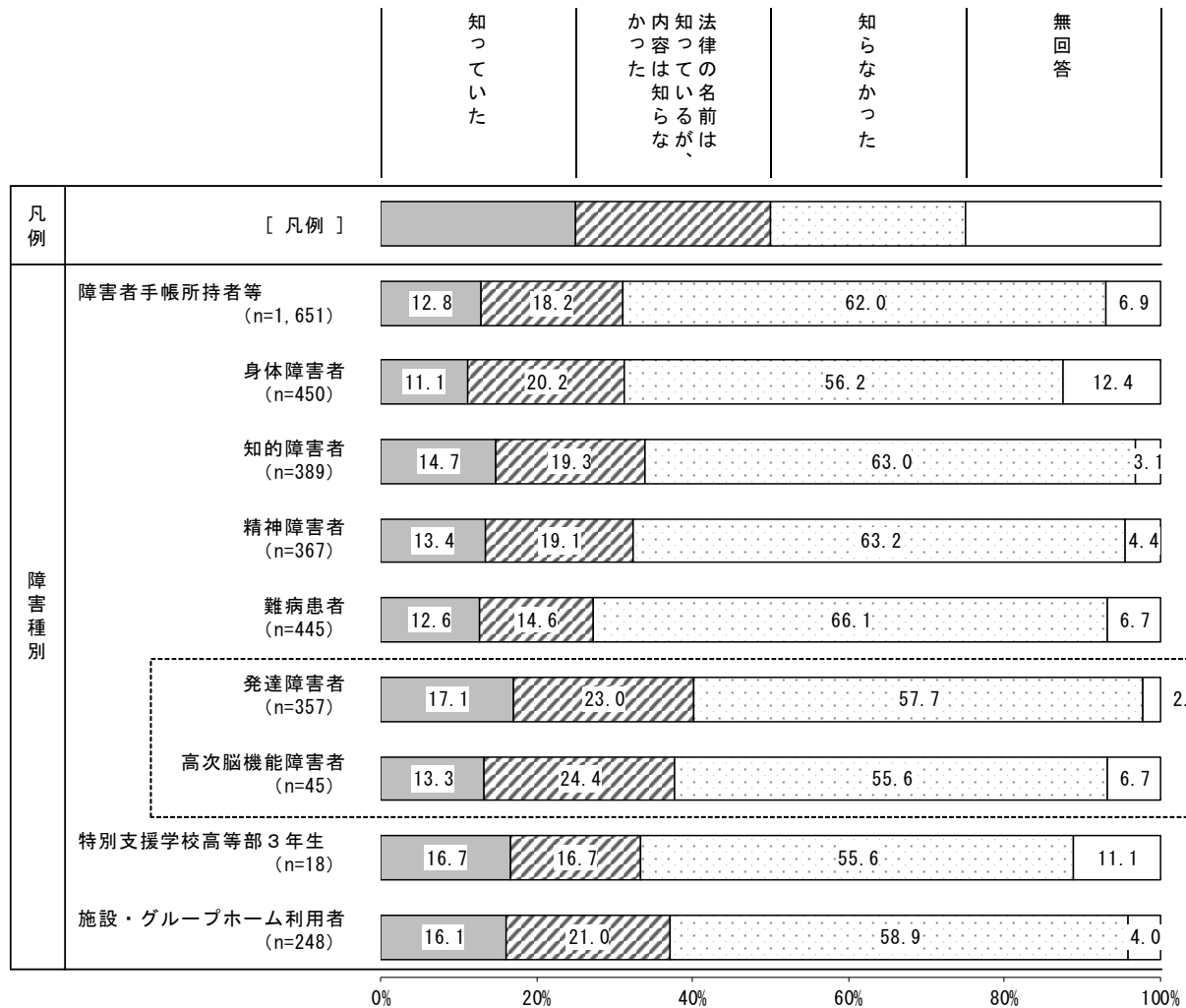
【「地域共生社会」の認知状況】



(4) 「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（障害者差別解消法）」を知っていましたか。

- 「障害者差別解消法」の認知状況について、障害者手帳所持者等、特別支援学校高等部3年生、施設・グループホーム利用者いずれも「知らなかった」が最も多くなっています。

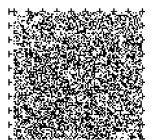
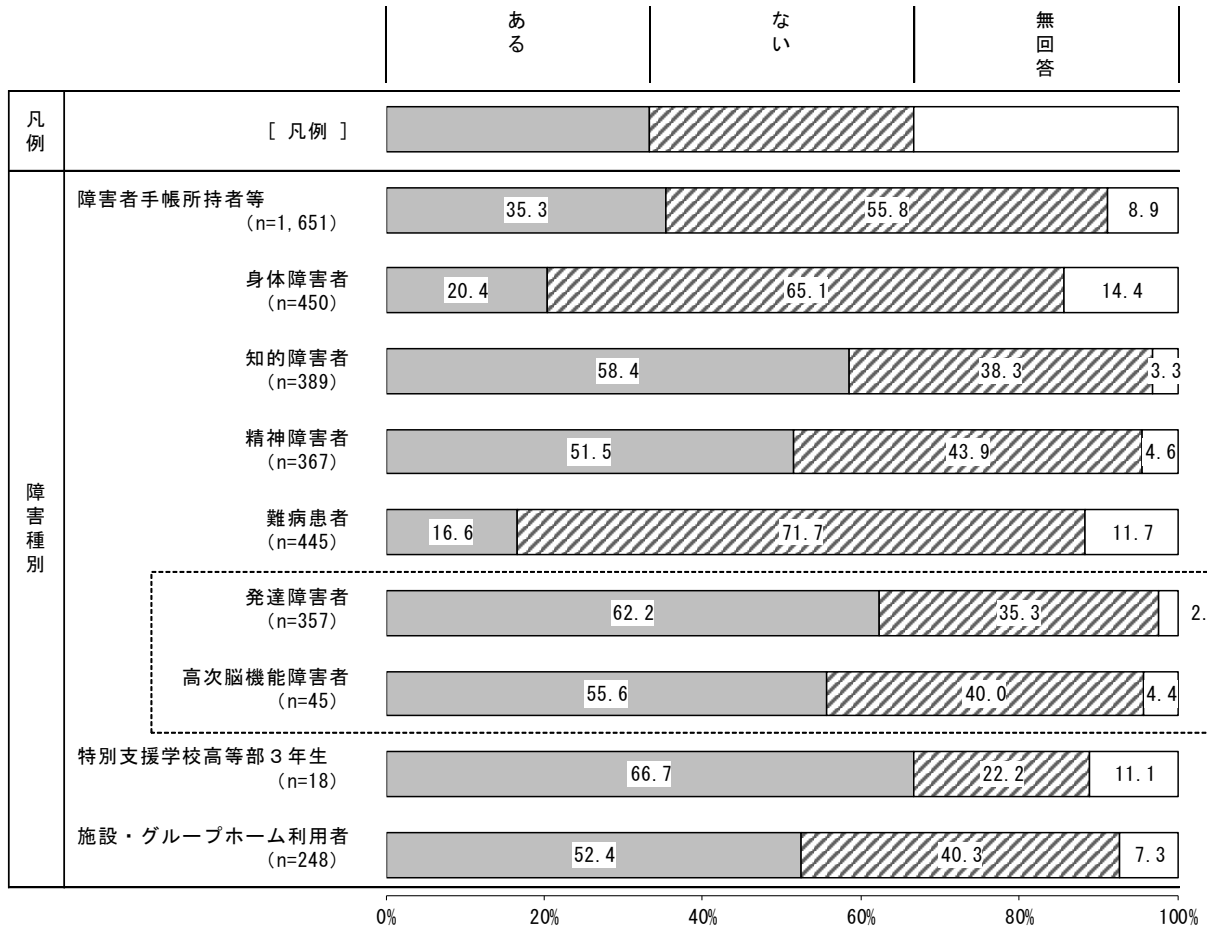
【「障害者差別解消法」の認知状況】



(5) 障害があることで差別を受けたり嫌な思いをしたりすることはありますか。

- 障害があることで差別を受けたり嫌な思いをしたりすることの有無について、障害者手帳所持者等は「ない」、特別支援学校高等部3年生、施設・グループホーム利用者は「ある」が多くなっています。
- 障害者手帳所持者等の内訳では、身体障害者、難病患者は「ない」、知的障害者、精神障害者、発達障害者、高次脳機能障害者は「ある」が多くなっています。

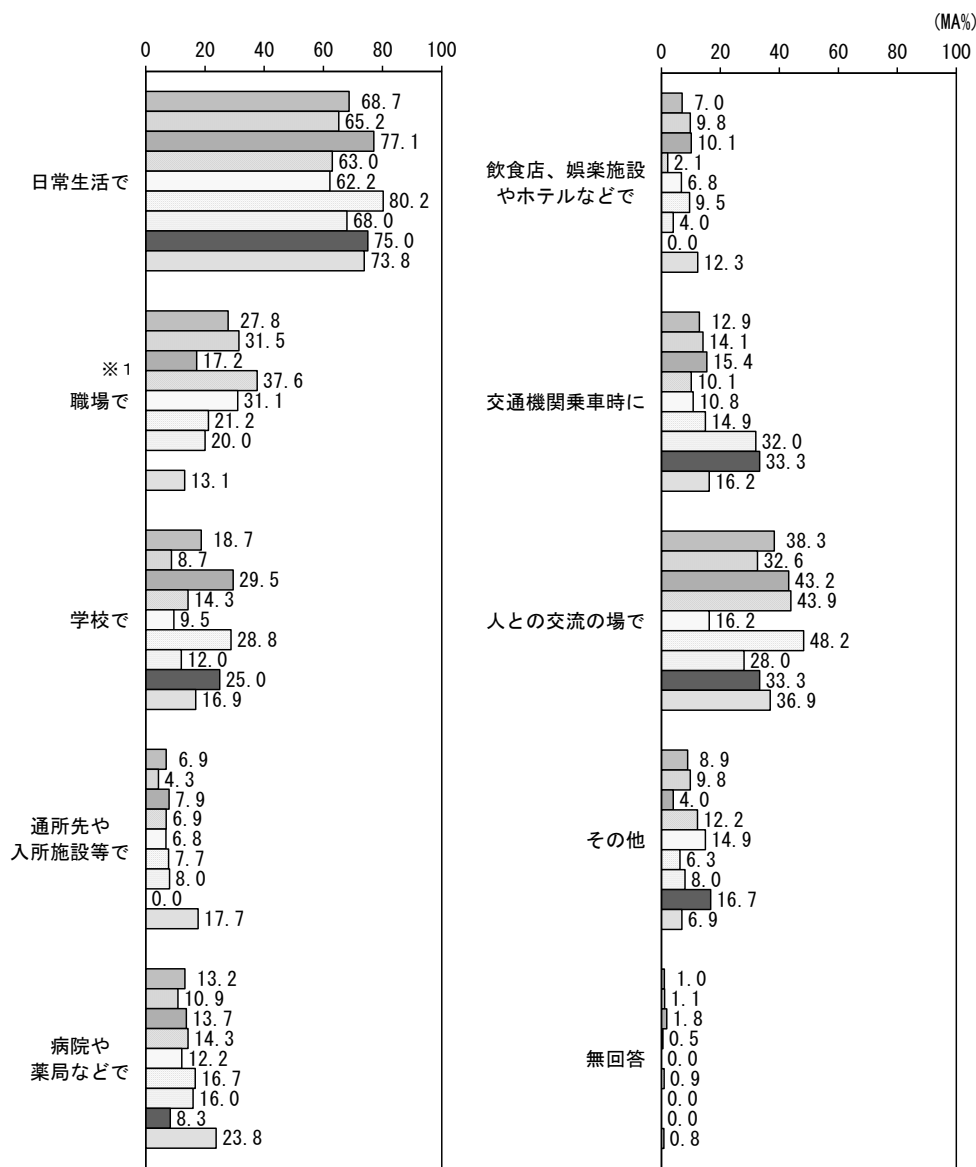
【障害があることで差別を受けたり嫌な思いをしたりすることの有無】



(6) 障害があることで差別を受けたり嫌な思いをしたのはどのような場面ですか。(MA)

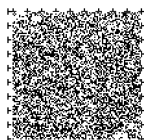
○ 障害があることで差別を受けたり嫌な思いをした場面について、障害者手帳所持者等、特別支援学校高等部3年生、施設・グループホーム利用者いずれも「日常生活で」が最も多くなっています。

【障害があることで差別を受けたり嫌な思いをした場面】



- 障害者手帳所持者等 (n=582)
- 身体障害者 (n=92)
- 知的障害者 (n=227)
- 精神障害者 (n=189)
- 難病患者 (n=74)
- 発達障害者 (n=222)
- 高次脳機能障害者 (n=25)
- 特別支援学校高等部3年生 (n=12)
- 施設・グループホーム利用者 (n=130)

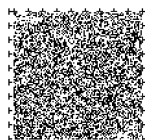
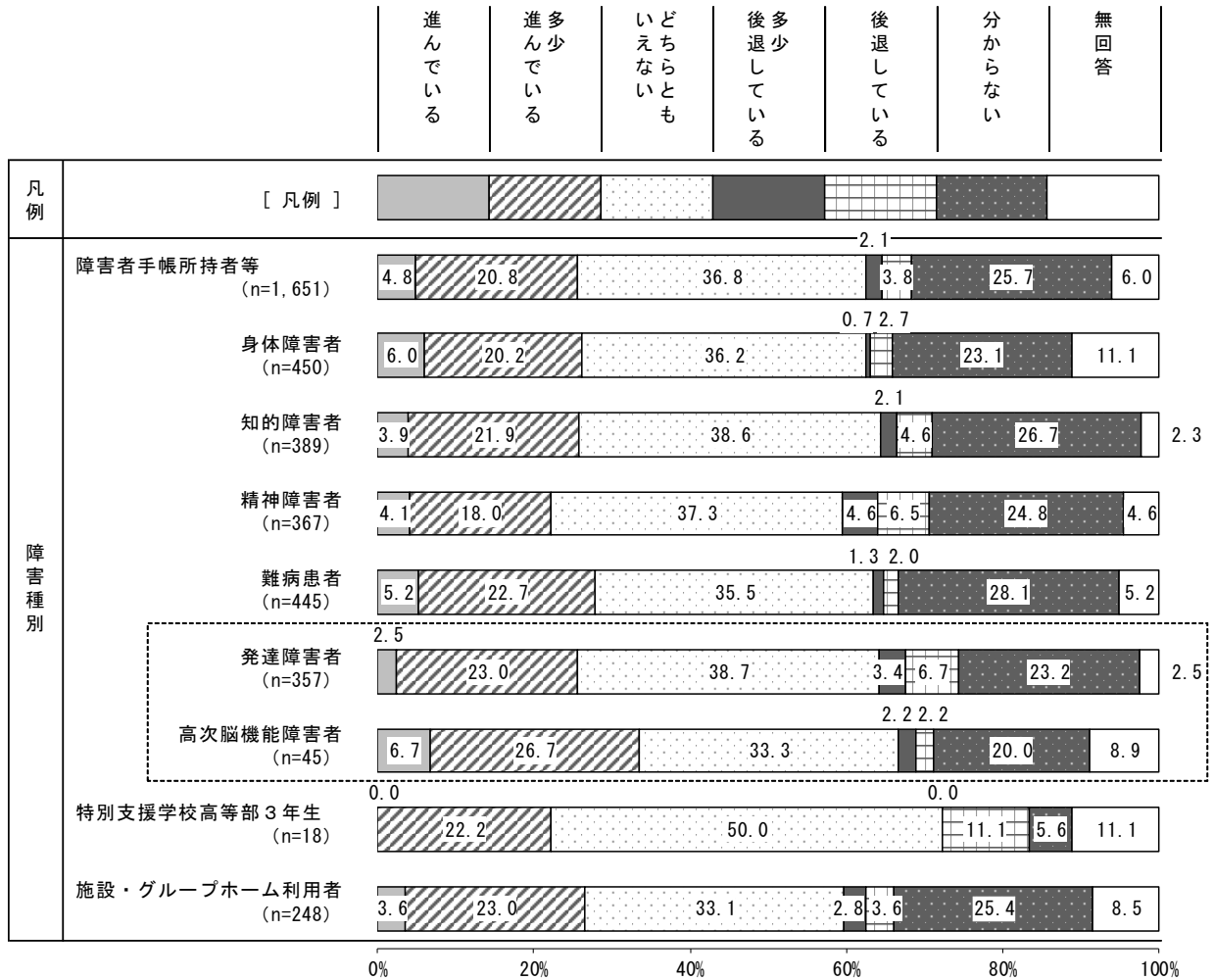
※1 「職場で」は、障害者手帳所持者等、施設・グループホーム利用者からのみの選択肢



(7) 障害に対する市民の理解について、進んでいると感じますか。

○ 障害に対する市民の理解が進んでいると感じるかについて、障害者手帳所持者等、特別支援学校高等部3年生、施設・グループホーム利用者いずれも「どちらともいえない」が最も多くなっています。

【障害に対する市民の理解が進んでいると感じるか】



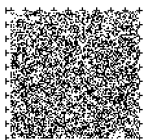
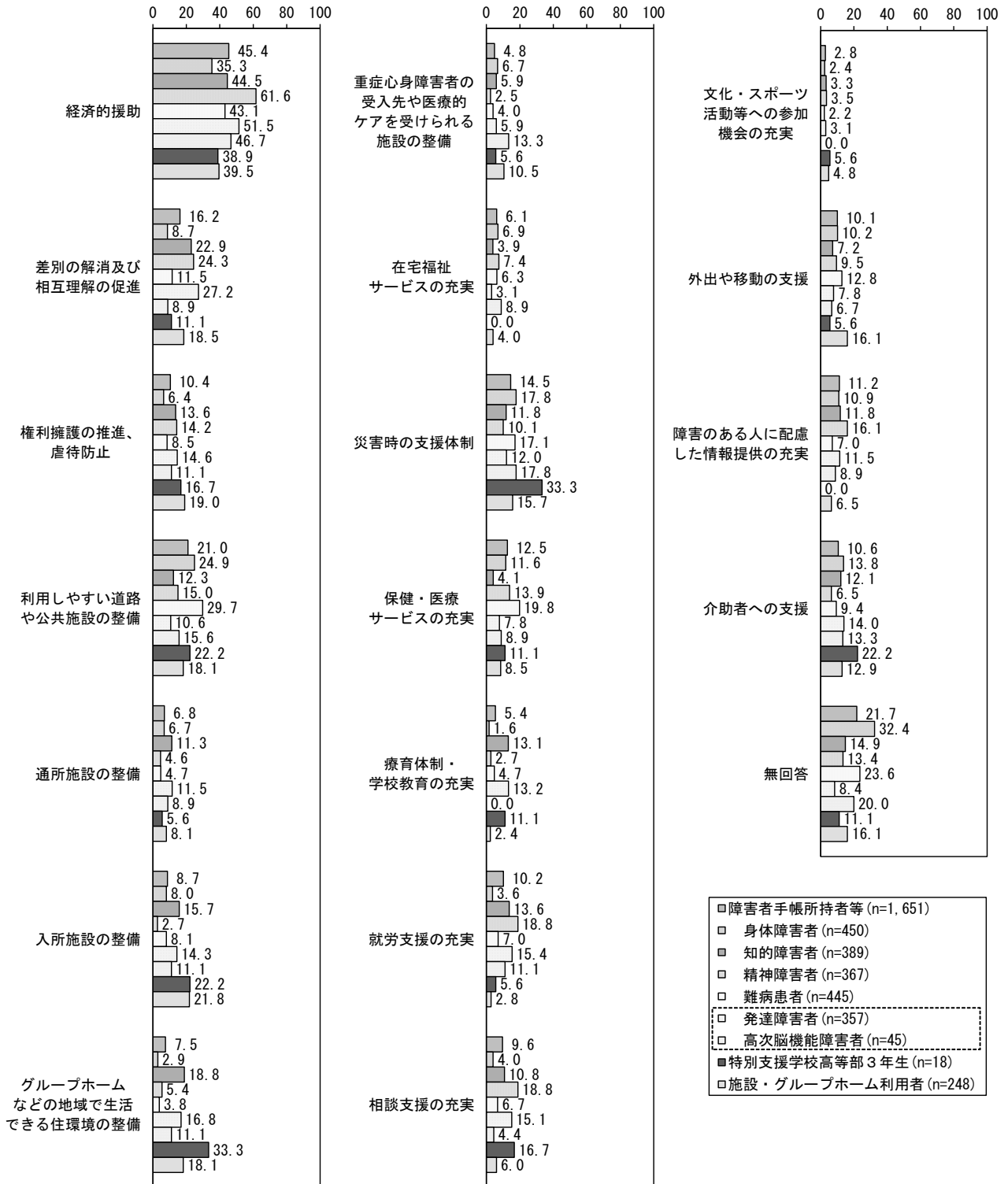
15. 市の取り組み等について

(1) 次の市の取り組みで、改善してほしいことを教えてください。(3LA)

○ 改善してほしい市の取り組みについて、障害者手帳所持者等、特別支援学校高等部3年生、施設・グループホーム利用者いずれも「経済的援助」が最も多くなっています。

【改善してほしい市の取り組み】

(MA%)

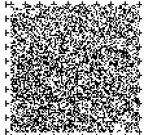
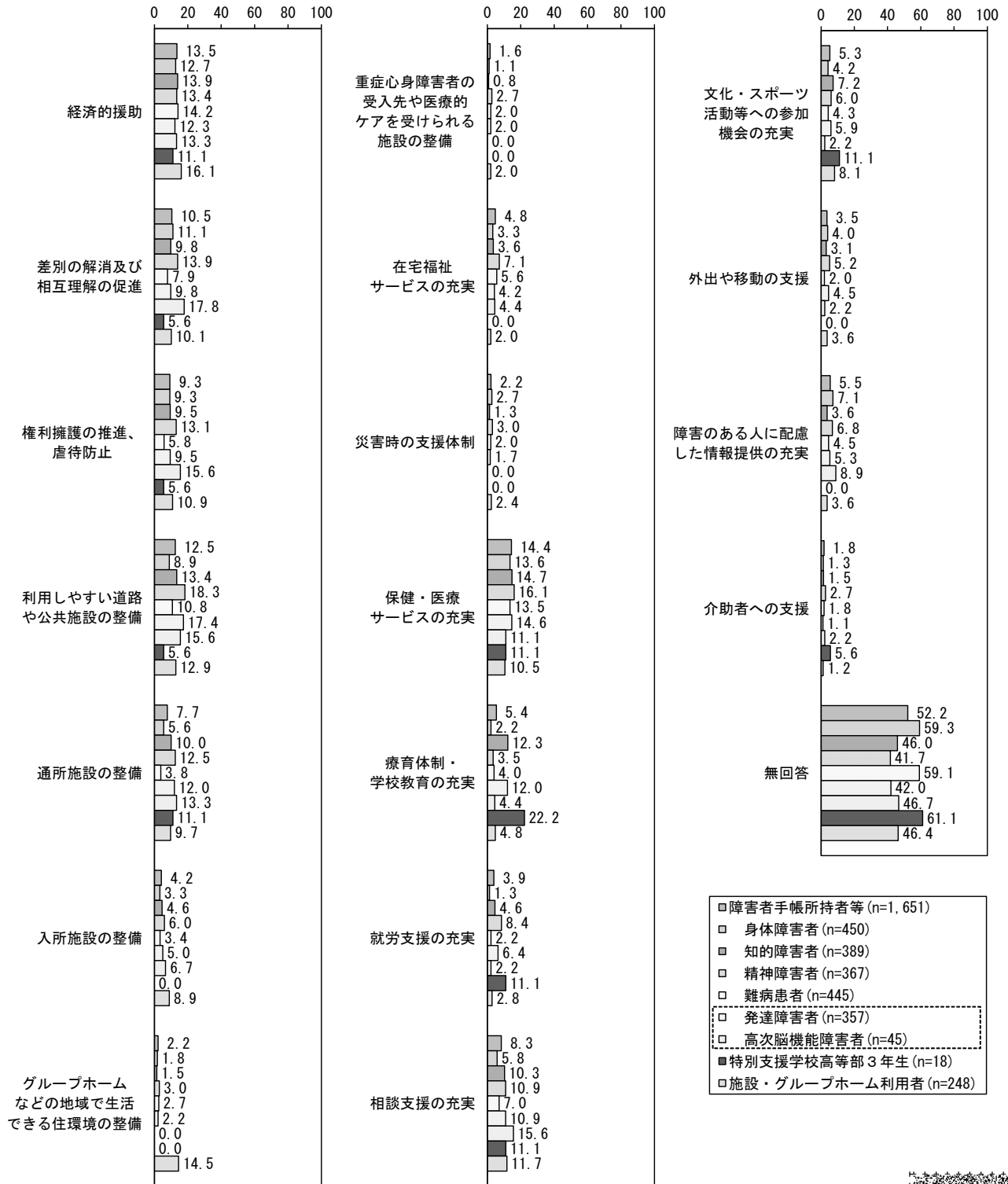


(2) 次の市の取り組みで、満足していることを教えてください。(3LA)

- 満足している市の取り組みについて、障害者手帳所持者等は「保健・医療サービスの充実」、特別支援学校高等部3年生は「療育体制・学校教育の充実」、施設・グループホーム利用者は「経済的援助」が最も多くなっています。
- 障害者手帳所持者等の内訳では、身体障害者は「保健・医療サービスの充実」、精神障害者、発達障害者は「利用しやすい道路や公共施設の整備」、難病患者は「経済的援助」、高次脳機能障害者は「差別の解消及び相互理解の促進」が最も多くなっています。

【満足している市の取り組み】

(MA%)

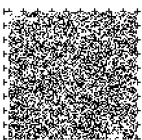
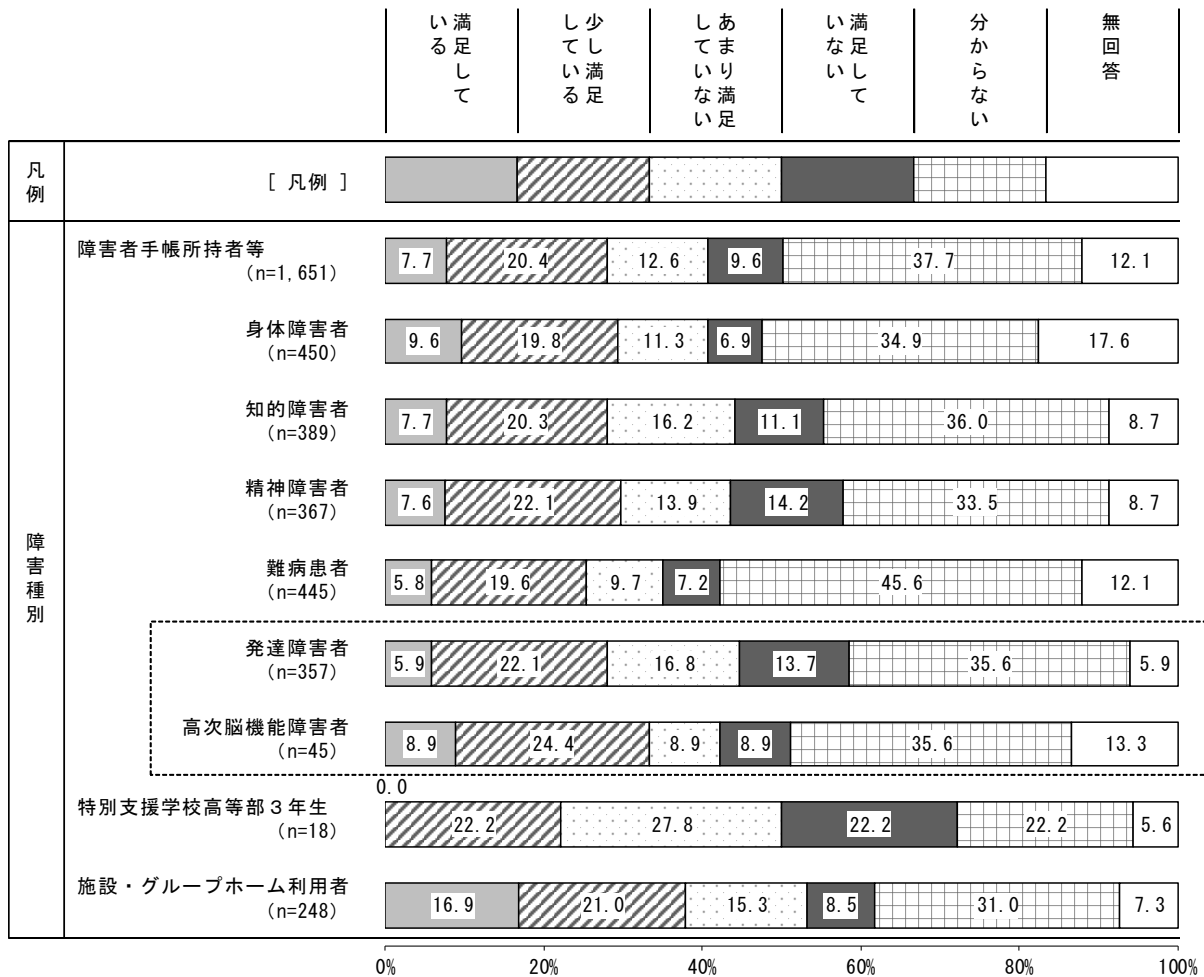


16. 市の障害者施策の満足度について

(1) 川越市の障害者施策について、満足していますか。

- 川越市の障害者施策に対する満足度について、障害者手帳所持者等、施設・グループホーム利用者は「分からない」、特別支援学校高等部3年生は「あまり満足していない」が最も多くなっています。

【川越市の障害者施策に対する満足度】

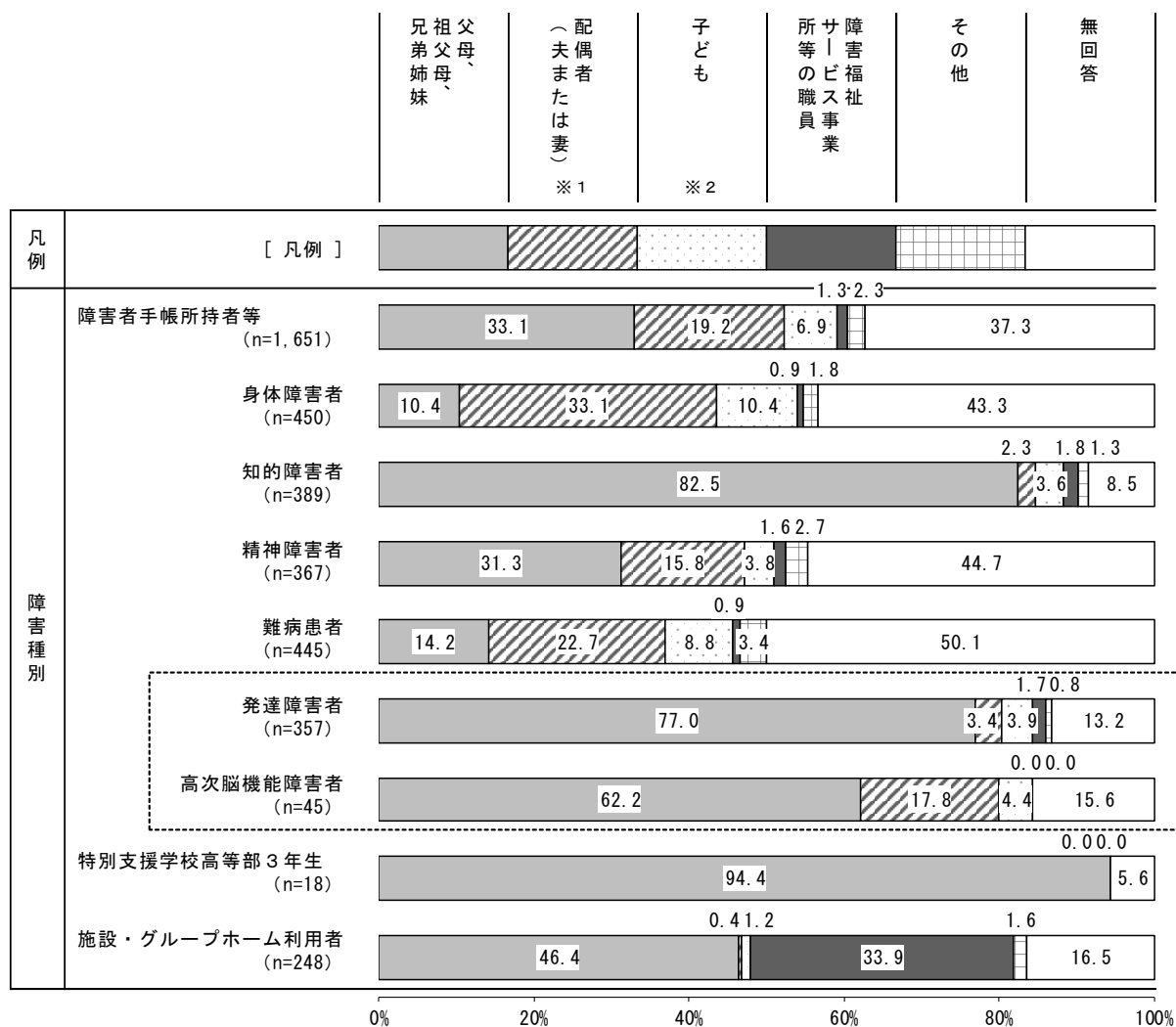


17. 介助者向けアンケート

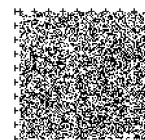
(1) ご本人との関係は次のうちどれですか。

- 介助者と本人の関係について、障害者手帳所持者等、特別支援学校高等部3年生、施設・グループホーム利用者いずれも「父母、祖父母、兄弟姉妹」が最も多くなっています。
- 障害者手帳所持者等の内訳では、身体障害者、難病患者は「配偶者（夫または妻）」、知的障害者、精神障害者、発達障害者、高次脳機能障害者は「父母、祖父母、兄弟姉妹」が最も多くなっています。

【介助者と本人の関係】



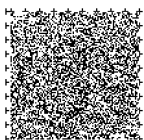
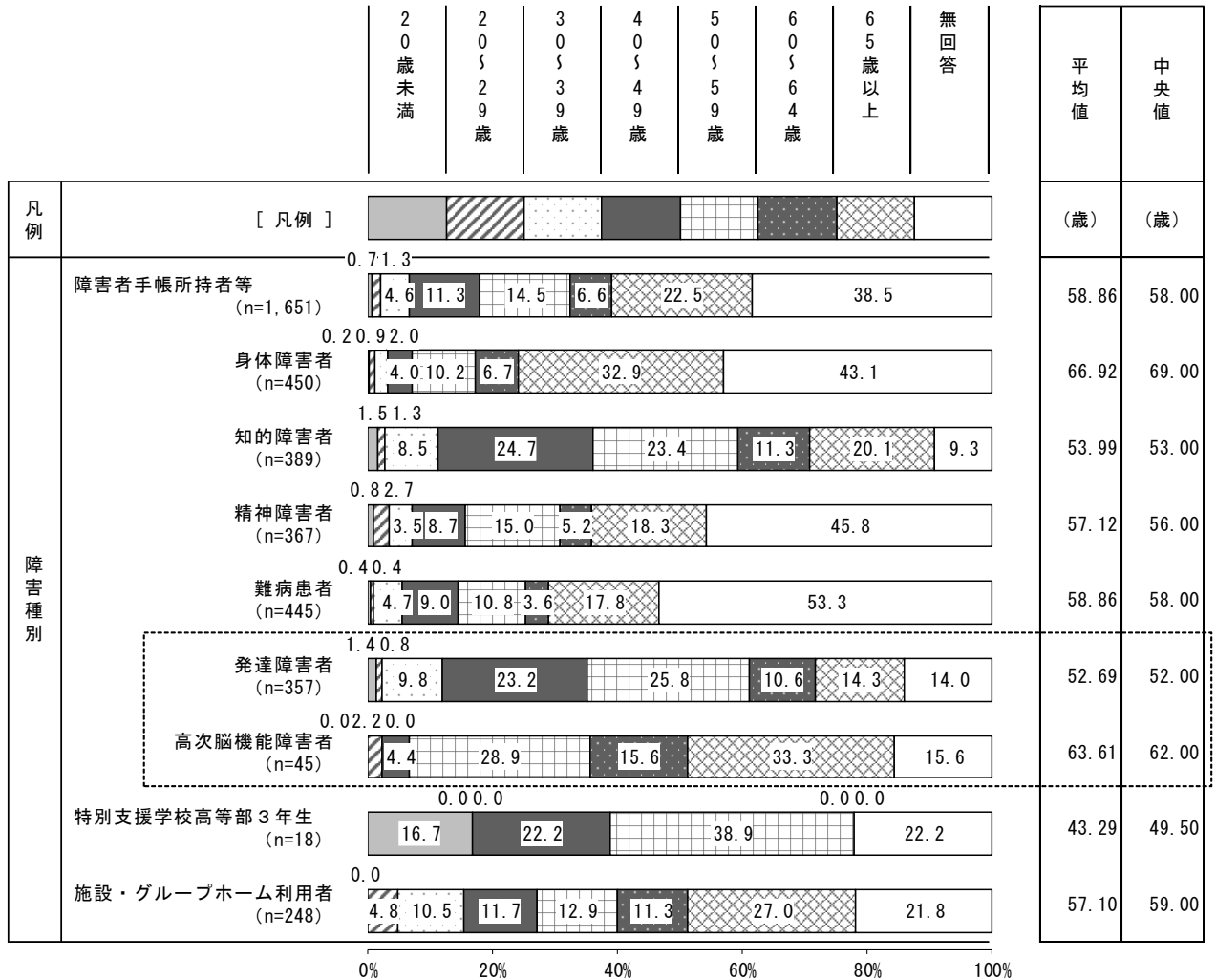
※1、※2 「配偶者（夫または妻）」「子ども」は障害者手帳所持者等、施設・グループホーム利用者のみの選択肢



(2) 年齢を以下にご記入ください。(令和7年9月1日現在)

- 介助者の年齢について、障害者手帳所持者等、施設・グループホーム利用者は「65歳以上」、特別支援学校高等部3年生は「50～59歳」が最も多くなっています。
- 障害者手帳所持者等の内訳では、身体障害者、精神障害者、難病患者、高次脳機能障害者は「65歳以上」、知的障害者は「40～49歳」、発達障害者は「50～59歳」が最も多くなっています。

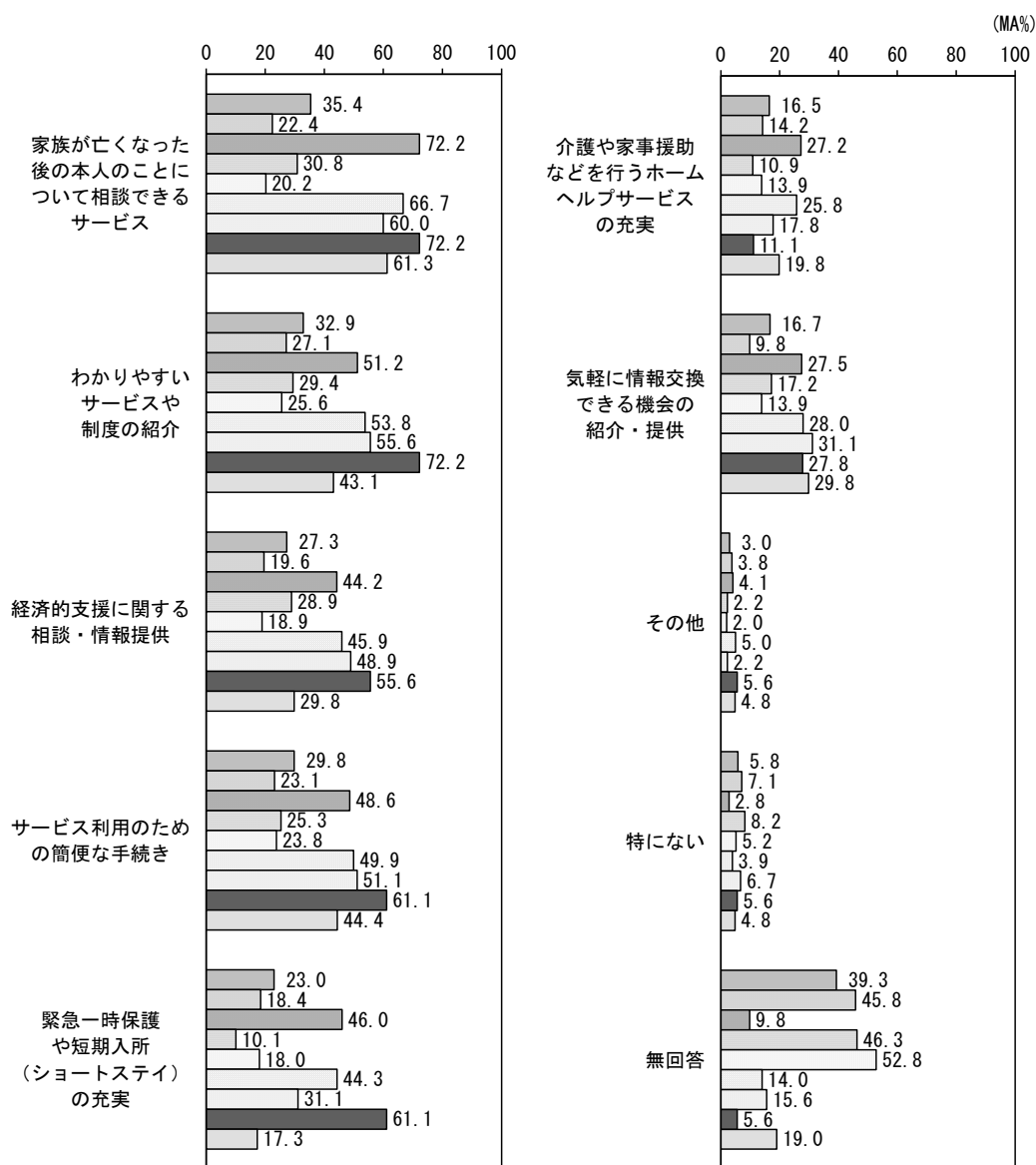
【介助者の年齢】



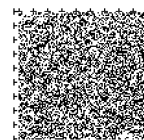
(3) 介助者に必要と思われる支援はありますか。(MA)

- 介助者に必要な支援について、障害者手帳所持者等、施設・グループホーム利用者は「家族が亡くなった後の本人のすることについて相談できるサービス」、特別支援学校高等部3年生は「家族が亡くなった後の本人のすることについて相談できるサービス」と「わかりやすいサービスや制度の紹介」が最も多くなっています。
- 障害者手帳所持者等の内訳では、身体障害者、難病患者は「わかりやすいサービスや制度の紹介」、知的障害者、精神障害者、発達障害者、高次脳機能障害者は「家族が亡くなった後の本人のすることについて相談できるサービス」が最も多くなっています。

【介助者に必要な支援】



- 障害者手帳所持者等 (n=1,651)
- 身体障害者 (n=450)
- 知的障害者 (n=389)
- 精神障害者 (n=367)
- 難病患者 (n=445)
- 発達障害者 (n=357)
- 高次脳機能障害者 (n=45)
- 特別支援学校高等部3年生 (n=18)
- 施設・グループホーム利用者 (n=248)



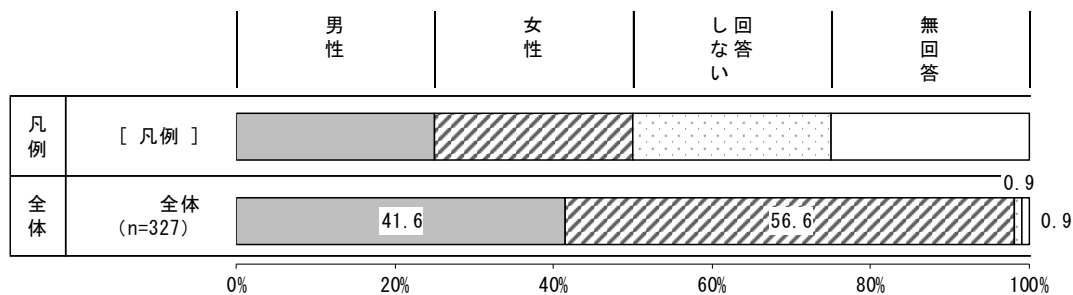
調査結果Ⅱ 障害のない市民向け調査

1. 記入者・本人のことについて

(1) あなたの性別をお答えください。

○ 性別について、「女性」が56.6%で最も多く、次いで「男性」が41.6%、「回答しない」が0.9%となっています。

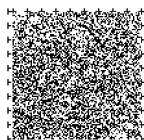
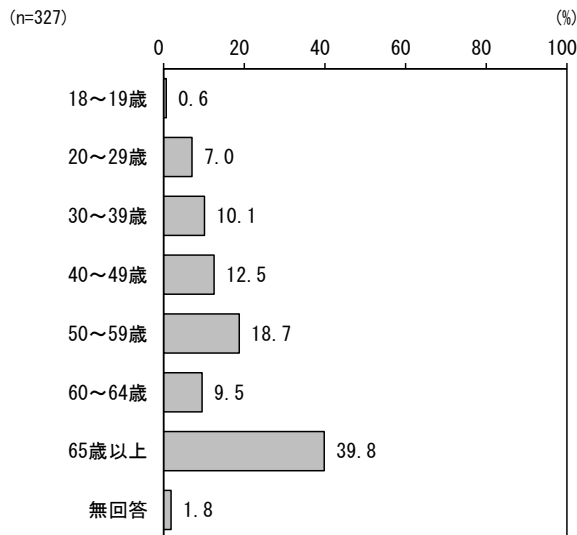
【性別】



(2) 年齢

○ 年齢について、「65歳以上」が39.8%で最も多く、次いで「50～59歳」が18.7%、「40～49歳」が12.5%となっています。

【年齢】

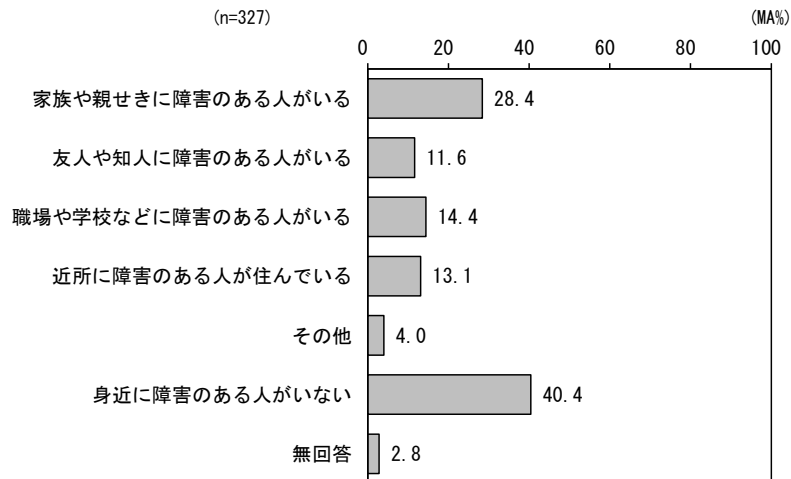


2. 障害者との関わりについて

(1) 身近に障害のある人はいますか。(MA)

- 身近に障害のある人はいるかについて、「身近に障害のある人がいない」が 40.4%で最も多く、次いで「家族や親せきに障害のある人がいる」が 28.4%、「職場や学校などに障害のある人がいる」が 14.4%となっています。

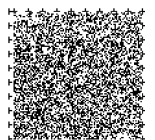
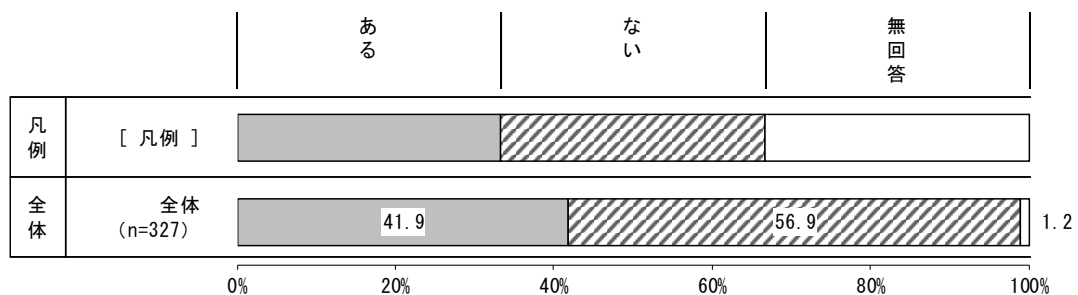
【身近に障害のある人はいるか】



(2) 普段の生活で、障害のある人と接する機会がありますか。

- 障害のある人と接する機会について、「ある」が 41.9%、「ない」が 56.9%となっています。

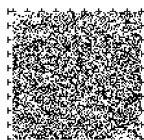
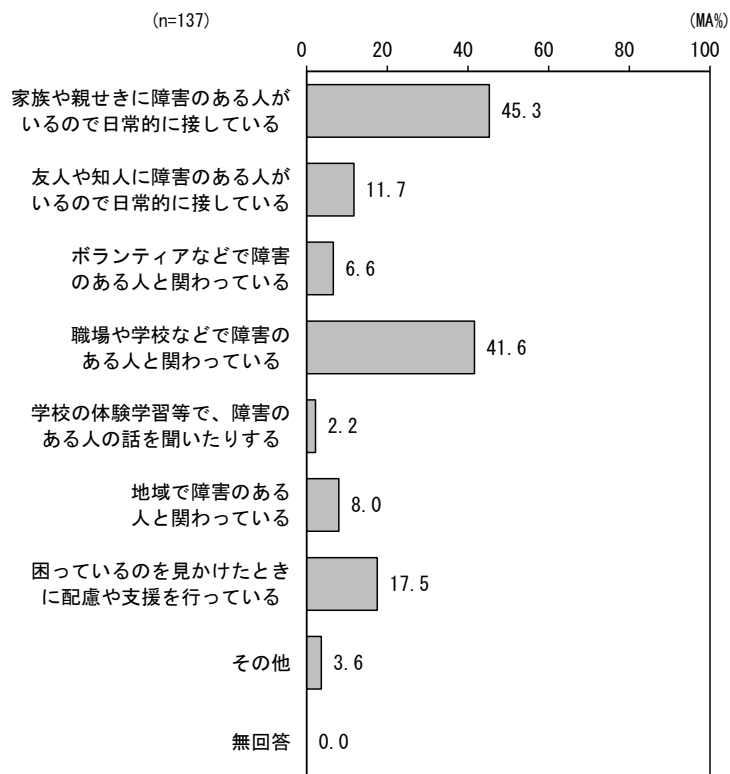
【障害のある人と接する機会】



(3) 障害のある人と接するのはどのような場面ですか。(MA)

- 障害のある人と接する場面について、「家族や親せきに障害のある人がいるので日常的に接している」が 45.3%で最も多く、次いで「職場や学校などで障害のある人と関わっている」が 41.6%、「困っているのを見かけたときに配慮や支援を行っている」が 17.5%となっています。

【障害のある人と接する場面】

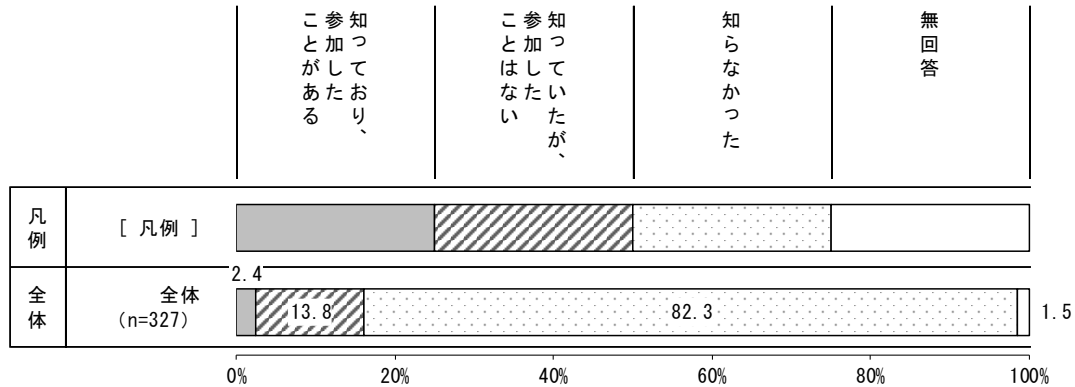


3. 障害福祉の知識について

(1) 「障害者週間の集い」を知っていますか。

- 障害者週間の集いの認知状況について、「知らなかった」が 82.3%で最も多く、次いで「知っていたが、参加したことはない」が 13.8%、「知っており、参加したことがある」が 2.4%となっています。「知っており、参加したことがある」「知っていたが、参加したことはない」を合わせた“知っている”は 16.2%となっています。

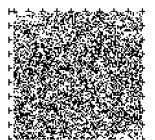
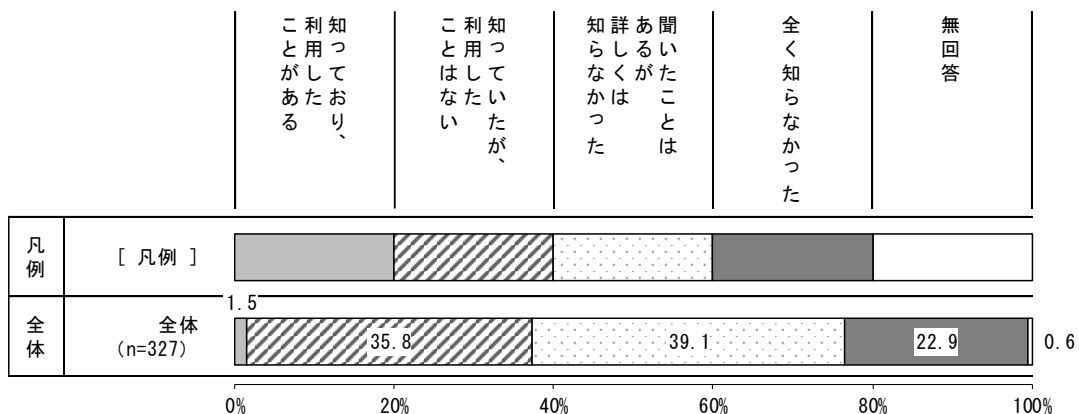
【障害者週間の集いの認知状況】



(2) 「成年後見制度」について知っていましたか。

- 成年後見制度の認知状況について、「聞いたことはあるが詳しくは知らなかった」が 39.1%で最も多く、次いで「知っていたが、利用したことはない」が 35.8%、「全く知らなかった」が 22.9%となっています。「知っており、利用したことがある」「知っていたが、利用したことはない」を合わせた“知っている”は 37.3%となっています。

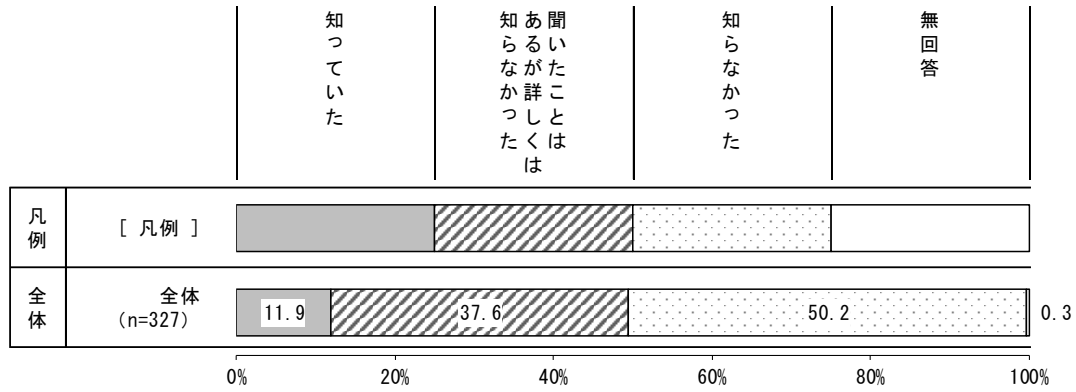
【成年後見制度の認知状況】



(3) 「地域共生社会」を知っていますか。

- 地域共生社会の認知状況について、「知らなかった」が 50.2%で最も多く、次いで「聞いたことはあるが詳しくは知らなかった」が 37.6%、「知っていた」が 11.9%となっています。

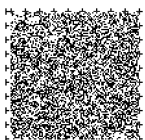
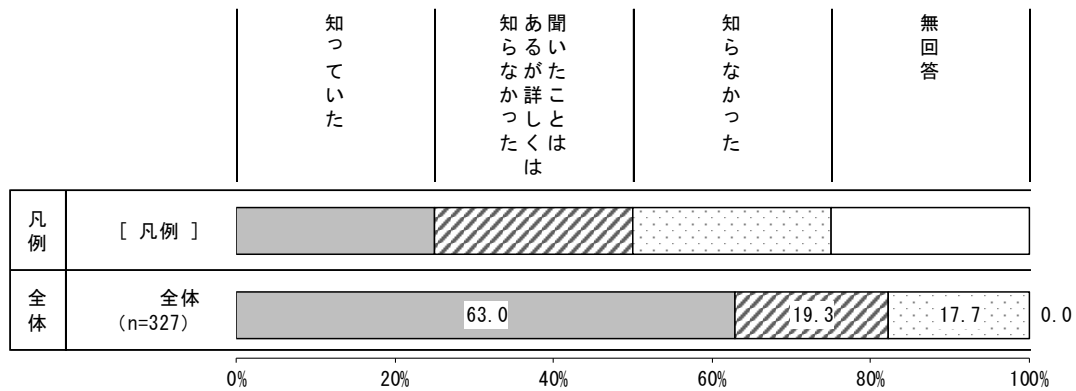
【地域共生社会の認知状況】



(4) 「ヘルプマーク」を知っていますか。

- ヘルプマークの認知状況について、「知っていた」が 63.0%で最も多く、次いで「聞いたことはあるが詳しくは知らなかった」が 19.3%、「知らなかった」が 17.7%となっています。

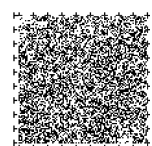
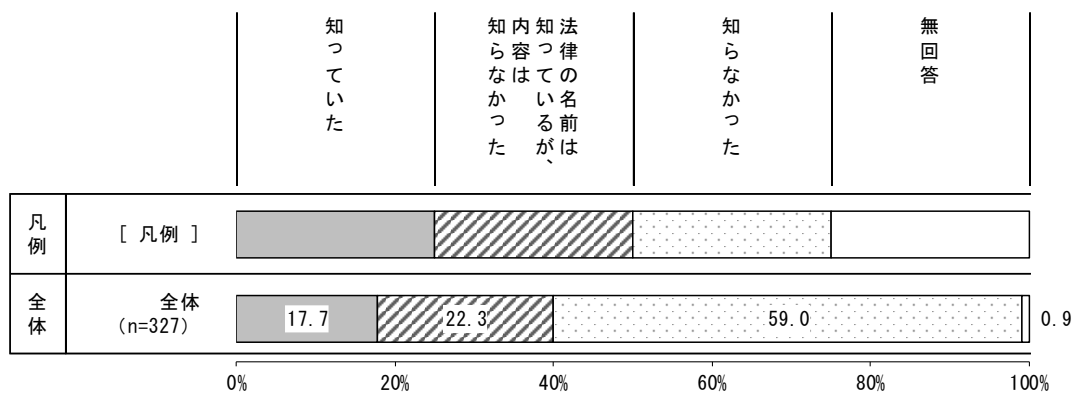
【ヘルプマークの認知状況】



(5) 「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（障害者差別解消法）」を知っていますか。

- 障害者差別解消法の認知状況について、「知らなかった」が 59.0%で最も多く、次いで「法律の名前は知っているが、内容は知らなかった」が 22.3%、「知っていた」が 17.7%となっています。

【障害者差別解消法の認知状況】

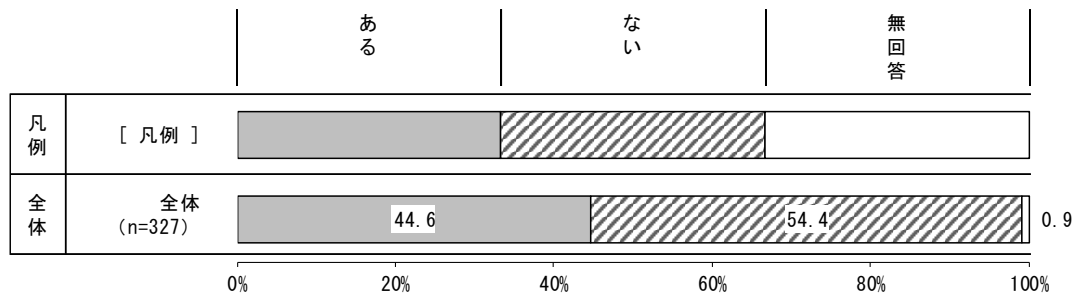


4. 障害への理解について

(1) 障害のある人への差別や偏見を感じたことはありますか。

○ 差別や偏見を感じたことの有無について、「ある」が 44.6%、「ない」が 54.4%となっています。

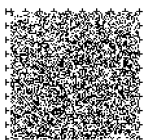
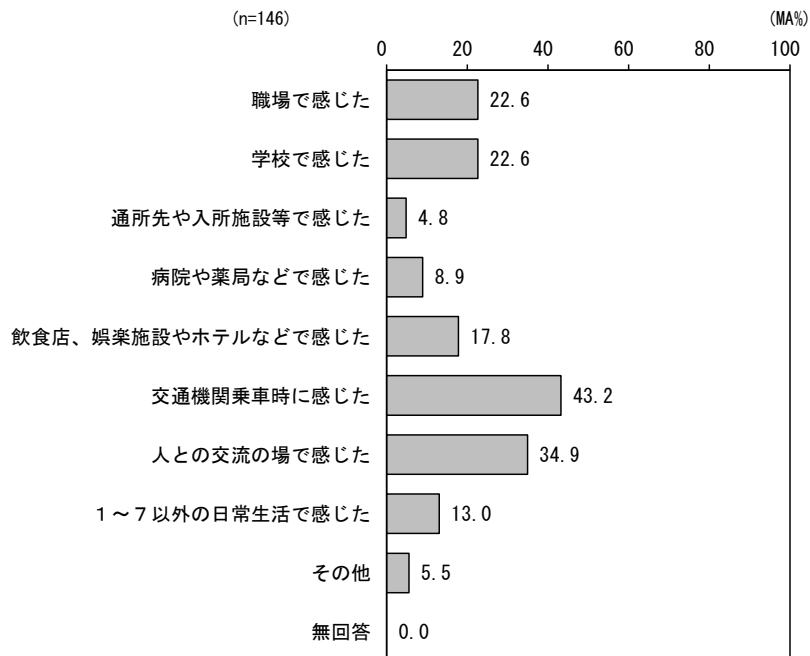
【差別や偏見を感じたことの有無】



(2) どのような場面で差別や偏見を感じましたか。(MA)

○ 差別や偏見を感じた場面について、「交通機関乗車時に感じた」が 43.2%で最も多く、次いで「人との交流の場で感じた」が 34.9%、「職場で感じた」「学校で感じた」が 22.6%となっています。

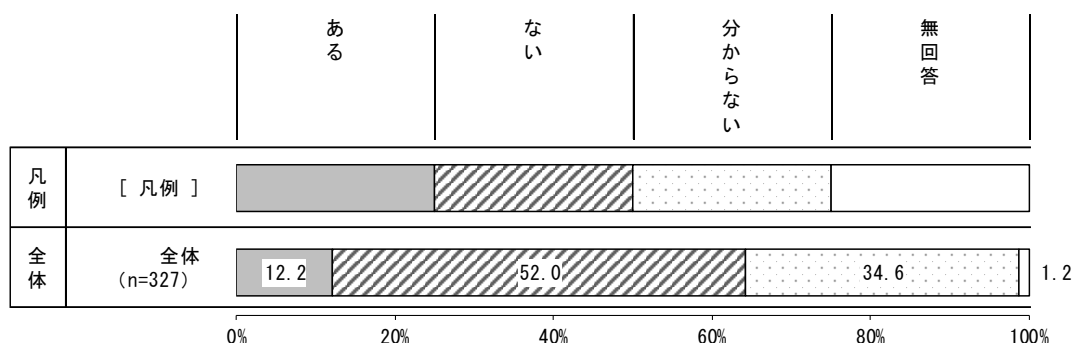
【差別や偏見を感じた場面】



(3) あなた自身に障害のある人に対して差別や偏見があると思いますか。

- 自身に差別や偏見があるかについて、「ない」が 52.0%で最も多く、次いで「分からない」が 34.6%、「ある」が 12.2%となっています。

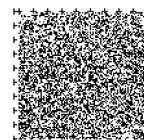
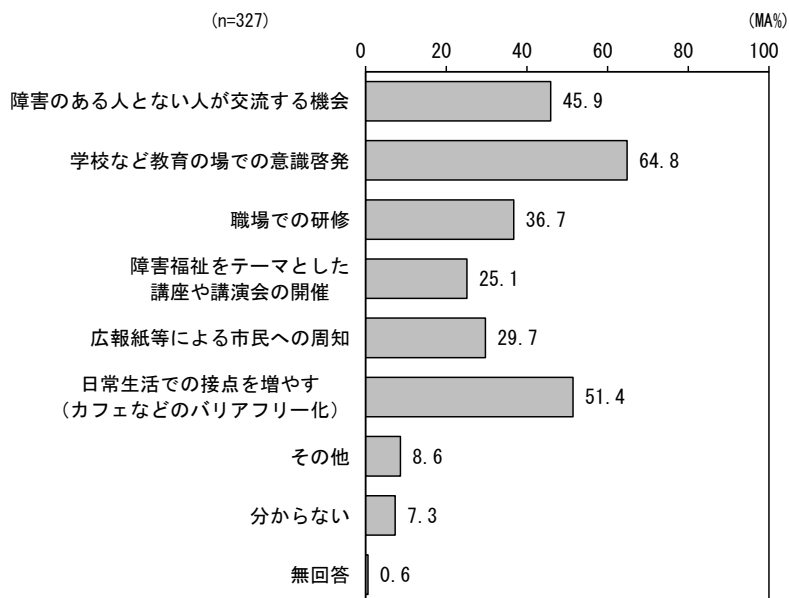
【自身に差別や偏見があるか】



(4) 障害のある人への誤解や偏見を解消するためにどのようなことが必要だと思いますか。(MA)

- 誤解や偏見を解消するために必要なことについて、「学校など教育の場での意識啓発」が 64.8%で最も多く、次いで「日常生活での接点を増やす (カフェなどのバリアフリー化)」が 51.4%、「障害のある人とない人が交流する機会」が 45.9%となっています。

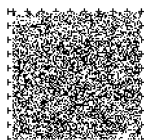
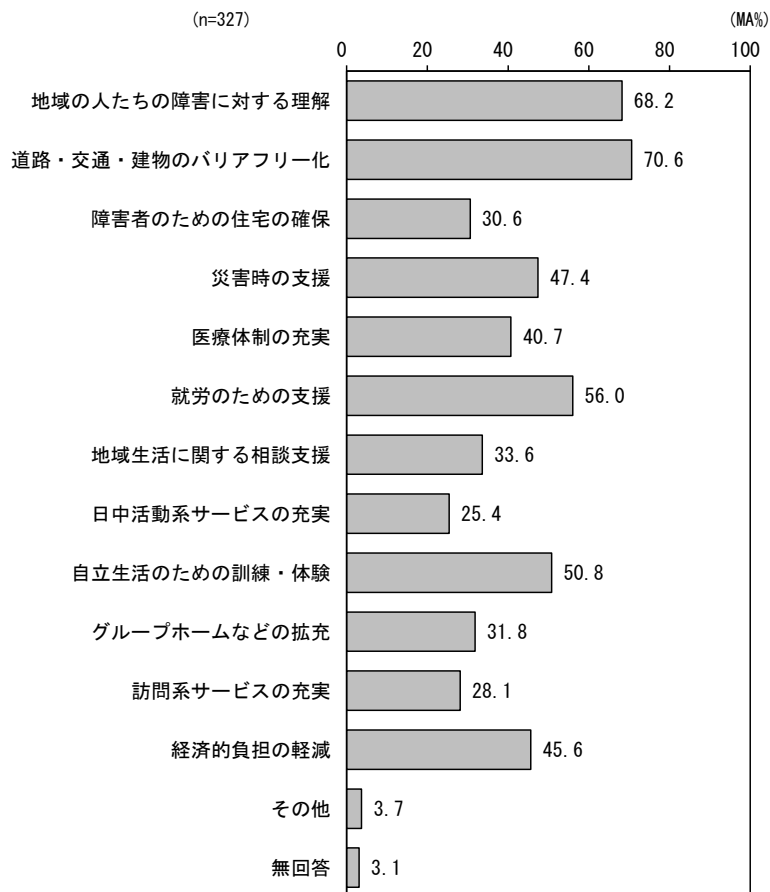
【誤解や偏見を解消するために必要なこと】



(5) 障害のある人が地域で生活するためには何が必要だと思いますか。(MA)

- 障害のある人の地域での生活に必要なものについて、「道路・交通・建物のバリアフリー化」が70.6%で最も多く、次いで「地域の人たちの障害に対する理解」が68.2%、「就労のための支援」が56.0%となっています。

【障害のある人の地域での生活に必要なもの】



I

川越市の障害福祉に関するアンケート ご協力のお願い



市民の皆さまには、日頃から市行政へのご理解、ご協力をいただきありがとうございます。

現在、川越市では、障害のある方への福祉施策の一層の充実を図るため、現在の障害施策の計画を見直し、令和9年度から新しい計画を策定する準備をしております。

そこで、川越市内で無作為で選ばせていただいた障害のある方や支援の必要な方の生活状況やご意見等をうかがい、よりよい施策・計画とするために本アンケートを実施します。

これからの川越市での障害福祉を考えるための身近な内容になっておりますので、ぜひご協力をいただきますようよろしくお願い申し上げます。

令和7年9月 川越市長 森田 初恵

この調査は無記名であり、結果の集計・分析は統計的に処理いたしますので、個人が特定されることはありません。

ご回答は、「① インターネット」か「② 紙（郵送）」のいずれかでお願いします。

① インターネットでのご回答

二次元コード等から調査専用サイトへアクセスいただき、調査の最初の設問に、下記シールのID・パスワードをご入力の上、10月7日(火)までにご回答ください。

ID、パスワード記載のシール



アンケートURL:
<https://smilesurvey.co/s/dc883049/o>

② 紙（郵送）でご回答される場合

次ページよりご回答いただき、同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、10月7日(火)までにお近くの郵便ポストに投函してください。

【お問い合わせ先】

川越市 障害者福祉課 計画担当

電話 049-224-6307 ファクス 049-225-3033

メール shogaisha@city.kawagoe.lg.jp



右のマークは音声コードです。コードの位置を示すために切り込みを入れています。専用の読み上げ装置等を使用して読み取ることで、音声で内容を聞き取ることができます。

- このアンケートは、基本的には宛名のご本人のことをお聞きしています。ご本人がご記入できない場合は、ご本人の立場になって、代理の方がご記入ください。
- 答えたくない質問については、無理にお答えいただく必要はありません。無理のない範囲でご回答をお願いします。

記入者・宛名ご本人のことについて

この調査票に記入する方はどなたですか。

（○は1つ）

記入者	1. 本人（調査の対象となる方）が記入
	2. 本人に聞いて、家族や介助者等が記入
	3. 本人の意見を確認するのが難しいので、家族や介助者等が本人の立場に立って記入

【ここからは、このアンケートが郵送された宛名ご本人を「あなた」としてします】

あなたの性別をお答えください。

（○は1つ）

1. 男性 2. 女性 3. 回答しない

あなたの年齢を以下の□にご記入ください。（令和7年9月1日現在）

□ 歳

あなたの昨年1年間のおおよその総収入額を以下の□にご記入ください。

約 □ 万円(年)

あなたの生活を支えている収入は次のうちどれですか。

（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|--------------------|-----------|
| 1. 給与・賃金・事業収入 | 4. 家族の収入 |
| 2. 就労継続支援施設や作業所の工賃 | 5. 生活保護費 |
| 3. 年金（障害年金含む） | 6. その他（ ） |



障害の状況について

問1 身体障害者手帳を持っていますか。

(○は1つ)

1. 1級 2. 2級 3. 3級 4. 4級 5. 5級 6. 6級 7. 持っていない ⇒問3へ

【問1で1～6に○をつけた方にお聞きします】

問2 身体障害者手帳を持っている方は、主な障害をお答えください。

(○は1つ)

1. 視覚障害
2. 聴覚障害・平衡機能障害
3. 音声・言語・そしゃく機能障害
4. 肢体不自由(上肢・下肢・体幹・脳原性運動機能障害)
5. 内部障害(心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこう・直腸、小腸、免疫、肝臓機能障害)

【ここからは、全員にお聞きします】

問3 療育手帳を持っていますか。

(○は1つ)

1. A 2. B 3. C 4. D 5. 持っていない

問4 精神障害者保健福祉手帳を持っていますか。

(○は1つ)

1. 1級 2. 2級 3. 3級 4. 持っていない

問5 難病(指定難病、特定疾患、指定疾患、小児慢性特定疾病)の認定を受けていますか。

(○は1つ)

1. 受けている 2. 受けていない

問6 発達障害と診断されたことはありますか。

(○は1つ)

1. ある 2. ない

問7 高次脳機能障害と診断されたことはありますか。

(○は1つ)

1. ある 2. ない

問8 障害支援区分の認定を受けていますか。

(○は1つ)

1. 区分1 2. 区分2 3. 区分3 4. 区分4 5. 区分5 6. 区分6 7. 受けていない

問9 介護保険で介護サービスを利用していますか。

(○は1つ)

1. 利用している 2. 利用していない



介助等の状況について

問10 主にあなたの介助をしているのはどなたですか。

(○は1つ)

1. 父母、祖父母、兄弟姉妹
2. 配偶者(夫または妻)
3. 子ども
4. 障害福祉サービス事業所等の職員
5. その他()
6. 特に介助等は受けていない

健康状態や医療について

問11 健康管理や医療について、困ったり不便に思うことはありますか。

(○は1つ)

1. ある ⇒問12へ
2. ない ⇒問13へ

【問11で「1. ある」に○をつけた方にお聞きします】

問12 困ったり不便に思うことは何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 通院のための交通手段が確保・利用しにくい(近くにない)
2. 通院のための介助者を確保しにくい
3. 医療費の負担が大きい
4. 障害のために症状が伝わらない
5. 病院等での手続きや案内など、障害のある人への配慮が足りない
6. 障害や病気の状態が重度化・重複化している
7. その他()

【ここからは、全員にお聞きします】

問13 現在、医療的ケアを受けていますか。

(○は1つ)

1. 受けている ⇒問14へ
2. 受けていない ⇒問15へ

※ 医療的ケア…在宅や学校等で日常的に行われている医療的生活援助行為(病気の治療のための入院や通院で行われる医療行為を除く)。例えば、人工呼吸器・気管切開・鼻咽喉エアウェイの管理、酸素療法、口鼻腔・気管内吸引、ネブライザーの管理、経管栄養、中心静脈カテーテルの管理、皮下注射、血糖測定、透析、導尿など。



【問13で「1. 受けている」に○をつけた方にお聞きます】

問14 あなたの医療的ケアを行っている方はどなたですか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------|---------|
| 1. 家族 | 4. 本人 |
| 2. 医療機関の職員（医師、看護師など） | 5. その他（ |
| 3. 福祉サービス事業所等の職員 | ） |

外出や余暇の過ごし方について

【ここからは、全員にお聞きます】

問15 1週間にどのくらい外出しますか。
(○は1つ)

- | | | | |
|---------|---------|---------|--------------|
| 1. 5日以上 | 2. 3～4日 | 3. 1～2日 | 4. ほとんど外出しない |
|---------|---------|---------|--------------|

問16 普段はどなたと一緒に外出していますか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------|--------------------|
| 1. 父母、祖父母、兄弟姉妹 | 5. 障害福祉サービス事業所等の職員 |
| 2. 配偶者（夫または妻） | 6. その他（ |
| 3. 子ども | 7. 1人で外出する |
| 4. 友だち | ） |

問17 外出の際に困っていることはありますか。
(○は1つ)

- | | |
|-------------|-------------|
| 1. ある ⇒問18へ | 2. ない ⇒問19へ |
|-------------|-------------|

【問17で「1. ある」に○をつけた方にお聞きます】

問18 どのようなことに困っていますか。
(あてはまるものすべてに○)

- | |
|---|
| 1. 交通費や利用料がかかる |
| 2. 道が利用しにくい（狭い、段差がある等） |
| 3. バスや鉄道などが利用しにくい（乗り降りしづらい、案内表示が分かりづらい） |
| 4. 建物の設備が使いづらい（多機能トイレ、駐車スペース等） |
| 5. 外出のための介助者を確保しにくい |
| 6. 家族に負担がかかる |
| 7. その他（ |
| ） |



【ここからは、全員にお聞きます】

問19 1年間で次の活動をする機会がありましたか。また、今後してみたいですか。

「(1) 機会があった」「(2) 今後してみたい」それぞれで、あてはまるものすべてに○をつけてください。

活 動	(1) 機会があった	(2) 今後してみたい
1. 旅行に出かける	1	1
2. スポーツをする	2	2
3. 文化的な活動をする (映像鑑賞、音楽鑑賞、読書、ゲーム)	3	3
4. 友人・知人と会って交流を深める	4	4
5. 資格取得等の勉強をする	5	5
6. 買い物や外食に行く	6	6
7. 地域の行事に参加する	7	7
8. その他の趣味の活動をする	8	8

【問19で「(2) 今後してみたい」に1つでも○をつけた方にお聞きます】

問20 先ほど(問19)の活動をするにはどんなことが必要だと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

- | |
|---|
| 1. 費用を心配しなくてよいこと |
| 2. 活動する場所が近く（行きやすいところ）にあること |
| 3. バスや鉄道などが利用しやすいこと（乗り降りしやすさ、案内表示の分かりやすさ） |
| 4. 建物の設備が使いやすいこと（多機能トイレ、駐車スペース等） |
| 5. 一緒に活動する仲間がいること |
| 6. 障害のある人も参加しやすいこと |
| 7. 障害のある人もない人も一緒にできること |
| 8. 介助者が確保しやすいこと |
| 9. 家族への負担を軽減できること |
| 10. その他（ |
| ） |
| 11. 特にない |



通学・通園の状況について

【ここからは、全員にお聞きします】

問21 幼稚園や保育所、学校等に通っていますか。
(○は1つ)

1. 通っている ⇒ 問22へ 2. 通っていない ⇒ 問24へ

【問21で「1. 通っている」に○をつけた方にお聞きします】

問22 幼稚園や保育所、学校等に通うにあたって困っていることはありますか。
(○は1つ)

1. ある ⇒ 問23へ 2. ない ⇒ 問24へ

【問22で「1. ある」に○をつけた方にお聞きします】

問23 困っていることは何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------------|------------------------------|
| 1. 通うための介助者を確保しにくい | 5. 教職員の理解が得られない |
| 2. 通うための交通手段が確保・利用しにくい | 6. (障害等を理由に) 受け入れてくれる学校等が少ない |
| 3. 学校等での支援や配慮が不十分 | 7. その他 () |
| 4. 学校等の設備が使いづらい | |

雇用・就労について

【ここからは、全員にお聞きします】

問24 現在、仕事をしていますか。
(○は1つ)

1. 仕事をしている ⇒ 問25へ
2. 以前は仕事をしていた (現在は仕事をしていない) ⇒ 問30へ
3. 仕事をしていない ⇒ 問31へ

【問24で「1. 仕事をしている」に○をつけた方にお聞きします】

問25 現在の職場で何年働いていますか。以下の□にご記入ください。(1年未満は0とご記入ください)

□ 年



問26 現在の仕事はどのようにして見つけましたか。
(○は1つ)

1. ハローワーク (公共職業安定所) を通じて
2. 就労移行支援事業所などの障害福祉サービス事業所を通じて
3. 障害者就業・生活支援センターを通じて
4. 学校の紹介
5. 家族や知人の紹介
6. インターネットの求人サイトや企業のホームページを通じて
7. その他 ()

問27 どのような勤務形態で働いていますか(○は1つ)。また、どのくらい働いていますか。
「1週間あたりの日数」と「1日あたりの時間」をそれぞれ□にご記入ください。

勤務 形態	1. 正規雇用 (正社員等)		4. 就労継続支援等での福祉的就労	
	2. 非正規雇用 (契約社員・アルバイト等)		5. その他	
働いている 時間	3. 自営業 ()	1週間あたり	日	
		1日あたり	時間*	

※1時間未満は0とご記入ください

問28 仕事をする上で困っていることはありますか。
(○は1つ)

1. ある ⇒ 問29へ 2. ない ⇒ 問31へ

【問28で「1. ある」に○をつけた方にお聞きします】

問29 仕事をする上で主に困っていることは何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 収入が少ない
2. 体調のコントロールが難しい (コミュニケーションが難しい)
3. 通勤が大変
4. 職場の設備が不十分 (トイレ、休憩室など)
5. 人との関わり方が難しい
6. 仕事内容がきつい、自分の能力と合わない
7. その他 ()

⇒ 問31へ



【問24で「2.以前は仕事をしてた(現在は仕事をしていない)」に○をつけた方にお聞きします】

問30 仕事を辞めた理由は何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 収入が少なかったから
2. 体調のコントロールが難しかったから
3. 通勤が大変だったから
4. 職場の設備が不十分だったから (トイレ、休憩室など)
5. 人との関わり方が難しかったから (コミュニケーションが難しかった)
6. 仕事内容がきつかったから、自分の能力と合わなかったから
7. その他 ()

【ここからは、全員にお聞きします】

問31 障害のある人の就労を促進するためには何が必要だと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 障害に配慮した柔軟な働き方の整備 (短時間、リモートなど)
2. 職場 (経営者、従業員) の理解
3. 職場の設備の充実 (バリアフリー化)
4. 仕事探しから就労までの総合的な相談支援
5. PCスキルなどの仕事に必要な知識や技術を学ぶ機会
6. 人との関わり方 (コミュニケーション) を学ぶ機会
7. その他 ()



現在の暮らしと今後の希望について

問32 現在どこで暮らしていますか。また、将来どこで暮らしたいですか。

「(1)現在の暮らし」と「(2)将来の希望」それぞれに○を1つつけてください。

	(1) 現在の暮らし	(2) 将来の希望
1. 自宅 (持ち家、賃貸住宅)	1	1
2. グループホーム	2	2
3. 入所施設 (障害者支援施設、特養等含む)	3	3
4. 病院	4	4
5. その他 ()	5	5
6. 分からない/決められない		6

問33 現在誰と暮らしていますか。また、将来誰と一緒に暮らしたいですか。

「(1)現在の暮らし」と「(2)将来の希望」それぞれで、あてはまるものすべてに○をつけてください。

	(1) 現在の暮らし	(2) 将来の希望
1. 父母、祖父母、兄弟姉妹	1	1
2. 配偶者 (夫または妻)	2	2
3. 子ども	3	3
4. いない (1人暮らし)	4	4
5. その他 ()	5	5
6. 分からない/決められない		6



問34 現在、主に日中をどのように過ごしていますか。また、近い将来（今後3年以内）どのように過ごしたいですか。

「(1) 現在の暮らし」と「(2) 近い将来の希望(今後3年以内)」それぞれに○を1つつけてください。

	(1) 現在の暮らし	(2) 近い将来の希望 (今後3年以内)
1. 自宅（持ち家、賃貸住宅）で過ごす	1	1
2. 収入を伴う仕事をする（福祉的就労含む）	2	2
3. 通所施設・事業所（生活介護、自立訓練など）に通う	3	3
4. 入所施設やグループホームで過ごす	4	4
5. 病院等（デイケア等）で過ごす	5	5
6. 幼稚園や保育所、学校に通う	6	6
7. その他（ ）	7	7
8. 分からない/決められない		8

【問34で「(1) 現在の暮らし」で、「1.自宅で過ごす」に○をつけた方にお聞きします】

問35 日中、自宅で過ごしていてどんなことで困っていますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 家事（食事、掃除、洗濯など）がうまくできない
2. 外出や人と関わる機会がほとんどなく、孤独を感じる
3. 困った時に相談できる人や、助けてくれる人がいない
4. 体調を崩したとき、受診できる場所が分からない/見つからない
5. 利用できる福祉サービスや制度が分からない/申請が難しい
6. 経済的な理由で生活に不安がある
7. 家族に負担がかかっている
8. その他（ ）
9. 特になし



【問34で「(2) 近い将来の希望(今後3年以内)」で、「1.自宅で過ごす」に○をつけた方にお聞きします】

問36 近い将来、日中を主に自宅で過ごしたいと思う理由は何ですか。
(○は1つ)

1. 家族と一緒にいたいから
2. 外に出るよりも、自宅にいる方が安心できるから
3. 趣味や好きなことを自宅でしたいから
4. 自宅でできる仕事や活動をしたから
5. 自分のペースで過ごせるから
6. その他（ ）

【ここからは、全員にお聞きします】

問37 障害のある人が地域で生活していくためには何が必要だと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------|-------------------------|
| 1. 地域の人たちの障害に対する理解 | 8. 日中活動系サービスの充実 |
| 2. 道路・交通・建物のバリアフリー化 | 9. 自立生活のための訓練・体験 |
| 3. 障害者のための住宅の確保 | 10. グループホームなどの拡充 |
| 4. 災害時の支援 | 11. 自宅で過ごすための訪問系サービスの充実 |
| 5. 医療体制の充実 | 12. 経済的負担の軽減 |
| 6. 就労のための支援 | 13. その他（ ） |
| 7. 地域生活に関する相談支援 | |

相談や情報入手について

問38 現在の生活で困っていることや悩んでいることはありますか。
(○は1つ)

1. ある ⇒問39へ
2. ない ⇒問40へ



【問38で「1. ある」に○をつけた方にお聞きします】

問39 困っていることや悩んでいることは何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------------------------|------------------------|
| 1. 教育や訓練が十分に受けられない | 7. 趣味や生きがいを持ってない |
| 2. 働く場がない | 8. 家族などの介助者の健康状態 |
| 3. 生活費が足りない | 9. 話し相手や相談相手がない |
| 4. 外出がしにくい | 10. うまく情報を得ることができない |
| 5. 必要な保健・福祉・医療サービスが不足している | 11. 家族との関係がよくない |
| 6. 自分に合った支援が受けられる施設(入所施設など)が見つかりにくい | 12. 近くに住んでいる人との関係がよくない |
| | 13. その他() |

【ここからは、全員にお聞きします】

問40 普段、悩みや困ったことなどをどこ(誰)に相談しますか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------|------------------------|
| 1. 家族 | 8. 川越市障害者総合相談支援センター |
| 2. 知人・友人 | 9. 身体障害者・知的障害者相談員 |
| 3. 職場の仲間 | 10. 民生委員・児童委員 |
| 4. 施設や事業所の職員 | 11. 社会福祉協議会 |
| 5. 病院の医師や看護師 | 12. その他() |
| 6. 学校の教職員 | 13. 相談したいが、できない ⇒ 問41へ |
| 7. 相談支援事業所 | 14. 相談したいと思わない |

【問40で「13. 相談したいが、できない」に○をつけた方にお聞きします】

問41 相談できない理由は何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| 1. どこ(誰)に相談していいかわからない | 5. 相談することにためらいがある |
| 2. 身近なところに相談できる場所がない | 6. 何を相談していいかわからない |
| 3. 相談しても満足いく回答がもらえない | 7. その他() |
| 4. プライバシーが守られるか不安がある | |

【ここからは、全員にお聞きします】

問42 福祉サービス内容について、どのようなもので知ることが多いですか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------------|----------------|
| 1. 市の広報 | 6. 施設や事業所の職員の話 |
| 2. インターネット(市のホームページ、SNS) | 7. 学校の教職員 |
| 3. 新聞や雑誌 | 8. その他() |
| 4. テレビやラジオ | |
| 5. 家族や知人の話 | |



問43 情報を入力したりコミュニケーションをとる上で困っていることがございましたら、
ご記入ください。

福祉サービスについて

問44 次の障害福祉サービスを利用していますか。また、今後3年以内にどのくらい
利用したいですか。それぞれに○をつけてください。

サービス	内容	現在の利用の有無		今後の利用予定			
		あり	なし	増やす 予定	増やす し今後 利用 しない	減らす 予定	利用 しない
(例) 就労継続支援B型		①	2	1	②	3	4
1 居宅介護 (ホームヘルプサービス)	自宅で、入浴、排せつ、食事の介護等を行います。	1	2	1	2	3	4
2 重度訪問介護	重度の肢体不自由者等で常に介護を必要とする人に、自宅で、入浴、排せつ、食事の介護、外出時における移動支援などを総合的にを行います。	1	2	1	2	3	4
3 同行援護	視覚障害により、移動に著しい困難を有する人が外出する時、必要な情報提供や介護を行います。	1	2	1	2	3	4
4 行動援護	自己判断能力が制限されている人が行動するときに、危険を回避するために必要な支援、外出支援を行います。	1	2	1	2	3	4
5 重度障害者等 包括支援	介護の必要性がとて高い人に、居宅介護等複数のサービスを包括的に 行います。	1	2	1	2	3	4



サービス	内容	現在の利用の有無		今後の利用予定				
		あり	なし	増やす 予定	増やす 今後利用	今と同じくらい	減らす 予定	利用しない
(例)	就労継続支援B型	①	2	1	②	3	4	
日中活動系 ニチカクドウケイ	6 生活介護	1	2	1	2	3	4	
	7 療養介護	1	2	1	2	3	4	
	8 短期入所 (ショートステイ)	1	2	1	2	3	4	
	9 宿泊型自立訓練	1	2	1	2	3	4	
居住支援系 キョウジサエケンケイ	10 自立生活援助	1	2	1	2	3	4	
	11 共同生活援助 (グループホーム)	1	2	1	2	3	4	
施設系 シヤクシヤクケイ	12 施設入所支援	1	2	1	2	3	4	
訓練系・就労系 ケンレンケイ・クワウケイ	13 自立訓練 (機能訓練)	1	2	1	2	3	4	
	14 自立訓練 (生活訓練)	1	2	1	2	3	4	
	15 就労移行支援	1	2	1	2	3	4	
	16 就労継続支援 A型	1	2	1	2	3	4	



サービス	内容	現在の利用の有無		今後の利用予定				
		あり	なし	増やす 予定	増やす 今後利用	今と同じくらい	減らす 予定	利用しない
(例)	就労継続支援B型	①	2	1	②	3	4	
訓練系・就労系 ケンレンケイ・クワウケイ	17 就労継続支援 B型	1	2	1	2	3	4	
	18 就労定着支援	1	2	1	2	3	4	
相談支援 サダシケンサエケンケイ	19 計画相談支援	1	2	1	2	3	4	
	20 地域移行支援	1	2	1	2	3	4	
	21 地域定着支援	1	2	1	2	3	4	
障害児通所支援 シヤクシヤクニシヨウジヤクシヤクケイ	22 児童発達支援	1	2	1	2	3	4	
	23 放課後等 デイサービス	1	2	1	2	3	4	
	24 保育所等 訪問支援	1	2	1	2	3	4	
	25 居宅訪問型 児童発達支援	1	2	1	2	3	4	



障害者への理解や権利擁護について

問51 「障害者週間の集い」を知っていましたか。
(○は1つ)

1. 知っており、参加したことがある
2. 知っていたが、参加したことはない
3. 知らなかった

■「障害者週間の集い」とは

障害のある人もない人も、お互いがふれあい、楽しみながら障害のある人に対する理解と関心を深めることができるイベントです。

毎年、「障害者週間(12月3日～9日)」にあわせて、川越市障害者団体連絡協議会、川越市社会福祉協議会と川越市が共催で開催しています。

問52 「成年後見制度」について知っていましたか。
(○は1つ)

1. 知っており、利用したことがある
2. 知っていたが、利用したことはない
3. 聞いたことはあるが詳しくは知らなかった
4. 全く知らなかった

■「成年後見制度」とは

障害などで判断能力が不十分な人を支援するために、後見人等が財産管理や生活に必要な契約を代理で行う制度のことです。

問53 「地域共生社会」を知っていましたか。
(○は1つ)

1. 知っていた
2. 聞いたことはあるが詳しくは知らなかった
3. 知らなかった

■「地域共生社会」とは

高齢者介護・障害福祉・児童福祉・生活困窮者支援等の制度・分野の枠や、「支える側」「支えられる側」という関係を超えて、人と人、人と社会とがつながり、一人ひとりが生きがいや役割を持ち、助け合いながら暮らしていくことのできる地域や社会のことです。



問54 「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律(障害者差別解消法)」を知っていましたか。

(○は1つ)

1. 知っていた
2. 法律の名前は知っているが、内容は知らなかった
3. 知らなかった

■「障害者差別解消法」とは

この法律では、行政機関や事業者に対して、障害のある人への障害を理由とする「不当な差別的取扱い」を禁止しています。

また、障害のある人は、社会の中にあるバリアによって生活しづらい場合があります。

この法律では、行政機関や事業者に対して、障害のある人から申出があった場合に、負担が重すぎない範囲で障害のある人の求めに応じ、「合理的配慮※」の提供を求めています。

※合理的配慮…社会の中にあるバリアを取り除くために必要かつ合理的な対応をすること。

例えば、「飲食店で障害のある人から「車椅子のまま着席したい」との申出があり、机に備え付けの椅子を片付けて、車椅子のまま着席できるスペースを確保する」など。

問55 障害があることで差別を受けたり嫌な思いをしたりすることはありますか。
(○は1つ)

1. ある ⇒問56へ
2. ない ⇒問57へ

【問55で「1. ある」に○をつけた方にお聞きします】

問56 それはどのような場面ですか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 日常生活で(他人の視線を感じる/ 心ない言葉を受ける/ 障害に対する誤解があるなど)
2. 職場で(会社・職場に理解されない/ 障害に対する誤解があるなど)
3. 学校で(通常の学級との交流が難しい/ 活動に参加できないなど)
4. 通所先や入所施設等で(隔離・拘束される/ 心ない言葉を受ける/ 暴力を受けるなど)
5. 病院や薬局などで(診察や入院を拒否される/ 介助者にだけ話しかけるなど)
6. 飲食店、娯楽施設やホテルなどで(利用を拒否される/ 介助者の同伴などの条件を付けられるなど)
7. 交通機関乗車時に(迷惑がられる/ 乗車拒否されるなど)
8. 人との交流の場で(話の輪に入れない/ 活動に参加できないなど)
9. その他()



【ここからは、全員にお聞きします】

問57 障害に対する市民の理解について、進んでいると感じますか。
(○は1つ)

- | | |
|--------------|-------------|
| 1. 進んでいる | 4. 多少後退している |
| 2. 多少進んでいる | 5. 後退している |
| 3. どちらともいえない | 6. 分からない |

問58 障害者への理解を深めるために力を入れるべきことは何だと思えますか。



市の取り組み等について

問59 次の市の取り組みで、改善してほしいこと、満足していることを教えてください。
「(1) 改善してほしい」と「(2) 満足している」それぞれ上位3つに○をつけてください。

	(1) 改善 してほしい	(2) 満足 している
1. 経済的援助	1	1
2. 差別の解消及び相互理解の促進	2	2
3. 権利擁護の推進、虐待防止	3	3
4. 利用しやすい道路や公共施設の整備	4	4
5. 通所施設の整備	5	5
6. 入所施設の整備	6	6
7. グループホームなどの地域で生活できる住環境の整備	7	7
8. 重症心身障害者の受入先や医療的ケアを受けられる施設の整備	8	8
9. 在宅福祉サービスの充実	9	9
10. 災害時の支援体制	10	10
11. 保健・医療サービスの充実	11	11
12. 療育体制・学校教育の充実	12	12
13. 就労支援の充実	13	13
14. 相談支援の充実	14	14
15. 文化・スポーツ活動等への参加機会の充実	15	15
16. 外出や移動の支援	16	16
17. 障害のある人に配慮した情報提供の充実	17	17
18. 介助者への支援	18	18



II

川越市の障害福祉に関するアンケート

ご協力をお願い



市民の皆さまには、日頃から市行政へのご理解、ご協力をいただきありがとうございます。

現在、川越市では、障害のある方への福祉施策の一層の充実を図るため、現在の障害施策の計画を見直し、令和9年度から新しい計画を策定する準備をしております。

そこで、川越市内の特別支援学校高等部の3年生の生徒さんに、生活状況やご意見をうかがい、よりよい施策・計画とするために本アンケートを実施します。

これからの川越市での障害福祉を考えるための身近な内容になっておりますので、ぜひご協力をいただきますようよろしくお願い申し上げます。

令和7年9月 川越市長 森田 初恵

この調査は無記名であり、結果の集計・分析は統計的に処理いたしますので、個人が特定されることはありません。

ご回答は、「① インターネット」か「② 紙(郵送)」のいずれかでお願いします。

① インターネットでのご回答

二次元コード等から調査専用サイトへアクセスいただき、調査の最初の設問に、下記シールのID・パスワードをご入力の上、10月7日(火)までにご回答ください。



アンケート URL:
https://smilesurvey.co/s/c269fadd/o

② 紙(郵送)でご回答される場合

次ページよりご回答いただき、同封の返信用封筒(切手不要)に入れ、10月7日(火)までにお近くの郵便ポストに投函してください。

【お問い合わせ先】

川越市 障害者福祉課 計画担当

電話 049-224-6307 ファクス 049-225-3033

メール shogaisha@city.kawagoe.lg.jp



右のマークは音声コードです。コードの位置を示すために切り込みを入れてあります。専用の読み上げ装置等を使用して読み取ることで、音声で内容を聞き取ることができます。

記入者・宛名ご本人のことについて

この調査票に記入する方はどなたですか。(〇は1つ)

記入者	1. 本人(調査の対象となる方)が記入
	2. 本人に聞いて、家族や介助者等が記入
	3. 本人の意見を確認するのが難しいので、家族や介助者等が本人の立場に立って記入

【ここからは、このアンケートが郵送された宛名ご本人を「あなた」としています】

あなたの性別をお答えください。(〇は1つ)

1. 男性	2. 女性	3. 回答しない
-------	-------	----------



障害の状況について

問1 身体障害者手帳を持っていますか。

(○は1つ)

1. 1級 2. 2級 3. 3級 4. 4級 5. 5級 6. 6級 7. 持っていない ⇒問3へ

【問1で1～6に○をつけた方にお聞きします】

問2 身体障害者手帳を持っている方は、主な障害をお答えください。

(○は1つ)

1. 視覚障害
2. 聴覚障害・平衡機能障害
3. 音声・言語・そしゃく機能障害
4. 肢体不自由(上肢・下肢・体幹、脳原性運動機能障害)
5. 内部障害(心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこう・直腸、小腸、免疫、肝臓機能障害)

【ここからは、全員にお聞きします】

問3 療育手帳を持っていますか。

(○は1つ)

1. 2. A 3. B 4. C 5. 持っていない

問4 精神障害者保健福祉手帳を持っていますか。

(○は1つ)

1. 1級 2. 2級 3. 3級 4. 持っていない

問5 難病(指定難病、特定疾患、指定疾患、小児慢性特定疾病)の認定を受けていますか。

(○は1つ)

1. 受けている 2. 受けていない

問6 発達障害と診断されたことはありますか。

(○は1つ)

1. ある 2. ない

問7 高次脳機能障害と診断されたことはありますか。

(○は1つ)

1. ある 2. ない

問8 障害支援区分の認定を受けていますか。

(○は1つ)

1. 区分1 2. 区分2 3. 区分3 4. 区分4 5. 区分5 6. 区分6 7. 受けていない



介助等の状況について

問9 主にあなたの介助をしているのはどなたですか。

(○は1つ)

- | | |
|--------------------|-----------------|
| 1. 父母、祖父母、兄弟姉妹 | 3. その他 () |
| 2. 障害福祉サービス事業所等の職員 | 4. 特に介助等は受けていない |

健康状態や医療について

問10 健康管理や医療について、困ったり不便に思うことはありますか。

(○は1つ)

1. ある ⇒問11へ 2. ない ⇒問12へ

【問10で「1. ある」に○をつけた方にお聞きします】

問11 困ったり不便に思うことは何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 通院のための交通手段が確保・利用しにくい(近くにない)
2. 通院のための介助者を確保しにくい
3. 医療費の負担が大きい
4. 障害のために症状が伝わらない
5. 病院等での手続きや案内など、障害のある人への配慮が足りない
6. 障害や病気の状態が重度化・重複化している
7. その他 ()

【ここからは、全員にお聞きします】

問12 現在、医療的ケアを受けていますか。

(○は1つ)

1. 受けている ⇒問13へ 2. 受けていない ⇒問14へ

※ 医療的ケア…在宅や学校等で日常的に行われている医療的生活援助行為(病気の治療のための入院や通院で行われる医療行為を除く)。例えば、人工呼吸器・気管切開・鼻咽喉エアウェイの管理、酸素療法、口鼻腔・気管内吸引、ネブライザーの管理、経管栄養、中心静脈カテーテルの管理、皮下注射、血糖測定、透析、導尿など。



【問12で「1. 受けている」に○をつけた方にお聞きします】

問13 あなたの医療的ケアを行っている方はどなたですか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------|-----------|
| 1. 家族 | 4. 本人 |
| 2. 医療機関の職員(医師、看護師など) | 5. その他() |
| 3. 福祉サービス事業所等の職員 | |

外出や余暇の過ごし方について

問14 普段はどなたと一緒に外出していますか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------|------------|
| 1. 父母、祖父母、兄弟姉妹 | 4. その他() |
| 2. 友だち | 5. 1人で外出する |
| 3. 障害福祉サービス事業所等の職員 | |

問15 外出の際に困っていることはありますか。
(○は1つ)

- | | |
|-------------|-------------|
| 1. ある ⇒問16へ | 2. ない ⇒問17へ |
|-------------|-------------|

【問15で「1. ある」に○をつけた方にお聞きします】

問16 どのようなことに困っていますか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---|--|
| 1. 交通費や利用料がかかる | |
| 2. 道が利用しにくい(狭い、段差がある等) | |
| 3. バスや鉄道などが利用しにくい(乗り降りしづらい、案内表示が分かりづらい) | |
| 4. 建物の設備が使いづらい(多機能トイレ、駐車スペース等) | |
| 5. 外出のための介助者を確保しにくい | |
| 6. 家族に負担がかかる | |
| 7. その他() | |



【ここからは、全員にお聞きします】

問17 1年間で次の活動をする機会がありましたか。また、今後してみたいですか。

「(1) 機会があった」「(2) 今後してみたい」それぞれで、あてはまるものすべてに○をつけてください。

活 動	(1) 機会があった	(2) 今後してみたい
1. 旅行に出かける	1	1
2. スポーツをする	2	2
3. 文化的な活動をする (映像鑑賞、音楽鑑賞、読書、ゲーム)	3	3
4. 友人・知人と会って交流を深める	4	4
5. 資格取得等の勉強をする	5	5
6. 買い物や外食に行く	6	6
7. 地域の行事に参加する	7	7
8. その他の趣味の活動をする	8	8

【問17で「(2) 今後してみたい」に1つでも○をつけた方にお聞きします】

問18 先ほど(問17)の活動をするにはどんなことが必要だと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---|--|
| 1. 費用を心配しなくてよいこと | |
| 2. 活動する場所が近く(行きやすいところ)にあること | |
| 3. バスや鉄道などが利用しやすいこと(乗り降りしやすさ、案内表示の分かりやすさ) | |
| 4. 建物の設備が使いやすいこと(多機能トイレ、駐車スペース等) | |
| 5. 一緒に活動する仲間がいること | |
| 6. 障害のある人も参加しやすいこと | |
| 7. 障害のある人もない人も一緒にできること | |
| 8. 介助者が確保しやすいこと | |
| 9. 家族への負担を軽減できること | |
| 10. その他() | |
| 11. 特になし | |



現在の暮らしと今後の希望について

【ここからは、全員にお聞きします】

問19 現在どこで暮らしていますか。また、将来どこで暮らしたいですか。

「(1)現在の暮らし」と「(2)将来の希望」それぞれに○を1つつけてください。

	(1) 現在の暮らし	(2) 将来の希望
1. 自宅（持ち家、賃貸住宅）	1	1
2. グループホーム	2	2
3. 入所施設（障害者支援施設、特養等含む）	3	3
4. 病院	4	4
5. その他（ ）	5	5
6. 分からない/決められない		6

問20 現在誰と暮らしていますか。また、将来誰と一緒に暮らしたいですか。

「(1)現在の暮らし」と「(2)将来の希望」それぞれで、あてはまるものすべてに○をつけてください。

	(1) 現在の暮らし	(2) 将来の希望
1. 父母、祖父母、兄弟姉妹	1	1
2. 配偶者（夫または妻）	2	2
3. 子ども	3	3
4. いない（1人暮らし）	4	4
5. その他（ ）	5	5
6. 分からない/決められない		6



問21 卒業したら、どのように日中を過ごす予定ですか。また、希望としてはどのように過ごしたいですか。

「(1)予定」と「(2)希望」それぞれに○を1つつけてください。

過ごし方	(1) 予定	(2) 希望
1. 進学先で勉強する	1	1
2. 就職して働く	2	2
3. 障害福祉サービス事業所などで訓練や生産活動を行う	3	3
4. 入所施設で過ごす	4	4
5. 病院等（デイケア等）で過ごす	5	5
6. 家の仕事を手伝う、家庭内で過ごす	6	6
7. その他（ ）	7	7
8. 分からない		8

問22 障害のある人が地域で生活していくためには何が重要だと思いますか。

（あてはまるものすべてに○）

1. 地域の人たちの障害に対する理解	8. 日中活動系サービスの充実
2. 道路・交通・建物のバリアフリー化	9. 自立生活のための訓練・体験
3. 障害者のための住宅の確保	10. グループホームなどの拡充
4. 災害時の支援	11. 自宅で過ごすための訪問系サービスの充実
5. 医療体制の充実	12. 経済的負担の軽減
6. 就労のための支援	13. その他（ ）
7. 地域生活に関する相談支援	

相談や情報入手について

問23 現在の生活で困っていることや悩んでいることはありますか。

（○は1つ）

1. ある ⇒問24へ 2. ない ⇒問25へ



【問23で「1. ある」に○をつけた方にお聞きします】

問24 困っていることや悩んでいることは何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------------------------|------------------------|
| 1. 教育や訓練が十分に受けられない | 7. 趣味や生きがいを持ってない |
| 2. 働く場がない | 8. 家族などの介助者の健康状態 |
| 3. 生活費が足りない | 9. 話し相手や相談相手がない |
| 4. 外出がしにくい | 10. うまく情報を得ることができない |
| 5. 必要な保健・福祉・医療サービスが不足している | 11. 家族との関係がよくない |
| 6. 自分に合った支援が受けられる施設(入所施設など)が見つかりにくい | 12. 近くに住んでいる人との関係がよくない |
| | 13. その他() |

【ここからは、全員にお聞きします】

問25 普段、悩みや困ったことなどをどこ(誰)に相談しますか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------|------------------------|
| 1. 家族 | 8. 身体障害者・知的障害者相談員 |
| 2. 知人・友人 | 9. 民生委員・児童委員 |
| 3. 施設や事業所の職員 | 10. 社会福祉協議会 |
| 4. 病院の医師や看護師 | 11. その他() |
| 5. 学校の教職員 | 12. 相談したいが、できない ⇒ 問26へ |
| 6. 相談支援事業所 | 13. 相談したいと思わない |
| 7. 川越市障害者総合相談支援センター | |

【問25で「12. 相談したいが、できない」に○をつけた方にお聞きします】

問26 相談できない理由は何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| 1. どこ(誰)に相談していいかわからない | 5. 相談することにためらいがある |
| 2. 身近なところに相談できるところがない | 6. 何を相談していいかわからない |
| 3. 相談しても満足のいく回答がもらえない | 7. その他() |
| 4. プライバシーが守られるか不安がある | |

【ここからは、全員にお聞きします】

問27 福祉サービス内容について、どのようなもので知ることが多いですか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------------|----------------|
| 1. 市の広報 | 6. 施設や事業所の職員の話 |
| 2. インターネット(市のホームページ、SNS) | 7. 学校の教職員 |
| 3. 新聞や雑誌 | 8. その他() |
| 4. テレビやラジオ | |
| 5. 家族や知人の話 | |



問28 情報入手したりコミュニケーションをとる上で困っていることがございましたら、
ご記入ください。

福祉サービスについて

問29 次の障害福祉サービスを利用していますか。また、今後3年以内にどのくらい
利用したいですか。それぞれに○をつけてください。

サービス	内容	現在の利用有無		今後の利用予定			
		あり	なし	増やす 予定 今後利用	今と同じ くらい	減らす 予定	利用 しない
(例) 就労継続支援B型		①	2	1	②	3	4
訪問系	1 居宅介護 (ホームヘルプサービス)	1	2	1	2	3	4
	2 重度訪問介護	1	2	1	2	3	4
	3 同行援護	1	2	1	2	3	4
	4 行動援護	1	2	1	2	3	4
	5 重度障害者等 包括支援	1	2	1	2	3	4



サービス	内容	現在の利用の有無		今後の利用予定				
		あり	なし	増やす 予定	減らす 予定	利用しない	今後の利用予定	
							増やす 今後利用	減らす 今後利用
(例)	就労継続支援B型	①	2	1	②	3	4	
日中活動系 （グループホーム）	6 生活介護	1	2	1	2	3	4	
	7 療養介護	1	2	1	2	3	4	
	8 短期入所（ショートステイ）	1	2	1	2	3	4	
	9 宿泊型自立訓練	1	2	1	2	3	4	
居住支援系	10 自立生活援助	1	2	1	2	3	4	
	11 共同生活援助（グループホーム）	1	2	1	2	3	4	
施設系	12 施設入所支援	1	2	1	2	3	4	
訓練系・就労系	13 自立訓練（機能訓練）	1	2	1	2	3	4	
	14 自立訓練（生活訓練）	1	2	1	2	3	4	
	15 就労移行支援	1	2	1	2	3	4	
	16 就労継続支援A型	1	2	1	2	3	4	



サービス	内容	現在の利用の有無		今後の利用予定				
		あり	なし	増やす 予定	減らす 予定	利用しない	今後の利用予定	
							増やす 今後利用	減らす 今後利用
(例)	就労継続支援B型	①	2	1	②	3	4	
訓練系・就労系	17 就労継続支援B型	1	2	1	2	3	4	
	18 就労定着支援	1	2	1	2	3	4	
相談支援	19 計画相談支援	1	2	1	2	3	4	
	20 地域移行支援	1	2	1	2	3	4	
	21 地域定着支援	1	2	1	2	3	4	
障害児通所支援	22 放課後等デイサービス	1	2	1	2	3	4	
	23 保育所等訪問支援	1	2	1	2	3	4	
	24 居宅訪問型児童発達支援	1	2	1	2	3	4	



障害者への理解や権利擁護について

問36 「障害者週間の集い」を知っていましたか。
(○は1つ)

1. 知っており、参加したことがある
2. 知っていたが、参加したことはない
3. 知らなかった

■「障害者週間の集い」とは

障害のある人もない人も、お互いがふれあい、楽しみながら障害のある人に対する理解と関心を深めることができるイベントです。

毎年、「障害者週間(12月3日～9日)」にあわせて、川越市障害者団体連絡協議会、川越市社会福祉協議会と川越市が共催で開催しています。

問37 「成年後見制度」について知っていましたか。
(○は1つ)

1. 知っており、利用したことがある
2. 知っていたが、利用したことはない
3. 聞いたことはあるが詳しくは知らなかった
4. 全く知らなかった

■「成年後見制度」とは

障害などで判断能力が不十分な人を支援するために、後見人等が財産管理や生活に必要な契約を代理で行う制度のことです。

問38 「地域共生社会」を知っていましたか。
(○は1つ)

1. 知っていた
2. 聞いたことはあるが詳しくは知らなかった
3. 知らなかった

■「地域共生社会」とは

高齢者介護・障害福祉・児童福祉・生活困窮者支援等の制度・分野の枠や、「支える側」「支えられる側」という関係を超えて、人と人、人と社会とがつながり、一人ひとりが生きがいや役割を持ち、助け合いながら暮らしていくことのできる地域や社会のことです。



問39 「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律(障害者差別解消法)」を知っていましたか。

(○は1つ)

1. 知っていた
2. 法律の名前は知っているが、内容は知らなかった
3. 知らなかった

■「障害者差別解消法」とは

この法律では、行政機関や事業者に対して、障害のある人への障害を理由とする「不当な差別的取扱い」を禁止しています。

また、障害のある人は、社会の中にあるバリアによって生活しづらい場合があります。

この法律では、行政機関や事業者に対して、障害のある人から申出があった場合に、負担が重すぎない範囲で障害のある人の求めに応じ、「合理的配慮」の提供を求めています。

※合理的配慮…社会の中にあるバリアを取り除くために必要かつ合理的な対応をすること。

例えば、「飲食店で障害のある人から「車椅子のまま着席したい」との申出があり、机に備え付けの椅子を片付けて、車椅子のまま着席できるスペースを確保する」など。

問40 障害があることで差別を受けたり嫌な思いをしたりすることはありますか。
(○は1つ)

1. ある ⇒問41へ
2. ない ⇒問42へ

【問40で「1. ある」に○をつけた方にお聞きします】

問41 それはどのような場面ですか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 日常生活で(他人の視線を感じる/ 心ない言葉を受ける/ 障害に対する誤解があるなど)
2. 学校で(通常の学級との交流が難しい/ 活動に参加できないなど)
3. 通所先や入所施設等で(隔離・拘束される/ 心ない言葉を受ける/ 暴力を受けるなど)
4. 病院や薬局などで(診察や入院を拒否される/ 介助者にだけ話しかけるなど)
5. 飲食店、娯楽施設やホテルなどで(利用を拒否される/ 介助者の同伴などの条件を付けられるなど)
6. 交通機関乗車時に(迷惑がられる/ 乗車拒否されるなど)
7. 人との交流の場で(話の輪に入れない/ 活動に参加できないなど)
8. その他 ()



【ここからは、全員にお聞きします】

問42 障害に対する市民の理解について、進んでいると感じますか。
(〇は1つ)

- | | |
|--------------|-------------|
| 1. 進んでいる | 4. 多少後退している |
| 2. 多少進んでいる | 5. 後退している |
| 3. どちらともいえない | 6. 分からない |

問43 障害者への理解を深めるために力を入れるべきことは何だと思えますか。



市の取り組み等について

問44 次の市の取り組みで、改善してほしいこと、満足していることを教えてください。
「(1) 改善してほしい」と「(2) 満足している」それぞれ上位3つに〇をつけてください。

	(1) 改善 してほしい	(2) 満足 している
1. 経済的援助	1	1
2. 差別の解消及び相互理解の促進	2	2
3. 権利擁護の推進、虐待防止	3	3
4. 利用しやすい道路や公共施設の整備	4	4
5. 通所施設の整備	5	5
6. 入所施設の整備	6	6
7. グループホームなどの地域で生活できる住環境の整備	7	7
8. 重症心身障害者の受入先や医療的ケアを受けられる施設の整備	8	8
9. 在宅福祉サービスの充実	9	9
10. 災害時の支援体制	10	10
11. 保健・医療サービスの充実	11	11
12. 療育体制・学校教育の充実	12	12
13. 就労支援の充実	13	13
14. 相談支援の充実	14	14
15. 文化・スポーツ活動等への参加機会の充実	15	15
16. 外出や移動の支援	16	16
17. 障害のある人に配慮した情報提供の充実	17	17
18. 介助者への支援	18	18



市の障害者施策の満足度について

問45 川越市の障害者施策について、満足していますか。

(○は1つ)

- | | |
|---------------|------------|
| 1. 満足している | 4. 満足していない |
| 2. 少し満足している | 5. 分からない |
| 3. あまり満足していない | |

最後に、アンケートの選択肢や自由記入欄だけでは表現しきれなかったことや、ご意見・ご要望などがありましたら、自由に記入してください。

ご本人向けのご質問は以上となります。ご協力ありがとうございました。

お手数ですが、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて

10月7日（火） までにご返送ください。

次のページに **介助者向けアンケート** がありますので、

介助者の方に記入していただくよう、お願い申し上げます。



介助者向けアンケート

【ここからは、ご本人の介助等をしている方がご回答ください】

問1 ご本人との関係は次のうちどれですか。

(○は1つ)

- | |
|--------------------|
| 1. 父母、祖父母、兄弟姉妹 |
| 2. 障害福祉サービス事業所等の職員 |
| 3. その他 () |

問2 年齢を以下の□にご記入ください。(令和7年9月1日現在)

□	歳
---	---

問3 介助者に必要と思われる支援はありますか。

(あてはまるものすべてに○)

- | |
|------------------------------|
| 1. 家族が亡くなった後の本人のことで相談できるサービス |
| 2. わかりやすいサービスや制度の紹介 |
| 3. 経済的支援に関する相談・情報提供 |
| 4. サービス利用のための簡便な手続き |
| 5. 緊急一時保護や短期入所（ショートステイ）の充実 |
| 6. 介護や家事援助などを行うホームヘルプサービスの充実 |
| 7. 気軽に情報交換できる機会の紹介・提供 |
| 8. その他 () |
| 9. 特にない |

ご質問は以上となります。ご協力ありがとうございました。

お手数ですが、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて

10月7日（火） までにご返送ください



III

かわごえし しょうがいふくし かん
川越市の障害福祉に関するアンケート

きょうりょく ねが
ご協力のお願い



しみん みな ひごろ しきょうせい のめがい きょうりょく
市民の皆さまには、日頃から市行政へのご理解、ご協力をいただきありがとうございます。

げんざい かわごえし では、しょうがいのある方への福祉施策の一層の充実を図るため、現在の障害
施策の計画を見直し、令和9年度から新しい計画を策定する準備をしております。

そこで、川越市内の障害者支援施設・グループホームを利用している方の生活状況や
ご意見をうかがい、よりよい施策・計画とするために本アンケートを実施します。

これからの川越市での障害福祉を考えるための身近な内容になっておりますので、
ぜひご協力をいただきますようよろしくお願い申し上げます。

れいわ ねん がつ かわごえしちよう もりた はつえ
令和7年9月 川越市長 森田 初恵

この調査は無記名であり、結果の集計・分析は統計的に処理いたしますので、個人が特定
されることはありません。

かいどう
ご回答は、「① インターネット」か「② 紙(郵送)」のいずれかでお願いします。

① インターネットでのご回答

にじげんコード等から調査専用サイトへアクセスいただき、調査の最初の設問に、下記
シールのID・パスワードをご入力の上、10月7日(火)までにご回答ください。

ID、パスワード記載のシール



アンケート URL:
https://smileysurvey.
co/s/12aaf9ae/o

② 紙(郵送)でご回答される場合

次ページよりご回答いただき、同封の返信用封筒(切手不要)に入れ、
10月7日(火)までにお近くの郵便ポストに投函してください。

【お問い合わせ先】

かわごえし しょうがいふくし かん
川越市 障害者福祉課 計画担当

でん づか
電話 049-224-6307 ファクス 049-225-3033

メール shogaisha@city.kawagoe.lg.jp



右のマークは音声コードです。コードの位置を示すために切り込みを入れています。
専用の読み上げ装置等を使用して読み取ることで、音声で内容を聞き取ることができます。

- このアンケートは、基本的には宛名のご本人のことをお聞きしています。
ご本人がご記入できない場合は、ご本人の立場になって、代理の方がご記入ください。
- 答えたくない質問については、無理にお答えいただく必要はありません。
無理のない範囲でご回答をお願いします。

記入者・宛名ご本人のことについて

この調査票に記入する方はどなたですか。
(○は1つ)

記入者	1. 本人(調査の対象となる方)が記入
	2. 本人に聞いて、家族や介助者等が記入
	3. 本人の意見を確認するのが難しいので、家族や介助者等が本人の立場に立って記入

【ここからは、このアンケートが郵送された宛名ご本人を「あなた」としています】

あなたの性別をお答えください。
(○は1つ)

1. 男性 2. 女性 3. 回答しない

あなたの年齢を以下の□にご記入ください。(令和7年9月1日現在)

□ 歳

あなたの昨年1年間のおおよその総収入額を以下の□にご記入ください。

約 □ 万円(年)

あなたの生活を支えている収入は次のうちどれですか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------|-----------|
| 1. 給与・賃金・事業収入 | 4. 家族の収入 |
| 2. 就労継続支援施設や作業所の工賃 | 5. 生活保護費 |
| 3. 年金(障害年金含む) | 6. その他() |



障害の状況について

問1 身体障害者手帳を持っていますか。

(○は1つ)

1. 1級 2. 2級 3. 3級 4. 4級 5. 5級 6. 6級 7. 持っていない ⇒問3へ

【問1で1～6に○をつけた方にお聞きします】

問2 身体障害者手帳を持っている方は、主な障害をお答えください。

(○は1つ)

1. 視覚障害
2. 聴覚障害・平衡機能障害
3. 音声・言語・そしゃく機能障害
4. 肢体不自由(上肢・下肢・体幹、脳原性運動機能障害)
5. 内部障害(心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこう・直腸、小腸、免疫、肝臓機能障害)

【ここからは、全員にお聞きします】

問3 療育手帳を持っていますか。

(○は1つ)

1. A 2. A 3. B 4. C 5. 持っていない

問4 精神障害者保健福祉手帳を持っていますか。

(○は1つ)

1. 1級 2. 2級 3. 3級 4. 持っていない

問5 難病(指定難病、特定疾患、指定疾患、小児慢性特定疾病)の認定を受けていますか。

(○は1つ)

1. 受けている 2. 受けていない

問6 発達障害と診断されたことはありますか。

(○は1つ)

1. ある 2. ない

問7 高次脳機能障害と診断されたことはありますか。

(○は1つ)

1. ある 2. ない

問8 障害支援区分の認定を受けていますか。

(○は1つ)

1. 区分1 2. 区分2 3. 区分3 4. 区分4 5. 区分5 6. 区分6 7. 受けていない

問9 介護保険で介護サービスを利用していますか。

(○は1つ)

1. 利用している 2. 利用していない



介助等の状況について

問10 主にあなたの介助をしているのはどなたですか。

(○は1つ)

- | | |
|----------------|--------------------|
| 1. 父母、祖父母、兄弟姉妹 | 4. 障害福祉サービス事業所等の職員 |
| 2. 配偶者(夫または妻) | 5. その他() |
| 3. 子ども | 6. 特に介助等を受けていない |

健康状態や医療について

問11 健康管理や医療について、困ったり不便に思うことはありますか。

(○は1つ)

1. ある ⇒問12へ 2. ない ⇒問13へ

【問11で「1. ある」に○をつけた方にお聞きします】

問12 困ったり不便に思うことは何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 通院のための交通手段が確保・利用しにくい(近くにない)
2. 通院のための介助者を確保しにくい
3. 医療費の負担が大きい
4. 障害のために症状が伝わらない
5. 病院等での手続きや案内など、障害のある人への配慮が足りない
6. 障害や病気の状態が重度化・重複化している
7. その他()

【ここからは、全員にお聞きします】

問13 現在、医療的ケアを受けていますか。

(○は1つ)

1. 受けている ⇒問14へ 2. 受けていない ⇒問15へ

※ 医療的ケア…在宅や学校等で日常的に行われている医療的生活援助行為(病気治療のための入院や通院で行われる医療行為を除く)。例えば、人工呼吸器・気管切開・鼻咽腔エアウェイの管理、酸素療法、口鼻腔・気管内吸引、ネブライザーの管理、経管栄養、中心静脈カテーテルの管理、皮下注射、血糖測定、透析、導尿など。



【問13で「1. 受けている」に○をつけた方にお聞きします】

問14 あなたの医療的ケアを行っている方はどなたですか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------|---------|
| 1. 家族 | 4. 本人 |
| 2. 医療機関の職員（医師、看護師など） | 5. その他（ |
| 3. 福祉サービス事業所等の職員 | ） |

外出や余暇の過ごし方について

【ここからは、全員にお聞きします】

問15 1週間にどのくらい外出しますか。
(○は1つ)

- | | | | |
|---------|---------|---------|--------------|
| 1. 5日以上 | 2. 3～4日 | 3. 1～2日 | 4. ほとんど外出しない |
|---------|---------|---------|--------------|

問16 普段はどなたと一緒に外出していますか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------|--------------------|
| 1. 父母、祖父母、兄弟姉妹 | 5. 障害福祉サービス事業所等の職員 |
| 2. 配偶者（夫または妻） | 6. その他（ |
| 3. 子ども | 7. 1人で外出する |
| 4. 友だち | ） |

問17 外出の際に困っていることはありますか。
(○は1つ)

- | | |
|-------------|-------------|
| 1. ある ⇒問18へ | 2. ない ⇒問19へ |
|-------------|-------------|

【問17で「1. ある」に○をつけた方にお聞きします】

問18 どのようなことに困っていますか。
(あてはまるものすべてに○)

- | |
|---|
| 1. 交通費や利用料がかかる |
| 2. 道が利用しにくい（狭い、段差がある等） |
| 3. バスや鉄道などが利用しにくい（乗り降りしづらい、案内表示が分かりづらい） |
| 4. 建物の設備が使いづらい（多機能トイレ、駐車スペース等） |
| 5. 外出のための介助者を確保しにくい |
| 6. 家族に負担がかかる |
| 7. その他（ |
| ） |



【ここからは、全員にお聞きします】

問19 1年間で次の活動をする機会がありましたか。また、今後してみたいですか。
「(1) 機会があった」「(2) 今後してみたい」それぞれで、あてはまるものすべてに○をつけてください。

活 動	(1) 機会があった	(2) 今後してみたい
1. 旅行に出かける	1	1
2. スポーツをする	2	2
3. 文化的な活動をする (映像鑑賞、音楽鑑賞、読書、ゲーム)	3	3
4. 友人・知人と会って交流を深める	4	4
5. 資格取得等の勉強をする	5	5
6. 買い物や外食に行く	6	6
7. 地域の行事に参加する	7	7
8. その他の趣味の活動をする	8	8

【問19で「(2) 今後してみたい」に1つでも○をつけた方にお聞きします】

問20 先ほど(問19)の活動をするにはどんなことが必要だと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

- | |
|---|
| 1. 費用を心配しなくてよいこと |
| 2. 活動する場所が近く（行きやすいところ）にあること |
| 3. バスや鉄道などが利用しやすいこと（乗り降りしやすさ、案内表示の分かりやすさ） |
| 4. 建物の設備が使いやすいこと（多機能トイレ、駐車スペース等） |
| 5. 一緒に活動する仲間がいること |
| 6. 障害のある人も参加しやすいこと |
| 7. 障害のある人もない人も一緒にできること |
| 8. 介助者が確保しやすいこと |
| 9. 家族への負担を軽減できること |
| 10. その他（ |
| 11. 特にない |
| ） |



入所期間・理由について

問21 現在の施設に入所している期間を以下の□にご記入ください。(1年未満は0とご記入ください)

□ 年

問22 現在の施設へ入所することを決めた理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 常時介護や医療的ケアが必要なため
2. 家族による介護がむずかしくなったため
3. 自立した暮らしをしたいため
4. 住まいが障害に対応していないため
5. 施設のほうが安心して暮らせるため
6. リハビリや訓練を受けるため
7. その他 ()

施設での生活について

問23 この1年間でどのくらい自宅に帰りましたか。(○は1つ)

- | | | |
|----------|---------|--------------|
| 1. 10回以上 | 3. 3～5回 | 5. 一度も帰らなかった |
| 2. 6～9回 | 4. 1～2回 | 6. 帰る自宅がない |

問24 現在入所している施設の生活に満足していますか。(○は1つ)

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. 満足している | 4. あまり満足していない |
| 2. 少し満足している | 5. 満足していない |
| 3. どちらともいえない | 6. 分からない |



雇用・就労について

問25 現在、仕事をしていますか。(○は1つ)

- | | |
|----------------------------|-------|
| 1. 仕事をしている | ⇒問26へ |
| 2. 以前は仕事をしていた(現在は仕事をしていない) | ⇒問31へ |
| 3. 仕事をしていない | ⇒問32へ |

【問25で「1. 仕事をしている」に○をつけた方にお聞きします】

問26 現在の職場で何年働いていますか。以下の□にご記入ください。(1年未満は0とご記入ください)

□ 年

問27 現在の仕事はどのようにして見つけましたか。(○は1つ)

1. ハローワーク(公共職業安定所)を通じて
2. 就労移行支援事業所などの障害福祉サービス事業所を通じて
3. 障害者就業・生活支援センターを通じて
4. 学校の紹介
5. 家族や知人の紹介
6. インターネットの求人サイトや企業のホームページを通じて
7. その他 ()

問28 どのような勤務形態で働いていますか(○は1つ)。また、どのくらい働いていますか。「1週間あたりの日数」と「1日あたりの時間」をそれぞれ□にご記入ください。

勤務形態	1. 正規雇用(正社員等)		4. 就労継続支援等での福祉的就労	
	2. 非正規雇用(契約社員・アルバイト等)		5. その他	
	3. 自営業		()	
働いている時間	1週間あたり	□	日	□
	1日あたり	□	時間*	□

※1時間未満は0とご記入ください



【ここからは、全員にお聞きします】

問36 将来、誰と一緒に暮らしたいですか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 父母、祖父母、兄弟姉妹
2. 配偶者(夫または妻)
3. 子ども
4. いない(1人暮らし)
5. 現在生活している施設の仲間たち
6. その他()
7. 分からない/決められない

問37 現在、主に日中をどのように過ごしていますか。また、近い将来(今後3年以内)どのように過ごしたいですか。
「(1)現在の暮らし」と「(2)近い将来の希望(今後3年以内)」それぞれに○を1つつけてください。

	(1) 現在の暮らし	(2) 近い将来の希望 (今後3年以内)
1. 自宅(持ち家、賃貸住宅)で過ごす	1	1
2. 収入を伴う仕事をする(福祉的就労含む)	2	2
3. 通所施設・事業所(生活介護、自立訓練など)に通う	3	3
4. 入所施設やグループホームで過ごす	4	4
5. 病院等(デイケア等)で過ごす	5	5
6. 幼稚園や保育所、学校に通う	6	6
7. その他()	7	7
8. 分からない/決められない		8

【問37で「(2)近い将来の希望(今後3年以内)」で、「1.自宅(持ち家、賃貸住宅)で過ごす」に○をつけた方にお聞きします】

問38 近い将来、日中を主に自宅で過ごしたいと思う理由は何ですか。
(○は1つ)

1. 家族と一緒にいたいから
2. 外に出るよりも、自宅にいる方が安心できるから
3. 趣味や好きなことを自宅でしたいから
4. 自宅でできる仕事や活動をしたいから
5. 自分のペースで過ごせるから
6. その他()



【ここからは、全員にお聞きします】

問39 障害のある人が地域で生活していくためには何が必要だと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------|-------------------------|
| 1. 地域の人たちの障害に対する理解 | 8. 日中活動系サービスの充実 |
| 2. 道路・交通・建物のバリアフリー化 | 9. 自立生活のための訓練・体験 |
| 3. 障害者のための住宅の確保 | 10. グループホームなどの拡充 |
| 4. 災害時の支援 | 11. 自宅で過ごすための訪問系サービスの充実 |
| 5. 医療体制の充実 | 12. 経済的負担の軽減 |
| 6. 就労のための支援 | 13. その他() |
| 7. 地域生活に関する相談支援 | |

相談や情報入手について

問40 現在の生活で困っていることや悩んでいることはありますか。
(○は1つ)

- | | |
|-------------|-------------|
| 1. ある ⇒問41へ | 2. ない ⇒問42へ |
|-------------|-------------|

【問40で「1.ある」に○をつけた方にお聞きします】

問41 困っていることや悩んでいることは何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------------------------|------------------------|
| 1. 教育や訓練が十分に受けられない | 7. 趣味や生きがいを持ってない |
| 2. 働く場がない | 8. 家族などの介助者の健康状態 |
| 3. 生活費が足りない | 9. 話し相手や相談相手がない |
| 4. 外出がしにくい | 10. うまく情報を得ることができない |
| 5. 必要な保健・福祉・医療サービスが不足している | 11. 家族との関係がよくない |
| 6. 自分に合った支援が受けられる施設(入所施設など)が見つかりにくい | 12. 近くに住んでいる人との関係がよくない |
| | 13. その他() |



【ここからは、全員にお聞きします】

問42 普段、悩みや困ったことなどをどこ（誰）に相談しますか。
（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|---------------------|------------------------|
| 1. 家族 | 9. 身体障害者・知的障害者相談員 |
| 2. 知人・友人 | 10. 民生委員・児童委員 |
| 3. 職場の仲間 | 11. 社会福祉協議会 |
| 4. 施設や事業所の職員 | 12. 現在生活している施設の仲間たち |
| 5. 病院の医師や看護師 | 13. その他（ ） |
| 6. 学校の教職員 | 14. 相談したいが、できない ⇒ 問43へ |
| 7. 相談支援事業所 | 15. 相談したいと思わない |
| 8. 川越市障害者総合相談支援センター | |

【問42で「14. 相談したいが、できない」に○をつけた方にお聞きします】

問43 相談できない理由は何ですか。
（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| 1. どこ（誰）に相談していいかわからない | 5. 相談することにためらいがある |
| 2. 身近なところに相談できるところがない | 6. 何を相談していいかわからない |
| 3. 相談しても満足のいく回答がもらえない | 7. その他（ ） |
| 4. プライバシーが守られるか不安がある | |

【ここからは、全員にお聞きします】

問44 福祉サービス内容について、どのようなもので知ることが多いですか。
（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|--------------------------|----------------|
| 1. 市の広報 | 6. 施設や事業所の職員の話 |
| 2. インターネット（市のホームページ、SNS） | 7. 学校の教職員 |
| 3. 新聞や雑誌 | 8. その他（ ） |
| 4. テレビやラジオ | |
| 5. 家族や知人の話 | |

問45 情報を入手したりコミュニケーションをとる上で困っていることがございましたら、
ご記入ください。



福祉サービスについて

問46 次の障害福祉サービスを利用していますか。また、今後3年以内にどのくらい
利用したいですか。それぞれに○をつけてください。

サービス	内容	現在の利用有無		今後の利用予定			
		あり	なし	増やす・今後利用する予定	今と同じくらい	減らす予定	利用しない
(例)	就労継続支援B型	①	2	1	②	3	4
訪問系	1 居宅介護（ホームヘルプサービス）	1	2	1	2	3	4
	2 重度訪問介護	1	2	1	2	3	4
	3 同行援護	1	2	1	2	3	4
	4 行動援護	1	2	1	2	3	4
	5 重度障害者等包括支援	1	2	1	2	3	4
日中活動系	6 生活介護	1	2	1	2	3	4
	7 療養介護	1	2	1	2	3	4
	8 短期入所（ショートステイ）	1	2	1	2	3	4
	9 宿泊型自立訓練	1	2	1	2	3	4



サービス	内容	現在の利用の有無		今後の利用予定				
		あり	なし	増やす 予定	減らす 予定	利用しない	今後の利用予定	
							増やす 今後利用	今と同じくらい
(例)	就労継続支援B型	①	2	1	②	3	4	
居住支援系	10 自立生活援助	1	2	1	2	3	4	
	11 共同生活援助 (グループホーム)	1	2	1	2	3	4	
施設系	12 施設入所支援	1	2	1	2	3	4	
訓練系・就労系	13 自立訓練 (機能訓練)	1	2	1	2	3	4	
	14 自立訓練 (生活訓練)	1	2	1	2	3	4	
	15 就労移行支援	1	2	1	2	3	4	
	16 就労継続支援 A型	1	2	1	2	3	4	
	17 就労継続支援 B型	1	2	1	2	3	4	
	18 就労定着支援	1	2	1	2	3	4	



サービス	内容	現在の利用の有無		今後の利用予定				
		あり	なし	増やす 予定	減らす 予定	利用しない	今後の利用予定	
							増やす 今後利用	今と同じくらい
(例)	就労継続支援B型	①	2	1	②	3	4	
相談支援	19 計画相談支援	1	2	1	2	3	4	
	20 地域移行支援	1	2	1	2	3	4	
	21 地域定着支援	1	2	1	2	3	4	

問47 障害福祉サービスの利用で困っていることがございましたら、ご記入ください。

問48 障害福祉サービス事業所等に望むことがございましたら、ご記入ください。



災害時の支援等について

問49 災害時に一人（自力）で避難することはできますか。
（〇は1つ）

1. できる 2. できない 3. 分からない

問50 災害発生時に困ることや不安なことはありますか。
（〇は1つ）

1. ある ⇒問51へ 2. ない ⇒問52へ

【問50で「1. ある」に〇をつけた方にお聞きします】

問51 困ることや不安なことは何ですか。
（あてはまるものすべてに〇）

- | | |
|---------------------------------|--------------------------------|
| 1. 災害時に必要な情報（被災状況、避難所等）を知る方法がない | 4. 避難所の設備が自分の障害に対応しているか不安 |
| 2. 災害時に介助者がいない | 5. 避難所で他の人と一緒に過ごすのが難しい |
| 3. 近くに助けてくれる人がいない | 6. 薬や医療的ケアを確保できるかどうか不安 |
| | 7. その他（ ） |

【ここからは、全員にお聞きします】

問52 災害時に望む支援がございましたら、ご記入ください。



障害者への理解や権利擁護について

問53 「障害者週間の集い」を知っていましたか。
（〇は1つ）

1. 知っており、参加したことがある
2. 知っていたが、参加したことはない
3. 知らなかった

■「障害者週間の集い」とは

障害のある人もない人も、お互いがふれあい、楽しみながら障害のある人に対する理解と関心を深めることができるイベントです。

毎年、「障害者週間(12月3日～9日)」にあわせて、川越市障害者団体連絡協議会、川越市社会福祉協議会と川越市が共催で開催しています。

問54 「成年後見制度」について知っていましたか。
（〇は1つ）

1. 知っており、利用したことがある
2. 知っていたが、利用したことはない
3. 聞いたことはあるが詳しくは知らなかった
4. 全く知らなかった

■「成年後見制度」とは

障害などで判断能力が不十分な人を支援するために、後見人等が財産管理や生活に必要な契約を代理で行う制度のことです。

問55 「地域共生社会」を知っていましたか。
（〇は1つ）

1. 知っていた
2. 聞いたことはあるが詳しくは知らなかった
3. 知らなかった

■「地域共生社会」とは

高齢者介護・障害福祉・児童福祉・生活困窮者支援等の制度・分野の枠や、「支える側」「支えられる側」という関係を越えて、人と人、人と社会とがつながり、一人ひとりが生きがいや役割を持ち、助け合いながら暮らしていくことのできる地域や社会のことです。



問56 「障害を理由とする差別的解消の推進に関する法律（障害者差別解消法）」を知っていましたか。

(○は1つ)

1. 知っていた
2. 法律の名前は知っているが、内容は知らなかった
3. 知らなかった

■「障害者差別解消法」とは

この法律では、行政機関や事業者に対して、障害のある人への障害を理由とする「不当な差別的取扱い」を禁止しています。

また、障害のある人は、社会の中にあるバリアによって生活しづらい場合があります。

この法律では、行政機関や事業者に対して、障害のある人から申出があった場合に、**負担が重すぎない範囲で障害のある人の求めに応じ、「合理的配慮※」の提供を求めています。**

※合理的配慮…社会の中にあるバリアを取り除くために必要かつ合理的な対応をすること。

例えば、「飲食店で障害のある人から「車椅子のまま着席したい」との申出があり、机に備え付けの椅子を片付けて、車椅子のまま着席できるスペースを確保する」など。

問57 障害があることで差別を受けたり嫌な思いをしたりすることはありますか。

(○は1つ)

1. ある ⇒問58へ
2. ない ⇒問59へ

【問57で「1. ある」に○をつけた方にお聞きします】

問58 それはどのような場面ですか

(あてはまるものすべてに○)

1. 日常生活で（他人の視線を感じる/ 心ない言葉を受ける/ 障害に対する誤解があるなど）
2. 職場で（会社・職場に理解されない/ 障害に対する誤解があるなど）
3. 学校で（通常の学級との交流が難しい/ 活動に参加できないなど）
4. 通所先や入所施設等で（隔離・拘束される/ 心ない言葉を受ける/ 暴力を受けるなど）
5. 病院や薬局などで（診察や入院を拒否される/ 介助者にだけ話しかけるなど）
6. 飲食店、娯楽施設やホテルなどで（利用を拒否される/ 介助者の同伴などの条件を付けられるなど）
7. 交通機関乗車時に（迷惑がられる/ 乗車拒否されるなど）
8. 人との交流の場で（話の輪に入れない/ 活動に参加できないなど）
9. その他（)



【ここからは、全員にお聞きします】

問59 障害に対する市民の理解について、進んでいると感じますか。

(○は1つ)

1. 進んでいる
2. 多少進んでいる
3. どちらともいえない
4. 多少後退している
5. 後退している
6. 分からない

問60 障害者への理解を深めるために力を入れるべきことは何だと思えますか。



市の取り組み等について

問61 次の市の取り組みで、改善してほしいこと、満足していることを教えてください。
 「(1) 改善してほしい」と「(2) 満足している」それぞれ上位3つに○をつけてください。

	(1) 改善 してほしい	(2) 満足 している
1. 経済的援助	1	1
2. 差別の解消及び相互理解の促進	2	2
3. 権利擁護の推進、虐待防止	3	3
4. 利用しやすい道路や公共施設の整備	4	4
5. 通所施設の整備	5	5
6. 入所施設の整備	6	6
7. グループホームなどの地域で生活できる住環境の整備	7	7
8. 重症心身障害者の受入先や医療的ケアを受けられる施設の整備	8	8
9. 在宅福祉サービスの充実	9	9
10. 災害時の支援体制	10	10
11. 保健・医療サービスの充実	11	11
12. 療育体制・学校教育の充実	12	12
13. 就労支援の充実	13	13
14. 相談支援の充実	14	14
15. 文化・スポーツ活動等への参加機会の充実	15	15
16. 外出や移動の支援	16	16
17. 障害のある人に配慮した情報提供の充実	17	17
18. 介助者への支援	18	18



市の障害者施策の満足度について

問62 川越市の障害者施策について、満足していますか。
 (○は1つ)

- | | |
|---------------|------------|
| 1. 満足している | 4. 満足していない |
| 2. 少し満足している | 5. 分からない |
| 3. あまり満足していない | |

最後に、アンケートの選択肢や自由記入欄だけでは表現しきれなかったことや、ご意見・ご要望などがありましたら、自由に記入してください。

ご本人向けのご質問は以上となります。ご協力ありがとうございました。
 お手数ですが、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて
 10月7日（火）までにご返送ください。

次のページに 介助者向けアンケート がありますので、
 介助者の方に記入していただくよう、お願い申し上げます。



IV

川越市の障害福祉に関するアンケート

ご協力をお願い



市民の皆さまには、日頃から市行政へのご理解、ご協力をいただきありがとうございます。

現在、川越市では、障害のある方への福祉施策の一層の充実を図るため、現在の障害施策の計画を見直し、令和9年度から新しい計画を策定する準備をしております。

そこで、川越市内で無作為に選ばせていただいた18歳以上の市民の方に、障害に関する理解や考え方、ご意見等をうかがい、よりよい施策・計画とするために本アンケートを実施します。

これからの川越市における障害福祉の課題やあり方を検討する内容となっておりますので、ぜひご協力をいただきますようよろしくお願い申し上げます。

令和7年9月 川越市長 森田 初恵

この調査は無記名であり、結果の集計・分析は統計的に処理いたしますので、個人が特定されることはありません。

ご回答は、「① インターネット」か「② 紙（郵送）」のいずれかでお願います。

① インターネットでのご回答

二次元コード等から調査専用サイトへアクセスいただき、調査の最初の設問に、下記シールのID・パスワードをご入力の上、**10月7日(火)までにご回答**ください。

ID、パスワード記載のシール



アンケート URL:
https://smilesurvey.
co/s/f31682a3/o

② 紙（郵送）でご回答される場合

次ページよりご回答いただき、同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、**10月7日(火)までにお近くの郵便ポストに投函**してください。

【お問い合わせ先】

川越市 障害者福祉課 計画担当

電話 049-224-6307 ファクス 049-225-3033

メール shogaisha@city.kawagoe.lg.jp

宛名ご本人のことについて

あなたの性別をお答えください。
(○は1つ)

1. 男性 2. 女性 3. 回答しない

あなたの年齢を以下の□にご記入ください。(令和7年9月1日現在)

□ 歳

障害のある人との関わりについて

問1 身近に障害のある人はいますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 家族や親せきに障害のある人がいる 4. 近所に障害のある人が住んでいる
2. 友人や知人に障害のある人がいる 5. その他 ()
3. 職場や学校などに障害のある人がいる 6. 身近に障害のある人がいない

問2 普段の生活で、障害のある人と接する機会がありますか。
(○は1つ)

1. ある ⇒ 問3へ 2. ない ⇒ 問4へ

【問2で「1. ある」に○をつけた方にお聞きします】
問3 障害のある人と接するのはどのような場面ですか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 家族や親せきに障害のある人がいるので日常的に接している
2. 友人や知人に障害のある人がいるので日常的に接している
3. ボランティアなどで障害のある人と関わっている
4. 職場や学校などで障害のある人と関わっている
5. 学校の体験学習等で、障害のある人の話を聞いたりする
6. 地域で障害のある人と関わっている
7. 困っているのを見かけたときに配慮や支援を行っている
8. その他 ()

【ここからは、全員にお聞きします】

問4 「障害者週間の集い」を知っていますか。

(○は1つ)

1. 知っており、参加したことがある
2. 知っていたが、参加したことはない
3. 知らなかった

■「障害者週間の集い」とは

障害のある人もない人も、お互いがふれあい、楽しみながら障害のある人に対する理解と関心を深めることができるイベントです。

毎年、「障害者週間(12月3日～9日)」にあわせて、川越市障害者団体連絡協議会、川越市社会福祉協議会と川越市が共催で開催しています。

問5 「成年後見制度」について知っていましたか。

(○は1つ)

1. 知っており、利用したことがある
2. 知っていたが、利用したことはない
3. 聞いたことはあるが詳しくは知らなかった
4. 全く知らなかった

■「成年後見制度」とは

障害などで判断能力が不十分な人を支援するために、後見人等が財産管理や生活に必要な契約を代理で行う制度のことです。

問6 「地域共生社会」を知っていますか。

(○は1つ)

1. 知っていた
2. 聞いたことはあるが詳しくは知らなかった
3. 知らなかった

■「地域共生社会」とは

高齢者介護・障害福祉・児童福祉・生活困窮者支援等の制度・分野の枠や、「支える側」「支えられる側」という関係を超えて、人と人、人と社会とがつながり、一人ひとりが生きがいや役割を持ち、助け合いながら暮らししていくことのできる地域や社会のことです。

問7 「ヘルプマーク」を知っていますか。

(○は1つ)

1. 知っていた
2. 聞いたことはあるが詳しくは知らなかった
3. 知らなかった

■「ヘルプマーク」とは

義足や人工関節を使用している方、内部障害や難病の方、または妊娠初期の方など、援助や配慮を必要としていることが外見からは分からない方々が、周囲の方に配慮を必要としていることを知らせることで援助を受けやすくなるよう作成されたマークです。



問8 「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律(障害者差別解消法)」を知っていますか。

(○は1つ)

1. 知っていた
2. 法律の名前は知っているが、内容は知らなかった
3. 知らなかった

■「障害者差別解消法」とは

この法律では、行政機関や事業者に対して、障害のある人への障害を理由とする「不当な差別的取扱い」を禁止しています。

また、障害のある人は、社会の中にあるバリアによって生活しづらい場合があります。

この法律では、行政機関や事業者に対して、障害のある人から申出があった場合に、負担が重すぎない範囲で障害ある人の求めに応じ、「合理的配慮※」の提供を求めています。

※合理的配慮…社会の中にあるバリアを取り除くために必要かつ合理的な対応をすること。

例えば、「飲食店で障害のある人から「車椅子のまま着席したい」との申出があり、机に備え付けの椅子を片付けて、車椅子のまま着席できるスペースを確保する」など。

問9 障害のある人への差別や偏見を感じたことはありますか。

(○は1つ)

1. ある ⇒ 問10へ
2. ない ⇒ 問11へ

【問9で「1. ある」に○をつけた方にお聞きします】

問10 どのような場面で差別や偏見を感じましたか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| 1. 職場で感じた | 6. 交通機関乗車時に感じた |
| 2. 学校で感じた | 7. 人との交流の場で感じた |
| 3. 通所先や入所施設等で感じた | 8. 1～7以外の日常生活で感じた |
| 4. 病院や薬局などで感じた | 9. その他 |
| 5. 飲食店、娯楽施設やホテルなどで感じた | () |

【ここからは、全員にお聞きします】

問11 あなた自身に障害のある人に対して差別や偏見があると思いますか。

(○は1つ)

1. ある ⇒ 問12へ 2. ない ⇒ 問13へ 3. 分からない ⇒ 問13へ

【問11で「1. ある」に○をつけた方にお聞きします】

問12 そう思う理由は何ですか。

【ここからは、全員にお聞きします】

問13 障害のある人への誤解や偏見を解消するためにどのようなことが必要だと思いますか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------------------|--|
| 1. 障害のある人とない人が交流する機会 | |
| 2. 学校など教育の場での意識啓発 | |
| 3. 職場での研修 | |
| 4. 障害福祉をテーマとした講座や講演会の開催 | |
| 5. 広報紙等による市民への周知 | |
| 6. 日常生活での接点を増やす(カフェなどのバリアフリー化) | |
| 7. その他 () | |
| 8. 分からない | |

問14 あなたは障害のある人にどのようなイメージをお持ちですか。

問15 障害のある人が地域で生活するためには何が必要だと思いますか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------|------------------|
| 1. 地域の人たちの障害に対する理解 | 8. 日中活動系サービスの充実 |
| 2. 道路・交通・建物のバリアフリー化 | 9. 自立生活のための訓練・体験 |
| 3. 障害者のための住宅の確保 | 10. グループホームなどの拡充 |
| 4. 災害時の支援 | 11. 訪問系サービスの充実 |
| 5. 医療体制の充実 | 12. 経済的負担の軽減 |
| 6. 就労のための支援 | 13. その他 |
| 7. 地域生活に関する相談支援 | () |

川越市障害福祉に関するアンケート調査報告書

発行日 令和8年3月

発行 川越市福祉部障害者福祉課

川越市元町1丁目3番地1

電話 049-224-6307 (直通)

FAX 049-225-3033

